

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズメモリーナビコンポ

VXM-108CS

ナビゲーション・オーディオ編



MP3 WMA AAC



Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書もお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて…

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

このシステムでできること

このシステムには、快適なドライブをするための様々な機能が用意されています。それぞれの機能の特長をご理解いただき、正しくご使用ください。

ナビゲーション・・・・・・・・・・P53～

表示が見やすくわかりやすい、タッチパネルコントロールと見やすい画面と音声で、わかりやすいルート案内（道案内）を行ないます。

VICS・・・・・・・・・・P160～

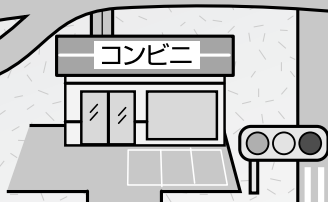
渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

ETC **別売品**・・・・・・・・・・P269～

高速道路料金所で現金やクレジットカードなどの受け渡しを行わずに通過することができます。

オーディオ・地上デジタルテレビ・・・・P293～

簡単な操作でラジオ、CD、SDなどを聞いたり、停車中には、地上デジタルテレビ（ワンセグ）、外部入力の映像などを見ることができます。



こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。まずは行き先を設定してみましょう。ここでは、ジャンルから選んで、行き先に決定します。

1



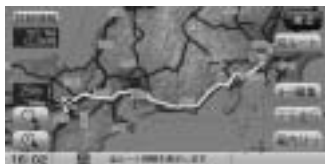
MENU ボタン () を押し、
目的地 ボタンをタッチします。

2



ジャンル ボタンをタッチします。

7



全ルートが表示されますので、
案内スタート ボタンをタッチします。

8



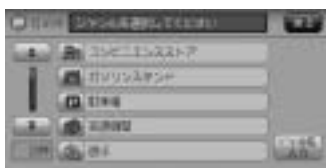
ルート案内が始まります。

画面上のボタンを選ぶには？

画面ボタンを直接タッチして選びます。



3



リストから“ジャンル”を選び、タッチします。

さらに細かく“ジャンル”のリストが表示された場合は種類を選びタッチします。

4



リストから“都道府県名”を選び、タッチします。

さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選びタッチします。

*印: 頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

6



施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して**目的地セット** ボタンをタッチします。

※到着地点情報画面が表示された場合 **はい** ボタンをタッチして情報を確認することができます。

5



リストから“施設”を選び、タッチします。

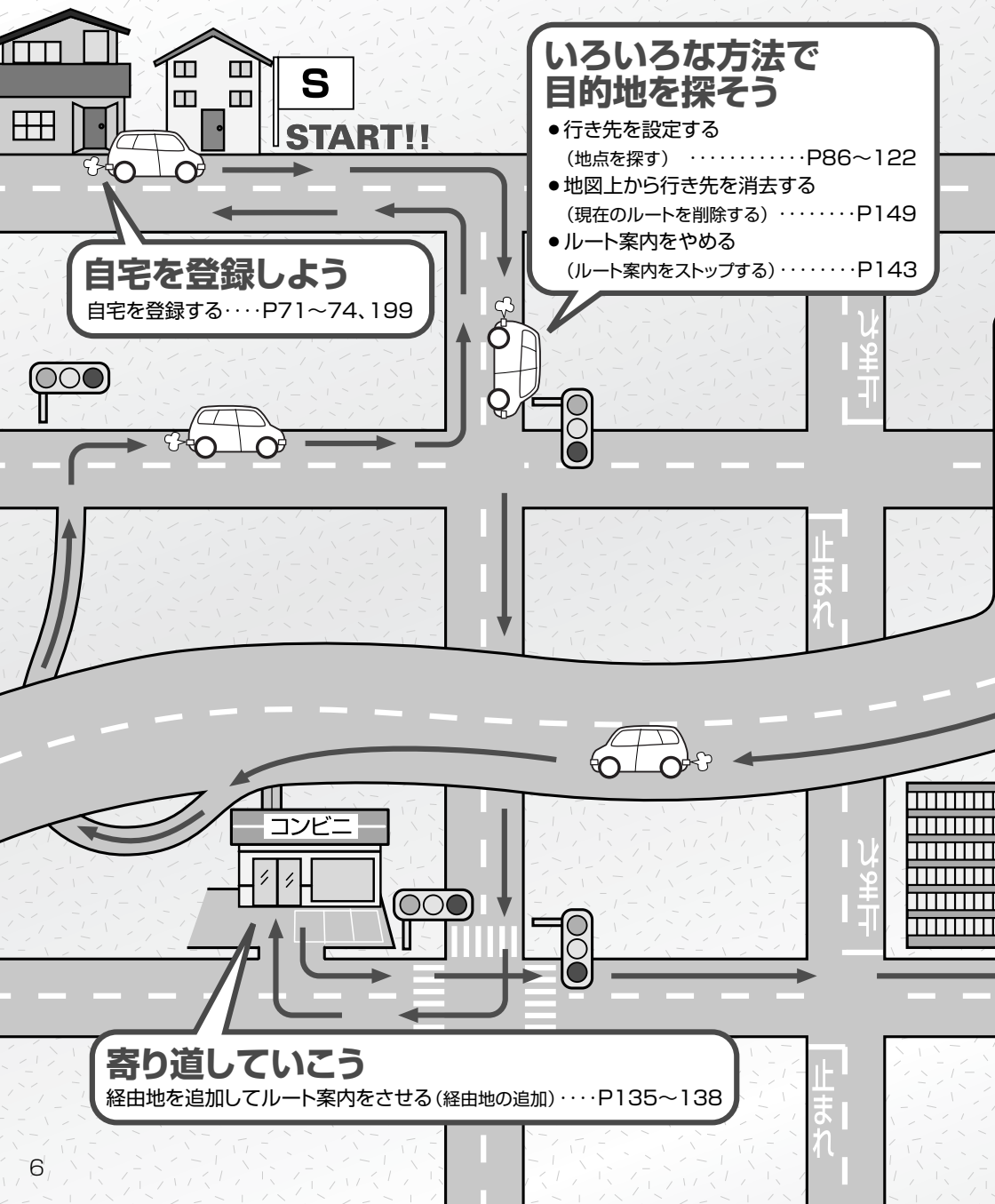
*印: 頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。



※印: **はい** ボタンをタッチすると、出入口情報などの情報リスト画面が表示されます。操作手順については130ページのアドバイスをご覧ください。

ナビでドライブ!

ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。



いろいろな方法で目的地を探そう

- 行き先を設定する
(地点を探す) ……………P86～122
- 地図上から行き先を消去する
(現在のルートを削除する) ……………P149
- ルート案内をやめる
(ルート案内をストップする) ……………P143

自宅を登録しよう

自宅を登録する……P71～74、199

寄り道していこう

経由地を追加してルート案内をさせる(経由地の追加)……P135～138

わかりやすくナビゲーション

- ルートから外れてしまったら(再探索)……P141
- VICSで渋滞情報を見る(表示について)……P163、164
- 交差点拡大図を表示する……P247

自宅へ帰りたい

自宅まで探索するには…P78

高速道路も大丈夫

- 有料道路を優先してルートを探索する
(探索条件の変更)
……P131、132、140、227～230
- 高速道路情報を見る
(ハイウェイモードを表示する)……P79、80、245
- ETCを利用する
……P221、269～274

見やすい地図にするには？

- 地図画面の見かた(代表的な画面の表示内容について)……P56、57
- 地図を拡大／縮小する……P59
- 地図表示(方位)を切り替える……P61、62
- 地図を動かす(地図スクロール)……P63、64
- 右画面に地図を表示する……P79

このシステムを使いこなすヒント

●進行方向を上にして地図を表示したい

地図表示(方位)を切り替える・・・P61、62

●よく行く場所を登録したい

地点を登録する・・・・・・・・・・P75、76

●いろいろな行きかたを同時に見たい

1ルート探索/複数ルート探索をする・・・P127～132

●探索したルートの全体を見よう

現在のルートを表示する・・・P144、145

●VICS情報を利用したい

VICS情報を見る・・・・・・・・P160～186

このシステムを便利に使いこなすためのいろいろなヒントをご紹介します。

●ETCの利用状況を見たい **別売品**

履歴を確認する……………P221

●エコドライブ度を評価したい

エコドライブ情報を設定する…P187～193

●ガソリンスタンドやコンビニなどのマークを表示させて目印にしたい

ランドマーク表示の設定をする…P258、259

●走ってきた道を表示させたい

軌跡を使う……………P194～198

●案内音量を大きくしたい

音声案内の音量を調整する…P263、264

●次のオイル交換は？

メンテナンス情報を設定する・・・P275～279

●音声はそのまま、画面だけ消したい

音声はそのまま画面を消す・・・・・・P447

●ルート案内しながら音楽を聞きたい

音声はそのまま、ナビゲーション

画面を表示する・・・・・・P448、449

●ラジオを聞きたい

ラジオ……………P303～318

●休憩してテレビを見たい

ワンセグを使う……………P319～353

●CDやMP3を聞きたい

CD……………P355～364

MP3／WMA……………P365～379

●写真を見たい

PHOTO……………P433～441

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

 アドバイス	● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
 お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示しています。
MENU	本体のパネル部のボタンを表します。
目的地	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
■/□	操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。

使用上の注意事項等

- デュアルサイズメモリーナビコンボの操作
 - ・ 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
 - ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によりSDカード内の保存データの消失等については補償できません。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）にしたがって走行してください。

目次(1)

このシステムでできること	3
こんなにかんたん！行き先を決めよう	4、5
ナビでドライブ	6、7
このシステムを使いこなすヒント	8～11
本書の見かた	12
目次	13～19

はじめに	安全上のご注意	22～24
	お願い	25～29
	主な特長	30～35
	再生できるディスクについて	36、37
	ディスクの取り扱いかた	38
	SDカード／USBメモリデバイスについて	39、40
	SDカードの取り扱いかた	41
	ナビゲーションシステムとは	42
	本機のナビゲーションシステムについて	42
	GPS衛星の電波受信と測位	43
	GPS (Global Positioning System)について	43
	受信しにくい場所について	43
	受信するまでの時間について	43
	自律航法とマップマッチング	44
	現在地の誤差について	44
	自律航法&マップマッチング	44
	学習度と現在地	44
	オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	45
	ディスクを入れる／取り出すには	46、47
ディスクを取り出すには	47	
SDカードを入れる／取り出すには	48	
SDカードを取り出すには	48	
ディスプレイ部の角度を調整する	49	
各部の名称とはたらき	50、51	
パソコン連携(いつもNAVI)	52	
パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて	52	

ここだけ読んでも使えます

P53～

(ナビ操作)

地図を表示するには

現在地表示について

地図画面の見かた

代表的な画面の表示内容について

地図の縮尺レベル

地図を拡大／縮小する

現在地を表示するには

表示された現在地が実際の現在地とは違う場合は

地図表示(方位)を切り替える

見たい地域を探す

地図を動かす(地図スクロール)

スクロールの微調整をする

メニューの基本操作

メニュー項目一覧

クイック機能について

現在地表示時、地図スクロール時に

MENU ボタンを押した場合

地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合

自宅を登録する

自宅の位置を変更するには

地点を登録する

登録地点について

クイックルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索する場合

現在地から自宅までのルートを探索する場合

2画面表示にする

右画面の方位／縮尺スケールを変えるには

音声案内について

54、55

55

56、57

56、57

58

59

60

60

61、62

63～65

63、64

65

66

67、68

69、70

69

70

71～74

74

75、76

76

77、78

77

78

79～81

81

82、83

目次(2)

目的地

P85~

(ナビ操作)



名称で地点を探す [施設50音]	86~89
電話番号で地点を探す	90、91
個人宅の電話番号を入力した場合	91
住所で地点を探す	92~95
地名を入力して探す場合	94
施設のジャンルから地点を探す	96~98
ジャンル名を入力して探す場合	98
自宅周辺の地図を表示する	99
周辺にある施設から地点を探す	100~103
表示できる施設	104~106
登録地点で地点を探す	107~109
登録地点の並び替えをする	109
目的地履歴の中から地点を 探す／削除する	110、111
地名から地点を探す [50音]	112、113
郵便番号で地点を探す	114、115
緯度・経度で地点を探す	116
マップコードで地点を探す	117、118
SDカードで地点を探す	119~121
地図から地点を探す	122

ルート

P123~

(ナビ操作)



ルート設定について	124~126
ルート探索について	125
細街路探索について	126
1ルート探索／複数ルート探索を する	127~132
1ルート探索をする	128~130
複数ルート探索をする	131、132
ルートを変更する	133~140
出発地の変更	133、134
目的地の変更	135
経由地の追加	135~138
経由地の変更／削除	139
経由地／目的地など地点の入れ替え	139
探索条件の変更	140
ルートから外れてしまったら(再探索)	141
前方の道が通れない(迂回探索)	142
ルート案内をストップ／スタートする	143
現在のルートを表示する	144、145
ルート詳細情報を表示するには	145
デモ走行をする	146
経由地をスキップする	147
現在のルートを保存する	148
現在のルートを削除する	149
登録ルート	150、151
保存したルートの呼び出し	150
保存したルートの削除	151
渋滞予想ルート探索をする	152~154
渋滞地点を確認する	155
SDカードからルート探索を する	156~158

情報

P159~



VICS

交通情報(VICS情報)／ 一般情報の受信について	160
交通情報(VICS情報)について	161~165
VICS情報の更新に伴う表示変更について	162
交通情報(VICS情報)とは	163
表示について	163、164
マーク一覧表	165
VICS放送局	165
一般情報について	166、167
一般情報とは	166
表示について	166
一般情報の内容(番組)について	166
一般情報放送局	167
操作の前に	168
VICSの項目一覧	168
操作画面について	168
交通情報／一般情報を表示するには	169
操作の流れ	169
情報の消去について	169
受信する情報(交通情報／一般情報)を 選ぶには	170、171
交通情報(文字情報)／一般情報を 見るには	172、173
交通情報(図形情報)を見るには	174、175
緊急情報を見るには	176、177
緊急情報について	177
選局するには	178~183
自動選局	178、179
自動選局を止めるには	179
手動選局	180、181
エリア選局	182、183
放送局をプリセット(保存) するには	184~186
プリセットした放送局を 呼び出すには	184、185
プリセットした放送局に上書きするには	186
エコドライブ情報を設定する	187~193
評価履歴を見る	190
評価履歴を削除するには	191

情報

(ナビ操作)

グラフ表示で見る	192
軌跡を使う	194~198
軌跡の記録を止めるには	195
軌跡を表示するには	195
軌跡の表示を止めるには	196
記録した軌跡を確認するには	197
軌跡を削除するには	198
自宅を登録する	199
登録地点の編集／見る	200~206
登録地点の並び替えをする	207~209
登録地点の地図を呼び出す	210~212
登録地点を削除する	213~215
フォルダ名を編集する	216、217
SDカードから地点を登録する	218~220
ETC情報を見るには	221、222
QQコールを利用する	223
QQコールとは	223
QQコールを利用するまでの流れ	223
QQコールを表示する	224

設定

P225~



(ナビ操作)

平均速度を設定する	226
ルート探索条件の設定をする	227~230
メイン画面(地図)の設定を 変える	231、232
右画面地図表示の内容を 設定する	233、234
3Dビューの角度を調整する	235、236
地図の色を変える	237、238
基本表示の設定を変える	239、240
マップコードを表示について	240
地図情報を表示について	240
AUDIO情報を表示について	240
緯度・経度と地点の設定をする	241、242
緯度・経度を表示について	242
登録地点を表示について	242
ルート案内画面の設定を変える	243~257
全ルートの表示を設定する場合	244
ルート色を設定する場合	244
ルート情報を表示を設定する場合	245
JCTビューの設定をする場合	246
交差点拡大図を表示を設定する場合	247
交差点情報を表示を設定する場合	248
リアル3Dを表示を設定する場合	249

目次(3)

設定

P223~

(ナビ操作)

方面看板を表示を設定する場合	250
VICS案内の設定をする場合	251
合流案内を設定する場合	252
踏み切り案内を設定する場合	253
専用レーン案内を設定する場合	254
盗難多発地点警告を設定する場合	255、256
AV画面中の案内割り込みを 設定する場合	256、257
ランドマーク表示の設定をする	258、259
現在地(自車)の位置を変更する	260、261
自車マークの種類を変える	262
音声案内の音量を調整するには	263、264
VICS表示の設定をする	265、266
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／ しない”について	266
オプションボタンの設定をする	267、268
機能の内容について	268
ETCの各機能を設定するには	269、270
ETCについて	271
ETCの基本操作	272
ETCを起動する	272
ETCカードを取り出す	272
ETCを利用するには	273、274
料金所通過表示について	273
予告案内／警告表示について	274
メンテナンス情報を設定する	275~279
キー操作音を止めるには	280
キー操作音を鳴らすには	280
データを初期化(消去)する	281、282
フロントカメラ／コーナカメラ映像を 表示するには	283~289
フロントカメラ／コーナカメラの 設定をする	283、284
フロントカメラ／コーナカメラ映像を 表示するには	285
リアカメラとコーナカメラを組み合わせ て使用する場合	285
フロントカメラ／コーナカメラ地点を 登録する	286、287
コーナカメラガイドを表示するには	287
コーナカメラガイドの見かた	288
カメラの映像について	289
リアカメラ映像を表示するには	290~292
リアカメラ映像を表示するには	290
リアカメラガイドを表示するには	290
リアカメラガイドの見かた	291、292
警告文の位置を下げるには	292
カメラ映像について	292

オーディオ／共通

P293~

はじめに	294~296
操作したいモードに替えるには	294、295
オーディオモードを終了するには	296
音量を調整する	297
AV SOURCE画面のモードボタンに ついて	298
音質／音量バランスの調整を する	299、300
車速連動音量を設定する	301、302

ラジオ

P303~

ラジオを使う	304~315
各部の名称とはたらき	304、305
表示部について	306
ラジオを聞く	307
ラジオモードを終了する	308
FM／AM放送を切り替える	308
プリセット1／プリセット2を 選ぶ	309、310
選局する	311~313
プリセット(メモリー)する	314、315
交通情報を受信する	316、317
時計を表示する	318

ワンセグ

P319~

ワンセグを使う	320~353
「ワンセグ」について	320
「ワンセグ」の番組受信について	321
「ワンセグ」の画像について	322
テレビのアナログ放送からデジタル放送への移行についてお知らせ	322
各部の名称とはたらき	323~325
基本的な操作のながれ	326
ワンセグモードにする	327、328
ワンセグモードを終了する	328
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	329、330
エリア変更を 自動 に戻すには	331
エリアスキャンをする	332
スキャンについて	333
選局する	334~338
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する	339、340
プリセットメモリーをする	341、342
番組表を見る	343、344
中継・系列局サーチをする	345
音声や字幕を切り替える	346
時計表示設定／中継・系列局サーチ設定	347、348
受信可能な放送局(チャンネル)および受信レベルを確認する	349、350
アンテナ電源の設定をする	351
設定を初期化する	352、353

CD

P355~

CDプレーヤーを使う	356~363
各部の名称とはたらき	356
表示部(再生画面)について	357
CDを聞く	358、359
CDモードを終了する	359
CDを取り出す	360
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	360
早戻し／早送りをする	361
再生を一時停止する	361
リピート(繰り返し)再生をする	362
ランダム(順序不同)再生をする	362
スキャン(イントロ)再生をする	362
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	363
時計を表示する	364

MP3/WMA

P365~

MP3/WMAについて	366~371
MP3/WMAを使う	372~379
各部の名称とはたらき	372
表示部(再生画面)について	373
MP3/WMAを聞く	374、375
MP3/WMAモードを終了する	375
MP3/WMAディスクを取り出す	375
1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	376
早戻し／早送りをする	376
再生を一時停止する	377
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	377、378
好きなフォルダを選ぶ	378
リピート(繰り返し)再生する	379
ランダム(順序不同)再生をする	379
スキャン(イントロ)再生をする	379

目次(4)

SD再生

P381~

SDカードの音楽再生について ……382~384

SDカードを使う ……385~393

各部の名称とはたらき ……385

表示部(再生画面)について ……386

SDカードを聞く ……387、388

SDモードを終了する ……388

SDカードを取り出す ……388

1ファイルずつ選曲する
(トラックを戻す／進める) ……389

早戻し／早送りをする ……389

再生を一時停止する ……390

リストより選曲する ……390、391

好きなフォルダを選ぶ ……392

リピート(繰り返し)再生をする ……392

ランダム(順序不同)再生をする ……393

スキャン(イントロ)再生をする ……393

AUX／VTR P395~	AUX／VTR機能を使う ……396~401
	各部の名称とはたらき ……396
	AUX機能／VTR機能を使う ……397~399
	画面のサイズを変更する ……400
	AUX／VTRモードを切り替える ……401
	時計を表示する ……402

USB

P403~

USBメモリデバイスの音楽再生について

404~406

USBメモリデバイスを使う

407~415

各部の名称とはたらき

407

表示部(再生画面)について

408

USBメモリデバイスを本機に接続するには

409

USBメモリデバイスを聞く

409、410

USBモードを終了する

410

USBメモリデバイスの接続をやめるには

410

1曲ずつ選曲する
(トラックを戻す／進める)

411

早戻し／早送りをする

411

再生を一時停止する

412

リストより選曲する

412、413

好きなフォルダを選ぶ

414

リピート(繰り返し)再生をする

414

ランダム(順序不同)再生をする

415

スキャン(イントロ)再生をする

415

iPodについて

416~418

iPodとは

416

使用上のご注意

416

対応可能なiPod

417

iPodを再生させるには

418

iPodを本機に接続すると

418

iPodを使う

419~430

各部の名称とはたらき

419

表示部(再生画面)について

420

iPodを聞く

421

iPodを終了する

422

1曲ずつ選曲する
(トラックを戻す／進める)

422

早戻し／早送りをする

423

再生を一時停止する

423

リストより好きなトラックを選び再生させる

424

選曲モードより選択し再生させる

425~429

リピート(繰り返し)再生をする

430

シャッフル再生をする

430

時計を表示する

431

PHOTO

P433~

PHOTO機能を使う	434~441
各部の名称とはたらき	434
表示部について	435
画像を表示させる	436、437
PHOTOモードを終了する	437
メディア(USB/SD)を選択する	438
フォルダを選択し画像を表示させる	439
画像を回転させる	440
画像を戻す/進める	441

その他

VICS情報有料放送サービス	
契約約款	484、485
故障かな?と思ったら	486~497
こんなメッセージが	
出たときは	498~501
チャンネル一覧	502、503
用語説明	504~507
初期設定一覧	508、509
別売品(システムアップ)に	
ついて	510、511
主な仕様	512
構成内容	513
保証/アフターサービスについて	514

その他

P443~

映像の調整のしかた	444~446
画質調整を初期値に戻すには	446
音声はそのまま画面を消すには	447
音声はそのまま、ナビゲーション	
画面を表示する	448、449
今聞いているモードの画面に	
戻すには	448
音楽/音声の再生を止めるには	448
ボタンの照明について	449
オーディオ リモコン スイッチ	450
リモコンを使う	451~464
安全上のご注意	451、452
使用上のご注意	453
リモコンをホルダーから取り外す	454
リモコンをホルダーに収める	454
リモコンに電池を入れる	455
リモコンの主な便利機能	456
各部の名称とはたらき	457~462
リモコンの10キーで文字を	
入力するには	463
10キーでの文字入力のかた	464
個人情報の取り扱いについて	465
ルート案内時の注意点	466~469
出発地・経由地・目的地の	
設定について	470、471
経由地、目的地の登録のポイント	470、471
経由地を使って上手にルートを作る	471
地図ソフトについて	472~475
地図に表示される記号	476、477
市街地図(5m/12m/25mスケール)の	
収録エリア	478~481
細街路(主要市区町村道路)探索エリア	481
VICSの概要	482、483

索引

P515~

索引	516~519
----	---------

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

はじめに

安全上のご注意	22～24
お願い	25～29
主な特長	30～35
再生できるディスクについて	36、37
ディスクの取り扱いかた	38
SDカード／USBメモリデバイスについて	39、40
SDカードの取り扱いかた	41
ナビゲーションシステムとは	42
本機のナビゲーションシステムについて	42
GPS衛星の電波受信と測位	43
GPS (Global Positioning System) について	43
受信しにくい場所について	43
受信するまでの時間について	43
自律航法とマップマッチング	44
現在地の誤差について	44
自律航法&マップマッチング	44
学習度と現在地	44
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	45
ディスクを入れる／取り出すには	46、47
ディスクを取り出すには	47
SDカードを入れる／取り出すには	48
SDカードを取り出すには	48
ディスプレイ部の角度を調整する	49
各部の名称とはたらき	50、51
パソコン連携(いつもNAVI)	52
パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて	52

安全上のご注意(1)

●安全に関する表示
「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

	警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
	注意	指示に従わないと傷害を受ける可能性があるもの

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

-  : △は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。
-  : ⊘は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。
-  : ●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

警告

 テレビなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



 本機を船舶、航空機などの主航法装置として使用しないでください。
測定誤差が生じたりするため、事故の原因となります。
また、塩害などにより、火災・感電の原因となります。



 本機は12V車専用です。24Vの車(トラック・バス・寒冷地仕様のディーゼル車など)では使用しないでください。
24V車で使用すると火災や故障などの原因となります。



 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところへ保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。そのままにしておくと、生命に危険をおよぼす場合があります。

 実際の交通規制にしたがって走行してください。
ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制、道路標識にしたがって走行してください。



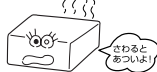
 リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

 別売のフロントカメラ／コーナーカメラはあくまでも運転の補助手段として使用してください。
直接目視による安全確認をしながら運転してください。

 電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。
コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電・故障の原因となります。



警告

- !** フィルムアンテナは取付説明書に指示された場所に貼り付けてください。
視界不良となり事故の原因となることがあります。取付説明書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープ等で取り付けしないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。
- !** 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
ショートにより火災や感電、故障の原因となります。
- !** 取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことをお確かめください。
正常に動かない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。
- 分解禁止**  当商品を分解したり、改造しないでください。
故障の原因となります。
- !** コード類の配線は、高温部を避けて行なってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。
- !** 直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、火傷する可能性があります。
- !** 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- !** ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指をはさまないように注意してください。
はさまれてけがの原因となることがあります。
- !** ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 接触禁止**  本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れないでください。
高温のため、やけどの原因となることがあります。
- !** 長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。
- !** 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。また、走行中画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- !** 運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用してください。テレビは安全のため走行中は表示されません。

安全上のご注意(2)

⚠ 注 意

 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

 エンジンを停止したままで長時間で使用にならないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。



 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因になることがあります。



 音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しないでください。
火災の原因となる場合があります。

 ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。
ナビゲーションによるルート案内のみにしたがって走行すると実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。



 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となる場合があります。

お願い(1)

温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなる場合がありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

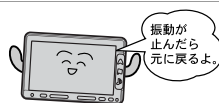


結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびなどの症状がみられることがあります。
振動が止むと通常の動作に戻ります。



ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0℃以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にいくと、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・ 車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・ 細街路を走行しているときの現在地表示画面※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



お願い(2)

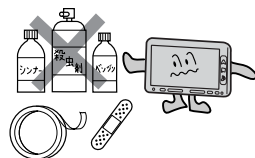
お手入れについて

<ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔かく乾いた布で軽くふきとってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)
ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

<本体の清掃>

- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。
受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。
GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。
受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。



フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布でふいてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理の時などに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 当商品を分解したり改造しないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
- ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めの販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。

お願い(3)

- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- 本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事等でも道路状況がわかります。実際の交通規則を必ず守って運転してください。
ナビゲーションシステムは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。
- 操作パネルの開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出る場合がありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- 寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

スマートキーの動作について

スマートキーが装着されている車両では、スマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声の乱れや、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声の乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要であり、ロヴィコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBblendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

主な特長(1)

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

メンテナンス機能

日付・距離を設定すると、車のオイルや消耗品の交換、あるいは記念日などがきたことをナビゲーションの画面と音でお知らせします。

 「メンテナンス情報を設定する」275～279ページ

ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、ワンセグやPHOTO画面を表示中に音声案内を割り込ませたりすることができます。

 449、450ページ

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

 「**現在地から目的地までのルートを探索する場合**」77ページ

また、あらかじめ自宅を登録しておくと、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

 「自宅を登録する」71～74、199ページ

 「**現在地から自宅までのルートを探索する場合**」78ページ

電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探すことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人情報約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

 「電話番号で地点を探す」90、91ページ /  「住所で地点を探す」92～95ページ

パソコン連携(いつもNAVI)

パソコンの指定Webサイトを使用して、SDカードに保存した地点を確認したり、パソコンから保存したルートを実機で再探索することができます。またSDカードに保存した地点を実機に登録することもできます。

 「パソコン連携(いつもNAVI)」52ページ

 「SDカードで地点を探す」119～121ページ

 「SDカードからルート探索をする」156～158ページ

 「SDカードから地点を登録する」218～220ページ

ハイブリッド検索

名称で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

☞ 「名称で地点を探す [50音]」
86～89ページ



ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(Q5m/Q12m/Q25m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチするとテナント情報を見ることができます。

☞ 「クイック機能について」 69、70ページ



目的地到着までのルートを表示してくれる

目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行ないます。探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

※探索された細街路のルート色は黄色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT(ジャンクション)、渋滞/規制情報などを音声で案内します。

高速道路のJCTを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
246ページ



主な特長(2)

行き方の候補を5種類表示(複数ルート探索)

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。

推奨のルートを探査する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

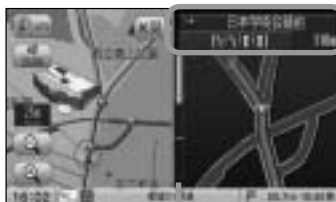
☞ 「1ルート探索／複数ルート探索をする」
127～132ページ



進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを橙色で表示させることができます。

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
248ページ



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを黄色で表示し、交差点情報を表示させることができます。

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
248ページ



案内標識を表示(方面看板)

ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
250ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



リアル3D交差点を表示

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)で案内します。

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」 249ページ

※札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。



※すべての交差点において収録されているわけではありません。

エコドライブ

GPSの信号や車速情報をもとに、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

☞ 「エコドライブ情報を設定をする」 187～193ページ

QQコール機能

QQコール ボタンタッチでQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示します。オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などを受けたりすることができます。

※QQコール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要になります。

☞ 「QQコールを利用する」 223ページ

詳しい交通情報を教えてくれる

VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

☞ 「VICS」 160～186ページ

統計交通情報

過去のVICS渋滞統計データを考慮したルート探索が行なえます。

一方通行規制箇所がわかる

一方通行表示

縮尺スケールが $\text{Q}5\text{m}/\text{Q}12\text{m}/\text{Q}25\text{m}$ のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

主な特長(3)

ナビゲーション

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を3Dビュー表示します。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」 61、62ページ

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法*1 & マップマッチング*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

ラジオ

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

自動選局

放送局を自動的に選局します。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。☞ 314、315ページ

道路交通情報

1620kHzまたは1629kHzに合わせることで道路交通情報を受信することができます。

☞ 「交通情報を受信する」 316、317ページ

ワンセグ

地上デジタル放送(ワンセグ)

地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。

番組表表示

各放送局のテレビ番組表を表示することができます。

音声字幕機能

音声の種類や字幕を表示するように設定することができます。

☞ 「音声や字幕を切り替える」 346ページ

※音声の設定は複数音声放送と二重音声放送の場合に有効です。

※字幕の設定は字幕がある番組の場合に有効です。

演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

SD再生

パソコンからSDカードに入れた音楽データを再生し、聞くことができます。

☞ 385～393ページ

オプションボタン選択機能

本機の〔OPTION〕ボタン()によく使う機能を設定することができます。

☞ 「オプションボタンの設定をする」 267、268ページ

リアカメラ対応

リアカメラ車両標準装備または別売のリアカメラを接続すれば、車のシフトレバーをリバースに入れたとき、画面をリアカメラ映像にすることができます。

☞ 「リアカメラ映像を表示するには」 290～292ページ

ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

☞ 「ETCの各機能を設定するには」 269、270ページ

ビデオ入力対応

別売のVTRコードを使用して市販のVTR機器を接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。

AUX対応(前面パネル)

別売のAUX接続コードを使用して市販の携帯用オーディオ機器の音声を聞くことができます。

☞ 「AUX/VTR」 395～401ページ

USB対応

別売のUSB接続コードを使用してUSBメモリデバイスの音楽データや画像を再生することができます。

☞ 403～430ページ

オーディオ リモコン スイッチ

運転中にハンドルについているスイッチでオーディオの操作をすることができます。

☞ 「オーディオ リモコン スイッチ」 450ページ

広視野角液晶ディスプレイ

広視野角液晶ディスプレイを使用しているので、どの角度から見ても美しい画面です。

再生できるディスクについて

本機で再生できるディスク



CD-R

CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CD-G
- CD-ROM
- CD-EXTRA

■下記のディスクは再生できません。

- フォトCD
- VIDEO CD
- SACD
- dts-CD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD-VIDEO
- DVD+RW
- DVD+R
- DVD+R DL
- DVD-RW
- DVD-R
- DVD-R DL
- Blu-ray
- HD DVD

■CD-R/CD-RWでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダの種類
- CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- 市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ビデオCDは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3につきましては「 MP3/WMAについて」366～371ページをご覧ください。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に[CDロゴ]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。

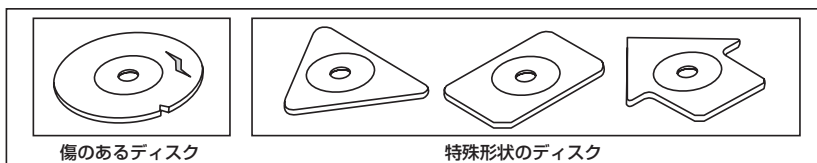
※アダプターを使用しても再生できません。

■特殊形状のディスクについて

特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

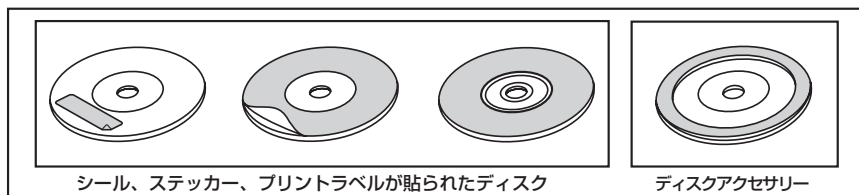
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。

本機に使用しますと故障の原因になります。



■ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

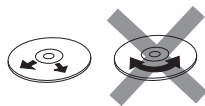


■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いかた

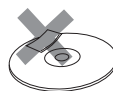
- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



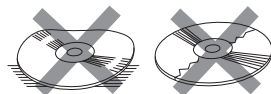
- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。



- 印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。



- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。



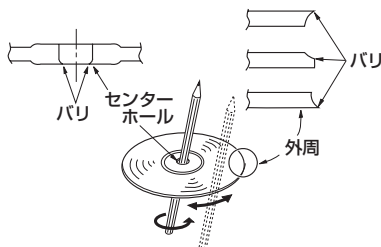
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。



- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。



- ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。



SDカード／USBメモリデバイスについて(1)

はじめに

〔ディスクの取り扱い〕
／
〔SDカード／USBメモリデバイスについて〕

■本書では“SDメモリーカード・SDHCメモリーカード”のことをSDカードと記載しております。

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録された“SDカード／USBメモリデバイス”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

- SDカード
- SDHCカード
- miniSDカード*
- microSDカード*

*印：専用アダプターが必要です。

- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

■32GBまでの容量の“SDカード／USBメモリデバイス”に対応しています。

■USB接続のカードリーダーには対応していません。

※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

パソコンでのフォーマット(初期化)はSDカードの性能が十分に発揮できなくなる場合や正しく動作しない場合があります。また、SDHCメモリーカード以外のSDカードを本機以外の機器からFAT32でフォーマット(初期化)すると、本機では認識できず、フォーマット(初期化)もできなくなる場合があります。その場合は、パソコンで一度FAT16でフォーマット(初期化)した後、本機でフォーマット(初期化)をお願いします。

 「データを初期化(消去)する」281、282ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

SDカード／USBメモリデバイスについて(2)

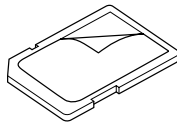
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。
- SDカードのデータ読み込み中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - 地点編集  「SDカードで地点を探す」 119～121ページ
 - SDモード  381～393ページ
 - PHOTOモード  「PHOTO機能を使う」 434～441ページ
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
 - 音楽再生  404～430ページ
 - PHOTOモード  「PHOTO機能を使う」 434～441ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの最適化は行なわないでください。
- 読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- SDカード内のデータは圧縮しないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

SDカードの取り扱いかた

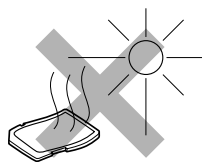
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



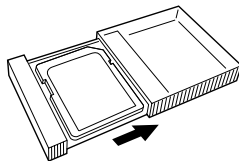
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“SDカード”は使用しないでください。



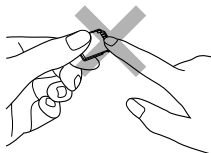
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。
“SDカード”が使用できなくなる場合があります。



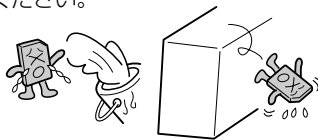
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。



はじめに

「SDカード／USBメモリデバイスについて」

「SDカードの取り扱いかた」

ナビゲーションシステムとは

本機のナビゲーションシステムについて

本機はGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、地図上に、現在地、目的地、目的地までの距離や方向、探索されたルートなどを表示し、目的地まで道案内をします。

測位の精度

現在地表示画面左の方位表示横の“GPS”文字色と方位表示の周りの色で、現在の測位の精度を知ることができます。



GPSの受信状態

“GPS”表示 緑色・方位表示の周りの色 緑色
：現在地の測位ができています。

“GPS”表示 灰色・方位表示の周りの色 灰色
：現在地の測位ができていない、または測位計算中。



アドバイス

GPS衛星からの電波を受信していても、測位に時間がかかる場合があります。電源を入れてから約3～4分間は、GPS受信表示の色は灰色のままで精度表示を行なわないことがあります。

■現在地の誤差について

現在地(自車)マークの現在地や進行方向は、以下のような条件によって正確な位置方向を示さないことがあります。故障ではありませんのでしばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

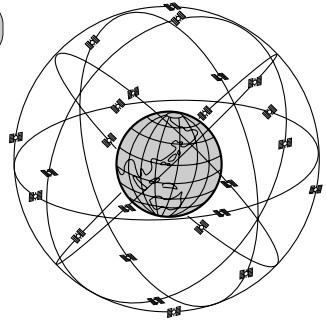
- 車を後進
- 連続した高架下
- 長いトンネル
- 蛇行運転
- 急激な速度変化(料金所を出た直後のトンネル内へ加速進入時など)
- ループ橋
- 初めての使用
- フェリーなどで移動後使用

GPS衛星の電波受信と測位

グローバル ポジショニング システム GPS(Global Positioning System)について

地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※ 本機では高度は表示しません。



GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

受信しにくい場所について

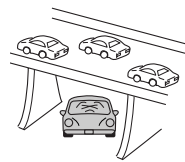
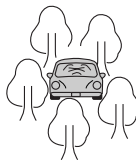
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところ です。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波が遮られ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位表示の周りの色が緑色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*1&マップマッチング*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

- *1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
- *2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

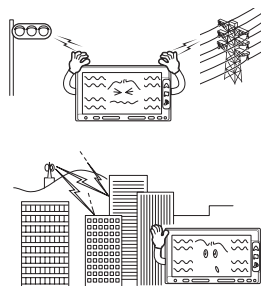
これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行に依りますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。



- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入っている場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信（ハイビジョン放送等）や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

はじめに

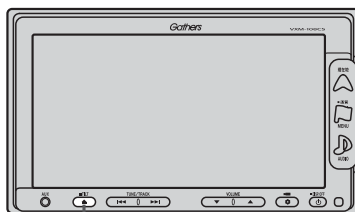
〔自律航法とマップマッチング〕／〔オーディオ／テレビ／ラジオの設定について〕

ディスクを入れる／取り出すには

1

TILT ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイ部が開きます。

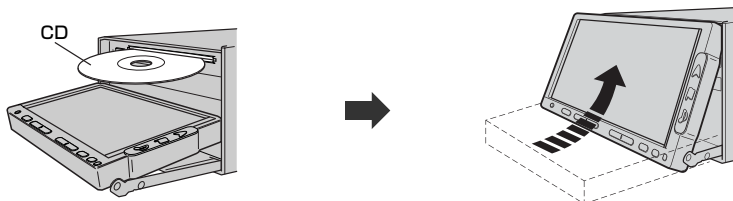


TILT ボタン(▲) 1

2

ディスク挿入口にCDを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



CDは印刷面を上にして挿入してください。

ディスクを取り出すには

- 手順 **1** (46ページ)にしたがって、ディスプレイ部を開き、**イジェクト** ボタン(▲)を押してCDを取り出す。
- TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じる。



- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- CDを挿入したときはCDの再生が始まります。
- 長時間で使用になった後、ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

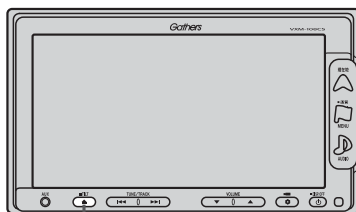
- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に**TILT** ボタン(▲)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

SDカードを入れる／取り出すには

1

TILT ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイ部が開きます。



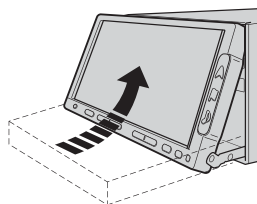
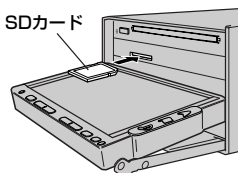
TILT ボタン(▲) 1

2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

※SDカードのラベル部分を上にして↑の方向に
“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



SDカードを取り出すには

1. 上記手順 **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。

2. **TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じる。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカード挿入途中に**TILT**ボタン(▲)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- 長時間ご使用になった後、SDカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり、機器の故障の原因となります。

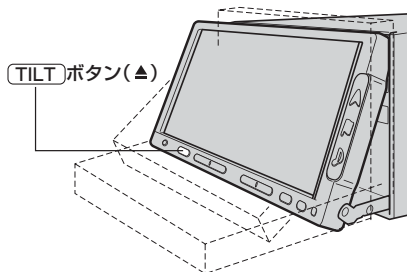
ディスプレイ部の角度を調整する

1

TILT ボタン(▲)を約0.7秒以上長押しする。

：ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。

ボタンを長押しすることにより1段階ずつ傾きます。(全5段階)



アドバイス

角度調整をしても車のエンジンスイッチをO(OFF)にすると、ディスプレイ部は自動で閉じて収納されますが、次回、車のエンジンスイッチを変更すると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。



角度調整をするときは手や指などをはさまないように注意してください。
けがや、ディスプレイの故障原因になります。

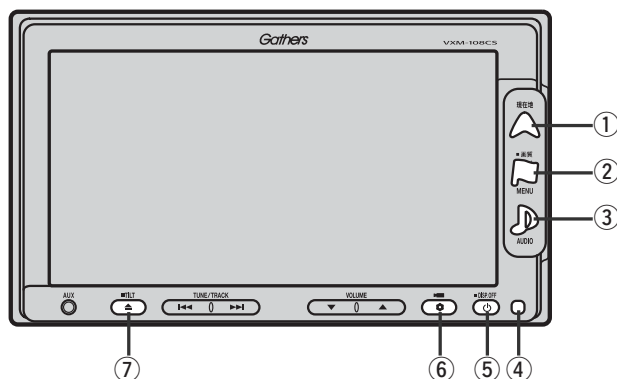
はじめに

〔SDカードを入れる／取り出すには〕

／〔ディスプレイ部の角度を調整する〕

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。



① 現在地 ボタン(△)

現在地の地図を表示します。(60ページ)

② MENU ボタン(□)

- メニュー画面を表示します。(67、68ページ)
- 2秒以上長押しで画面調整画面を表示します。(444～446ページ)

③ AUDIO ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。(295、296ページ)

④ リモコン受光部

⑤ 電源 ボタン(🔌)

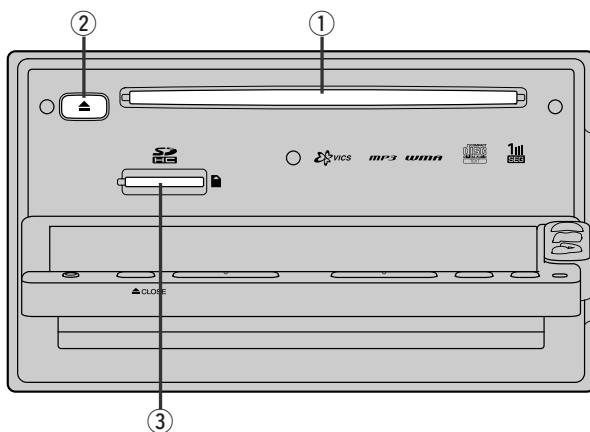
- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ OPTION ボタン(⚙️)/(📷)

- 別売のフロントカメラ/コーナーカメラ映像画面を表示します。
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑦ TILT ボタン(▲)

- ディスク/SDカードを出し入れするときに押します。(46～48ページ)
- 0.7秒以上長押しで画面の角度を調整します。(49ページ)



① ディスク挿入口

② イジェクト ボタン(▲)

③ SDカード挿入口

パソコン連携(いつもNAVI)

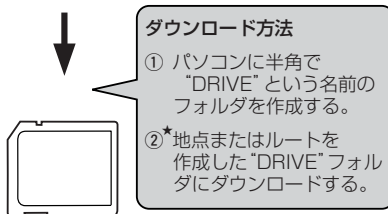
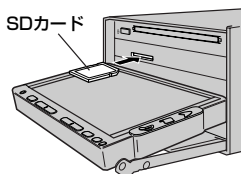
パソコンで指定のWebサイト(いつもNAVI)を利用して地点情報やルート探索した結果をSDカードに保存後本機で確認またはルートを再探索したり、本機に地点を保存することができます。いつもNAVIを利用するには、ユーザー登録を行なう必要があります。ユーザー登録の方法は別紙「いつもNAVI」をご覧ください。

パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて

1. 指定のWebサイト(いつもNAVI)にアクセスし、ユーザー登録する。



- 2* サイト上で地点を選択したりルート探索をする。



4. SDカードを本機に差し込み、情報を確認または保存する。

- 「SDカードで地点を探す」
119～121ページ
- 「SDカードからルート探索をする」
156～158ページ
- 「SDカードから地点を登録する」
218～220ページ

3. パソコンのSDカードリーダーにSDカードを差し込み、「DRIVE」フォルダごとSDカードに移動(ドラッグ アンド ドロップ)する。



アドバイス

- SDカードを使用する前に「SDカード／USBメモリデバイスについて」39、40ページをご覧ください。
- SDカードに保存しているルートを本機で確認する場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行なうため、いつもNAVI上でのルート探索結果と異なります。
 - 「SDカードからルート探索をする」156～158ページ
 - 「ルート探索条件の設定をする」227～230ページ
- いつもNAVIで出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(いつもNAVIで指定した出発地にはなりません。)
- SDモード／PHOTOモードでSDカードが動作している場合、SDカードで地点を探す／SDカードからルート探索をする／SDカードから地点を登録するの操作はできません。SDカードの再生を停止させてから操作してください。
 - 「SDモードを終了する」388ページ
- ★印：詳しい操作方法は、いつもNAVI Webサイトの「ヘルプ」をご覧ください。

ここだけ読んでも使えます

地図を表示するには	54、55
現在地表示について	55
地図画面の見かた	56、57
代表的な画面の表示内容について	56、57
地図の縮尺レベル	58
地図を拡大／縮小する	59
現在地を表示するには	60
表示された現在地が実際の現在地と違う場合は	60
地図表示(方位)を切り替える	61、62
見たい地域を探す	63～65
地図を動かす(地図スクロール)	63、64
スクロールの微調整をする	65
メニューの基本操作	66
メニュー項目一覧	67、68
クイック機能について	69、70
現在地表示時、地図スクロール時に	
MENUボタン()を押した場合	69
地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合	70
自宅を登録する	71～74
自宅の位置を変更するには	74
地点を登録する	75、76
登録地点について	76
クイックルート探索をする	77、78
現在地から目的地までのルートを探索する場合	77
現在地から自宅までのルートを探索する場合	78
2画面表示にする	79～81
右画面の方位／縮尺スケールを変えるには	81
音声案内について	82、83

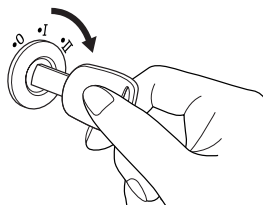
地図を表示するには

本書では、本体のボタンと画面のタッチボタンを使って操作説明をしています。使用するボタンは、白色表示しています。

1

車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) に入れる。

：メッセージ画面が表示され、しばらくすると現在地の地図画面が表示されます。



起動初期画面



「あれ？画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後は、前回車のエンジンスイッチを O (OFF) にする前に表示していたモードの画面になります。

地図画面を表示しなかった場合は、**現在地** ボタンを押して AV モードから NAVI モードに切り替えてください。

測位計算中

現在地表示画面

GPS受信表示

“GPS” 表示 緑色・方位表示の周りの色 緑色

：現在地の測位ができています。

“GPS” 表示 灰色・方位表示の周りの色 灰色

：現在地の測位ができていない、

または測位計算中。



自車マーク



アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。[P] 「映像の調整のしかた」 444～446ページ
- 現在地表示画面の見かたにつきましては、「現在地を表示するには」 60ページをご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」 43ページをご覧ください。
- 地図画面に表示される各種設定内容は、お客様の設定によって変わります。

現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
- 実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。

☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」 43ページ
「現在地を表示するには」 60ページ

- “GPS” の文字色または方位表示の周りの色で現在の測位の状態がわかります。“GPS” の文字色が灰色で、方位表示の周りの色も灰色の場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」(43ページ)にしたがって、電波を受信してください。
- お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。

GPS受信表示



ここだけ読んでも使えます

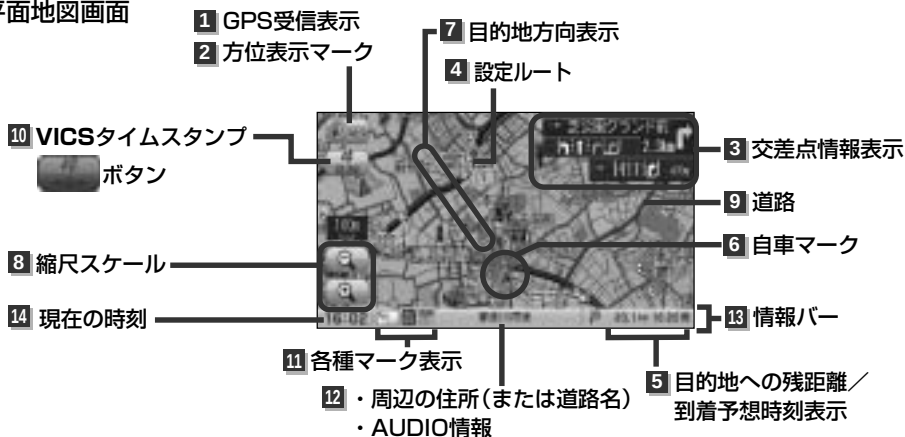
地図を表示するには

地図画面の見かた

代表的な画面の表示内容について

ナビゲーションシステムでは、いろいろな情報を地図画面に表示しています。

平面地図画面



1 GPS受信表示

現在地の測位の状態を色で示します。

“GPS”表示 緑色・方位表示の周りの色 緑色

：現在地の測位ができています。

“GPS”表示 灰色・方位表示の周りの色 灰色

：現在地の測位ができていない、または測位計算中。



アドバイス

測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

2 方位表示マーク

赤色の方向が北を示します。[P 60、61ページ]

3 交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を橙色で表示します。[P 248ページ]

4 設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)が太い緑色またはピンク色(設定による [P 「■ ルート色を設定する場合」 244ページ])で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

5 目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への到着予想時刻と残距離を示します。

6 自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

7 目的地方向表示

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を示します。

8 縮尺スケール

地図のスケールを示します。[P 59ページ]

9 道路

道路の種類を色で区別しています。

青 色：高速道路、有料道路

赤 色：国道

緑 色：主要地方道、県道

灰色(太線)：一般道、細街路(経路案内対象)

灰色(細線)：細街路(経路案内対象外)

青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

※市街地図(Q 5m/Q 12m/Q 25m)の場合、上記と異なる色で表示されます。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として道路種別を表す色の破線として表示されます。

10 VICSタイムスタンプ

- 提供されたVICS情報を本機が受信した時刻を示します。〔P 161ページ〕
- 渋滞／規制地点を表示します。〔P 155ページ〕

11 各種マーク表示(/ / / / / / / / /)

 : エコドライブを開始したときに情報バーに表示されます。〔P 188ページ〕

 : AVモードがOFFのときに情報バーに表示されます。

 /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / 

:NAVIモード中にAVモードがONのときに情報バーに表示されます。

 : 本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続しているときに情報バーに表示されます。

 : 本機に別売のフロントカメラ／コーナカメラを接続しているときに情報バーに表示されます。

12 ・周辺の住所(または道路名)・AUDIO情報

〔P 240ページ〕

13 情報バー〔P 239、240ページ〕

14 現在の時刻



アドバイス

- 3 (56ページ)の交差点情報表示は、お客様の設定によっては表示されません。〔P 248ページ〕
- 6 (56ページ)の自車マークは設定により変更できます。〔P 262ページ〕

3D地図画面

1 立体アイコン



2 自車マーク

1 立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

2 自車マーク

走行中自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。



アドバイス

上記 2 の自車マークは設定により変更できます。〔P 262ページ〕

地図の縮尺レベル

下記縮尺レベルは全画面(平面／3Dビュー)／2画面(左／右画面)表示時共通です。
※各スケールで表示されるおおよその縮尺を表示しております。

地図縮尺	スケール
1/781	Q 5m
1/1562	Q 12m
1/3125	Q 25m／25m
1/6250	50m
1/12500	100m
1/25000	200m
1/5万	500m
1/10万	1km
1/20万	2.5km
1/40万	5km
1/80万	10km
1/320万	25km
1/1280万	100km
1/2560万	250km



アドバイス

Q マークは市街地図を表しています。

地図を拡大／縮小する

1

地図画面で **🔍** / **📍** ボタンをタッチして、
お好みのスケールにする。

■ **🔍 ボタンをタッチした場合**

：広域な地図を表示します。

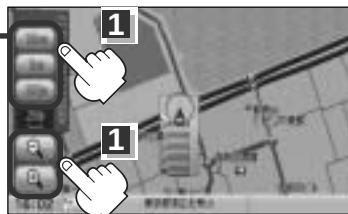
■ **📍 ボタンをタッチした場合**

：詳細な地図を表示します。

※右画面に地図を表示しているとき、
右画面の地図を拡大／縮小する場合も、
同じように操作してください。

📄 「**右画面の方位／縮尺スケールを変えるには**」 81ページ

スケール表示
タッチすると選
択したスケール
で表示します。



拡大（詳細地図）



縮小（広域地図）



アドバイス

- 指定の縮尺の地図がないときは、「指定スケールの地図がありません。より広域の地図を表示します。」と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、**🔍** / **📍** ボタンをタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」(58ページ)をご覧ください。
- 市街地図データの収録エリアは、**📄** 「市街地図の収録エリア」 478～481ページをご覧ください。
- 市街地図 (**🔍** 5m / **🔍** 12m / **🔍** 25m) から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面上にビル名が表示されます。**📄** **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチすると、テナント情報を見ることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。)
※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

ここだけ読んでも使えます

〔地図の縮尺レベル〕／〔地図を拡大／縮小する〕

現在地を表示するには

本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。

1

現在地 ボタン(△)を押す。

：現在地の地図画面が表示されます。

GPS受信表示

"GPS" 表示 緑色・方位表示の周りの色 緑色

：現在地の測位ができています。

"GPS" 表示 灰色・方位表示の周りの色 灰色

：現在地の測位ができていない、または測位計算中。

方位／地図表示

方位を示します。
タッチするたびに地図表示が切り替わります。

 「地図表示(方位)を切り替える」
61、62ページ

VICSタイムスタンプ

現在の時刻

(例) 現在地表示画面



周辺の住所(または道路名)

 「基本表示の設定を変える」
239、240ページ

1

現在地 ボタン(△)

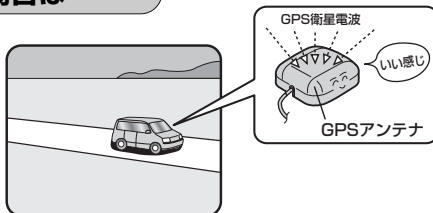
現在地(自車)マーク

自車の現在地を示します。
色を変えることができます。

 「自車マークの種類を変える」
262ページ

表示された現在地が実際の現在地と違う場合は・・・

GPS受信表示が緑色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



アドバイス

自車マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。

現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。自車マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。 「現在地(自車)の位置を変更する」260、261ページ

※GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

地図表示(方位)を切り替える(1)

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。

画面には、“北方向を上”、“進行方向を上”、“3Dビュー” の3種類があります。

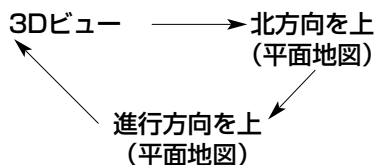
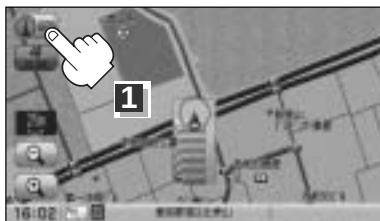
☞ 「メイン画面(地図)の設定を変える」 231、232ページ

「右画面地図表示の内容を設定する」 233、234ページ

1

地図画面の  ボタン(方位)をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。



● 「3Dビュー 」

進行方向は常に画面の上方向になります。



● 「北方向を上 」

地図の動きが気になるときは、北方向を上
に固定できます。



● 「進行方向を上 」

進行方向が常に上になるようにして、自車マ
ークと画面の向きを一致させることができます。
走行に合わせて地図が回転します。



ここだけ読んでも使えます

〔現在地を表示するには〕
／
〔地図表示(方位)を切り替える〕

地図表示(方位)を切り替える(2)

平面地図画面とは

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。



3Dビューとは

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。



アドバース

- 地図表示(方位)は[MENU]ボタン(△)を押し、**設定** → **地図表示** → **▼** (または **▼** ボタンを3回タッチ)の **北向き** / **進行方向** / **3D** ボタンをタッチして設定することもできます。

☞ 「メイン画面(地図)の設定を変える」231、232ページ

「右画面地図表示の内容を設定する」233、234ページ

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3Dビューの角度調整をすることができます。
☞ 「3Dビューの角度を調整する」235、236ページ
- 文字と建物が見えにくくなる場合があります。

見たい地域を探す(1)

停車中、見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図を動かす(地図スクロール)

例 平面地図画面で現在地の右上側の地図を表示する場合

1 ■ 地図画面を低速でスクロールする場合

① 画面をタッチする。

：画面に「-」マークが表示されます。



② 動かしたい方向の画面の「-」マーク近くをタッチし続ける。

：低速でスクロールします。



■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面をタッチする。

：画面に「-」マークが表示されます。



② 動かしたい方向の画面の「-」マークから離れた位置をタッチし続ける。

：タッチし続けると高速でスクロールします。



ここだけ読んでも使えます

〔地図表示(方位)を切り替える〕
／
〔見たい地域を探す〕



アドバイス

- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 走行時は、地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。

見たい地域を探す(2)

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合

1

画面をタッチする。

：  /  ボタンが表示されます。

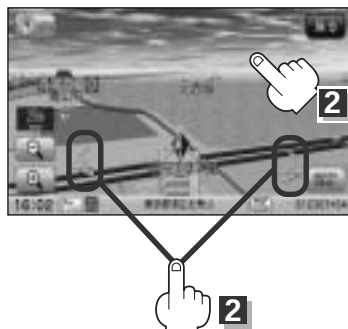


2

動かしたい方向の地図画面、
または  /  ボタンをタッチする。

 ：カーソルを中心に右回転(時計まわり)します。

 ：カーソルを中心に左回転(反時計まわり)します。



アドバイス

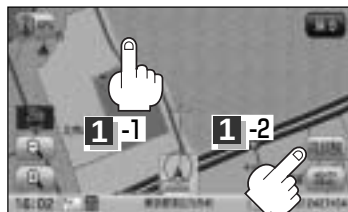
- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- カーソルに近い部分をタッチすると低速で動き、カーソルより遠くなると高速で動きます。
- 3Dビュー表示画面で画面をタッチしたときの自車マークは  になります。
- 地図画面を平面地図画面、3Dビューと切り替えるには「地図表示(方位)を切り替える」61、62ページを3Dビュー時の角度調整をするには「3Dビューの角度を調整する」235、236ページをご覧ください。

スクロールの微調整をする

微調整は、平面地図画面のみ行なうことができます。
 ※3Dビュー画面の場合は、平面地図画面にしてください。
 [🗺️]「地図表示(方位)を切り替える」61、62ページ
 ※走行中 **微調整** ボタンは選択できません。

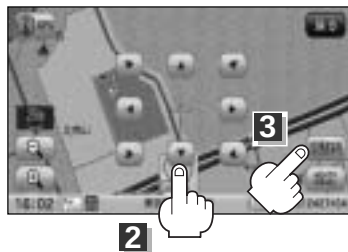
1 画面をタッチし、**微調整** ボタンをタッチする。

：画面に  ボタンが表示されます。



2 動かしたい方向の矢印をタッチする。

：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。



 ボタン以外をタッチしてもスクロールはしません。

地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。

3 設定を終わるには・・・

調整終 ボタンをタッチする。

：スクロール画面に戻ります。



- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、**現在地** ボタン (△) を押す、または **戻る** ボタンをタッチします。

メニューの基本操作

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。本機をお使いいただく上で、大切な基本操作ですので、ぜひ、マスターしてください。

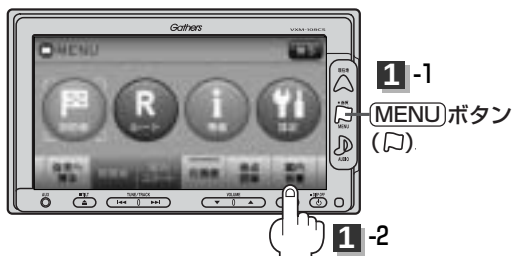
本書では、パネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明。)と画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明。)を使って操作説明をしています。

例 音声案内の音量を調整する場合

1

MENU ボタン()を押して
NAVI MENU画面を表示させ、
案内音量 ボタンをタッチする。

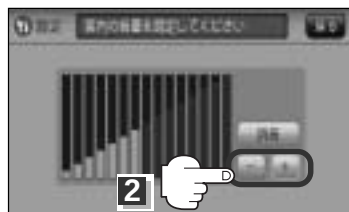
：音声案内設定画面が表示されます。



2

- / **+** ボタンをタッチして
お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と
音声がかかります。



3

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ、または **現在地** () / **MENU** ボタン()を押す。

：設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。

■ **戻る** ボタンをタッチした場合

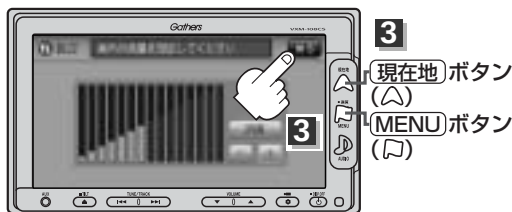
：1つ前の画面に戻ります。

■ **現在地** ボタン()を押した場合

：現在地の地図画面に戻ります。

■ **MENU** ボタン()を押した場合

：メニュー画面に戻ります。



※画面に操作説明が表示された場合は、
説明にしたがってください。



アドバイス

MENU ボタン()を押し、**設定** → **案内音量** ボタンをタッチして音声案内の音量を調整することもできます。

メニュー項目一覧(1)

操作できない項目は暗くなり
選択できません。

ナビゲーションでは、各項目を選択してさまざまな操作を行ないます。

MENU ボタン()を押してトップメニューを表示させお好みのメニューを選び、サブメニューの中から、実行したい項目をタッチして各操作に入ります。



トップメニュー

クイックメニュー

 「クイック機能について」
69、70ページ

トップメニュー



目的地をいろいろな方法で設定します。

サブメニュー(目的地)



-  名称 86～89ページ
-  電話 90、91ページ
-  住所 92～95ページ
-  ジャンル 96～98ページ
-  自宅 99ページ
-  周辺施設 100～103ページ
-  登録地点 107～109ページ

-  履歴 110、111ページ
-  地名 112、113ページ
-  郵便番号 114、115ページ
-  緯度経度 116ページ
-  マップコード 117、118ページ
-  SD 119～121ページ
-  地図から 122ページ

ここだけ読んでも使えます

〔メニューの基本操作〕／〔メニュー項目一覧〕

メニュー項目一覧(2)

操作できない項目は暗くなり
選択できません。

トップメニュー



サブメニュー(ルート)



ルートの設定や設定したルートの確認や修正などを行ないます。

- [📄] ルート編集 128～140、142ページ
- [📄] 案内ストップ/スタート 143ページ
- [📄] 全ルート表示 144～146ページ
- [📄] 経由地スキップ 147ページ
- [📄] 登録ルート 150、151ページ
- [📄] ルート管理 148、149ページ
- [📄] 渋滞予測回避 152～154ページ
- [📄] SDルート 156～158ページ

トップメニュー



サブメニュー(情報)



各種情報を見たり自宅登録や登録地点編集などを行ないます。

- [📄] FM多重 170～186ページ
- [📄] エコドライブ 187～193ページ
- [📄] 走行軌跡 194～198ページ
- [📄] 地点編集 199～217ページ
- [📄] SD地点取込 218～220ページ
- [📄] ETC情報 221、222ページ
- [📄] QQコール 224ページ

- **ETC情報** ボタンは、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に選択できます。
- **QQコール** ボタンは販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合には表示されます。

トップメニュー



サブメニュー(設定)



ナビゲーションシステムの各機能を設定します。

- [📄] 到着予想 226ページ
- [📄] 探索条件 227～230ページ
- [📄] 地図表示 231～242ページ
- [📄] ルート案内 243～257ページ
- [📄] ランドマーク 258、259ページ
- [📄] 現在地設定 260～262ページ
- [📄] 音量案内 263、264ページ



- [📄] VICS 265、266ページ
- [📄] オプションボタン 267、268ページ
- [📄] ETC設定 269、270ページ
- [📄] お知らせ 275～279ページ
- [📄] カメラ設定★ 283、284ページ
- [📄] その他 280～282ページ
- ★印: **カメラ設定** ボタンは、本機に別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時に表示されます。

クイック機能について(1)

操作できないボタンは暗くなり選択できません。

本機では、主な操作を簡単にするため、クイック機能を設けています。現在地表示時または地図スクロール時にクイック機能を表示させるには **(MENU)** ボタン () を押し、地図スクロール時に設定メニューを表示させるには **(設定)** ボタンをタッチします。 (**(X閉)** ボタン=クイック機能閉じる)

現在地表示時、地図スクロール時に **(MENU)** ボタン () を押した場合

- 自宅へ帰る** ———— 自宅までのルートを探索します。
 「 **現在地から自宅までのルートを探索する場合** 」 78ページ
※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。
 「自宅を登録する」 71～74ページ
- 再探索** ———— ルート案内時に設定ルートから外れてしまった場合、探索条件を変えて、再探索することができます。
 「ルート探索条件の設定をする」 227～230ページ / 「ルートから外れてしまったら」 141ページ
※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。
- 案内スタート** / ———— タッチするたびに、ルート案内スタート ↔ 案内ストップと表示が切り替わります。
案内ストップ  「ルート案内をストップ／スタートする」 143ページ
※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。
- 右画面** ———— 右画面に表示する情報画面を選択します。(選択時表示灯点灯)
 「2画面表示にする」 79～81ページ
- 地点登録** ———— 地点の登録を行ないます。
 「地点を登録する」 75、76ページ
- 案内音量** ———— 音声案内の音量を調整することができます。
 「音声案内の音量を調整するには」 263、264ページ

ここだけ読んでも使えます

(メニュー項目一覧) / (クイック機能について)

クイック機能について(2)

操作できない項目は暗くなり
選択できません。

地図スクロール時に「設定」ボタンをタッチした場合

目的地セット

目的地を登録し、ルートを探します。

 「**現在地から目的地までのルートを探索する場合**」 77ページ

出発地セット

*

出発地を登録し、ルート探索します。 「**出発地の変更**」 133、134ページ

※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。

経由地セット

*

経由地を登録し、ルート探索します。

 「**経由地の追加**」／**経由地の変更／削除**」 135～139ページ

地点登録

地点の登録を行いません。 「地点を登録する」 75、76ページ

地点編集

登録地点の編集や並び替え、削除ができます。

 「登録地点の編集／見る」 200～206ページ

「登録地点の並び替えをする」 207～209ページ

「登録地点を削除する」 213～215ページ

※登録地点マークにカーソルをあわせませす。

テナント情報

*

テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階段、電話番号などの詳細情報)が確認できます。

※ 5m／ 12m／ 25mの市街地図でテナント情報のある物件にカーソルを合わせませす。

周辺検索

スクロール先の周辺施設を検索することができます。

 「周辺にある施設から地点を探す」 100～103ページ

施設詳細

スクロール先に施設の詳細がある場合に住所や電話番号などの詳細情報が確認できます。

*印：地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

自宅を登録する(1)

自宅を登録しておくと、自宅までの参考ルートを探索することができます。

- 1** **MENU** ボタン()を押し、
情報 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。

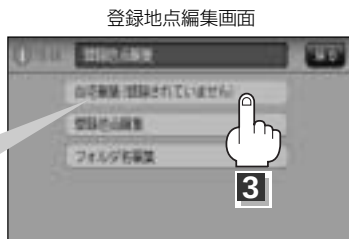


- 2** **地点編集** ボタンをタッチする。
：登録地点編集画面が表示されます。



- 3** **自宅編集<登録されていません>** ボタンを
タッチする。
：自宅登録方法画面が表示されます。

自宅を登録すると“<登録されていません>”
の表示は消えます。



ここだけ読んでも使えます

「クイック機能について」
／
「自宅を登録する」

自宅を登録する(2)

4

登録方法を選び、タッチする。

- **名称** [P 86～89ページ]
- **電話** [P 90、91ページ]
- **住所** [P 92～95ページ]
- **ジャンル** [P 96～98ページ]
- **周辺施設** [P 100～103ページ]
- **登録地点** [P 107～109ページ]
- **履歴** [P 110、111ページ]
- **地名** [P 112、113ページ]
- **郵便番号** [P 114、115ページ]
- **緯度経度** [P 116ページ]
- **マップコード** [P 117、118ページ]
- **SD** [P 119～121ページ]
- **地図から** : この画面に入る前の地図を表示
- **現在地付近** : 現在地付近の地図を表示
- **出発地付近** : 出発地付近の地図を表示
- **目的地付近** : 目的地付近の地図を表示
- **自宅** :すでに自宅が登録されている場合に、登録済の周辺地図を表示 [P 99ページ]

例 住所から自宅を探し登録する

- ① **住所** ボタンをタッチする。
- ② リストから画面にしたがって“都道府県名”“市区町村名”“町名”“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を順次選びタッチしていく。

: 自宅周辺の地図とクイックメニューが表示されます。(**地図から** / **現在地付近** / **出発地付近** / **目的地付近** で探索した場合は、地図のみ表示されます。)



[P 検索方法は「住所で地点を探す」の手順 **3**、**4** (92～94ページ)を参考にしてください。



アドバイス

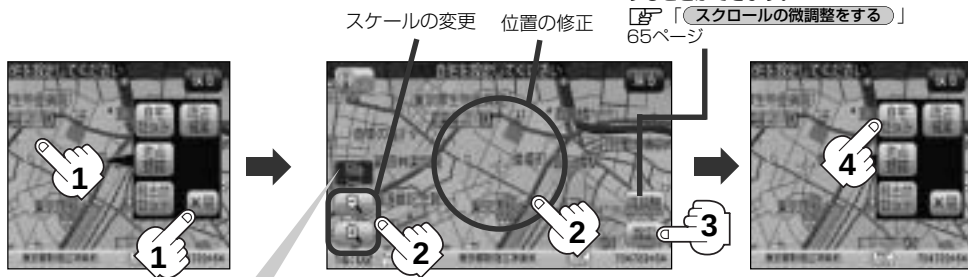
- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- *印: 頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。
- **地名入力** ボタンをタッチすると地名50検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。[P 「**地名を入力して探す場合**」 94ページ]
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 選択したい番地が収録されていない場合は、その付近に近い番地を選択すると、その付近の地図が表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

5 自宅を登録します。

- 表示された位置で良い場合
自宅セット ボタンをタッチする。
- 地図のみ表示された場合
設定 ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、**自宅セット** ボタンをタッチする。
- 位置の修正やスケールの変更などをする場合
×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
 修正や変更が終わったら、**設定** ボタンをタッチして再び設定メニューを表示させ、**自宅セット** ボタンをタッチする。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

〔※〕「スクロールの微調整をする」
 65ページ



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

：登録地点編集画面に戻ります。

登録した位置を確認したい場合は **自宅編集** ボタンをタッチし、**地図表示** ボタンをタッチすると地図が表示されます。(地図上には マークが表示されます。)

6 現在地 ボタン(△)を押す。

：現在地の地図画面に戻る。

- ※ **戻る** ボタンをタッチすると、
 1つ前の画面に戻ります。



アドバンス

- 自動的にマークは になります。マークを変更したい場合は205ページをご覧ください。
- **MENU** ボタン (□) を押し、**設定** → **地図表示** → を6回(または を1回) “登録地点を表示”で **しない** に設定している場合は、地点を登録しても、地図上にマークはあらわれません。
 〔※〕「緯度・経度と地点の設定をする」241、242ページ
- 登録した自宅は削除することができます。〔※〕「登録地点を削除する」213～215ページ

自宅を登録する(3)

自宅の位置を変更するには

登録した自宅の位置を変更するには、登録した自宅を削除してから再登録します。

1 手順 **1**、**2** (71ページ)にしたがって操作し、**自宅編集** ボタンをタッチする。

：自宅編集画面が表示されます。



2 **削除** ボタンをタッチする。

：登録地点を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** ボタンをタッチすると自宅は削除され登録地点編集画面に戻ります。



3 手順 **3** ~ **6** (71~73ページ)にしたがって登録する。

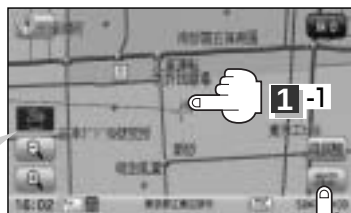
地点を登録する(1)

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。
(最大300ヶ所・自宅は含まれません)

- 1** 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(-|-)を合わせ、**設定** ボタンをタッチする。

：設定メニューが表示されます。

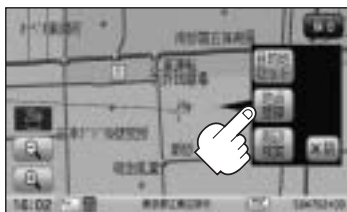
最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなるよ！



1-2

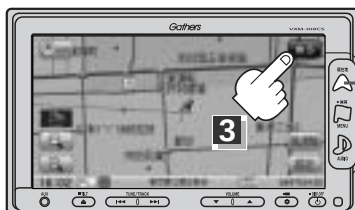
- 2** **地点登録** ボタンをタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



- 3** 設定を終わるには・・・
現在地 ボタン(△)を押す、
または**戻る** ボタンをタッチする。

：現在地の地図画面に戻ります。



3 **現在地** ボタン (△)



アドバイス

- 地図画面をスクロールさせるには「**見たい地域を探す**」63～65ページをご覧ください。
- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は、
「**SDカードから地点を登録する**」218～220ページをご覧ください。
- 本機に登録できる件数は合計300件までです。(自宅は含まれません。)
- 本機に別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合の登録方法は、
「**フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する**」286、287ページをご覧ください。
- 地点登録してルート探索した結果と、ジャンル検索してルート探索した結果が異なる場合があります。

ここだけ読んでも使えます

「自宅を登録する」／「地点を登録する」

地点を登録する(2)

登録地点について

登録地点の名称、フォルダ、メモ、TEL、マーク、アラームは変更／登録することができます。

☞ 「登録地点の編集／見る」 200～206ページ



登録地点の地図は、**MENU** ボタン(☐)を押し、**目的地** → **登録地点** ボタンをタッチして呼び出すことができます。登録地点の表示方法は全表示とフォルダの2種類の表示方法があります。

☞ 「登録地点で地点を探す」 107～109ページ

また、☞ 「登録地点の地図を呼び出す」 210～212ページでも呼び出せます。

登録地点の地図は、ルート編集で出発地／経由地／目的地を設定するときに、すばやく設定できます。

☞ 「1ルート探索／複数ルート探索をする」

127～132ページ



地図上の登録地点マークは、**MENU** ボタン(☐)を押し、**設定** → **地図表示** → ▼を6回 (または▲を1回) “登録地点を表示”で **しない** に設定すると、地点を登録しても表示されません。

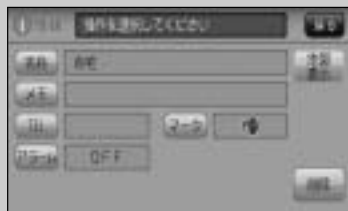
☞ 「緯度・経度と地点の設定をする」 241、242ページ

MENU ボタン (☐)を押し、**情報** → **地点編集** → **自宅編集** ボタンをタッチすると、自宅の情報画面が表示されます。また、自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までの参考ルートを探ること)ができます。

☞ 「クイック機能について」 69、70ページ

☞ 「(現在地から自宅までのルートを探する場合)」

78ページ



クイック ルート探索をする(1)

現在地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する場合

1

現在地 ボタン(△)を押して、現在地が測位できていることを確かめる。

「現在地を表示するには」
60ページ

“GPS”表示が緑色、方位表示の周りの色が緑色ならOK!



1

現在地 ボタン(△)

(例) 現在地表示画面



現在地(自車)の位置／方向がまちがっている場合は、修正してください。

「現在地(自車)の位置を変更する」
260、261ページ

2

画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図画面を表示する。

「見たい地域を探す」63～65ページ 「地図を拡大／縮小する」59ページ

3

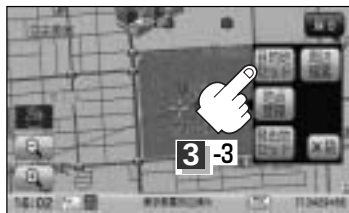
カーソルを目的地に合わせ、**設定** ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、**目的地セット** ボタンをタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



3-1

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。
「スクロールの微調整をする」
65ページ



3-3

：参考ルートの探索を始めます。

探索が完了し、ルート案内画面になるまでしばらくお待ちください。

有料道路に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に登録する場合は **有料道路** ボタンを、一般道路上に登録する場合は **一般道路** ボタンをタッチしてください。

ここだけ読んでも使えます

「地点を登録する」／「クイックルート探索をする」

クイック ルート探索をする(2)

現在地から自宅までのルートを探索する場合

1

現在地 ボタン(△)を押して、現在地が測位できていることを確かめる。

「現在地を表示するには」60ページ

“GPS”表示が緑色、方位表示の周りの色が緑色ならOK!



1

現在地 ボタン(△)

(例) 現在地表示画面



アドバイス

現在地(自車)の位置／方向がまちがっている場合は、修正してください。

「現在地(自車)マークの位置を変更する」260、261ページ

2

現在地表示中に **MENU** ボタン(□)を押してメニュー画面を表示させ、クイックメニューの **自宅へ帰る** ボタンをタッチする。



2-1

MENU ボタン(□)



2-2

：参考ルートの探索を始めます。

探索が完了し、ルート案内画面になるまでしばらくお待ちください。



アドバイス

● **OPTION** ボタン(⚙️)に“自宅”機能を設定している場合は、**OPTION** ボタン(⚙️)を押すと自宅までのルート探索をします。

「オプションボタンの設定をする」267、268ページ

● 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ、自宅を登録しておく必要があります。

上記手順 2 で自宅が登録されていない場合、自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、**はい** ボタンをタッチすると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。

「自宅を登録する」71～74ページ

● 新たにルート探索すると、前回探索した参考ルートは消えます。

● 参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

● **MENU** ボタン(□)(クイックメニュー)の詳しい内容は「クイック機能について」69、70ページをご覧ください。



OPTION ボタン(⚙️)



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

2画面表示にする(1)

現在地表示時、画面を2つに分けてルート情報やエコドライブ情報などの情報画面を表示させることができます。

1

- MENU** ボタン()を押し、
右画面 ボタンをタッチする。
：選択画面が表示されます。



2

- 表示したい情報(**エコドライブ** / **地図** /
ルート情報 / **ハイウェイモード** / **時計** ボタン)を選んでタッチする。

：現在地の地図画面に戻り、右画面に情報画面を表示します。

■ **エコドライブ** を選択した場合

- ：右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケータまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。
(**表示切替** ボタンをタッチで表示の切り替え)



(例) エコドライブ (アニメーション画面)



アドハイス

- ルート案内中は交差点拡大などを表示する設定にしている場合、交差点拡大などを優先して表示します。
- エコドライブを開始していない場合に **エコドライブ** ボタンをタッチすると“エコドライブを開始しますか？”というメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。

■ **地図** を選択した場合

- ：右画面にも地図を表示することができます。

(例) 地図画面



ここだけ読んでも使えます

「クイックルート探索をする」 / 「2画面表示にする」

2画面表示にする(2)

■ ルート情報 を選択した場合

- ルート探索をしてルート案内にしたがって走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離などを表示します。



アドバース

ルート情報は、ルート案内時とシミュレーション走行時に表示できます。

 「■ ルート情報を表示する／しないを設定する場合」

245ページ

(例) ルート情報画面



■ ハイウェイモード を選択した場合

： ルート探索をしてルート案内にしたがって有料道路を走行時のみ、ルート情報を表示します。



アドバース

ハイウェイモードはルート案内時のみ表示されます。

 「■ ルート情報を表示する／しないを設定する場合」

245ページ

(例) ハイウェイモード



■ 時計 ボタンを選択した場合

： 右画面に日付けと時間が表示されます。

■ 全画面表示に戻す場合

79ページ手順 **2** のとき **OFF** ボタンをタッチする。

(例) 時計画面



アドバース

ルート案内画面の設定で **ハイウェイモード** ボタンを選択している場合他の項目を選択していてもハイウェイモードが優先して表示されます。

 「ルート案内画面の設定を変える」 243～257ページ

右画面の方位／縮尺スケールを変えるには

2画面表示のとき右画面の設定を変えることができます。



地図／方位表示ボタンをタッチする。

タッチするたびに方位が切り替わります。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」

61、62ページ



スケール表示

タッチすると選択したスケールで表示します。

縮尺スケールボタンをタッチする。

🔍 ボタン：広域(縮小)

🔍 ボタン：詳細(拡大)



アドバイス

- 右画面表示時に地図のスクロールをすると全画面表示に切り替わります。

現在地 ボタン(△)を押す、または **戻る** ボタンをタッチすると、2画面表示に戻ります。

☞ 「右画面地図表示の内容を設定をする」233、234ページからでもできます。

- 右画面地図をフリーズームさせたいときは、スケール表示が出ているときに 🔍 / 🔍 ボタンをタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」(58ページ)をご覧ください。

音声案内について

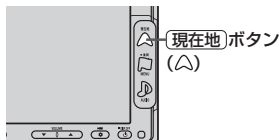
音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくとき「まもなく経由地付近です」と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき「目的地に到着しました。ルートガイドを終了します」と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- デモ走行時、細街路の音声案内をしますが、実際の走行では細街路の音声案内はしません。



アドバイス

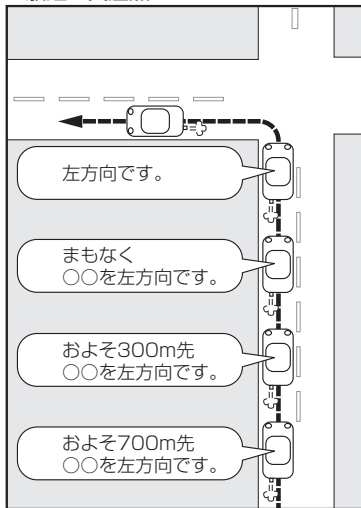
- 音声案内の音量を調整する場合は、**「音声案内の音量を調整するには」** 263、264ページをご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などにしたがってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合
「(現在地) ボタン」を押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。
- **「音声案内を止める場合」** 263ページで **「消音」** ボタンを選択している場合は、**「(現在地) ボタン (△)」**を押しても音声案内を聞くことはできません。



目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づく自動的に音声で案内が流れます。

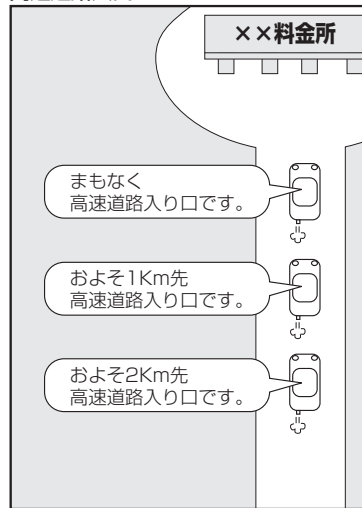
ここだけ読んでも使えます
〔音声案内について〕

一般道の交差点 *1

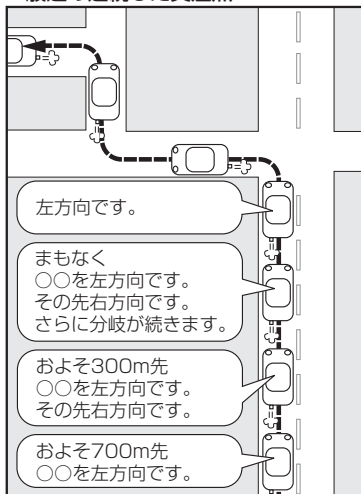


*1印…交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路入口

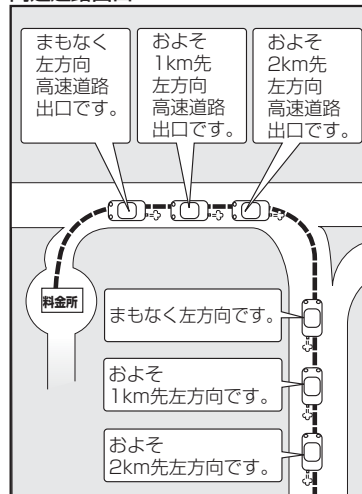


一般道の連続した交差点 *2



*2印…連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

高速道路出口





目的地

名称で地点を探す【施設50音】	86～89
電話番号で地点を探す	90、91
個人宅の電話番号を入力した場合	91
住所で地点を探す	92～95
地名を入力して探す場合	94
施設のジャンルから地点を探す	96～98
ジャンル名を入力して探す場合	98
自宅周辺の地図を表示する	99
周辺にある施設から地点を探す	100～103
表示できる施設	104～106
登録地点で地点を探す	107～109
登録地点の並び替えをする	109
目的地履歴の中から地点を探す／削除する	110、111
地名から地点を探す【50音】	112、113
郵便番号で地点を探す	114、115
緯度・経度で地点を探す	116
マップコードで地点を探す	117、118
SDカードで地点を探す	119～121
地図から地点を探す	122

名称で地点を探す(1) [施設50音]

主な施設の名前を入力して探すことができます。行きたい施設の名前がわかっているときに便利です。また、施設の候補が多い場合に順番を並び替えたり候補を絞り込んだりして探すことができます。(ハイブリッド検索)

1

MENU ボタン()を押し、

目的地 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

名称 ボタンをタッチする。

：名称入力画面が表示されます。

2



3

文字をタッチして、施設名をひらがなで入力する。

- 入力した文字を1つ訂正する場合

訂正 ボタンをタッチします。

- 全ての文字を訂正する場合

訂正 ボタンを長めにタッチします。

- 小文字に変換したい場合

変換したい文字を入力したあとに **小文字** ボタンをタッチします。

3



アダプティブ

- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

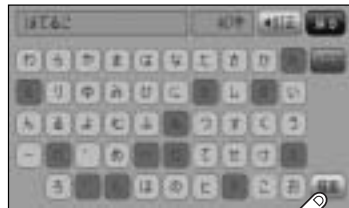
4

検索 ボタンをタッチする。

※検索施設が10,000件より多い場合 **検索** ボタンは選択できません。10,000件以下になるよう入力してください。

例 “ほてる” と入力→10,000件より多い場合は検索できません
“ほてるこ” と入力→10,000件以下で検索可能

↑ 次の文字を入力



4



5

- リストから“施設名”を選択する場合
リストから“施設名”を選択しタッチする。
：施設周辺の地図が表示されます。

↑／↓ ボタンタッチで
つづきを表示



- ハイブリッド検索で施設を選ぶ場合

- 順番を並び替えて表示する

- ① 並べたい順(**50音順** / **距離順** ボタン) を選んでタッチする。

50音順 … 50音順に表示

距離順 … 地図上の直線距離で現在地から
近い順に表示

- ② リストから“施設名”を選択し
タッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

(例) 距離順で表示



- 条件を入力して絞り込む

- ① **絞り込み** ボタンをタッチする。

：条件入力画面が表示されます。



- ② 条件(**地域** / **ジャンル** ボタン) を
選んでタッチする。



目的地

〔名称で地点を探す「施設50音」〕

名称で地点を探す(2) [施設50音]

■ **地域** ボタンをタッチした場合

：検索リスト画面が表示されます。

1.“都道府県名”“市区町村名”の順に選ぶ。

検索方法は「住所で地点を探す」の

92、93ページ

手順 **3** を参考

にしてください。

ボタンタッチでつづきを表示



■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

：検索リスト画面が表示されます。

施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種類の選択してタッチしていく。



③ リストから“施設名”を選択しタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。



アドバイス

- 検索施設の件数が多くなるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- ☐ **条件を入力して絞り込む** の手順②(87ページ)で **地域** ボタンを選択した場合のリスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- *印：頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。
- 名称がはっきりわからない場合や、病院・学校などを検索する場合は、周辺施設またはジャンルで検索してください。
- 「周辺にある施設から地点を探す」100～103ページ
「施設のジャンルから地点を探す」96～98ページ
- ハイブリッド検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせで絞り込むことができます。
- ☐ **条件を入力して絞り込む** の手順②(87ページ)で **ジャンル** ボタンを選択した場合、検索リスト画面には該当するジャンルのみ表示されます。
- 指定した条件を変更したい場合は、☐ **条件を入力して絞り込む** の手順②(87ページ)の条件選択画面で変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。

6

■ 周辺の地図を見る場合

×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして
設定メニューを閉じる。

■ 施設の詳細情報を見る場合

施設詳細 ボタンをタッチする。

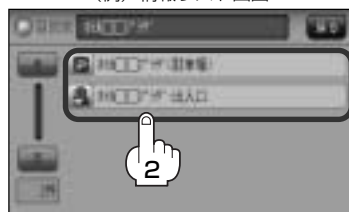
：施設の詳細情報が表示されます。

※施設に詳細内容がある場合は **情報** ボタンが表示される場合があります。 **情報** ボタンをタッチし、リストを表示させ選択すると、情報画面が表示され情報の確認ができ、 **地図** ボタンをタッチすると周辺の地図を表示します。

(例) 詳細情報画面



(例) 情報リスト画面



(例) 情報画面

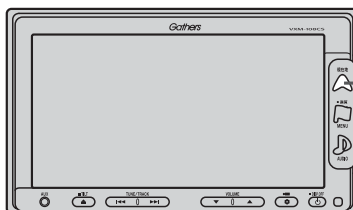


目的地
〔名称で地点を探す〕施設50音〕

7

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン(△)を押す。



7

現在地 ボタン
(△)

電話番号で地点を探す

電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して地点を探すことができます。本機には、NTTタウンページの情報の一部(約1000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報約3,000万件)が収録されています。

1

MENU ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

電話 ボタンをタッチする。
：電話番号入力画面が表示されます。



3

数字をタッチして、電話番号を入力し、**検索** ボタンをタッチする。

※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



入力した数字を1つ訂正する場合 **訂正** ボタンをタッチします。
全ての数字を訂正する場合 **訂正** ボタンを長めにタッチします。

入力途中で **検索** ボタンをタッチした場合
市内局番からの周辺の地図が表示されます。

※個人宅の電話番号を入力した場合は、電話番号登録者名入力画面が表示されます。
[] **個人宅の電話番号を入力した場合**」91ページ

3-2

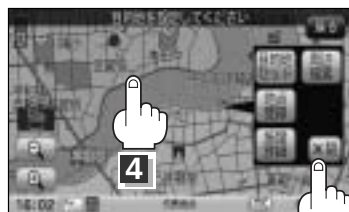
※入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選択すると地図が表示されます。

4

周辺の地図を見るには…

×閉 ボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができる。

※再度設定メニューを表示させるには **設定** ボタンをタッチしてください。

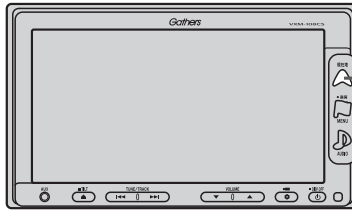


4

5

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン(△)を押す。



5

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

該当する電話番号が収録されていない場合は、“該当する番号は収録されていません。市内局番より代表地点を表示します。”と表示されたあとに、周辺の地図が表示されます。入力直す場合は、

戻る ボタンをタッチし、**訂正** ボタンをタッチして番号を確認のうえ、もう一度入力直してください。また、ピンポイント検索できない場合があります。

個人宅の電話番号を入力した場合

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名
の文字が合致したときに地図が表示されます。

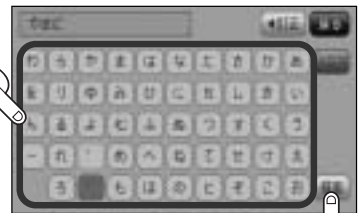
手順 **3** (90ページ)で **検索** ボタンをタッチすると、
電話番号登録者名入力画面が表示されます。

登録者名の名字を入力後、**検索** ボタンをタッチして
ください。

：入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表
示されます。入力した名字が間違っている場合は、
“名字が収録データと一致しません。ご確認の上、再
度入力してください。”と表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合は地図は表示
されません。入力した名字を確認のうえ、もう一度入
力し直してください。

電話番号登録者名入力画面



目的地

〔電話番号で地点を探す〕



アドバイス

- 電話番号登録者入力画面には“名字を入力してください”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチしたボタンが表示されます。
- 登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。文字の入力のしかたについては、「名称で地点を探す〔施設50音〕」の手順 **3** (86ページ)を参考にしてください。
- 公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合または、ピンポイント検索ができない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

住所で地点を探す(1)

住所を入力して地点を探すことができます。本機には、約3,500万件のデータが収録されています。

1

MENU ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

住所 ボタンをタッチする。
：都道府県リスト画面が表示されます。



3

例 愛知県名古屋市中区金山1丁目5-1を探す場合

① ■ **愛知県**が表示されている場合

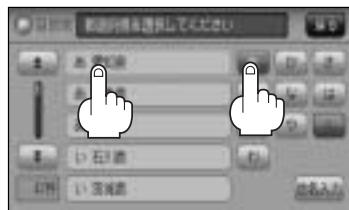
1 **あ 愛知県** ボタンをタッチする。

■ **愛知県**が表示されていない場合

1 右画面の **あ** ボタンをタッチし、
あ 愛知県 ボタンをタッチする。

：愛知県の市区町村リストが表示されます。

都道府県リスト画面



② 右画面の **な** ボタンをタッチし、 ボタンを
タッチする。

  ボタンタッチでつづきを表示



③ **な 名古屋市中区** ボタンをタッチする。



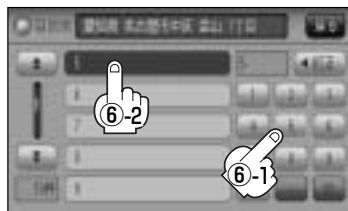
- ④ 右画面の **か** ボタンをタッチし、
か 金山 ボタンをタッチする。



- ⑤ **1丁目** ボタンをタッチする。



- ⑥ 右画面の **5** ボタンをタッチし、
5 ボタンをタッチする。



- ⑦ **1** ボタンをタッチする。

：愛知県名古屋市中区金山1丁目5-1の周辺の地図
が表示されます。



※ **×閉** ボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。
再度設定メニューを表示させるときには **設定** ボタンをタッチしてください。

☞ 「クイック機能について」 69、70ページ

目的地

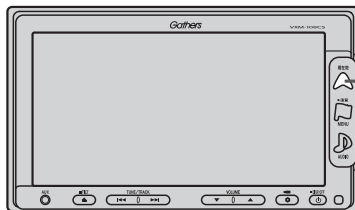
〔住所で地点を探す〕

住所で地点を探す(2)

4

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン(△)を押す。



4

現在地 ボタン
(△)

地名を入力して探す場合

1

手順 **1**、**2** (92ページ)にしたがって操作し、

地名入力 ボタンをタッチする。

：地名50音検索入力画面が表示されます。



1

2

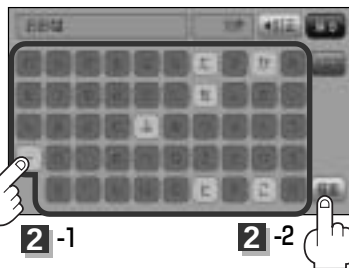
文字をタッチして地名をひらがなで入力し、

検索 ボタンをタッチする。

：リスト画面が表示されます。

☞ 入力方法は「名称で地点を探す[施設50音]」の
手順 **3** (86ページ)を参考にしてください。

地名50音検索入力画面



2-1

2-2



アドバイス

地名50音検索入力画面には、“地名の一部でも検索できません”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチしたボタンが表示されます。

3

リストから“地名”を選択し、タッチする。

■ **都道府県**に複数の地名がある場合

絞り込み ボタンが表示されます。

絞り込み ボタンをタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。



3

都道府県に複数の地名
がある場合に表示

4

“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を選択する。

☞ 検索方法は手順 **3** (92、93ページ)を参考にしてください。



- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- *印：頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻ってください。
- 番地など住所の詳細が分からないときは“都道府県名”“市区町村名”“町名”を選んだあと**代表地点** ボタンをタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

検索リスト画面について



リスト

ページ戻し／送り
(/)



リスト

地名の頭文字表示

※頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

入力した数字を1つ訂正する場合

訂正 ボタンをタッチします。

全ての数字を訂正する場合

訂正 ボタンを長めにタッチします。

“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”の続きに地名がある場合、**他** ボタンをタッチして地名をリストに表示し、効率よく場所を絞り込んでいきます。(地名がない場合はボタンは暗くなり選択できません。)

数字入力ボタン

※入力できない文字は暗くなり選択できません。

施設のジャンルから地点を探す(1)

施設のジャンルや都道府県を指定して、該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」(104～106ページ)をご覧ください。

1

MENU ボタン(□)を押し、

目的地 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
(□)

2

ジャンル ボタンをタッチする。

：検索リスト画面が表示されます。

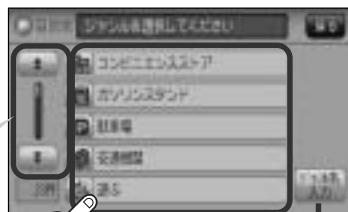


3

探している施設のジャンルを選択し、
さらに細かく分類された施設の種類の
選択してタッチしていく。



ボタンタッチでつづきを表示



3

ジャンル名を入力して検索
することもできます。

🔍 98ページ

4

リストから“都道府県名”を選択し、
タッチする。

※市区町村名などさらに選択画面が続く場合
は画面にしたがってタッチしてください。



ボタンタッチでつづきを表示

地名の頭文字表示*



4

5

リストから“施設名”を選択し、タッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

■ 現在地から近い順に表示したい場合

① **距離順** ボタンをタッチする。

※ **距離順** ボタンが **50音順** ボタンに切り替わります。50音順に表示させたい場合は

50音順 ボタンをタッチしてください。



6

■ 周辺の地図を見る場合

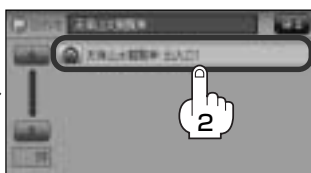
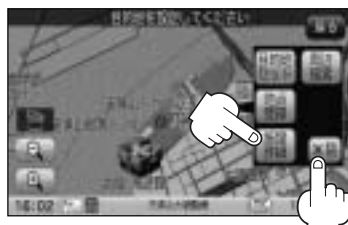
×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして
設定メニューを閉じる。

■ 施設の詳細情報を見る場合

施設詳細 ボタンをタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

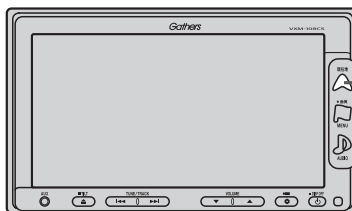
※施設に詳細内容がある場合は **情報** ボタンが表示されます。 **情報** ボタンをタッチし、リストを表示させ選択すると、情報画面が表示され情報の確認ができ、 **地図** ボタンをタッチすると周辺の地図画面を表示します。



7

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン(△)を押す。



7

現在地 ボタン
(△)



- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- *印：頭文字を連続してタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。
- 入力したジャンルを訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- “都道府県名”を選んだあと **全市区町村** ボタンをタッチすると、選んだ場所の全施設名がリストに表示されます。

施設のジャンルから地点を探す(2)

ジャンル名を入力して探す場合

1

手順 **1**、**2** (96ページ)にしたがって操作し、**ジャンル名入力** ボタンをタッチする。

：ジャンル名入力画面が表示されます。



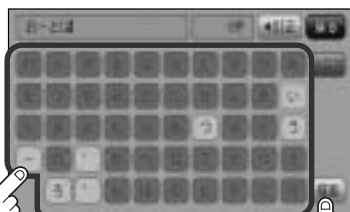
1

ジャンル名入力画面

2

文字をタッチしてジャンル名をひらがなで入力し、**検索** ボタンをタッチする。

☞ 入力方法は「名称で地点を探す[施設50音]」の
手順 **3** (86ページ)を参考にしてください。



2-1

2-2

3

リストから“施設の種類”を選びタッチする。



3

4

“都道府県名” “施設名” を選択してタッチしていく。

☞ 検索方法は手順 **4**、**5** (96～97ページ)を参考にしてください。



アドバイス

- 入力したジャンルを訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- “都道府県名” を選んだあと **全市区町村** ボタンをタッチすると、選んだ場所の全施設名がリストに表示されます。

自宅周辺の地図を表示する

自宅周辺の地図を表示します。



アドバイス

この機能を使うには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

☞ 「自宅を登録する」 71～74ページ

1

MENU ボタン()を押し、

目的地 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

自宅 ボタンをタッチする。

：自宅周辺の地図が表示されます。



2

3

周辺の地図を見るには…

×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

※再度設定メニューを表示させるときは **設定** ボタンをタッチしてください。

☞ 「クイック機能について」 69、70ページ

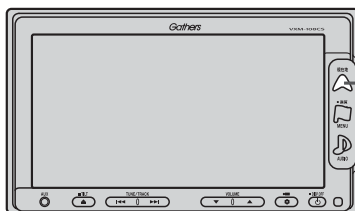


3

4

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン()を押す。



4

現在地 ボタン
()

目的地

〔施設のジャンルから地点を探す〕

／ 〔自宅周辺の地図を表示する〕

周辺にある施設から地点を探す(1)

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から地点を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」(104～106ページ)をご覧ください。

1

■ 現在地周辺の施設を検索する場合

下記手順 **2** へ進んでください。

■ スクロール先周辺の施設を検索する場合

地図上のカーソルを検索したい施設の場所に合わせる。

「「見たい地域を探す」63～65ページ

2

MENU ボタン()を押し、

目的地 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2-1

MENU ボタン
()

3

周辺施設 ボタンをタッチする。

：検索リスト画面が表示されます。



4

- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合

地図周辺 ボタンをタッチする。

- ルート沿いにある施設を検索する場合

ルート沿い ボタンをタッチする。

- 目的地周辺にある施設を検索する場合

目的地周辺 ボタンをタッチする。



アドバイス

- ルートを設定していない場合は **ルート沿い** / **目的地周辺** ボタンは選択できません。(ボタンが暗くなります)
- 現在地 / スクロール先 / 目的地周辺を検索する場合は、現在地 / スクロール先 / 目的地から半径10km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって10km以内で、ルートの左右約100m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地図周辺** / **ルート沿い** / **目的地周辺** ボタンでは、リストに表示される施設は異なります。

5

探している施設のジャンルを選択し、タッチする。

- 施設の種別が表示された場合

下記手順 **6** へ進んでください。

- 施設名が表示された場合

手順 **8** (102ページ)へ進んでください。



6

表示したい施設の種別を選択し、タッチする。

：選択した種別にチェックマーク(✓)が付きます。

全選択 ボタンをタッチすると、全種別にチェックマーク(✓)が付きます。

※表示をやめたい場合は再度ボタンをタッチしてチェックマーク(✓)を消します。 **全解除** ボタンをタッチすると、リストに付いているチェックマーク(✓)を全て消します。



チェックマーク

目的地

(周辺にある施設から地点を探す)

周辺にある施設から地点を探す(2)

7

検索 ボタンをタッチする。

：右画面には周辺のリストが表示されます。左画面にはカーソル(青色)で選択されているリストの周辺地図が表示されます。



7

8

リストから“施設名”を選択し、タッチする。

：選択したリスト周辺の地図が左画面に表示されます。

(例) 地図周辺を選択した場合



8

施設までの距離



アドバイス

- 右画面リストの ボタンをタッチしてページ送り／戻した場合、左画面の地図は右画面のカーソルに反映されるため、周辺地図が変わります。
- 手順 **4** (101ページ) で **地図周辺** ボタンを選択した場合、施設名の横に現在地またはスクロール先からの距離を表示します。
- 手順 **4** (101ページ) で **ルート沿い** ボタンを選択した場合、右画面リストには現在地からの距離を表示し、左画面の周辺地図にはルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
- 手順 **4** (101ページ) で **目的地周辺** ボタンを選択した場合、右画面リストは目的地からの距離を表示します。

9

ここを ボタンまたは左画面(周辺地図)をタッチする。

：右画面のリストは消え、施設周辺の地図が表示されます。



9

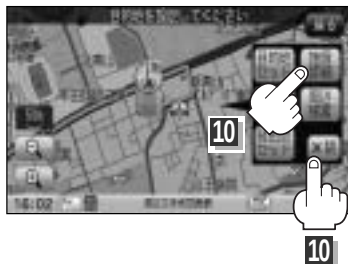
10

■ 周辺の地図を見る場合

✕閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

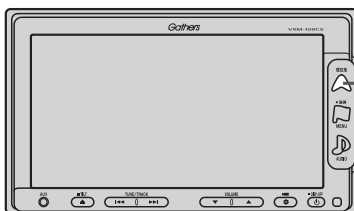
■ 施設の詳細情報を見る場合

施設詳細 ボタンをタッチする。



11

現在地の地図画面に戻るときは、
現在地 ボタン (△) を押す。



11
現在地 ボタン
(△)



アドバイス

- 入力した施設を訂正したい場合は、戻る ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- 上記手順 10 で 施設詳細 ボタンをタッチしたとき、駐車場などの情報がある場合は、情報 ボタンが表示されます。情報 ボタンをタッチし、リストを表示させ選択すると、情報の確認ができ、地図 ボタンをタッチすると、周辺の地図画面を表示することができます。

📄 「施設のジャンルから地点を探す」手順 6 97ページ

目的地

(周辺にある施設から地点を探す)

表示できる施設(1)

交通機関

駅、高速・都市高速・有料道路施設、道の駅、フェリーターミナル、港、空港、タクシー

公共施設

役所、警察署・交番、消防署、図書館、裁判所、税務署、社会保険事務所、保健所、法務局、運転免許試験場

銀行

都市銀行、地方銀行、その他銀行

駐車場

一般駐車場

学校・教育施設

大学、高校、中学校、小学校、短大、高専、中等教育学校、幼稚園、保育園、特別支援学校
自動車学校、各種専門学校、予備校、その他学校・教育施設

病院

病院

冠婚葬祭

冠婚葬祭場、結婚式場、霊園・墓地、造花・装飾・花環

スポーツ施設

ゴルフ、スキー・スケート、マリンスポーツ、野球場、競技場、プール、モータースポーツ、自転車、テニスコート、体育館、武道館、スポーツクラブ、バッティングセンター、公営スポーツ施設、その他スポーツ施設

神社・仏閣・教会・巡礼

神社、仏閣・寺、教会、全国著名巡礼名所

遊ぶ

遊園地(テーマパーク)、レジャー公園・牧場、その他レジャー施設、海洋・海浜公園、サファリパーク、海水浴場、川くだり、果物狩り、遊覧船、遊覧飛行機、リフト・ロープウェイ、釣り、キャンプ場、公営ギャンブル、パチンコ、麻雀、ゲームセンター、ビリヤード、ボウリング場、カラオケボックス、マンガ喫茶、インターネットカフェ、プラネタリウム、クラブ・ライブハウス、マリナー、待ち合わせ場所、趣味・娯楽・教養

観る

動物園、植物園、水族館、美術館、博物館、資料館、文化施設、ホール会館、劇場、映画館、城・城跡、史跡、名所・観光地等、イベント、ビューポイント、住宅展示場

泊まる

ホテル、ビジネスホテル、旅館、ペンション、公共の宿、ファッションホテル、カプセルホテル、家族旅行村、国民休暇村、民宿、その他宿泊施設

買う

カー用品、ホームセンター、ディスカウント、スーパー、デパート、複合大型商業施設、家電、本、ファッション、衣服・呉服・小物、シューズ、バッグ・コート・毛皮、その他繊維製品、スポーツ、雑貨、ドラッグストア、その他日用品・雑貨・文具、チケット売買・プレイガイド、携帯電話ショップ、リサイクルショップ、おもちゃ屋、酒屋、食材、パン・お菓子、花屋、園芸店、家具店、インテリア用品店、メガネ・コンタクトレンズ、釣具店、アウトドア用品店、CDレコード店、中古CDレコード店、レンタルビデオ・CD、化粧品・装飾品・民芸品、オーディオ・パソコン・OA、金物店・刃物店、ガラス・陶磁器、その他小売店

食べる

ファミリーレストラン、ファーストフード、ラーメン、うどん・そば、日本料理、中華、イタリア料理、寿司屋、回転すし、フランス料理、カレーハウス、焼肉・ホルモン、韓国料理、お好み焼き、とんかつ、持ち帰り弁当、喫茶、酒場、うなぎ料理店、おでん屋、海鮮料理店、懷石料理、割烹・料亭、スパゲティ専門店、ステーキハウス、てんぷら料理店、鳥料理店、ピザハウス、アイスクリーム、その他和風飲食店、その他洋風・中華飲食店

生活施設

郵便、理容・美容、クリーニング、温泉、銭湯、サウナ・健康センター、クアハウス・スパ、教養施設・福祉施設、写真・写真館、組合、人材紹介・代行サービス、録音スタジオ、クレジット・質屋、宅配便・運輸、リース・レンタル・修理

トイレ

トイレ

Honda Cars店

Honda Cars店

表示できる施設(2)

カーディーラー

Honda Cars店、スズキ、スバル、ダイハツ、トヨタ、日産、マツダ、三菱、
レクサス、アウディ、アルファロメオ、クライスラー、シトロエン、ジャガー、GM、現代、BMW、
フィアット、フォルクスワーゲン、フォード、プジョー、ベントレー、ポルシェ、ボルボ、
メルセデス・ベンツ、ヤナセ、ランドローバー、ルノー、その他カーディーラー

自動車関連

自動車整備工場、中古車販売、レッカーサービス、ロードサービス、レンタカー、レンタルバイク、
その他自動車・オートバイ・自転車

コンビニエンスストア

コンビニエンスストア

ガソリンスタンド

ガソリンスタンド

エコステーション

エコステーション

その他のジャンル

大使館・領事館、マスメディア、旅行・観光業、ペット、製造・卸売業、農園・果樹園

登録地点で地点を探す(1)

あらかじめ登録しておいた場所の中から地点を探すことができます。よく利用する場所を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。

1

- MENU** ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



2

- 登録地点** ボタンをタッチする。
：登録地点リスト画面が表示されます。



3

- リストから“地点”を選びタッチする。
：周辺の地図が表示されます。

 /  ボタンタッチでつづきを表示



■ フォルダを選択して“地点”を選ぶ場合

登録地点をフォルダ指定されている場合、下記手順にしたがって操作すると、効率よく登録地点を絞り込むことができます。

- ① **フォルダ** ボタンをタッチする。
：フォルダ選択画面が表示されます。



目的地

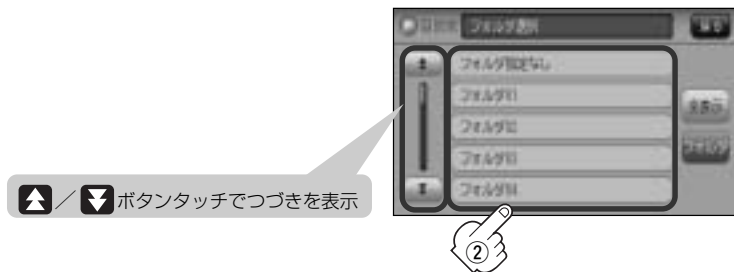
〔表示できる施設〕

／〔登録地点で地点を探す〕

登録地点で地点を探す(2)

- ② フォルダ(**フォルダ指定なし** ～ **フォルダ20** ボタン)を選択し、タッチする。

：フォルダに登録した地点リストが表示されます。



アドバイス

登録地点をフォルダ指定していない場合は、 **フォルダ指定なし** ボタンのみ選択できます。

※登録されているフォルダのみ選択することができます。

登録地点のフォルダ指定につきましては、[「登録地点の編集／見る」](#) (204ページ)をご覧ください。

- ③ リストから“地点”を選びタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

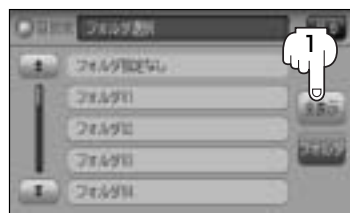


[「登録地点の並び替えをする」](#)
109ページ

- **全表示に戻すには……**

- 1 上記手順②のとき **全表示** ボタンを
タッチする。

：本機に登録されている地点が全て表示されます。(自宅は除く)



4

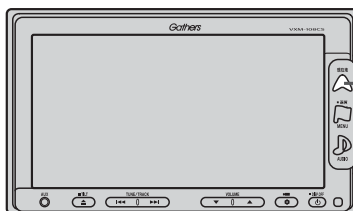
周辺の地図画面を見るには…

×閉 ボタンをタッチして設定メニューを閉じる。

5

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン(△)を押す。



5

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

- この機能を使うには、あらかじめ地点を登録しておかないと使えません。
[📍]「地点を登録する」75、76ページ
- 登録地点リスト画面の初期設定は“全表示”です。
- 手順 **3** (107ページ) で **フォルダ** ボタンを選択し、フォルダ選択画面に切り替えた場合、
[MENU] ボタンを押し、**情報** → **地点編集** → **登録地点編集** ボタンをタッチしたときの表示方法も
フォルダ選択画面になります。
- フォルダ名はフォルダ名編集画面にて変更することができます。
※ **フォルダ指定なし** ボタンはフォルダ名を変更することはできません。

登録地点の並び替えをする

登録地点検索リストに表示される地点の並び順を替えることができます。

手順 **1**、**2** (107ページ) にしたがって操作し、

登録順 ボタンをタッチする。

：リストに表示されている並び順が変わります。

- ※タッチするたびに **登録順** ↔ **マーク順** と切り替わります。表示したい順を選択してください。
※表示されているボタン名が現在の並び順を示します。

(例) 登録順で表示



登録順 ボタン…地点が登録された順(古いものから)に表示します。

マーク順 ボタン…同じマークのもの同士をまとめて表示します。

目的地

(登録地点で地点を探す)

目的地履歴の中から地点を探す／削除する

最近設定した目的地周辺の地図を表示することができます。
一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。

1

MENU ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

次へ ボタンをタッチし、**履歴** ボタンをタッチする。
：履歴リスト画面が表示されます。



2-1



2-2

3

目的地履歴リスト画面より地点を表示、または履歴を削除します。

■ 地点(地図)を表示する場合

① リストから見たい履歴を選びタッチする。

：選択した地点付近の地図を表示します。

↑ / ↓ ボタンタッチでつづきを表示



アドバイス

設定した目的地は、最新のものから順に20か所まで自動的に登録されます。
登録件数が20件を超えると古いものから順に消去されます。

■ 目的地履歴を削除する場合

① リストから削除したい履歴の

🗑 ボタンをタッチする。

☐ 全履歴を削除するには

全削除 ボタンをタッチする。

② 目的地履歴を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

：選択した履歴を削除し、リスト画面に戻ります。



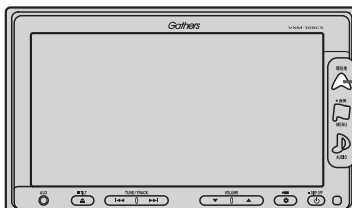
※他にリストに履歴がない場合はサブメニュー画面に戻ります。

4

終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンを2回タッチすると、
メニュー画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)

地名から地点を探す[50音]

地名を入力して地点を探すことができます。

1

MENU ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

次へ ボタンをタッチし、**地名** ボタンをタッチする。
：地名50音入力画面が表示されます。



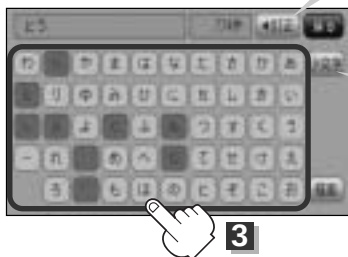
2-1



2-2

3

文字をタッチして、地名をひらがなで入力する。



入力した文字を1つ訂正する場合

訂正 ボタンをタッチします。

全ての文字を訂正する場合

訂正 ボタンを長めにタッチします。

小文字に変換したい場合

変換したい文字を入力したあとに **小文字** ボタンをタッチします。



アドバイス

- 地名50音入力画面には、“地名の一部でも検索できます”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチしたボタンが表示されます。
- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。例えば「ちゅうおう」や「ちよた」と入力するだけでも検索できますが、名前を正確に入力した方が、リストに表示する地名を絞り込むことができます。
- 入力できない文字は暗くなります。

4

検索 ボタンをタッチする。

：地名リスト画面が表示されます。



5

リストから“地名”を選びタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※ “丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”と続く場合は画面にしたがってタッチしてってください。

〔※〕検索方法は「住所で地点を探す」の手順 3 (92、93ページ)を参考にしてください。

■ 都道府県に複数の地名がある場合

絞込み ボタンが表示されます。

絞込み ボタンをタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。

↑ / ↓ ボタン
タッチでつづき
を表示



都道府県に複数の
の地名がある場合
に表示

6

周辺の地図を見るには…

〔×閉〕 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

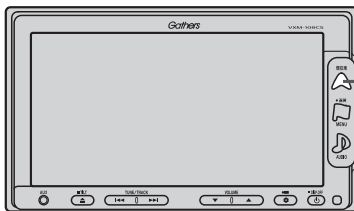
※再度設定メニューを表示させるには **設定** ボタンをタッチしてください。



7

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン (△) を押す。



現在地 ボタン
(△)

目的地

〔地名から地点を探す〕50章

郵便番号で地点を探す

ポスタルガイドなどに掲載されている郵便番号から、周辺の地図を表示することができます。

1

MENU ボタン()を押し、

目的地 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



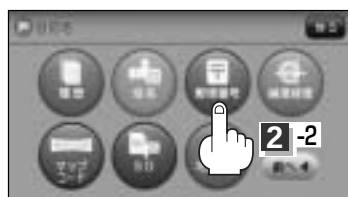
1-1

MENU ボタン
()

2

次へ ボタンをタッチし、 **郵便番号** ボタンをタッチする。

：郵便番号入力画面が表示されます。



3

数字をタッチして、郵便番号を入力する。

※4桁以上の入力が必要です。



入力した数字を1つ訂正する場合

訂正 ボタンをタッチします。

全ての数字を訂正する場合

訂正 ボタンを長めにタッチします。

入力途中で **検索** ボタンをタッチした場合

入力した郵便番号の検索リストが表示されます。該当する項目を選択して、タッチすると周辺の地図画面が表示されます。

4

検索 ボタンをタッチする。

：周辺の地図画面が表示されます。

※ **×閉** ボタンまたは地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。

再度設定メニューを表示させるには **設定** ボタンをタッチしてください。



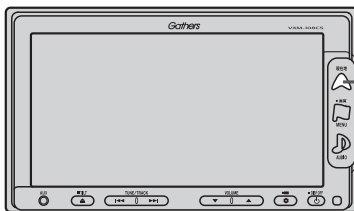
4



5

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン(△)を押す。



5

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

目的地

(郵便番号で地点を探す)

緯度・経度で地点を探す

見たい場所の緯度と経度を入力して地点を探すことができます。

1

MENU ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

次へ ボタンをタッチし、**緯度経度** ボタンをタッチする。
：緯度・経度入力画面が表示されます。



2-1



2-2

3

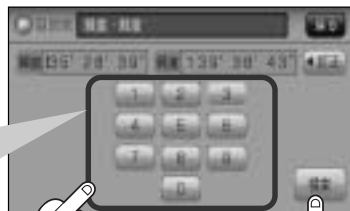
数字をタッチして、緯度(北緯)と経度(東経)
を入力し、**検索** ボタンをタッチする。

 入力方法は「電話番号で地点を探す」
の手順 **3** (90ページ) を参考にし
てください。

：周辺の地図が表示されます。

※ **×閉** ボタンまたは地図画面をタッチ
すると設定メニューを閉じることができます。
再度設定メニューを表示させるには、**設定** ボタ
ンをタッチしてください。

数字入力時、
選べない数字
は暗くなります。

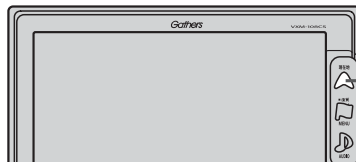


3-1

3-2

4

現在地の地図画面に戻るときは、
現在地 ボタン()を押す。



4

現在地 ボタン
()



- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、「指定座標の地図が収録されていません」と表示され入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測値系に基づくものとなっていますので、世界測値系に基づいた緯度・経度で検索すると、異なる場所を表示する場合があります。

マップコードで地点を探す(1)

ガイドブック等に掲載されているマップコードから、周辺付近の地図を表示することができます。

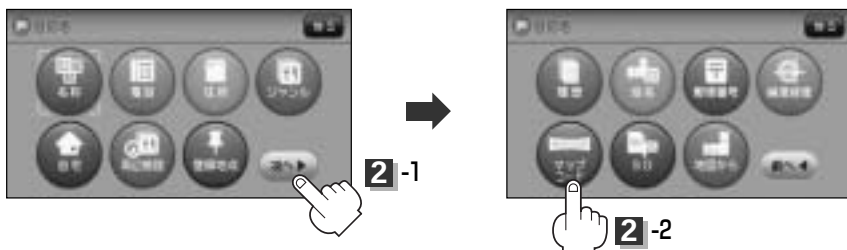
1

- MENU** ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
: サブメニュー画面が表示されます。



2

- 次へ** ボタンをタッチし、**マップコード** ボタンをタッチする。
: マップコード入力画面が表示されます。



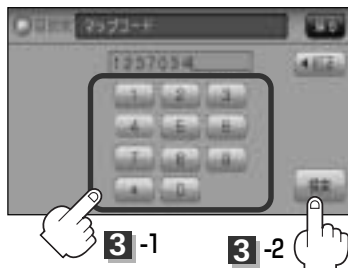
3

- 数字をタッチして、マップコードを入力し、
検索 ボタンをタッチする。

 入力方法は「電話番号で地点を探す」の手順 **3**
(90ページ)を参考にしてください。

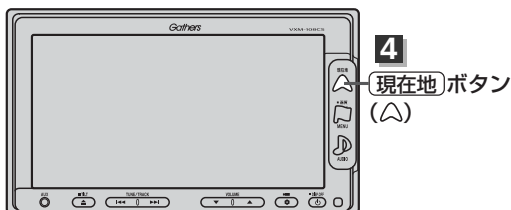
: 周辺の地図が表示されます。

- ※ **×閉** ボタンまたは地図画面をタッチすると設定
メニューを閉じることができます。
再度設定メニューを表示させるには、**設定** ボタ
ンをタッチしてください。



4

- 現在地の地図画面に戻るときは、
現在地 ボタン()を押す。



目的地

〔緯度・経度で地点を探す〕

／〔マップコードで地点を探す〕

マップコードで地点を探す(2)



アドバイス

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設等の位置を示すためにガイドブック等に掲載されています。
※ マップコードを掲載したガイドブックは、株式会社JTBPブリッシングなどから出版されています。
(平成22年3月現在)
全てのガイドブックにマップコードが掲載されているわけではありませんので、ガイドブックをお買い上げの際に、ご確認ください。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、“該当するマップコードは収録されていません”と表示され入力画面に戻ります。
- *** ボタンについて**
マップコード入力後、*** ボタン**をタッチし2ケタの数字を追加(入力)することで、さらに細かく地点を探すことができます。
- **MAPCODE** およびマップコードはデンソーの登録商標です。

SDカードで地点を探す(1)

パソコンを使用してSDカードに保存した地点の周辺地図を表示します。

☞ 「パソコン連携(いつもNAVI)」 52ページ

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

☞ 「SDモードを終了する」 388ページ

1 **TILT** ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイ部が開きます。



1 **TILT** ボタン(▲)

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

☞ 「SDカードを入れる／取り出すには」 48ページをご覧ください。

: 自動でディスプレイ部が閉じます。

3 **MENU** ボタン(□)を押し、
目的地 ボタンをタッチする。

: サブメニュー画面が表示されます。



3-1

MENU ボタン
(□)

3-2

4 **次へ** ボタンをタッチし、**SD** ボタンをタッチする。

: SDカードに保存した地点のファイル画面が表示されます。

※SDカード内に保存した地点が1つの場合は、手順 **5**-2 (120ページ(例)フォルダ画面)へ進んでください。



4-1



4-2

目的地

「マップコードで地点を探す」／「SDカードで地点を探す」

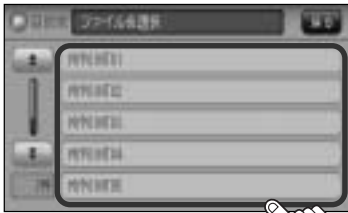
SDカードで地点を探す(2)

5

確認したい地点が保存されているファイルをタッチし、フォルダをタッチする。

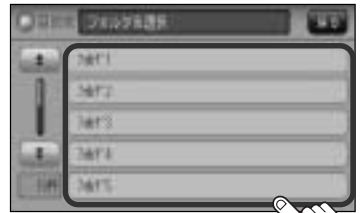
：SDカード内に保存した地点リスト画面が表示されます。

(例) ファイル画面



5-1

(例) フォルダ画面



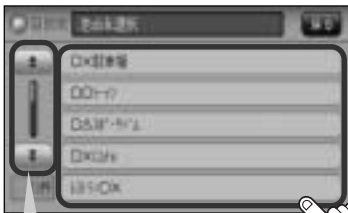
5-2

6

リストから地点を選択してタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

(例) リスト画面



↑/↓ ボタンタッチ
でつづきを表示

6

(例) 詳細情報画面



7

地図 ボタンをタッチする。

：周辺の地図が表示されます。



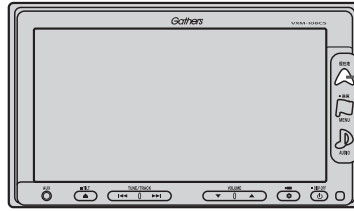
7



※ **×閉** ボタンまたは地図画面をタッチすると、設定メニューを閉じることができます。再度設定メニューを表示させるには、**設定** ボタンをタッチしてください。

現在地の地図画面に戻るときは、

現在地 ボタン (△) を押す。



現在地 ボタン
(△)



アドバイス

- 指定のWebサイトからダウンロードしたデータ（リスト）はSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内にデータ（リスト）を入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内にデータ（リスト）がない場合は手順 **4**（119ページ）でSDカードを挿入またはSDカードに地点ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されているかを確認／DRIVEフォルダ内にデータ（リスト）があることを確認してください。

 「SDカードを入れる／取り出すには」 48ページ、

 「パソコン連携（いつもNAVI）」 52ページ

- 指定のWebサイトからルート探索したデータを本機で探索する場合は  「SDカードからルート探索する」 156～158ページをご覧ください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- SDカードに保存した地点情報は本機に登録することができます。（最大300ヵ所・自宅含まれません）
 「SDカードから地点を登録する」 218～220ページ

地図から地点を探す

表示中の地図から地点を探すことができます。

1

MENU ボタン(□)を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
(□)

2

次へ ボタンをタッチし、**地図から** ボタンをタッチする。
：この画面に入る前の地図を表示します。



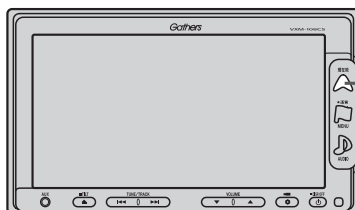
2-1



2-2

3

現在地の地図画面に戻るときは、
現在地 ボタン(△)を押す。



3

現在地 ボタン
(△)

ルート

ルート設定について	124～126
ルート探索について	125
細街路探索について	126
1 ルート探索／複数ルート探索をする	127～132
1 ルート探索をする	128～130
複数ルート探索をする	131、132
ルートを変更する	133～140
出発地の変更	133、134
目的地の変更	135
経由地の追加	135～138
経由地の変更／削除	139
経由地／目的地など地点の入れ替え	139
探索条件の変更	140
ルートから外れてしまったら（再探索）	141
前方の道が通れない（迂回探索）	142
ルート案内をストップ／スタートする	143
現在のルートを表示する	144、145
ルート詳細情報を表示するには	145
デモ走行をする	146
経由地をスキップする	147
現在のルートを保存する	148
現在のルートを削除する	149
登録ルート	150、151
保存したルートの呼び出し	150
保存したルートの削除	151
渋滞予想ルート探索をする	152～154
渋滞地点を確認する	155
SDカードからルート探索をする	156～158

ルート設定について(1)

ルート設定をすると、本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までの参考ルートを探探し、地図上に表示します。(この画面をルート案内画面と呼びます。)
この参考ルート上を走ることによって、目的地に到着します。

ルート案内画面



ルート設定は、主に次の3通りの方法で行ないます。

クイックルート(クイック機能)探索 77、78ページ

- カーソルを目的地に合わせ **設定** ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **目的地セット** ボタンをタッチすると、現在地から目的地までの参考ルートが表示されます。

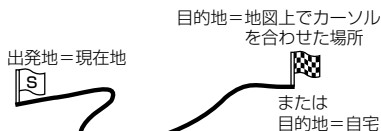
 「クイック機能について」 69、70ページ

「**現在地から目的地までのルートを探する場合**」 77ページ

- 現在地表示時に、**MENU** ボタン () を押してメニュー画面を表示させ、クイックメニューの **自宅へ帰る** ボタンをタッチすると、現在地から自宅までの参考ルートを表示します。

 「**現在地から自宅までのルートを探する場合**」 78ページ

自宅の登録が必要です。 「自宅を登録する」 71～74ページ

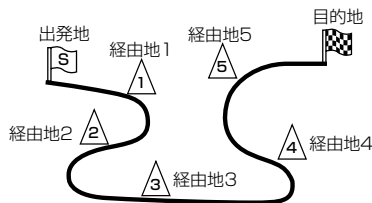


ルート ボタン () 1ルート探索/複数ルート探索

 127～132ページ

- **ルート編集** ボタンから好きな場所を出発地にできます。
- 複数探索を選ぶと、5通りの参考ルートを同時に探索します。表示されたルートを見て、好きなルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として登録できます。(5か所まで)

※経由地を設定すると複数探索はできません。



目的地 ボタン () から探索方法を選択してルート探索 86～122ページ

名称/電話/住所/ジャンルなど、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探します。

設定 ボタン () から探索条件を設定

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

 「ルート探索条件の設定をする」 227～230ページ

※ルート案内中に探索条件を変更した場合、自動で再探索します。



アドバイス

参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

ルート探索について

画面の流れ

(例)
ルート
ボタン
から探索
した場合



(例) 全ルート表示画面



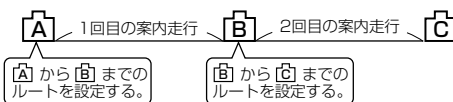
(例) 探索完了画面



- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、“ルート探索できません”など并表示し、探索を中止します。この場合は、設定内容(出発地／経由地／目的地)を変更して、出発地と目的地との距離を短くしてください。

例えば、A地点からC地点に行く場合、

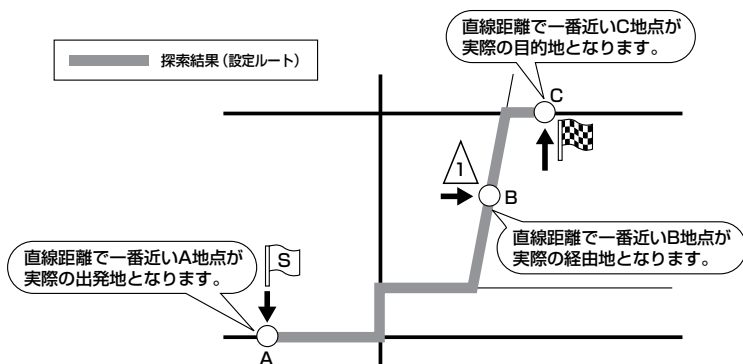
- ① A地点からB地点までのルートを設定して、B地点まで行く。
 - ② B地点からC地点までのルートを設定して、C地点まで行く。
- というも、1つの方法です。



- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行ないますが、地図上の全ての道路(場所)にこのデータがあるわけではありません。

出発地(🚩)／経由地(△)／目的地(🏁)を登録した地点から直線距離で一番近い探索データのある地点がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

ただし規制等があって道路が通れない場合、出発地(🚩)／経由地(△)／目的地(🏁)を登録した道路を通るルートになるとは限りません。



※有料道路(高速道路、都市高速道路を含む。)と一般道路が接近している地点に登録した場合は、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。

ルート設定について(2)

- 地図ソフトの更新によって収められている探索データが異なり、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、参考ルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に車のエンジンスイッチをO (OFF) にすると、ルート探索を中断します。この後に車のエンジンスイッチをII (ON) にするとルートは中止(削除)されています。

細街路探索について

細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

※市街地図の収録エリアおよび細街路探索エリアにつきましては、478～481ページをご覧ください。

ルート設定の流れ

目的地 ボタン()から探索する場合

目的地を登録する



探索実行



ルート案内開始

探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機が参考ルートを探します。

※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」(143ページ)にしたがって操作してください。

1 ルート探索／複数ルート探索をする(1)

ルート設定の流れ

ルート ボタン()から探索する場合

目的地を登録する



出発地を登録する

経由地を登録する



探索条件を選ぶ



探索実行



ルート案内開始

現在地以外の場所を出発地にする場合は、登録が必要です。

途中に寄りたい場所や通りたい場所(道)がある場合に登録します。(5か所まで)

● **推奨**／**有料優先**／**一般優先**／**距離優先**／**道幅優先**

ボタンのどれか1つを選択。

探索開始 ボタン(参考ルートを1つ探索する)か

複数探索 ボタン(参考ルートを5つ探索して、好きなルートを選ぶ)のどちらかを選択。

※経由地が設定されている場合は **複数探索** ボタンは選択できません。

●自動再探索／フェリーを優先／季節規制考慮／時間規制道路を考慮／スマートICを利用／ルート学習結果を利用／VICS自動再探索／VICS情報を考慮／統計交通情報を考慮を表示する場合は **する** ボタンを点灯させる。

「ルート探索条件の設定をする」227～230ページ

登録した内容(目的地・出発地・経由地)、探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機が参考ルートを探します。

※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」(143ページ)にしたがって操作してください。



アドバイス

- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)と一般道路が接近している地点に、出発地／経由地／目的地を登録すると、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。
有料道路上に登録する場合は **有料道路** ボタンを、一般道路上に登録する場合は **一般道路** ボタンを選び、タッチしてください。
- ジャンルから高速ICの出入口を選択した場合は出入口が反映された地点が表示されます。その地点を登録し、登録地点から表示させルート探索をすると出入口情報は反映されません。画面にメッセージが表示されるので **有料道路**／**一般道路** ボタンを選択してください。
- 参考ルートは、必ずしも最短ルートが選ばれるわけではありません。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

ルート

「ルート設定(1)」／「ルート探索／複数ルート探索をする」

1 ルート探索／複数ルート探索をする(2)

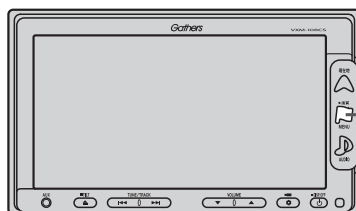
1 ルート探索をする

メニュー画面の **目的地** ボタンまたは **ルート** ボタンから設定します。

1

MENU ボタン () を押す。

：メニュー画面が表示されます。



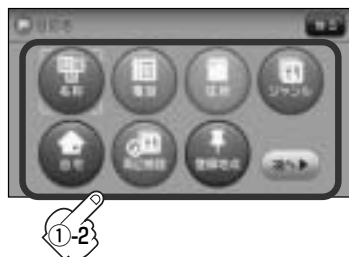
1

MENU ボタン
()

2

■ 目的地画面から選択する場合

① **目的地** ボタンをタッチし、検索方法を選択してタッチする。



■ ルートから選択する場合

① **ルート** ボタンをタッチし、**ルート編集** ボタンをタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



② **目的地を登録してください** ボタンをタッチする。



探索条件を変更する場合は
ここをタッチ
 140ページ

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図を表示させます。

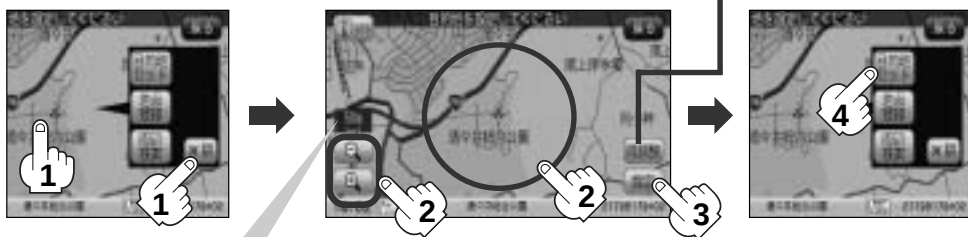
- **名称** [P 86～89ページ]
- **郵便番号** [P 114、115ページ]
- **電話** [P 90、91ページ]
- **緯度経度** [P 116ページ]
- **住所** [P 92～95ページ]
- **マップコード** [P 117、118ページ]
- **ジャンル** [P 96～98ページ]
- **SD** [P 119～121ページ]
- **自宅** [P 99ページ]
- **地図から** [P 122ページ]
- **周辺施設** [P 100～103ページ]
- **現在地付近**：現在地付近の地図を表示
- **登録地点** [P 107～109ページ]
- **出発地付近**：出発地付近の地図を表示
- **履歴** [P 110、111ページ]
- **目的地付近**：目的地付近の地図を表示
- **地名** [P 112、113ページ]
- **経由地付近**：経由地付近の地図を表示

3 目的地を登録します。

- 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合
目的地セット ボタンをタッチする。
- 表示された目的地で良い場合
設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **目的地セット** ボタンをタッチする。
- 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合
×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。カーソルを目的地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**目的地セット** ボタンをタッチする。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

[P 「スクロールの微調整をする」
65ページ



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

- **目的地** ボタンから探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると全ルートが表示されます。
※到着地点情報が表示されたときは、130ページのアドバイス内をご覧ください。
- **ルート** ボタンから探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。
探索開始 ボタンをタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると全ルートが表示されます。

1 ルート探索／複数ルート探索をする(3)

4

案内スタート ボタンをタッチする。

：ルート案内を開始します。



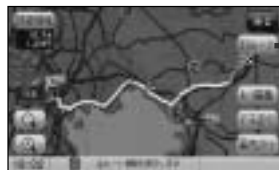
※探索条件を変える場合は、**MENU** ボタン(☰)を押してメニュー画面を表示させ、
クイックメニューの**再探索** ボタンをタッチし、表示された探索条件の中から選択します。



アドバイス

- 到着予想時刻は走行速度の設定によって異なります。☞「平均速度を設定する」226ページ
 - 有料道路を優先しない設定にしている場合、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
 - 目的地** ボタンから探索して目的地を登録するとき、選択した場所に「出入口情報」や「提携駐車場情報」などの到着地点情報がある場合はメッセージが表示されます。**はい** ボタンを選択すると情報リスト画面が表示され、リストを選択すると情報画面を表示して情報の確認をすることができます。
 - いいえ** ボタンを選択すると、ルート探索を開始します。
 - ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」(143ページ)にしたがって操作してください。
 - MENU** ボタン(☰)を押し、**設定** → **ルート案内** ボタンをタッチして、全ルートを表示「する」に設定している場合、全ルート表示画面に**別ルート** ボタンが表示されます。**別ルート** ボタンをタッチすると、複数ルート探索を開始します。
- ☞「ルート案内画面の設定を変える」243～257ページ
- ☞「**複数ルート探索をする**」131、132ページ

(例) 全ルート表示画面



別ルート ボタン

複数ルート探索をする

表示された参考ルートの中から(“推奨”“有料優先”“一般優先”“距離優先”“道幅優先”)お好みのルート案内を開始することができます。

※複数ルート探索はトップメニューの **ルート** ボタンより操作します。

1

MENU ボタン(□)を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



2

ルート編集 ボタンをタッチする。
：ルート編集画面が表示されます。



3

複数探索 ボタンをタッチする。
：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、
5つのルートの選択画面になります。



複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
経由地を設定した場合、“複数探索”はできません。



ルート

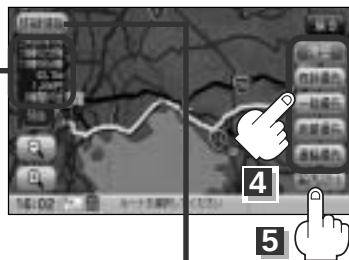
(「ルート探索／複数ルート探索をする」)

1 ルート探索／複数ルート探索をする(4)

4

探索条件(**推奨** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先** ボタン)をタッチしてルートを確認し、選択する。

：有料道路は青、一般道路はピンクまたは緑で表示されます。



5

案内スタート ボタンをタッチする。

：ルート案内を開始します。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や有料道路等で料金が不明な場合は「—円」と表示されます。

このボタンをタッチすると、ルート詳細情報を見ることができます。

「ルート詳細情報を表示するには」
145ページ



アドバイス

- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。

「地図を動かす(地図スクロール)」 63、64ページ

「スクロールの微調整をする」 65ページ

- 到着予想時刻は走行速度の設定によって異なります。 **「平均速度を設定する」** 226ページ
- 有料道路を優先しない設定にしている場合、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。
- 有料道路を優先する設定にしている場合、有料道路を使用しないルート探索をすることもあります。
- ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」(143ページ)にしたがって操作してください。
- 出発地(現在地)または目的地の変更や出発地と目的地の入れ替え、経由地の追加などは手順 **3** (131ページ)で「複数探索」をタッチする前に設定できます。 **「ルートを変更する」** 133～140ページ

ルートを変更する(1)

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。

出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。

1

MENU ボタン(□)を押し、

ルート ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2

ルート編集 ボタンをタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



3

登録内容を変更する。

📄 出発地の変更…133、134ページ

📄 目的地の変更…135ページ

📄 経由地の追加…135～138ページ

📄 経由地の変更／削除…139ページ

📄 経由地／目的地など地点入替…139ページ

📄 探索条件の変更…140ページ

出発地の変更（現在地以外を出発地にする）

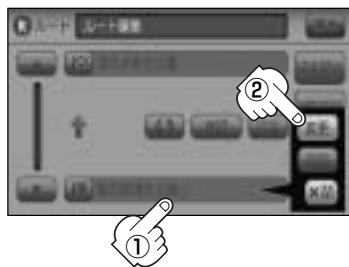
① **S** ボタンをタッチする。

（新しい出発地を登録する。）

② ふき出し表示の中から

変更 ボタンをタッチする。

：出発地を探す方法画面が表示されます。



ルート

〔ルート探索／複数ルート探索をする〕／〔ルートを変更する〕

ルートを変更する(2)

- ③ 表示されたメニューの中から、地図を
探す方法を選択してタッチする。

( 129ページ)

：周辺の地図を表示します。



- ④ 出発地を登録する。

- 設定メニューと共に表示された出発地で良い場合

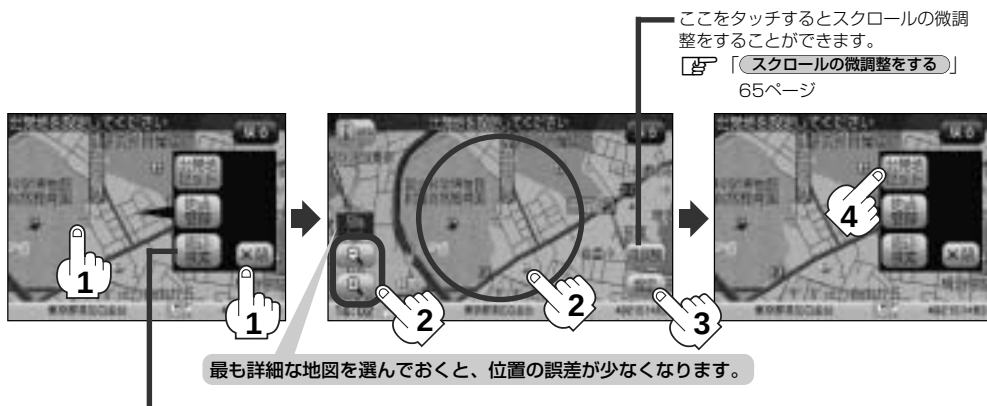
出発地セット ボタンをタッチする。

- 表示された出発地で良い場合

設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **出発地セット** ボタンをタッチする。

- 設定メニューが表示されている場合に、出発地の位置調整をする場合

×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。カーソルを出発地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**出発地セット** ボタンをタッチする。



設定メニューの **周辺検索** ボタンを
タッチして出発地を探すこともできます。
( 101ページ手順 4 から参考してください。)

：ルート編集画面に戻ります。

目的地の変更

① ボタンをタッチする。

② ふき出し表示の中から

変更 ボタンをタッチする。

：目的地を探す方法画面が表示されます。

※登録のしかたは、**出発地の変更**（133、134ページ）手順③を参考にしてください。

③ 目的地を登録する。

■ 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合

目的地セット ボタンをタッチする。

■ 表示された目的地で良い場合

設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **目的地セット** ボタンをタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。カーソルを目的地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**目的地セット** ボタンをタッチする。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

「スクロールの微調整をする」
65ページ



設定メニューの **周辺検索** ボタンをタッチして目的地を探すこともできます。

（ 101ページ手順 4 から参考にしてください。）

：ルート編集画面に戻ります。

出発地と目的地の間に追加する場合

経路地の追加

① 追加する場所の **追加** ボタンをタッチする。

：経路地を探す方法画面が表示されます。



ルートを変更する(3)

- ② 表示されたメニューの中から、経由地の地図を探す方法を選択してタッチする。
( 129ページ)



- ③ 経由地を登録する。

- 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合
経由地セット ボタンをタッチする。
- 表示された経由地で良い場合
設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **経由地セット** ボタンをタッチする。
- 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合
×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。カーソルを経由地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**経由地セット** ボタンをタッチする。



設定メニューの **周辺検索** ボタンをタッチして経由地を探すこともできます。
( 101ページ手順 4 から参考にしてください。)

：経由地が追加され、ルート編集画面に戻ります。

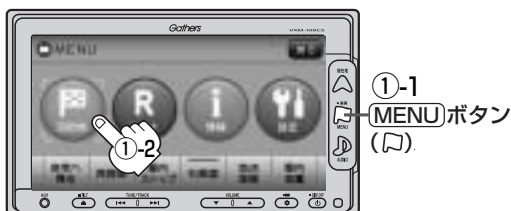
目的地
追加した経由地



- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に動かない場合があります。
- 経由地は5か所まで登録できます。

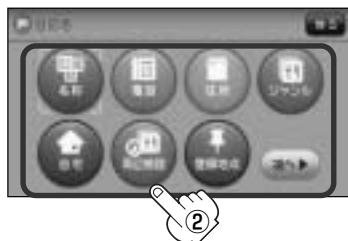
経由地の追加は、ルート案内中に目的地画面からでも追加することができます。

- ① **MENU** ボタン()を押し、
目的地 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



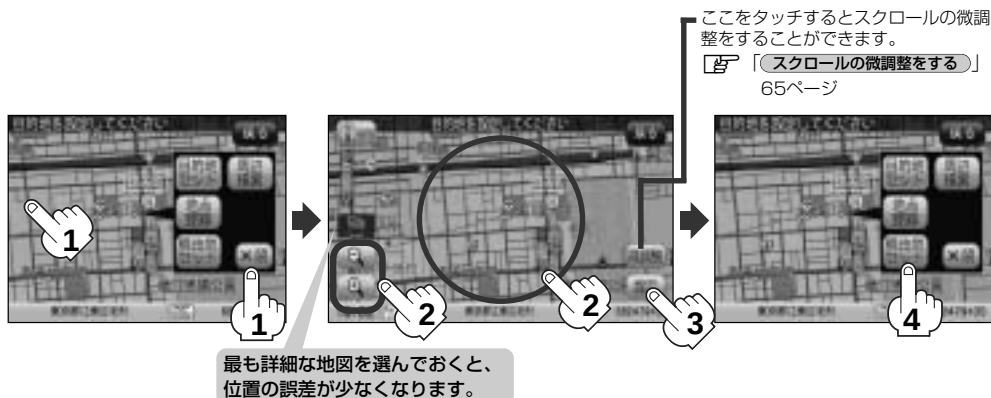
- ② 表示されたメニューの中から検索方法を選択してタッチする。( 129ページ)

※経由地の位置を調整する場合は、地図をスクロールさせて経由地の地図を表示させる。
 「見たい地域を探す」63～65ページ



- ③ 経由地を登録します。

- 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合
経由地セット ボタンをタッチする。
- 表示された経由地で良い場合
設定 ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ **経由地セット** ボタンをタッチする。
- 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合
×閉 ボタンまたは地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを経由地に合わせたら **設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、
経由地セット ボタンをタッチする。



：経由地追加画面が表示されます。

ルートを変更する(4)

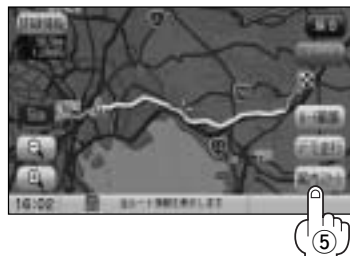
④ **追加** ボタンをタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索終了後、全ルートが表示されます。



⑤ **案内スタート** ボタンをタッチする。

：ルート案内を開始します。



アドバイス

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- 経由地は5か所まで登録できます。
- すでに通過した区間には経由地を登録することはできません。
- 地図画面または **目的地** ボタンから経由地を追加する場合、ルート案内を停止していると **経由地セット** ボタンは表示されません。
- ルート情報画面はなにも操作をしない場合、画面が消えてルート案内を開始します。

経由地の変更／削除

① 変更／削除する経由地をタッチする。

経由地1を選んだ場合



② ■ 変更する場合

変更 ボタンをタッチして、新しい経由地を登録する。

登録のしかたは、**経由地の追加** (135～138ページ)を参考にしてください。



■ 削除する場合

削除 ボタンをタッチする。

：地点を削除するかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** ボタンをタッチすると、地点を削除し、ルート編集画面に戻ります。

※ **変更**／**削除** を中止する場合は、**×閉** ボタンをタッチしてください。



ルート
〔ルートを変更する〕

経由地／目的地など地点の入れ替え

① 入れ替えたい場所の

↺ ボタンをタッチする。

経由地1と目的地を入れ替える場合



アドバイス

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

ルートを変更する(5)

探索条件の変更

- ① 変更する場所の探索条件ボタンをタッチする。
- ② 探索条件(**推奨** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先** ボタン)選択し、タッチする。
※探索条件の変更を中止する場合は、**×閉** ボタンをタッチしてください。

設定できる探索条件

推奨

推奨のルートを探します。

有料優先

高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。

一般優先

国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。

距離優先

走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索します。

道幅優先

なるべく道幅の広いところを優先的に探索します。

経由地1までの探索条件を変更する場合



このボタンをタッチして探索条件の変更をすることもできます。

☞ 227、228ページ
手順 3 を参照



アドバイス

- **距離優先** を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- **距離優先** で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。
また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

4

ルート探索を開始する場合は、**探索開始** または **複数探索** ボタンを選択しタッチする。

■ **探索開始** ボタンを選択した場合

ルート探索が完了し、**案内スタート** ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

■ **複数探索** ボタンを選択した場合

ルート探索が完了すると、5つのルートの選択画面になります。好きなルートを選択し、**案内スタート** ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。



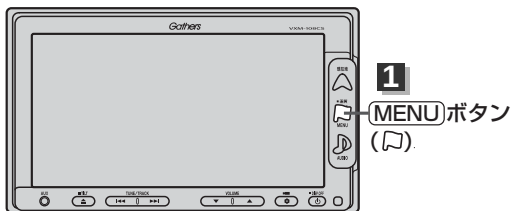
アドバイス

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、**複数探索** ボタンは選択できません。
- 到着予想時刻は走行速度の設定によって異なります。☞ 「平均速度を設定する」 226ページ
- 有料道路を優先しない設定にしている場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。

ルートから外れてしまったら…（再探索）

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索するように初期設定されていますが（ 227～230ページ）、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順（手動）で、現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

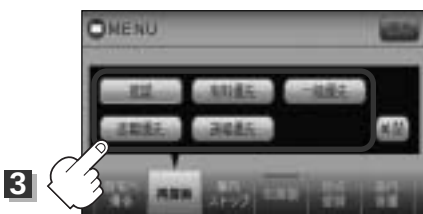
- 1 現在地表示画面で、
MENU ボタン（）を押す。
：メニュー画面が表示されます。



- 2 **再探索** ボタンをタッチする。
：探索条件選択画面が表示されます。



- 3 探索条件（**推奨**／**有料優先**／**一般優先**／**距離優先**／**道幅優先** ボタン）を選択し、タッチする。
：再探索後、ルート案内画面が表示されます。



アドバイス

- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探します。（すでに通過した経由地は除く。）
- 経由地を登録している場合、選択した探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行なってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地（現在地）が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

ルート

〔ルートを変更する〕／〔ルートから外れてしまったら…（再探索）〕

前方の道が通れない…（迂回探索）

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1

MENU ボタン () を押し、

ルート ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

ルート編集 ボタンをタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

2



3

迂回 ボタンをタッチする。

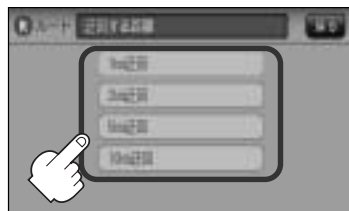
：迂回距離選択画面が表示されます。



4

迂回距離 (**1km迂回** / **2km迂回** /
5km迂回 / **10km迂回** ボタン) を選択し、
タッチする。

4



アドハイス

- 保存ルート呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探します。(すでに通過している経由地は除く。)

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ないときは、音声案内と画面表示を一時的に止めたり、設定したルートの案内を再び開始させることができます。

※一度もルート探索をしていない場合は選択できません。

☞「1ルート探索／複数ルート探索をする」127～132ページを参考にルート探索をしてください。

1

MENU ボタン()を押し、

ルート ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

(MENU) ボタン
()

2

ルート案内のストップ／スタートを選択する。

■ ルート案内を止める場合

案内ストップ ボタンをタッチする。

：ルート案内を停止し、地図画面が表示されます。



■ ルート案内を開始する場合

案内スタート ボタンをタッチする。

：前回ルート探索したルート案内を開始します。



アドハイス

- クイックメニューの **案内ストップ**／**案内スタート** ボタンでも案内をストップ／スタートすることができます。☞「クイック機能について」69、70ページ
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探したり、ルートの変更をしたり、保存ルートと呼び出したりするまでは保存されています。

ルート

（前方の道が通れない…（迂回探索）／（ルート案内をストップ／スタートする）

現在のルートを表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

1

MENU ボタン () を押し、

ルート ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

全ルート表示 ボタンをタッチする。

：全ルート画面が表示されます。



3

見終わったら・・・

現在地 ボタン () を押す。

：現在地の地図画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

現在地から目的地までのおおよその距離
(有料道路をルート案内した場合は合計
料金を表示します。一般道路や一部の有
料道路などで料金不明な場合は「――」
と表示されます。)

出発地から目的地まで
のルート全体が見える
縮尺で表示されます。



3

現在地 ボタン
()

出発地 設定ルート

ルート詳細情報を表示するには

設定したルートの道路の種類や案内区間の距離を確認することができます。

① 144ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、

詳細情報 ボタンをタッチする。

：ルート詳細情報画面が表示されます。



② 見終わったら・・・

現在地 ボタン (△) を押す。

：現在地の地図画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



②

現在地 ボタン
(△)

▲ / ▼ ボタンタッチで
つづきを表示



アドバイス

- 地図表示が3Dビューのときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- ルートの一部が画面内に入りきらない場合があります。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
[P] 「**地図を動かす(地図スクロール)**」 63、64ページ
- 現在のルートに有料道路がある場合は、その目的地までの合計料金も表示されます。
ただし、一部の有料道路等で料金不明な場合は「---円」と表示されます。
[P] 「**料金表示について**」 229ページアドバイス内
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。
- デモ走行(146ページ)、ルート情報(245ページ)、音声案内(82、83ページ) など、ルート案内走行を助ける様々な機能もあります。
- 設定ルートの色(ピンク/緑)を選ぶことができます。
※ どちらを選んだ場合も、有料道路は青色になります。
[P] 「**ルート案内画面の設定を変える**」 244ページ

ルート

(△)現在のルートを表示する

デモ走行をする

設定したルートを表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをデモ走行と呼びます。)ルート情報表示(245ページ)、音声案内(82、83ページ)をすることもでき、出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。

1

MENU ボタン()を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

全ルート表示 ボタンをタッチする。
：全ルートが表示されます。



3

デモ走行 ボタンをタッチする。
：デモ走行が開始されます。



4

デモ走行を終わるには・・・
デモ走行中止 ボタンをタッチする。



アドバイス

- デモ走行時、交差点拡大をしない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／現在地(自車)マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- 細街路の音声案内はデモ走行時のみとなります。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(軌跡の表示はしません)
- デモ走行中に **×閉** ボタンをタッチすると、JCT、交差点拡大表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀開** ボタンをタッチしてください。
- 上記手順 **3** で **詳細情報** ボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
[] 「**ルート詳細情報を表示するには**」145ページ
- MENU** ボタン()を押して、デモ走行を終ることもできます。

経由地をスキップする

ルート案内時、経由地を設定している場合、検索した経由地に立ち寄る必要がなくなったときなど、経由地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

※この機能は経由地を設定している場合に選択できます。

1

- MENU** ボタン () を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



2

- 経由地スキップ** ボタンをタッチする。
：経由地を通過済みにしていいかどうかのメッセージが表示されます。



3

- はい** ボタンをタッチする。
：ルートが再探索され、ルート案内画面に戻ります。
※経由地を通過済みにしない場合は、**いいえ** ボタンをタッチすると、サブメニュー画面に戻ります。



アドバイス

経由地のスキップは、次の経由地がスキップ（通過済み）されます。

ルート

〔デモ走行をする〕／〔経由地をスキップする〕

現在のルートを保存する

設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。保存したルート(登録ルート)は、再び呼び出すことができます。📄「登録ルート」150、151ページ

1

MENU ボタン(☰)を押し、

ルート ボタンをタッチする。

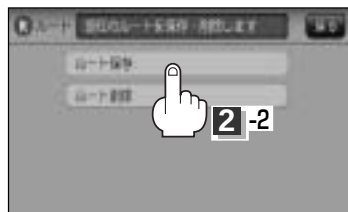
：サブメニュー画面が表示されます。



2

ルート管理 ボタンをタッチし、**ルート保存** ボタンをタッチする。

：“このルートを保存しました。”と表示されます。



3

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
サブメニュー画面に戻ります。



3

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

- ルート設定後、次のルートを探索したり、ルートの変更後再探索をしたり、保存ルートを読み出したりすると、そのルートは、自動的に消去されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 上記手順 **2** で、すでに設定したルートの地点と探索条件が20件保存されている場合は、“登録可能件数を超過しました。不要な登録内容を削除してください。”と表示されます。**ルート** の **ルート管理** ボタンを選択し、不要な登録内容を削除してください。
📄「保存したルートの削除」151ページ

現在のルートを削除する

1

MENU ボタン()を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

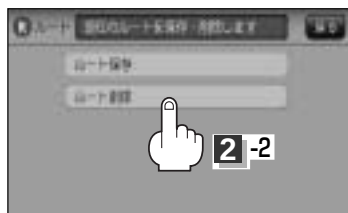
MENU ボタン
()

2

ルート管理 ボタンをタッチし、**ルート削除** ボタンをタッチする。

：現在のルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとルートを削除し、サブメニュー画面に戻ります。

※ルート削除しない場合は、**いいえ** ボタンをタッチしてください。



3

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン()を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
サブメニュー画面に戻ります。



3

現在地 ボタン
()



アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

ルート

〔現在のルートを保存する〕／〔現在のルートを削除する〕

登録ルート（保存したルートの呼び出し）

保存したルート呼び出して、ルート探索をすることができます。

※現在ルートを表示している場合は、そのルートは削除され、この呼び出したルートが表示されます。

あらかじめルートを保存しておきます。☞ 「現在のルートを保存する」 148ページ

1

MENU ボタン()を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

登録ルート ボタンをタッチする。
：登録ルートリスト画面が表示されます。



2

3

呼び出したいルートをタッチする。

■すでに現在のルートがある場合

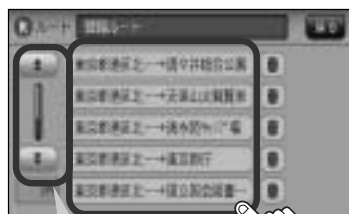
現在のルート削除していいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとルート探索を開始し、探索後 **案内スタート** ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

■ルートがない場合

ルート探索を開始します。

：ルート探索後、全ルートが表示され、
案内スタート ボタンをタッチするとルート案内を開始します。

※保存したときの探索条件でルート探索されます。



↑ / ↓ ボタンタッチで
つづきを表示

3

(保存したルート of 削除)

保存したルートを削除することができます。

あらかじめルートを保存しておきます。☞「現在のルートを保存する」148ページ

1

MENU ボタン(☐)を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



2

登録ルート ボタンをタッチする。
：登録ルートリスト画面が表示されます。



3

削除したいルートの **☒** ボタンをタッチする。
：登録ルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチします。
登録ルートリスト画面に戻ります。

※登録ルートを削除しない場合は、**いいえ** ボタンをタッチしてください。

↑ / ↓ ボタンタッチでつづきを表示



4

設定を終わったら…
現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。
※ **戻る** ボタンをタッチすると、
サブメニュー画面に戻ります。



現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

ルート

(登録ルート(保存したルートの呼び出し) / (保存したルートの削除))

渋滞予測ルート探索をする(1)

本機に収録されている過去の渋滞統計データをもとに、設定したルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をすることができます。表示された参考ルートの中から出発時刻(“現在時刻” “指定日時” “30分後” “1時間後” “予測なし”)によって、所要時間やルートの違いを確認することができます。

1

MENU ボタン()を押し、
ルート ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

渋滞予測回避 ボタンをタッチする。
：予測回避選択画面が表示されます。



3

設定したい項目(**現在時刻探索** / **日時指定探索** ボタン)をタッチする。



■ 現在時刻探索 ボタンを選択した場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

① **現在時刻** / **30分後** / **1時間後** / **予測なし** / **カレンダー** ボタンをタッチしてルートを確認する。

現在時刻 ……出発時刻を現在の時刻で設定する。
30分後 ……出発時刻を現時刻の30分後で設定する。
1時間後 ……出発時刻を現時刻の1時間後で設定する。
予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

カレンダー ……出発日時をお好みに設定できる。
※設定の仕方は153ページ手順①～④をご覧ください。

(例) ルート確認画面



このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。

 「**ルートの詳細情報を表示するには**」
145ページ

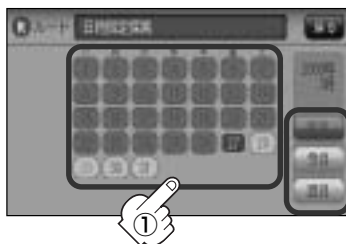
目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「---円」と表示されます。)

■ **日時指定探索** ボタンを選択した場合

：日時指定画面が表示されます。

① **日付を選択し、タッチする。**

：時刻指定画面が表示されます。



ここをタッチするとカレンダー送りができます。
(今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。
前月 ボタンは暗くなります。)

② **数字をタッチして時間を入力する。**

※時間は24時間制の15分単位で入力します。

③ **探索** ボタンをタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

④ **指定日時** / **30分後** / **1時間後** / **予測なし** ボタンをタッチしてルートを確認する。

指定日時 ……日時指定探索で設定した出発時刻とする。

30分後 ……日時指定探索で設定した出発時刻の30分後を出発時刻とする。

1時間後 ……日時指定探索で設定した出発時刻の1時間後を出発時刻とする。

予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

※ **詳細情報** ボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。

📄 「**ルート詳細情報を表示するには**」 145ページ

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻
(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、
一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は
「――円」と表示されます。)

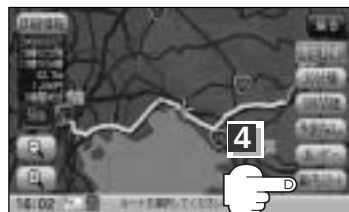


※ **カレンダー** ボタンをタッチすると、上記手順①からの操作となります。

4

案内スタート ボタンをタッチする。

：ルート案内を開始します。



渋滞予測ルート探索をする(2)



アドバイス

- 到着予想時刻は指定した時刻によって異なります。
- 日時指定画面と時刻指定画面で過去の日付けと時間を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
【】「見たい地域を探す」63～65ページ
- 過去の渋滞状況をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 出発地と目的地との距離が長い、または経由地を多く登録している場合は、ルート探索に時間がかかります。

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

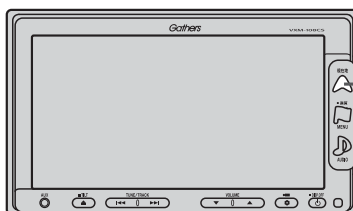
1 現在地表示画面でVICSタイムスタンプ(ボタン)をタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。



2 見終わったら…

現在地 ボタン(△)を押す、
または戻る ボタンをタッチ
すると、現在地の地図に戻る。



アドバース

- ルート上に渋滞／規制がない場合／情報が取得できない場合、VICSタイムスタンプ( ボタン)をタッチしても表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方10km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- ルート案内を停止している場合、VICSタイムスタンプ( ボタン)は選択できません。
また、FM多重の番組設定を “一般情報番組を受信します” に設定している場合も選択できません。
(一般情報スタンプ(“FM一般”)表示時)
[P] 「ルート案内をストップ／スタートする」143ページ
[P] 「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」170、171ページ

SDカードからルート探索をする(1)

パソコンを使用してSDカードに保存したルートを本機で再探索することができます。

☞ 「パソコン連携 (いつもNAVI)」 52ページ

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

☞ 「SDモードを終了する」 388ページ

1

TILT ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイ部が開きます。



1 **TILT** ボタン(▲)

2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

☞ 「SDカードを入れる／取り出すには」 48ページをご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

3

MENU ボタン(□)を押し、
ルート ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



3-1

MENU ボタン
(□).

4

SDルート ボタンをタッチする。

：SDカードに保存したルートのファイル画面が表示されます。

※SDカード内に保存したルートが1つの場合は、
手順 **6** (157ページ)へ進んでください。



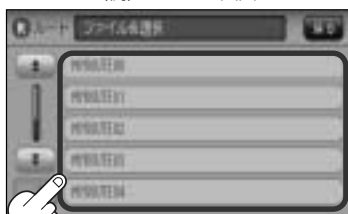
4

5

確認したいルートが保存されている
ファイルをタッチする。

：SDカード内に保存したルートのリストが
表示されます。

(例) ファイル画面



5

6

リストから呼び出したいルートタッチする。

リスト画面(例)

■ すでに現在のルートがある場合

: 現在のルート削除していいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとルート編集画面を表示します。

■ ルートがない場合

: 下記手順 **7** へ進んでください。



7

探索開始 / **複数探索** ボタンを選択し、タッチする。



追加 ボタン

追加 ボタンをタッチして、経由地を追加／変更／削除することができます。

☞ 135～139ページ

探索条件 ボタン

探索条件を変更する場合に選択します。

☞ 140ページ

: ルート探索を開始します。

ルート探索が完了すると全ルートが表示され、**案内スタート** ボタンをタッチするとルート案内を開始します。

※ 経由地がある場合は **複数探索** ボタンは選択できません。

※ **複数探索** を行った場合は ☞ 132ページ手順 **4**、**5** をご覧ください。

SDカードからルート探索をする(2)



アドバイス

- 手順 **7** (157ページ)でルート探索をする場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行うため、パソコン(指定Webサイト：いつもNAVI)上でのルート探索結果と異なります。
[🔍]「ルート探索条件の設定をする」227～230ページ
- 手順 **7** (157ページ)でルート探索をする場合、指定のWebサイトで出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(指定のWebサイトで指定した出発地にはなりません)
- 到着予想時刻は走行速度によって異なります。[🔍]「平均速度を設定する」226ページ
- いつもNAVIからダウンロードしたデータ(リスト)はSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。
SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内にデータ(リスト)を入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内にデータ(リスト)がない場合は、手順 **4** (156ページ)でSDカードを挿入またはSDカードにルートの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されているかを確認／DRIVEフォルダ内にデータ(リスト)があることを確認してください。
- いつもNAVIから地点を保存したデータは[🔍]「SDカードで地点を探す」119～121ページをご覧ください。
- 探索したルートは本機に保存することができます。(最大20件)
[🔍]「現在のルートを保存する」148ページ
- SDルートから探索した場合、目的地や履歴は残りません。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

交通情報(VICS情報)／	
一般情報の受信について	160
交通情報(VICS情報)について	161～165
VICS情報の更新に伴う表示変更について	162
交通情報(VICS情報)とは	163
表示について	163、164
マーカー一覧表	165
VICS放送局	165
一般情報について	166、167
一般情報とは	166
表示について	166
一般情報の内容(番組)について	166
一般情報放送局	167
操作の前に	168
VICSの項目一覧	168
操作画面について	168
交通情報／一般情報を表示するには	169
操作の流れ	169
情報の消去について	169
受信する情報(交通情報／一般情報)を	
選ぶには	170、171
交通情報(文字情報)／一般情報を	
見るには	172、173
交通情報(図形情報)を見るには	174、175
緊急情報を見るには	176、177
緊急情報について	177
選局するには	178～183
自動選局	178、179
自動選局を止めるには	179
手動選局	180、181

エリア選局	182、183
放送局をプリセット(保存)	
するには	184～186
プリセットした放送局を	
呼び出すには	184、185
プリセットした放送局に上書きするには	186
エコドライブ情報を設定する	187～193
評価履歴を見る	190
評価履歴を削除するには	191
グラフ表示で見る	192
軌跡を使う	194～198
軌跡の記録を止めるには	195
軌跡を表示するには	195
軌跡の表示を止めるには	196
記録した軌跡を確認するには	197
軌跡を削除するには	198
自宅を登録する	199
登録地点の編集／見る	200～206
登録地点の並び替えをする	207～209
登録地点の地図を呼び出す	210～212
登録地点を削除する	213～215
フォルダ名を編集する	216、217
SDカードから地点を登録する	218～220
ETC情報を見るには	221、222
QQコールを利用する	223
QQコールとは	223
QQコールを利用するまでの流れ	223
QQコールを表示する	224

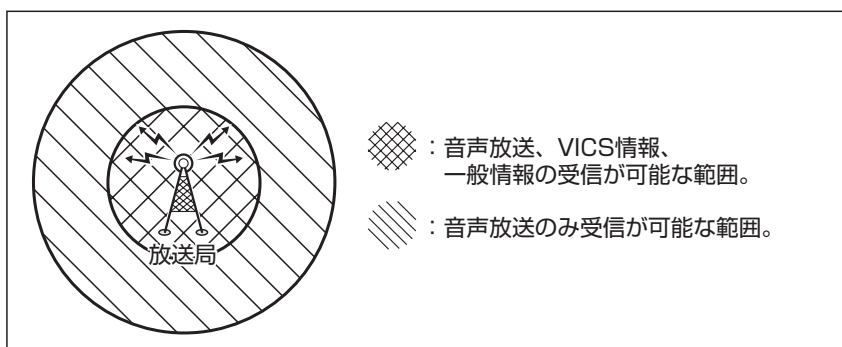
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について

- 電波が強くなければ、これらの情報は受信できません。

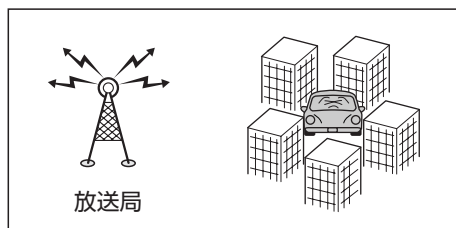
したがって、受信できるエリアも、音声放送に比べ、かなり狭い範囲に限られます。

解説

VICS情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FMラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。デジタルデータは、正確に受信するため、電波が強い場所でなければ、受信できません。したがって、お手持ちのラジオで、FMラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくるVICS情報、一般情報は受信できない場合があります。VICS情報、一般情報が受信できるエリアの目安は、音声放送が受信できる限界の距離の約半分の距離です。



- 放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。

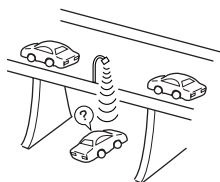


- すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではありません。情報を放送している放送局については、**VICS放送局**（165ページ）／**一般情報放送局**（167ページ）をご覧ください。

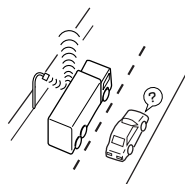
交通情報(VICS情報)について(1)

＜一般道路走行中には＞

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

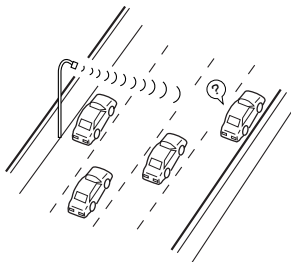


- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがある場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。



＜高速道路走行中には＞

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがある場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時には、VICS情報を受信しにくいことがあります。



交通情報(VICS情報)について(2)

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。

本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。



表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、「VICSの概要」482、483ページをご覧ください。

交通情報(VICS情報)とは

FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1～レベル3)を放送している局*があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”と呼んでいます。

*本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。

☞「VICSの概要」482、483ページ

表示について

交通情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

レベル1(文字)表示

(例)



ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

表示中の情報が交通情報であることを示します。

受信中の周波数

本文

1ページは、ヘッダー文(1行)と本文(全角：15文字×2行の30文字まで。
半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。

レベル2(簡易図形)表示

(例1)



ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

渋滞情報

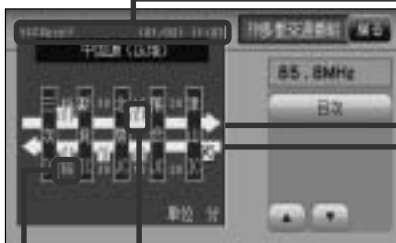
赤色：渋滞

橙色：混雑

※渋滞方向を矢印で表示します。

交通情報(VICS情報)について(3)

(例2)



ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します

高速・有料道路がこの先もつづくことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

渋滞情報

矢印方向の渋滞状況を示します。赤色：渋滞 橙色：混雑

VICS情報マーク

📍「マーカー一覧」 165ページ

矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)

この例の場合は、新見IC から三次ICまで、約55分かかることを示しています。



渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。

レベル3(地図)表示

(例1)



VICSタイムスタンプ

交通情報の提供時刻を表示します。

※表示可能なレベル3情報がない時は“—：—”を表示します。

※一般情報を受信する設定になっている場合は、表示されません。

渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑

緑色：渋滞なし 黄色：規制

※渋滞の方向を矢印で表示します。

←：交通情報

VICS情報マーク

📍「マーカー一覧」 165ページ

(例2)



地図をスクロールさせてVICS情報マークにカーソル(→)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。

VICS情報マーク

📍「マーカー一覧」 165ページ



- 縮尺によってはレベル3表示できない場合があります。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されている時(“—：—”表示ではない時)に、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

マーク一覧表

交通情報によっては、下記のマークが表示されます。

事 故 	凍 結 	チェーン規制 	駐車場(混雑) 	入り口制限 	速度規制 40km/h 	速度規制 80km/h
故 障 車 	作 業 	進入禁止 	駐車場(不明) 	速度規制 10km/h 	速度規制 50km/h 	
路上障害 	通行止め/閉鎖 	駐車場(空) 	入り口閉鎖 	速度規制 20km/h 	速度規制 60km/h 	
工 事 	片側交互通行 	駐車場(満) 	大型通行止め 	速度規制 30km/h 	速度規制 70km/h 	

VICS放送局

平成22年4月1日現在、開局されている放送局は次のとおりです。

VICS旭川(85.8MHz)、VICS札幌(85.2MHz)、VICS函館(87.0MHz)、VICS北見(86.0MHz)、
VICS仙台(82.5MHz)、VICS福島(85.3MHz)、VICS前橋(81.6MHz)、VICSさいたま(85.1MHz)、
VICS宇都宮(80.3MHz)、VICS水戸(83.2MHz)、VICS東京(82.5MHz)、VICS千葉(80.7MHz)、
VICS横浜(81.9MHz)、VICS長野(84.0MHz)、VICS新潟(82.3MHz)、VICS甲府(85.6MHz)、
VICS静岡(88.8MHz)、VICS金沢(82.2MHz)、VICS名古屋(82.5MHz)、VICS岐阜(83.6MHz)、
VICS津(81.8MHz)、VICS大津(84.0MHz)、VICS奈良(87.4MHz)、VICS京都(82.8MHz)、
VICS大阪(88.1MHz)、VICS和歌山(84.7MHz)、VICS神戸(86.5MHz)、VICS岡山(88.7MHz)、
VICS広島(88.3MHz)、VICS山口(85.3MHz)、VICS高松(86.0MHz)、VICS松山(87.7MHz)、
VICS徳島(83.4MHz)、VICS福岡(84.8MHz)、VICS大分(88.9MHz)、VICS熊本(85.4MHz)、
VICS宮崎(86.2MHz)、VICS高知(87.5MHz)、VICS佐賀(81.6MHz)、VICS長崎(84.5MHz)、
VICS鹿児島(85.6MHz)、VICS沖縄(88.1MHz)、VICS福井(83.4MHz)、VICS富山(81.5MHz)、
VICS山形(82.1MHz)、VICS秋田(86.7MHz)、VICS青森(86.0MHz)、VICS松江(84.5MHz)、
VICS鳥取(85.8MHz)、VICS盛岡(83.1MHz)、VICS釧路(88.5MHz)

※交通情報は、NHK-FM放送局の電波の一部を使用して放送されています。

上記の周波数は親局のものです。これら親局の中継局でも、交通情報を受信できます。



アドバイス

- VICSのサービスエリア外の地域やトンネルの中など電波の届きにくい場所、電波状況の悪い場合などは、交通情報の受信が困難になったり、情報がそろわないに時間がかかることがあります。
- VICS放送局の情報提供時間は、24時間です。ただし、メンテナンスのため、午前1時～午前5時までは放送を休止する場合がありますので、この間は、交通情報は受信できません。

一般情報について

一般情報とは

FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*があります。本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。

*本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。

表示について

(目次画面の例)



ヘッダー文

放送局名、番組名、ページなどを表示します。

表示中の情報が一般情報であることを示します。

受信中の周波数

本文

1ページは、ヘッダー文(1行)と本文(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

一般情報の内容(番組)について

1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。(「」**表示について**」上記) 番組は大きく次の2つに分けられます。

●連動情報番組(番組情報チャンネル)

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。

●独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテインメントチャンネルなど)

FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行なう場合もあります。

※番組の名称、数、内容等は、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

一般情報放送局

一般情報放送局(民放FM放送局)には、JFN系列/JFL系列/独立局などがあります。

一般情報番号を受信する設定にしている場合は、現在地周辺の最新エリアの情報局を受信します。



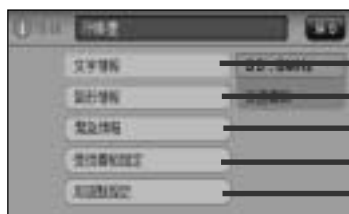
アドバース

- 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信することはできません。
- 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
- 一般情報は、親局の中継局でも受信できます。

操作の前に

VICSの項目一覧

MENU ボタン () を押し、 **情報** → **FM多重** ボタンをタッチして操作します。



交通情報(文字情報)または一般情報を表示します。
(レベル1)  172、173ページ

交通情報(図形情報)を表示します。(レベル2)

 174、175ページ

※この項目は、**受信番組設定** を
“**一般情報番組を受信します**” に設定してい
る場合は暗くなります。

受信済みの緊急情報を表示します。(レベル1)

 176、177ページ

受信する情報(交通情報／一般情報)の選択をする
ためのメニューです。

 170、171ページ

周波数を設定するためのメニューです。

 178～183ページ

操作画面について

次のような画面が表示された場合は、番号を選んで、タッチしてください。

(例)

2ページ以上ページがある場合は…

 : 画面送り

 : 画面戻し

戻る : 1つ前の選択画面に戻る。

※緊急情報表示画面や、目次画面の場合は、
メニュー画面に戻ります。(ただし、現在地
表示から緊急情報表示画面になったときは、
現在地表示に戻ります。)

目次 : 目次画面に戻る。

※暗い項目は、選択できません。



情報を見たい番号を選んでください。

交通情報／一般情報を表示するには

本機では、FM多重放送を使って提供される交通情報(VICS)と一般情報(各放送局が独自に製作して放送している文字情報)を表示することができます。

操作の流れ

1 受信番組設定 を下記のように設定しておく。

交通情報を表示する場合 “**交通情報番組(VICS)を受信します**” ボタンをタッチする。

一般情報を表示する場合 “**一般情報番組を受信します**” ボタンをタッチする。

 「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」 170、171ページ

2 手順1で選んだ情報を放送している放送局を受信する。

 「選局するには」 178～183ページ



よく使う放送局は、プリセット(保存)しておくと便利です。

 「放送局をプリセット(保存)するには」 184～186ページ

3 見たい情報を表示させる。

交通情報を表示する場合

 「交通情報(文字情報)／一般情報を見るには」 172、173ページ

「交通情報(図形情報)を見るには」 174、175ページ

「緊急情報を見るには」 176、177ページ

「VICS表示の設定をする」 265、266ページ

一般情報を表示する場合

 「交通情報(文字情報)／一般情報を見るには」 172、173ページ

「緊急情報を見るには」 176、177ページ

情報の消去について

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり、受信周波数が変わったり、変えたりした場合に受信した情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間を経過した。(交通情報の場合)
- 受信する情報(交通情報／一般情報)を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。(たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。)

受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには

受信番組設定 で **交通情報番組(VICS)を受信します** をタッチすると、交通情報を受信する設定になります。また、**一般情報番組を受信します** をタッチすると一般情報を受信する設定になります。

例 一般情報を受信する場合

1

MENU ボタン(□)を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

(MENU)ボタン
(□)

2

FM多重 ボタンをタッチし、**受信番組設定** ボタンをタッチする。

：受信番組設定画面が表示されます。



2-1

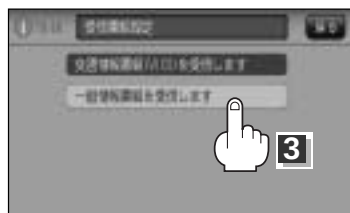


2-2

3

一般情報番組を受信します ボタンをタッチ
する。

：一般情報を受信する設定になります。



3

4

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチする／

現在地 ボタン(△)／**MENU** ボタン(□)を押す。

※設定を保存し、それぞれの画面に戻ります。



4

現在地ボタン
(△)
(MENU)ボタン
(□)



アドバイス

- “**交通情報番組(VICS)を受信します**” に設定しているときは、VICSタイムスタンプに、交通情報提供時刻を表示します。
- “**一般情報番組を受信します**” に設定しているときは、VICSタイムスタンプが、一般情報スタンプ (“FM一般”) の表示に変わります。
- “**交通情報番組(VICS)を受信します**” に設定しているときは、一般情報を放送している放送局を受信しても、一般情報は受信しません。同様に “**一般情報番組を受信します**” に設定しているときは、VICS放送局 (交通情報を放送している放送局) を放送している放送局を受信しても、交通情報は受信しません。
- “**交通情報番組(VICS)を受信します**”、“**一般情報番組を受信します**” に設定しただけでは、各情報を表示することはできません。☞ 「交通情報／一般情報を表示するには」 169ページ

交通情報(文字情報)／一般情報を見るには

1

■ 交通情報(文字情報)を見る場合

受信番組設定 を “ **交通情報番組(VICS)を受信します** ” に設定し、VICS放送局 ( 165ページ) を受信する。

■ 一般情報を見る場合

受信番組設定 を “ **一般情報番組を受信します** ” に設定し、一般情報放送局 ( 167ページ) を受信する。

 「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」 170、171ページ

 「選局するには」 178～183ページ

2

MENU ボタン () を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2-1

(MENU) ボタン
()

2-2

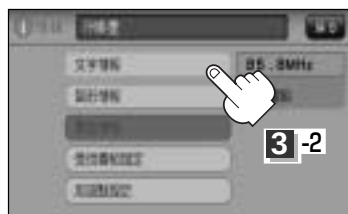
3

FM多重 ボタンをタッチし、**文字情報** ボタンをタッチする。

：FM多重の目次画面が表示されます。



3-1



3-2

4

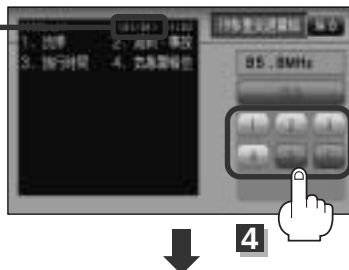
見たい情報の番号を、タッチする。

選択画面が続く場合は、▼ボタンをタッチして“見たい情報の番号を、タッチする。”を繰り返してください。

2ページ以上ある場合は、画面を送って、見たい情報のある画面を表示してください。

※ページ数が表示されない番組もあります。

(例) 交通情報(文字情報)の目次画面
(“4. 気象警報他”を見る場合)



目次に戻るとき、タッチします。

※一般情報の場合、目次データが受信できていない場合は“情報の受信中です。”と表示します。目次データが受信できると、目次画面を表示します。



▲ ボタン：前画面に戻る場合にタッチします。(画面戻し)

▼ ボタン：次画面に進む場合にタッチします。(画面送り)

一般情報の場合、放送局がページ送りをする番組もあります。

※情報表示中に新しい情報を受信したら・・・

：自動的に情報を書きかえます。

5

情報表示を止めるには・・・

戻る ボタンをタッチする／

現在地 ボタン(△)／

MENU (□) ボタンを押す。



5

現在地 ボタン

(△)

MENU ボタン

(□)



アドハイス

一般情報の場合、手順 1 ～ 3 (172ページ) の操作をした後、目次画面ではなく、連動情報番組 (166ページ) が表示されることがあります。目次データは受信できないが、連動情報番組データを受信できた場合に表示されます。他の番組を見たい場合は、しばらく待って、目次 ボタンをタッチしてみてください。

交通情報(図形情報)を見るには

1

受信番組設定 を “ **交通情報番組(VICS)を受信します** ” に設定し、VICS放送局 (**☞** 165ページ) を受信する。

☞ 「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」 170、171ページ

☞ 「選局するには」 178～183ページ

2

MENU ボタン (**□**) を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



3

FM多重 ボタンをタッチし、**図形情報** ボタンをタッチする。

：FM多重情報画面が表示されます。

3-1



3-2

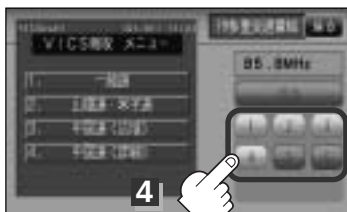


4

見たい情報の番号をタッチする。

選択画面が続く場合は、“見たい情報の番号を、タッチする”を繰り返してください。

(例) 図形情報の目次画面



※ 情報表示中に新しい情報を受信したら・・・：自動的に情報を書きかえます。

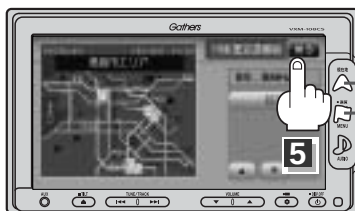
5

情報表示を止めるには・・・

戻る ボタンをタッチする／

現在地 ボタン(△)／

MENU ボタン(□)を押す。



5

現在地 ボタン
(△)

MENU ボタン
(□)



アドバイス

図形情報 は、**受信番組設定** を、“**一般情報番組を受信します**” に設定している場合は暗くなり選択できません。

情報

〔図形情報を見る〕

緊急情報を見るには

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。

1

■ 交通情報(文字情報)を見る場合

受信番組設定 を “ **交通情報番組(VICS)を受信します** ” に設定し、VICS放送局 (**165ページ**) を受信する。

■ 一般情報を見る場合

受信番組設定 を “ **一般情報番組を受信します** ” に設定し、一般情報放送局 (**167ページ**) を受信する。

165 「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」 170、171ページ

167 「選局するには」 178～183ページ

2

MENU ボタン(**165**)を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2-1

MENU ボタン
(**165**)

2-2

3

FM多重 ボタンをタッチし、**緊急情報** ボタンをタッチする。

※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。



3-1



3-2

※情報表示中に新しい情報を受信したら・・・：自動的に情報を書きかえます。

4

情報表示を止めるには・・・

戻る ボタンをタッチ／**現在地** ボタン(**165**)／**MENU** ボタン(**165**)を押す。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地表示時に受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
※約15秒後には、緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、**戻る** ボタンをタッチして、現在地表示に戻すこともできます。
- 交通情報（文字情報／図形情報）表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、**戻る** ボタンをタッチすると、メニューに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには、176ページにしたがって、FM多重の**緊急情報** ボタンをタッチしてください。



アドハイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えません。176ページにしたがって、**緊急情報** ボタンをタッチすると、表示されます。

※情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。

「**情報の消去について**」169ページ

- 交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。
- 緊急情報表示を止める場合は、**現在地** ボタン (△) または **MENU** ボタン (□) を押すか **戻る** ボタンをタッチしてください。

選局するには(1)

交通情報を見るには、VICS放送局(「」165ページ)を受信してください。

また、一般情報を見るには、一般情報放送局(「」167ページ)を受信してください。選局には、

自動選局、**手動選局**、**エリア選局** の3つの方法があります。

「」自動選局178、179ページ／手動選局180、181ページ／エリア選局182、183ページ



受信した放送局をプリセット(保存)しておくと、後で呼び出すことができます。

「」「放送局をプリセット(保存)するには」184～186ページ

自動選局

…… 周波数設定画面で **自動選局** ボタンをタッチして表示灯を点灯させると、自動選局をはじめ、放送局*を受信すると止まります。この後、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数に切り替わるので、引き続き、情報を受信することができます。

*: **受信番組設定** を “ **交通情報番組(VICS)を受信します** ” に設定している場合は、VICS放送局を受信します。また、 “ **一般情報番組を受信します** ” に設定している場合は、一般情報放送局を受信します。

1

MENU ボタン()を押し、
情報 ボタンをタッチする。

: サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

1-2

2

FM多重 ボタンをタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。

: 周波数設定画面が表示されます。



2-1



2-2

3

自動選局 ボタンをタッチする。

：表示灯が点灯します。

周波数設定画面

手動選局機能が働いていることを示します。

自動選局機能が働いていることを示します。

受信中の放送局名と周波数

サーチ完了

サーチ中

自動選局表示に変わった。

選択時表示灯点灯

4

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ／**現在地** ボタン(△)／**MENU** (□) ボタンを押す。

4

現在地 ボタン(△)**MENU** ボタン(□)

情報

〔選局するには〕



放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局(180、181ページ)またはエリア選局(182、183ページ)を試してみてください。

自動選局を止めるには・・・

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り替わります。自動選局を止める(周波数が自動的に切り替わるのを止める)場合は、**自動選局** ボタンをタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に替えてください。

選局するには(2)

手動選局

…… 周波数設定画面で、ご自分の好きな周波数に合わせることができます。

1

MENU ボタン() を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

1-2

2

FM多重 ボタンをタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2-1



2-2

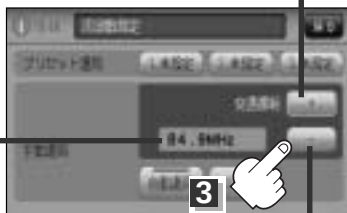


3

+ / **-** ボタンをタッチし、
受信したい周波数を表示させる。

+ ボタンをタッチすると、0.1MHzアップ、
長めにタッチすると始めは0.1MHzアップし、
その後1MHzずつアップする。

ここに受信したい周波数
を表示させる。



3

- ボタンをタッチすると、0.1MHzダウン、
長めにタッチすると始めは0.1MHzダウン
し、その後1MHzずつダウンする。

4

戻る ボタンをタッチしてみると・・・



手順 **3** (180ページ) で表示させた周波数に変わった。

5

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ／

現在地 ボタン (△)／

MENU (□) ボタンを押す。



5

現在地 ボタン (△)
MENU ボタン (□)



アドバイス

- VICS放送局の周波数については、165ページをご覧ください。
一般情報放送局の周波数については、167ページをご覧ください。
- **受信番組設定** を “**交通情報番組(VICS)を受信します**” に設定しておかないと、VICS放送局に周波数を合わせても、交通情報を受信することはできません。
同様に、“**一般情報番組を受信します**” に設定しておかないと、一般情報放送局に周波数を合わせても、一般情報を受信することはできません。

情報

選局するには

選局するには(3)

エリア選局

…… 周波数設定画面で **エリア選局** ボタンをタッチすると、現在地周辺のFM放送局リストが表示されます。このリストの中から好きな放送局を選択し、タッチするとその周波数を受信します。



アドバイス

- **受信番組設定** で “**交通情報番組(VICS)を受信する**” に設定している場合は、NHK-FM放送局リストが表示されます。また、“**一般情報番組を受信します**” に設定している場合は、民放FM放送局リストが表示されます。
- 表示されるリストには、交通情報／一般情報を放送していないFM放送局も含まれています。リストの中から、交通情報／一般情報を放送している放送局を選んでください。
[P] 「**VICS放送局**」 165ページ、「**一般情報放送局**」 167ページ
- リスト選局をすると、周波数とともに、放送局名も表示します。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。[P] 「**手動選局**」 180、181ページ

1

MENU ボタン()を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

(MENU)ボタン
()

1-2

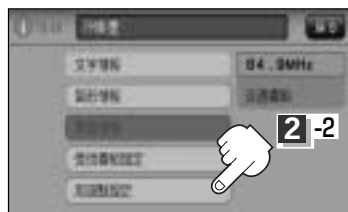
2

FM多重 ボタンをタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。



2-1



2-2

3

エリア選局 ボタンをタッチする。

：FMエリア選局リスト画面が表示されます。

周波数設定画面

受信中の周波数



3

4

受信する放送局を選択して、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト



これを受信する場合



リストで選んだ放送局を受信します。

情報

選局するには

5

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ／

現在地 ボタン(△)／

MENU (□) ボタンを押す。



5

現在地 ボタン

(△)

MENU ボタン

(□)

放送局をプリセット(保存)するには(1)

放送局を3コまでプリセット(保存)できます。

1

プリセットしたい放送局を受信する。
(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)

☞ 「選局するには」 178～183ページ



アドバンス

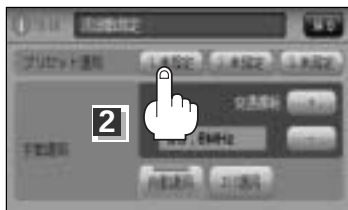
自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。

☞ 「自動選局を止めるには・・・」 179ページ

2

保存する場所(プリセット選局)を選択して、1.5秒以上タッチする。

例 プリセット選局 **1.未設定** ボタンに保存する場合



1.5秒以上タッチする



3

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ／**現在地** ボタン(△)／**MENU** ボタン(□)を押す。



アドバンス

上記手順 **2** で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。☞ 「プリセットした放送局に上書きするには」 186ページ

プリセットした放送局を呼び出すには

1

MENU ボタン(□)を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



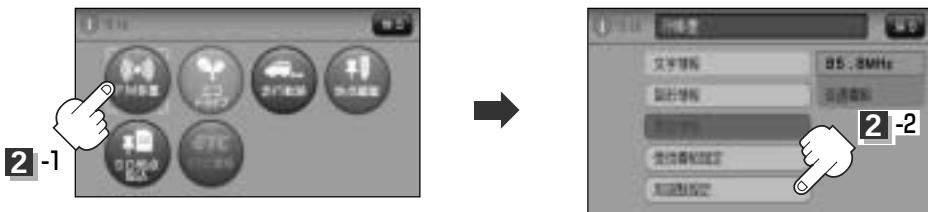
1-1

MENU ボタン
(□)

2

FM多重 ボタンをタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。

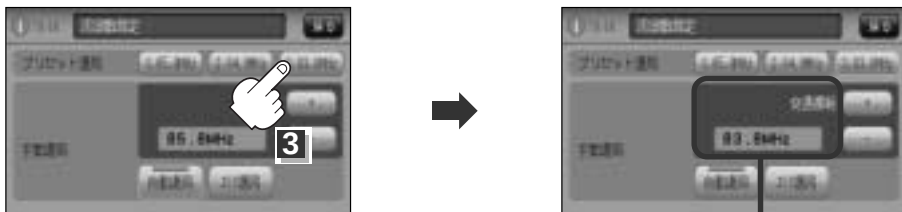
：周波数設定画面が表示されます。



3

呼び出したい周波数(プリセット選局1、2、3)を選択して、タッチする。

例 プリセット選局3を呼び出す場合



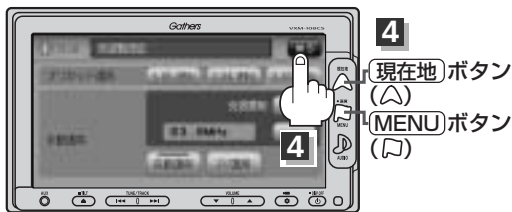
85.8MHzが83.8MHzにかわった

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

4

設定を終わるには・・・

- 戻る** ボタンをタッチ／
- 現在地** ボタン(△)／
- MENU** ボタン(□)を押す。



情報

〔放送局をプリセットする〕



アドハイス

受信番組設定 で “**交通情報番組(VICS)を受信します**” に設定しておかないと、VICS放送局を呼び出ししても、交通情報を受信することはできません。

同様に、“**一般情報番組を受信します**” に設定しておかないと、一般情報放送局を呼び出ししても、一般情報を受信することはできません。

「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」 170、171ページ

放送局をプリセット(保存)するには(2)

プリセットした放送局に上書きするには

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

(MENU) ボタン
()

2

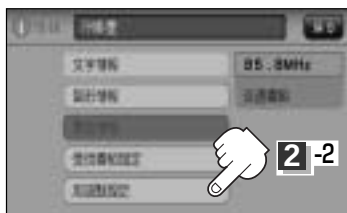
FM多重 ボタンをタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2-1



2-2



3

新しい放送局を呼び出す。

 「選局するには」(178~183ページ)

4

上書きしたい周波数(プリセット選局1、2、3)を選択して、1.5秒以上タッチする。

例 プリセット選局1に上書きする場合



1.5秒以上タッチする



5

設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチ／**現在地** ボタン()／**MENU** ボタン()を押す。

エコドライブ情報を設定する(1)

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(エコドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

エコドライブ ボタンをタッチする。

：エコドライブ情報画面が表示されます。

※ 1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

評価レベル ……初級で評価した場合、  マーク
を表示

急加速 ……急に加速した回数

急減速 ……急に減速した回数

エコ速度 ……規定速度以上で走行した時間
(法定速度とは異なりますので
ご注意ください。)

アイドリング ……車両停車時間 (一定時間以上の
停車をアイドリングとします。)

総合評価 ……総合評価をA～Eの5段階で判定

※この評価は本機独自の評価です。双葉の数が5つの時はA、4つの時はB、3つの時はC、2つの時はD、1つの時はE評価です。双葉の数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。



2

(例) エコドライブ情報画面



メッセージがスクロールされます。



エコドライブ情報画面では

評価履歴を見たり、削除することができます。

 190、191ページ

エコドライブの結果を、グラフにて確認することができます。 192ページ

〔放送局をプリセットする〕

情報

〔エコドライブ情報を設定する〕

エコドライブ情報を設定する(2)

3 エコドライブ評価を中止／開始する。

■ エコドライブ評価を開始する場合

エコドライブ開始 ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の

 マークを表示します。

(例) エコドライブ情報画面



■ エコドライブ評価を止める場合

エコドライブ中止 ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の

 マークが消えます。

(例) エコドライブ情報画面

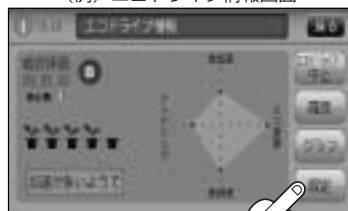


4 エコドライブ情報の設定をする。

① **設定** ボタンをタッチする。

：エコドライブ設定画面が表示されます。

(例) エコドライブ情報画面



② 評価履歴を **残す**／**残さない**、エコドライブ表示を **する**／**しない**、評価レベル **初級**／**上級** を選択し、タッチする。

※評価レベルを変更する場合、評価レベルの変更をしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい**／**いいえ** ボタンを選択しタッチしてください。



- ③ ▲／▼をタッチして、急加減速／エコ速度超過／アイドリングのお知らせを**する**／**しない**を選択しタッチする。

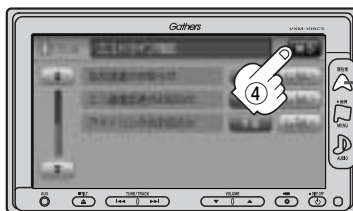
※エコ速度超過のお知らせの**する**ボタンをタッチした場合、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認し**OK**ボタンをタッチしてください。



- ④ 設定が終わったら・・・

現在地ボタン(△)を押す
または**戻る**ボタンをタッチする。

：設定を保存し現在地の地図画面に戻る、または1つ前の画面に戻ります。



④ **現在地**ボタン(△)



アドバイス

- 手順**4**-②(188ページ)でエコドライブ表示を**する**に設定した場合、現在地の地図画面に戻ったとき右画面にエコドライブ情報を表示します。エコドライブ情報の表示を止めたい場合は、エコドライブ表示の**しない**ボタンをタッチしてください。
- 手順**4**-②(188ページ)で評価レベルの**初級**ボタンを選択すると、2画面表示またはエコドライブ情報を表示させたときにマークが表示されます。 193ページ、アドバイス内
- ルート情報表示中はエコドライブ表示を**する**に設定しても右画面にエコドライブ情報は表示されません。
 「**■ ルート情報を表示する／しないを設定する場合**」245ページ

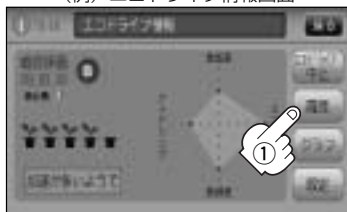
エコドライブ情報を設定する(3)

評価履歴を見る

- ① 187ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、**履歴** ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。

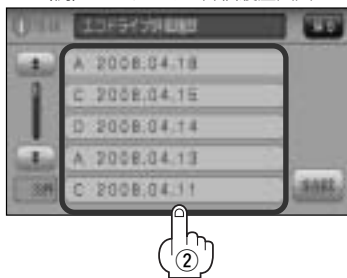
(例) エコドライブ情報画面



- ② リストから見たい日時の履歴を選んでタッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

(例) エコドライブ評価履歴画面



- ③ 見終わったら・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると評価履歴画面に戻ります。

評価履歴を削除するには

- ① 187ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、**履歴** ボタンをタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。

(例) エコドライブ情報画面



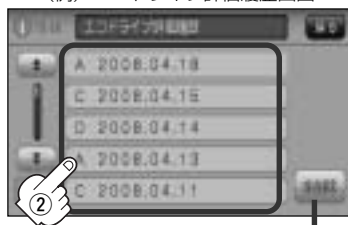
- ② 削除したい履歴を選び、タッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

■ 全履歴を削除したい場合

全削除 ボタンをタッチする。

(例) エコドライブ評価履歴画面



- ③ **削除** ボタンをタッチする。

：選択した評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。

(例) エコドライブ評価履歴の詳細画面



- ④ 設定を終わるには…

現在地 ボタン(△)をタッチすると、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、エコドライブ情報画面に戻ります。

エコドライブ情報を設定する(4)

グラフ表示で見る

- ① 187ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、**グラフ** ボタンをタッチする。

：グラフ画面が表示されます。

評価グラフは最大30件まで表示されます。

(例) エコドライブ情報画面



- ② 見終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと

現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチするとエコドライブ情報画面に戻ります。

(例) エコドライブ評価グラフ





アドバイス

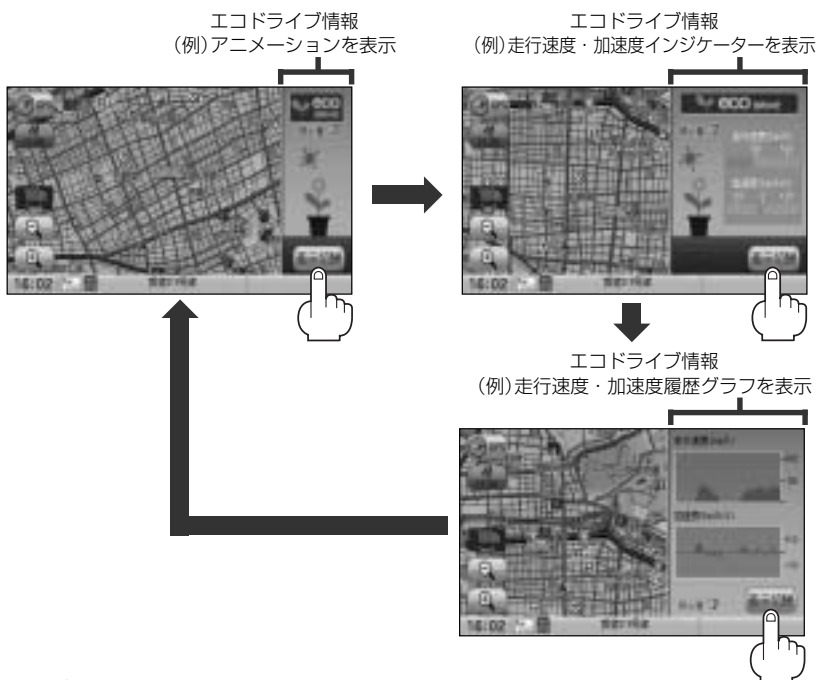
- 188ページ手順 **3** でエコドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。
※エコドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。



- 右画面にエコドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケータまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたエコドライブ情報は、**表示切替** ボタンをタッチして、表示の切替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大などを優先して表示します。

☞ 「2画面表示にする」 79～81ページ

☞ 「右画面地図表示の内容を設定する」 233、234ページ



- エコドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。
- アニメーション、走行速度・加速度インジケータの場合、現在の走行状態によって花の咲き方が変わります。(花の色がピンク色=優良、花の色が黄色=注意、花の色が灰色=要注意)。
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- エコドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

軌跡を使う(1)

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1

MENU ボタン()を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

走行軌跡 ボタンをタッチする。

：走行軌跡の設定画面が表示されます。



3

スタート ボタンをタッチする。

：軌跡の記録を開始します。



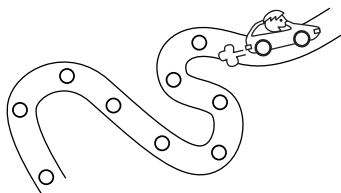
軌跡の記録を開始すると・・・

現在地(自車)マークが移動すると、軌跡があらわれます。
また、それら軌跡の登録も開始します。



アドバイス

- 軌跡は、約500kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再び軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行ないません。

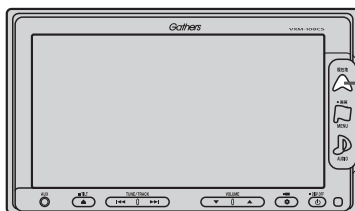


4

設定を終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)

軌跡の記録を止めるには

- ① 手順 **1**、**2** (194ページ)にしたがって操作し、
ストップ ボタンをタッチする。

：軌跡の記録を止めます。

- ② **現在地** ボタン(△)を押すと、現在地の地図
画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、サブメニュー画面に戻ります。



軌跡を表示するには

軌跡を地図上に表示します。

※表示するだけで、記録はされません。

- ① 手順 **1**、**2** (194ページ)にしたがって操作し、
軌跡を表示の **する** ボタンをタッチする。

- ② **現在地** ボタン(△)を押すと、現在地の地図
画面に戻る。

：軌跡を表示します。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、サブメニュー画面に戻
ります。



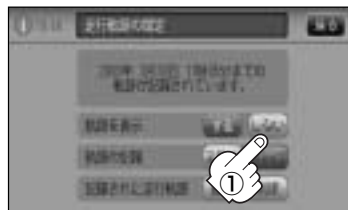
軌跡を使う(2)

軌跡の表示を止めるには

地図上の軌跡を消します。

※表示を止めるだけで、メモリから消すわけではありません。

- ① 手順 **1**、**2** (194ページ)にしたがって操作し、
軌跡を表示の **しない** ボタンをタッチする。



- ② **現在地** ボタン(△)を押すと、現在地の地図画面に戻る。

：軌跡の表示を止めます

※ **戻る** ボタンをタッチすると、サブメニュー画面に戻ります。



アドバース

軌跡を記録中は、軌跡の表示を止めることはできません。

記録した軌跡を確認するには

軌跡を地図上に表示します。

※表示するだけで、記録はされません。

- ① 手順 **1**、**2** (194ページ)にしたがって操作し、
記録された走行軌跡の **確認** ボタンをタッチする。

：軌跡が記録された地図が表示されます。



- ② **戻る** ボタンをタッチすると、走行軌跡の設定画面に戻る。

- ③ **現在地** ボタン(△)を押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、サブメニュー画面に戻ります。



アドバイス

地図をスクロールして、地図上の軌跡を確認することができます。

軌跡を使う(3)

軌跡を削除するには

- ① 手順 **1**、**2** (194ページ)にしたがって操作し、記録された走行軌跡の **削除** ボタンをタッチする。

：軌跡を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので、**はい** ボタンを選択します。



- ② **現在地** ボタン (△)を押すと現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、サブメニュー画面に戻ります。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、自宅までの参考ルートを探索することができます。

1

MENU ボタン()を押し、
情報 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



2

地点編集 ボタンをタッチする。
：登録地点編集画面が表示されます。

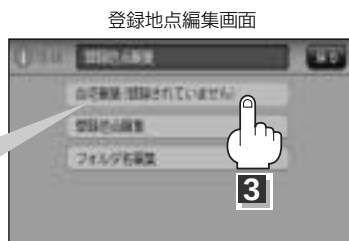


3

自宅編集<登録されていません> ボタンを
タッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。

自宅を登録すると“<登録されていません>”
の表示は消えます。



4

自宅を登録する。

※操作のしかたは「自宅を登録する」の手順 **4** ~
手順 **6** (72、73ページ)をご覧ください。



情報

〔軌跡を使う〕／〔自宅を登録する〕

登録地点の編集／見る(1)

マークをつけた場所の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモの登録や登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくすることができます。

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

1-2

2

地点編集 ボタンをタッチする。

：地点編集画面が表示されます。



2

3

編集したいボタンを選択する。

■ **自宅の情報を編集したい場合**

① **自宅編集** ボタンをタッチする。

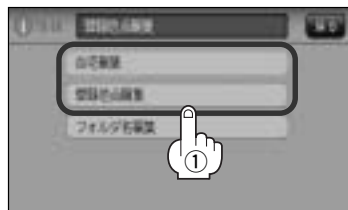
：自宅の情報画面が表示されます。

※手順 **4** (201 ページ) へ進んでください。

■ **他の登録地点の情報を編集したい場合**

① **登録地点編集** ボタンをタッチする。

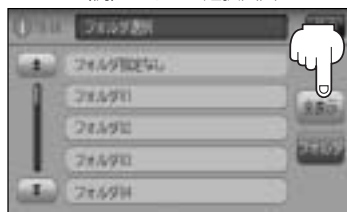
：登録地点編集画面が表示されます。



アドバイス

MENU ボタン()を押し、**目的地** → **登録地点** をタッチして、**フォルダ** ボタンを選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには **全表示** ボタンをタッチしてください。

(例) フォルダ選択画面



② 地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。

※登録地点の情報を見るだけの場合は、手順 **6** (206ページ)へ進んでください。

▲ / ▼ ボタンタッチでつづきを表示



アドバース

カーソルを登録地点マークに合わせ **設定** ボタンをタッチして設定メニューを表示させ **地点編集** ボタンをタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。



3

4

変更／登録する項目 (**名称**／**フォルダ**／**メモ**／**TEL**／**マーク**／**アラーム**／**カメラ** ボタン) をタッチする。

名称 …名称を変更します。 [P 201～203ページ]

フォルダ …フォルダを選択します。 [P 204ページ]

メモ …メモを登録します。 [P 201～203ページ]

TEL …電話番号を登録します。 [P 204ページ]

マーク …マークを変更します。 [P 205ページ]

アラーム …アラーム音を変更します。

[P 205ページ]

カメラ …カメラ地点を登録します。 [P 206ページ]

※ **カメラ** ボタンは、別売のフロントカメラまたはコーナカメラが接続されている場合に表示されます。

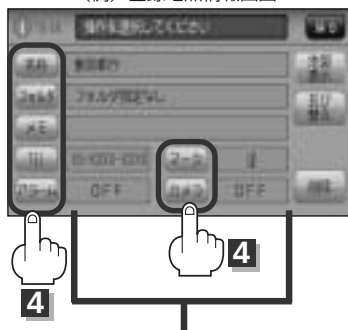
■ 名称／メモを編集する場合

① **名称**／**メモ** ボタンをタッチする。

：名称入力またはメモ入力画面が表示されます。

※ひらがな(漢字)／カタカナを16文字まで英数字を32文字まで入力できます。

(例) 登録地点情報画面



現在登録している情報を表示します。

情報

〔登録地点の編集／見る〕

登録地点の編集／見る(2)

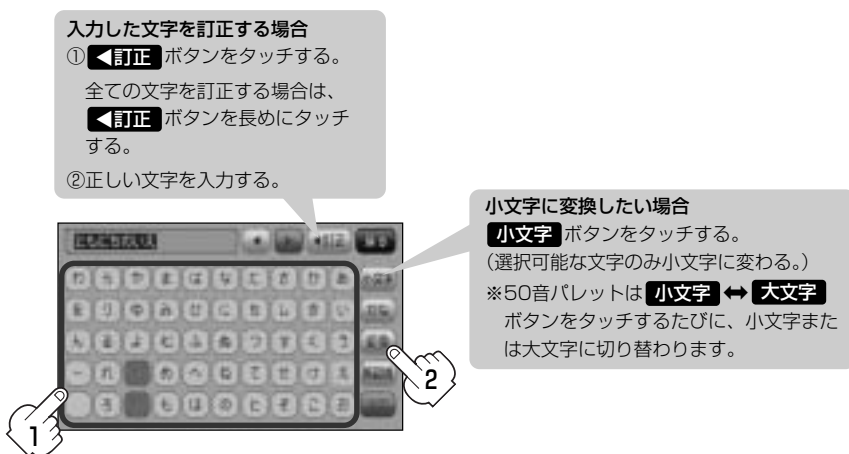
- ひらがなと漢字を入力するには

例 メモに「友達の家」と入力する場合

1. **と も た ち の い え** と文字を1文字ずつタッチする。

2. **変換** ボタンをタッチする。

：変換候補画面が表示されます。



アドバイス

- 漢字変換しない場合は、**無変換** ボタンをタッチしてください。

- ◀▶ をタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。選択されている文字はグレーの帯で表示されます。

- ◻ ボタンタッチで1文字分のスペースを空けます。

3. 変換したい漢字をタッチする。



アドバイス

- 次ページがある場合 ▲▼ ボタンでつづきを表示します。

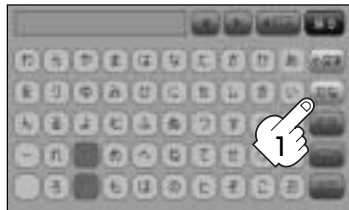
- ✕閉 ボタンをタッチすると変換候補画面を閉じることができます。



□ カタカナ、英字を入力するには

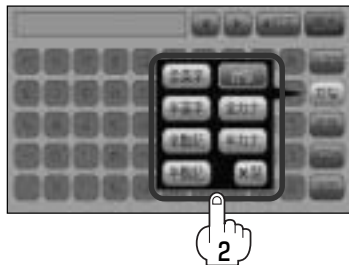
1. **かな** ボタンをタッチする。

：文字選択画面が表示されます。

2. 入力したい文字（**全カナ**／**半カナ**／**全英字**／**半英字**／**全数記**／**半数記**／**ボタン**）をタッチする。

：50音パレットが選択した文字に変わります。

※50音パレットを変更しない場合は、**×閉** ボタンをタッチしてください。



3. 入力したい文字を選びタッチする。

（例）**全カナ** ボタンを選択した場合



アドバイス

●文字選択画面について

- かな** ……50音パレットがひらがなに変わります。
- 全カナ** ……50音パレットが全角カタカナに変わります。
- 半カナ** ……50音パレットが半角カタカナに変わります。
- 全英字** ……50音パレットが全角英字に変わります。
- 半英字** ……50音パレットが半角英字に変わります。
- 全数記** ……50音パレットが全角数字と記号に変わります。
- 半数記** ……50音パレットが半角数字と記号に変わります。

●小文字に変換したい場合

- 小文字** ボタンをタッチしてください。（50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。）
- ※50音パレットは **小文字** ↔ **大文字** ボタンをタッチするたびに、小文字または大文字に切り替わります。

登録地点の編集／見る(3)

■ フォルダを指定する場合

- ① **フォルダ** ボタンをタッチする。
：フォルダ選択画面が表示されます。



- ② 指定したいフォルダ
(**フォルダ01** ～ **フォルダ20** ボタン)を選択し、タッチする。



↑ / ↓ ボタンタッチでつづきを表示



- フォルダを指定していない場合は、**MENU** ボタン()を押し、**目的地** → **登録地点** → **フォルダ** ボタンをタッチしてフォルダ選択画面を表示させたときに **フォルダ指定なし** ボタンをタッチすると登録した地点が表示されます。
※フォルダ (**フォルダ01** ～ **フォルダ20** ボタン) を指定した場合は「フォルダ指定なし」には表示されません。
- **フォルダ指定なし** ～ **フォルダ20** ボタンに登録した内容は、「登録地点で地点を探す」107～109ページまたは「登録地点の地図を呼び出す」210～212ページでも確認できます。

■ 電話番号を編集する場合

- ① **TEL** ボタンをタッチする。
：電話番号編集画面が表示されます。



- ② 数字をタッチして電話番号を入力する。



※12文字まで入力できます。

 入力方法は「電話番号で地点を探す」の
手順 **3** 90ページをご覧ください。

■ マークを編集する場合

- ① **マーク** ボタンをタッチする。
：マーク編集画面が表示されます。



- ② 変更したいマークを選択して
タッチする。



▲／▼ ボタンタッチ
でつづきを表示

※ここで選んだマークが地図上に
表示されます。

■ アラームを編集する

- ① **アラーム** ボタンをタッチする。
：アラーム編集画面が表示されます。
- ② お好みのアラーム音を選んでタッチする。
※ **OFF** を選択した場合、アラーム音は鳴りません。

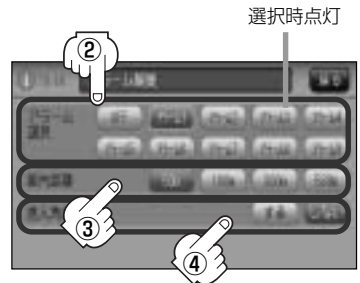
- ③ 案内距離(**50m** ／ **100m** ／ **300m** ／
500m ボタン)を選んでタッチする。

※選択した距離まで近付くと、アラーム音が鳴ります。

- ④ 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラ
ーム音を鳴らす場合は、**進入角度を考慮 する**
ボタンをタッチする。

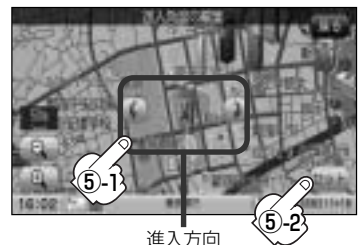
：進入方位編集画面が表示されます。

- ⑤ 矢印をタッチして、自転車マークの方向を修正
し、**セット** ボタンをタッチする。
：アラーム編集画面に戻ります。



アラーム音の種類

アラーム1	登録地付近です
アラーム2	チェックポイントです
アラーム3	スピードに注意してください
アラーム4	お帰りなさい
アラーム5	運転おつかれさまでした
アラーム6	効果音1
アラーム7	効果音2
アラーム8	効果音3
アラーム9	効果音4



進入方向



進入角度を考慮 **する** に設定をした場合、左15° 右15° の範囲から登録地点に近付いたときに
アラーム音を鳴らします。

登録地点の編集／見る(4)

■ カメラ地点編集をする場合

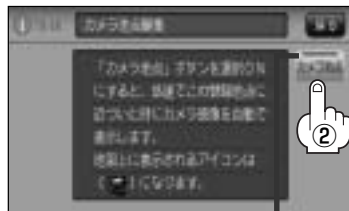
※ 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラが接続されていない場合 **カメラ** ボタンは表示されません。

① **カメラ** ボタンをタッチする。

：カメラ地点編集画面が表示されます。

② **カメラ地点** ボタンをタッチする。

：表示灯を点灯／消灯するたびにカメラ映像を自動で表示する(ON)／しない(OFF)が切り替わります。



表示灯

③ **戻る** ボタンをタッチする。



表示する(ON)に設定した場合、カメラ地点として設定されます。地図上のマークは  になり、他のマークには変更できません。

5

名称／メモ／TELの入力が終わったら・・・

決定 ボタンをタッチする。

設定を変更し、登録地点情報画面に戻ります。

他の項目(フォルダ／マーク／アラーム)を変更／登録する場合は、手順 **4** (201～206ページ)を繰り返してください。



5

6

設定が終わったら・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



6

現在地 ボタン
(△)



アドハイス

● 上記手順 **5** で **決定** ボタンをタッチしないと設定は保持されません。

● 本機は“かな”を14文字入力すると文字が選択できなくなるため、14文字までに一度 **決定** ボタンをタッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

登録地点の並び替えをする(1)

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

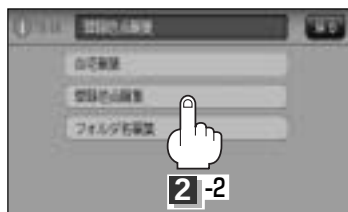
：サブメニュー画面が表示されます。



2

地点編集 ボタンをタッチし、**登録地点編集** ボタンをタッチする。

：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。



アドバース

MENU ボタン()を押し、**目的地** → **登録地点** ボタンをタッチ、または **MENU** ボタン()を押し、**情報** → **地点編集** → **登録地点編集** ボタンをタッチして **フォルダ** ボタンを選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

登録地点を全て表示させるには、**全表示** ボタンをタッチしてください。

3

■ 登録地点編集画面が表示された場合

① 並び替えをしたい地点を選び、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

 /  ボタンタッチでつづきを表示



(例) 登録順で表示

情報

〔登録地点の編集／見る〕
／
〔登録地点の並び替えをする〕

登録地点の並び替えをする(2)

■ フォルダ選択画面が表示された場合

① 並び替えをしたい地点が登録されている

フォルダを選択し、タッチする。

：フォルダ内の登録地点編集画面が表示されます。

↑ / ↓ ボタンタッチでつづきを表示



② 並び替えをしたい地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。

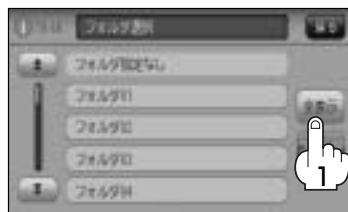


□ 全表示にして並び替えるには

1. 全表示 ボタンをタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

※本機に登録している全ての地点が表示されます。
(自宅は除く)



2. 並び替えをしたい地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。

↑ / ↓ ボタンタッチでつづきを表示



■ 順番を並び替えて表示したい場合

① 登録順 ボタンをタッチする。

：リストに表示される並び順が変わります。

※タッチするたびに **登録順** ↔ **マーク順** と替わります。

登録順 ボタン……地点が登録された順（古いものから）に表示

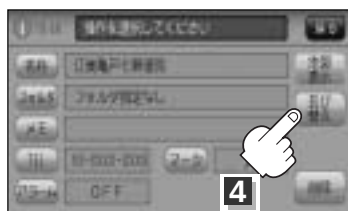
マーク順 ボタン…同じマークのもの同士をまとめて表示



4

並び替え ボタンをタッチする。

：登録地点並び替え画面が表示されます。



5

挿入したい場所の **挿入** ボタンをタッチする。

例 1 東京都庁の下に挿入する場合

並び替えたい地点の番号を赤色で表示



6

設定を終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



6

現在地 ボタン(△)



アドハイス

- 登録地点が自宅以外に2個以上ある場合に並び替えができます。1個以下の場合は **並び替え** ボタンは表示されません。
- カーソルを登録地点マークに合わせ、**設定** → **地点編集** ボタンをタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

登録地点の地図を呼び出す(1)

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

1-2

2

地点編集 ボタンをタッチする。

：地点編集画面が表示されます。



2

3

自宅編集 / **登録地点編集** ボタンを選択し、タッチする。

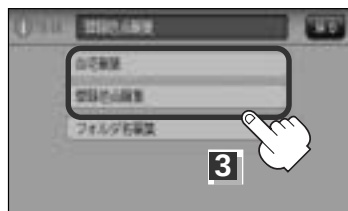
■ **自宅編集** ボタンをタッチした場合

：自宅の情報画面が表示されます。

※手順 **4** (212ページ)へ進んでください。

■ **登録地点編集** ボタンをタッチした場合

：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。



3



アドバース

MENU ボタン()を押し、**目的地** → **登録地点** ボタンをタッチ、または **MENU** ボタン()を押し、

情報 → **地点編集** → **登録地点編集** ボタンをタッチして **フォルダ** ボタンを選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

登録地点を全て表示させるには、**全表示** ボタンをタッチしてください。

□ **登録地点編集画面が表示された場合**

1. 地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。

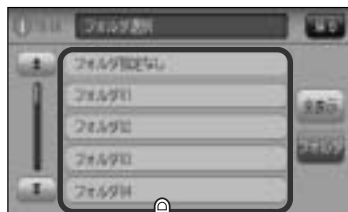
  ボタンタッチでつづきを表示



□ **フォルダ選択画面が表示された場合**

1. 呼び出したい地点が登録されているフォルダを選択し、タッチする。

：フォルダ内の登録地点編集画面が表示されます。



2. 地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。

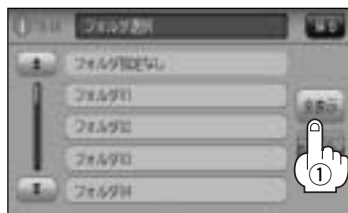


□ **全表示にして呼び出すには**

① **全表示** ボタンをタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

※本機に登録している全ての地点が表示されます。
(自宅は除く)



② 地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。



登録地点の地図を呼び出す(2)

4

地図表示 ボタンをタッチする。



5

設定が終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



5

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

地図の呼び出しは、**MENU** ボタン(□)を押し、**目的地** → **登録地点** をタッチしてもできます。

「登録地点で地点を探す」107～109ページ

登録地点を削除する(1)

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

地点編集 ボタンをタッチする。

：地点編集画面が表示されます。



3

自宅編集 / **登録地点編集** ボタンを選択し、タッチする。

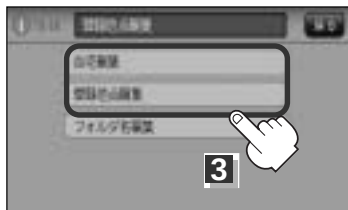
■ **自宅編集** ボタンを選択した場合

：自宅の情報画面が表示されます。

※手順 **4** (215ページ)へ進んでください。

■ **登録地点編集** ボタンを選択した場合

：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。



アドバイス

MENU ボタン()を押し、**目的地** → **登録地点** ボタンをタッチ、または **MENU** ボタン()を押し、

情報 → **地点編集** → **登録地点編集** ボタンをタッチして **フォルダ** ボタンを選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

登録地点を全て表示させるには、**全表示** ボタンをタッチしてください。

情報

〔登録地点の地図を呼び出す〕 / 〔登録地点を削除する〕

登録地点を削除する(2)

□ 登録地点編集画面が表示された場合

1. 削除したい地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。

▲／▼ ボタンタッチでつづきを表示



① 全削除 ボタン

■ 全地点を削除するには

① 全削除 ボタンをタッチする。

□ フォルダ選択画面が表示された場合

1. 削除したい地点が登録されているフォルダを選択し、タッチする。

：フォルダ内の登録地点編集画面が表示されます。



2. 削除したい地点を選び、タッチする。

：登録地点情報画面が表示されます。



ここをタッチすると、フォルダ内の地点を全て削除します。

4

削除 ボタンをタッチする。

：登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** ボタンを選択すると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



5

設定を終わったら…

現在地 ボタン (△) を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



5

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

- 地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称／TEL／メモも全て消えてしまいます。一時的に、地図上からマークを消したい場合は、「基本表示の設定を変える」239、240ページをご覧ください。（この場合は、全ての登録地点マークが、地図上から消えます。）
- カーソルを登録地点マークに合わせ、**設定** ボタン→ **地点編集** ボタンをタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

フォルダ名を編集する

登録地点画面または登録地点編集画面に表示されるフォルダ名を編集することができます。

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

地点編集 ボタンをタッチする。

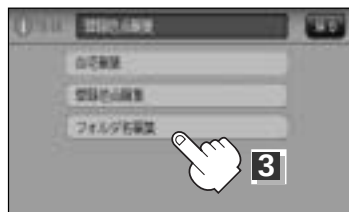
：地点編集画面が表示されます。



3

フォルダ名編集 ボタンをタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



アドバイス

登録地点画面(108ページ) 登録地点編集画面(200ページ、アドバイス内) に表示される

フォルダ指定なし ボタンは編集できないため表示されません。

4

編集したいフォルダ（**フォルダ01**～**フォルダ20** ボタン）をタッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。

▲／▼ ボタンタッチでつづきを表示



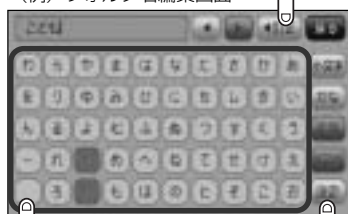
4

5

◀**訂正** ボタンをタッチして訂正したい文字を削除する。

※全ての文字を訂正する場合は、◀**訂正** ボタンを長めにタッチしてください。

（例）フォルダ名編集画面



5

6

文字をタッチして入力し、**決定** ボタンをタッチする。

「**ア**」入力方法は「登録地点の編集／見る」の手順 **4**（201～203ページ）を参考にしてください。



6-1

6-2



アドバイス

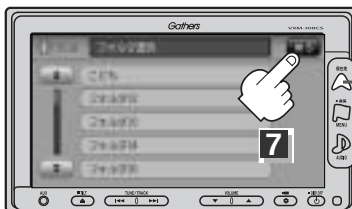
決定 ボタンをタッチしないと設定は保持されません。

7

設定が終わったら…

現在地 ボタン（△）を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



7

現在地 ボタン
（△）

情報

（フォルダ名を編集する）

SDカードから地点を登録する(1)

パソコンを使用してSDカードに保存した地点を本機に登録することができます。(最大500か所・自宅含む)

☞ 「パソコン連携(いつもNAVI)」 52ページ

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

☞ 「SDモードを終了する」 388ページ

1

TILT ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイ部が開きます。



1 **TILT** ボタン(▲)

2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

☞ 「SDカードを入れる／取り出すには」 48ページをご覧ください。

: 自動でディスプレイ部が閉じます。

3

MENU ボタン(□)を押し、

情報 ボタンをタッチする。

: サブメニュー画面が表示されます。



3-1

MENU ボタン(□)

3-2

4

SD地点取込 ボタンをタッチする。

: SDカードに保存した登録地点リストが表示されます。

※SDカード内に保存した地点が1つの場合は、下記手順 **5**-2 ((例) フォルダ画面)へ進んでください。



4

5

登録したい地点が保存されているファイルをタッチし、フォルダをタッチする。

: SDカード内に保存した地点リスト画面が表示されます。

(例) ファイル画面

(例) フォルダ画面



5-1



5-2

6

本機に登録したい地点を選択しタッチする。

：選択したリストにチェックマーク(✓印)が付きます。

↑ / ↓ ボタンタッチ
でつづきを表示



■ 全地点を登録したい場合

① 全選択 ボタンをタッチする。

：選択しているフォルダ内の全地点にチェックマーク(✓印)が付きます。



□ 登録を止めるには(チェックマーク解除)

① 登録を止めたい地点をタッチする。

：チェックマーク(✓印)が消え解除されます。

※ **全解除** ボタンをタッチすると、全てのチェックマークが消え、解除されます。



7

登録 ボタンをタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



SDカードから地点を登録する(2)

8

登録したいフォルダ(**フォルダ指定なし** ~ **フォルダ20** ボタン)を選択し、タッチする。

：“地点を登録しました。”というメッセージが表示され、サブメニュー画面に戻ります。

▲ / ▼ ボタンタッチ
でつづきを表示



9

登録が終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



9
現在地 ボタン
(△)



アドバイス

●登録した地点を確認するには、**[MENU]** ボタン(□)を押し、**情報** → **地点編集** → **登録地点編集** ボタンをタッチすると、登録地点編集画面に登録した地点(📍)が表示されます。

●指定のWebサイトからダウンロードしたデータ(リスト)はSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内にデータ(リスト)を入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内にデータ(リスト)がない場合は手順 **4** (218ページ) でSDカードを挿入またはSDカードに地点の書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されているかを確認／DRIVEフォルダ内にデータ(リスト)があることを確認してください。

 「パソコン連携(いつもNAVI)」52ページ

●本機に登録しないと、名称／フォルダ／メモ／TEL／マーク／アラームなどの編集を行なうことはできません。

●SDカードから本機に登録した地点の詳細内容を変更することができます。

 「登録地点の編集／見る」200～206ページ

●本機に登録する地点(施設)によってマークは異なります。また、アラームが設定される場合もあります。

●miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

ETC情報を見るには(1)

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

1

MENU ボタン()を押し、
情報 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2

ETC情報 ボタンをタッチする。

：ETC情報画面が表示されます。



3

ETCの履歴または管理情報を確認する。

■ 履歴を見る場合

① **ETC履歴** ボタンをタッチする。

：今までの利用履歴が最大100件まで日付の新しい順に表示されます。

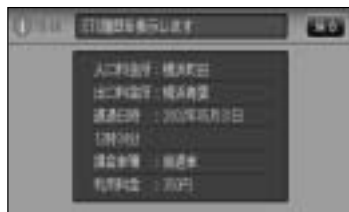
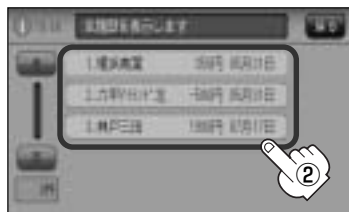
② 履歴をリストから選択し、タッチする。

：履歴の詳細情報が表示されます。



ナビゲーション

地図ソフトに収録されていない料金所につきましては、入口／出口料金所の名称は“登録なし”と表示されます。



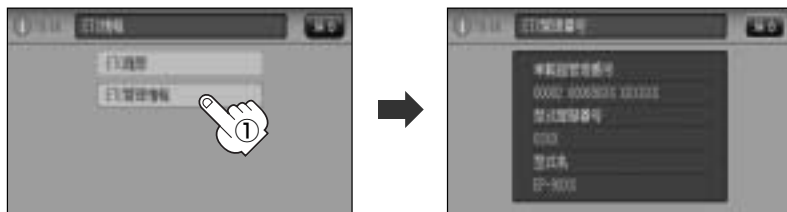
情報

〔SDカードから地点を登録する〕／〔ETC情報を見るには〕

■ 管理情報を表示する場合

① **ETC管理情報** ボタンをタッチする。

：ETC本体の登録内容が表示されます。



4

設定が終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
メニュー画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)

QQコールを利用する

QQコールとは

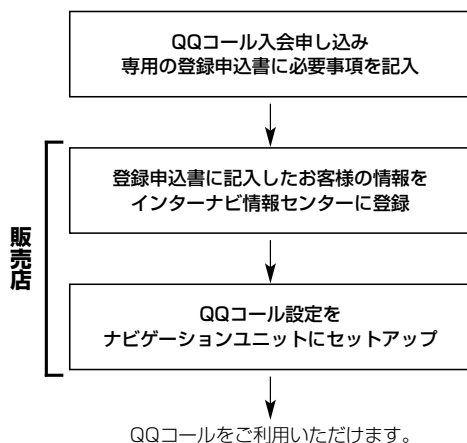
「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHondaディーラーやサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。

お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。<http://premium-club.jp/qqcall>

QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、販売店での入会登録手続きが必要です。



QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。

QQコール ボタンは販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1

MENU ボタン()を押し、

情報 ボタンをタッチする。

: サブメニュー画面が表示されます。



1-1

(MENU) ボタン
()

2

① **QQコール** ボタンをタッチする。

: QQコールセンターの電話番号と
現在地のマップコードが表示されます。

② お手持ちの携帯電話などで表示されている
QQコールセンターへ電話をかける。

: オペレータが対応しますので、表示されている
現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝え
ください。



3

会話が終わったら・・・

×閉 ボタンをタッチすると、現在地の地図画面に戻る。



アドバイス

QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能の操作が可能です。

- 地図表示（方位）の切り替え
- 地図の拡大／縮小
- 地図スクロール
- オーディオモードの音量調整
- オーディオモードのON／OFF

設定

平均速度を設定する	226
ルート探索条件の設定をする	227～230
メイン画面(地図)の設定を変える	231、232
右画面地図表示の内容を設定する	233、234
3Dビューの角度を調整する	235、236
地図の色を変える	237、238
基本表示の設定を変える	239、240
マップコードを表示について	240
地図情報を表示について	240
AUDIO情報を表示について	240
緯度・経度と地点の設定をする	241、242
緯度・経度を表示について	242
登録地点を表示について	242
ルート案内画面の設定を変える	243～257
全ルートの表示を設定する場合	244
ルート色を設定する場合	244
ルート情報を表示を設定する場合	245
JCTビューの設定をする場合	246
交差点拡大図を表示を設定する場合	247
交差点情報を表示を設定する場合	248
リアル3Dを表示を設定する場合	249
方面看板を表示を設定する場合	250
VICS案内の設定をする場合	251
合流案内を設定する場合	252
踏み切り案内を設定する場合	253
専用レーン案内を設定する場合	254
盗難多発地点警告を設定する場合	255、256
AV画面中の案内割り込みを 設定する場合	256、257
ランドマーク表示の設定をする	258、259
現在地(自車)の位置を変更する	260、261
自車マークの種類を変える	262
音声案内の音量を調整するには	263、264

VICS表示の設定をする	265、266
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／ しない”について	266
オプションボタンの設定をする	267、268
機能の内容について	268
ETCの各機能を設定するには	269、270
ETCについて	271
ETCの基本操作	272
ETCを起動する	272
ETCカードを取り出す	272
ETCを利用するには	273、274
料金所通過表示について	273
予告案内／警告表示について	274
メンテナンス情報を設定する	275～279
キー操作音を止めるには	280
キー操作音を鳴らすには	280
データを初期化(消去)する	281、282
フロントカメラ／コーナカメ映像を 表示するには	283～289
フロントカメラ／コーナカメの 設定をする	283、284
フロントカメラ／コーナカメ映像を 表示するには	285
リアカメラとコーナカメを組み合わせ 使用する場合	285
フロントカメラ／コーナカメ地点を 登録する	286、287
コーナカメガイドを表示するには	287
コーナカメガイドの見かた	288
カメラの映像について	289
リアカメラ映像を表示するには	290～292
リアカメラ映像を表示するには	290
リアカメラガイドを表示するには	290
リアカメラガイドの見かた	291、292
警告文の位置を下げるには	292
カメラ映像について	292

平均速度を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。
そのとき、平均走行速度を設定しておけばより正確な到着予想時刻を知ることができます。

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2

到着予想 ボタンをタッチする。

：平均速度設定画面が表示されます。



3

平均速度を自動で設定の **する** / **しない** ボタン
または各道路(一般道/国道/有料道路)の
- / **+** ボタンをタッチして平均走行速度を
設定する。(5km/h単位)

※走行は実際の法定速度にしたがって走行してください。



アドバイス

- 平均速度を自動で設定 **しない** ボタンをタッチしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。
- 平均速度を自動で設定 **する** に設定するとVICS情報を考慮して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

4

設定が終わったら…

現在地 ボタン()を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



ルート探索条件の設定をする(1)

ルートを探索する条件を変更することができます。変更後の条件で探索します。

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2

探索条件 ボタンをタッチする。

：探索条件設定画面が表示されます。



3

探索条件を選び、タッチする。



探索する条件を設定します。

車種別に有料道路料金表示を設定します。

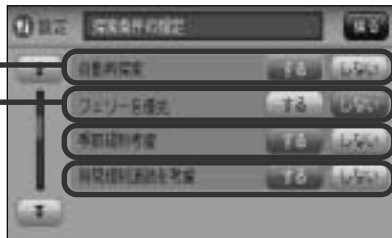
 ボタンタッチ
でつづきを表示

 ボタンを
タッチ

 ボタンを
タッチ

自動再探索する／しない
を設定します。

フェリーを優先する／
しないを設定します。



季節規制考慮する／しないを
設定します。

時間規制／曜日規制を考慮する／し
ないを設定します。

- 祝祭日指定の時間規制のある道路は、一年中規制があるものとしてルート探索します。

- 実際の規制とは異なる場合もありますので、実際の交通規制にしたがって走行してください。

 ボタンを
タッチ

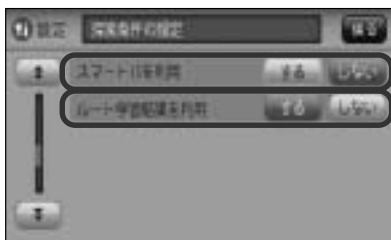
 ボタンを
タッチ

〔平均速度を設定する〕

設定

〔ルート探索条件の設定をする〕

ルート探索条件の設定をする(2)



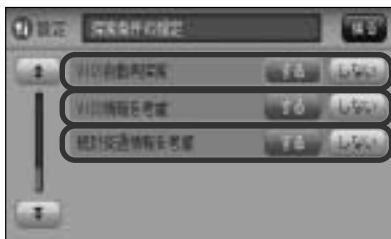
利用できるスマートIC(SA/PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ)を利用する／しないを設定します。

過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定します。

※ **距離優先** ボタンを選択している場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。

⬇ ボタンを
タッチ

⬆ ボタンを
タッチ



VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定します。

※VICS情報考慮を“しない”に設定するとボタンが暗くなり選択できなくなります。

VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定します。

過去の渋滞統計データをもとに統計交通情報を考慮する／しないを設定します

4

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

- 手順 **3** (227ページ) で自動再探索を **する** に設定している場合、ルート案内中に探索条件を変更し、**現在地** ボタン(△)を押す／**戻る** ボタンをタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** ボタンを選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、**有料優先** ボタンを選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。**道幅優先** ボタンを選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- **推奨**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** ボタンは、いずれか1つ設定できます。
- フェリーを優先 **する** 設定にしているも、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先する設定にしているも、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行なうルート案内探索の探索条件になります。

スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- 社会実験として実施されているスマートICは収録されていません。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行なっていますが、対象車種を考慮したルート探索は行なっていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)

※ETCを搭載していない車両は通行できません。

※通行可能車両、通行可能時間等が制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。



アドバイス

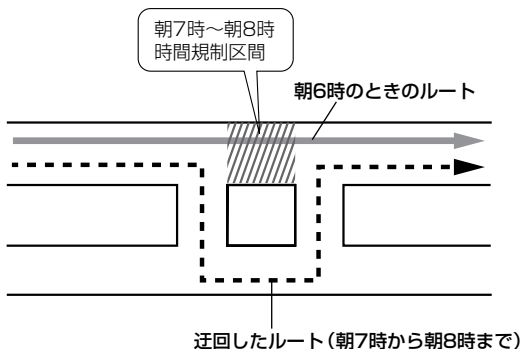
料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引きには対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行なっても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行なうと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行なった場合は、料金は表示されず「――円」になります。(ルートの出発地/目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「――円」になります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路/有料道路の料金は表示されない(――円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合、「――円」または実際の料金と異なる場合があります。

時間規制道路を考慮について

例) 下記斜線部分が朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。

※ルート探索した時間が朝6時のときは、迂回しないルートを探しますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると、自動的に再探索され迂回するルートに変わります。



設定

〔ルート探索条件の設定をする〕

ルート探索条件の設定をする(3)



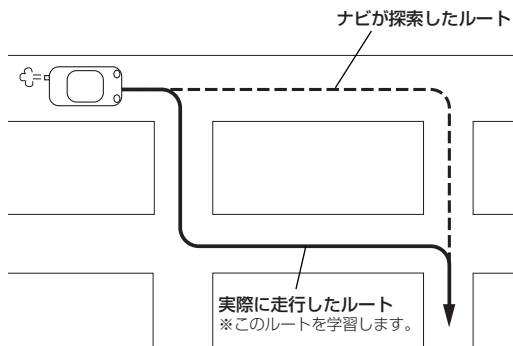
アドバイス

ルート学習結果について

- ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。

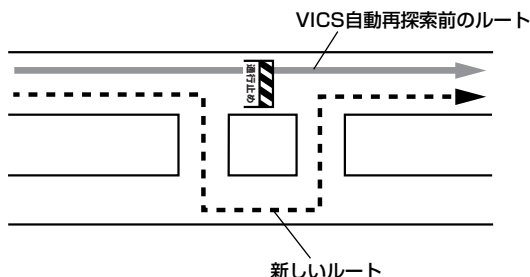
※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。

※ルート学習結果を初期化するには「「データを初期化(消去)する」281、282ページをご覧ください。



VICS自動再探索・VICS情報を考慮・統計交通情報を考慮について

- VICS情報を考慮“する”は通行止めなどを考慮したルート探索となります。
- VICS情報を考慮“する”、VICS自動再探索“する”に設定しても、VICS情報を受信できていない場合は渋滞を考慮するルート探索やVICS自動再探索はされません。
- VICS自動再探索“する”に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- 統計交通情報を考慮“する”に設定すると本機に収録されている季節・曜日・大型連休・時間などをパターン化した過去のVICS渋滞統計データをもとにルート探索を行なうため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化には考慮されない場合があります。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。



メイン画面(地図)の設定を変える(1)

住所の色分け／吹き出し表示／名称の文字サイズ／地図モードを選ぶことができます。

1

MENU ボタン(□)を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
(□)

2

地図表示 ボタンをタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

変更したい項目(**する**／**しない**、**大**／**小**、**北向き**／**進行方向**／**3D** ボタン)を選んでタッチする。



▼ ボタンをタッチ



▲ ボタンをタッチ



表示項目

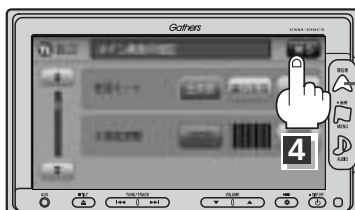
※3Dビューの角度調整につきましては、 「3Dビューの角度を調整する」235、236 ページをご覧ください。

4

設定を終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)

〔ルート探索条件の設定をする〕

設定

〔メイン画面(地図)の設定を変える〕

メイン画面(地図)の設定を変える(2)

“住所の色分けを表示” について

地図の縮尺レベルが10km以下の画面で都道府県や市区町村などの境ごとに色分けをする／しないの設定ができます。

“名称の文字サイズ” について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。

文字サイズ大



文字サイズ小



“吹き出しを表示” について

高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行なうため、収録されていない交差点では表示しません。



吹き出し

“標高地図を表示” について

地図の縮尺が5km以上の画面で、詳細な地形地図にする／しないの設定ができます。

“地図モード” について

- 地図表示(方位)を“北方向を上” “進行方向を上” “3D” に設定できます。
地図表示(方位)は、地図画面の  (方位) ボタンをタッチして切り替えることもできます。
各地図表示の特長については  「地図表示(方位)を切り替える」 61、62ページをご覧ください。
- 1ルート探索／複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

右画面地図表示の内容を設定する(1)

全画面表示から右画面地図表示にしたり、右画面地図の設定を変えることができます。

1

MENU ボタン()を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

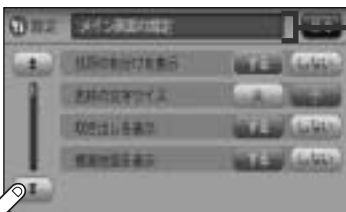
地図表示 ボタンをタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

 ボタンを2回タッチし、右画面の設定画面を表示させる。



3-1

どの設定画面を表示しているか、この部分で確認できます。



3-2



〔メイン画面(地図)の設定を変える〕

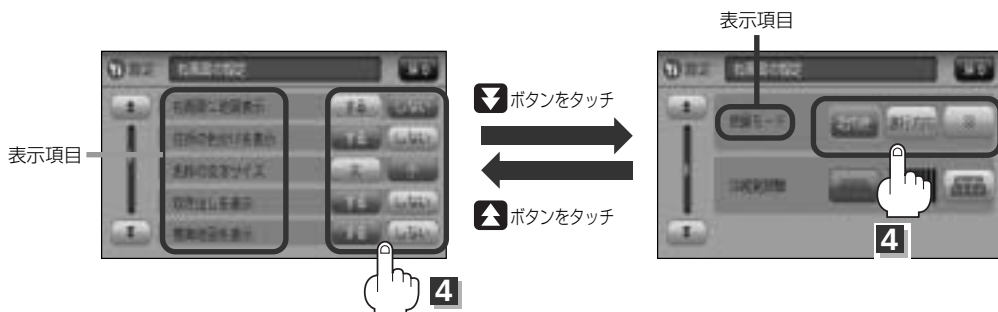
設定

〔右画面地図表示の内容を設定する〕

右画面地図表示の内容を設定する(2)

4

変更したい項目(**する** / **しない**、**大** / **小**、**北向き** / **進行方向** / **3D** ボタン)を選んでタッチする。



※3Dの角度調整につきましてはは  「3Dの角度を調整する」235、236ページをご覧ください。

5

設定が終わったら…

現在地 ボタン()を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

- メイン画面(全画面)の地図表示(住所の色分けを表示、名称の文字サイズ、吹き出しを表示、標高地図を表示、地図モード)の選択については、「メイン画面(地図)の設定を変える」(231、232ページ)をご覧ください。
- 右画面地図表示にするには、現在地表示時に **MENU** ボタン()を押してクイックメニューを表示させ、**右画面** → **地図** ボタンをタッチして右画面地図表示することもできます。
 「クイック機能について」69、70ページ

3Dビューの角度を調整する(1)

メイン画面、2画面で3Dビュー表示時に、地図を見下ろす角度を高く設定すると、道路を上空から見下ろす感じで地図が表示され、低く設定すると、道路を水平方向から見る感じで地図が表示されます。

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

地図表示 ボタンをタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

 ボタンをタッチする。

※右画面の3D時の角度を調整したい場合は、 ボタンを3回タッチして右画面の設定画面を表示させます。

右画面の設定画面



3



〔右画面地図表示の内容を設定する〕

設定

〔3Dビューの角度を調整する〕

3Dビューの角度を調整する(2)

4



ボタンをタッチして調整する。



: 角度を下げます。



: 角度を上げます。



タッチすると
角度が下がる

タッチすると
角度が上がる

見下ろし角度が低いとき



見下ろし角度が高いとき

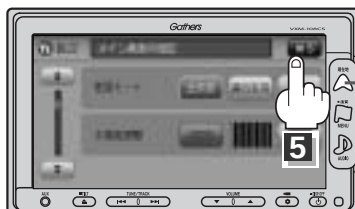


5

設定を終わるには…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。

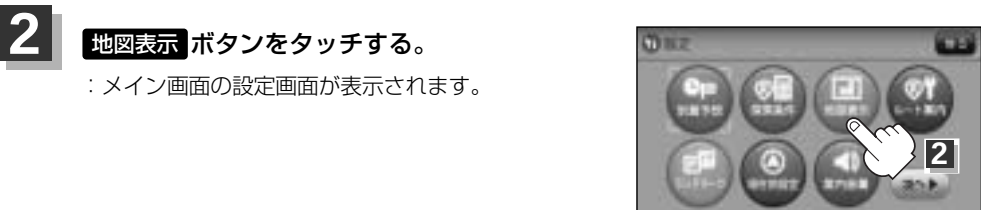


5

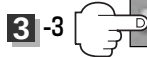
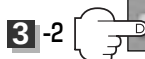
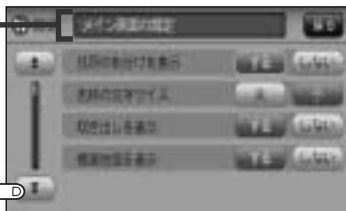
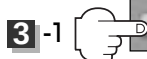
現在地 ボタン
(△)

地図の色を変える(1)

地図の色(スモール運動/昼/夜/時間運動)と標高地図色(季節運動/標準/春/夏/秋/冬)を選ぶことができます。



どの設定画面を表示しているか、この部分で確認できます。



〔3Dビューの角度を調整する〕

設定

〔地図の色を変える〕

地図の色を変える(2)

4

好きな色(**スモール運動** / **昼** / **夜** / **時間運動**、 **季節運動** / **標準** / **春** / **夏** / **秋** / **冬** ボタン)を選択し、タッチする。



アドバイス

- **スモール運動** ボタンを選択した場合は、車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替わります。
- **時間運動** ボタンを選択した場合は、日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替えます。
- **季節運動** ボタンを選択した場合は、GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替わります。

地図色設定画面



4

5

設定を終わるには…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。

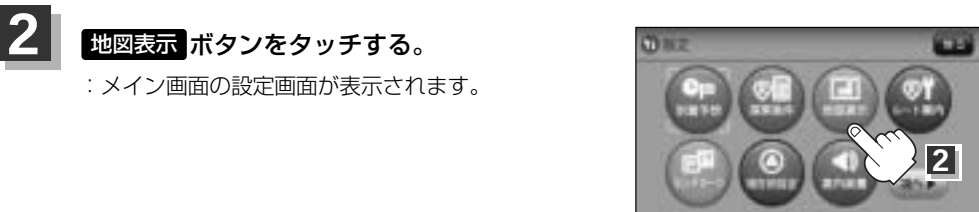


5

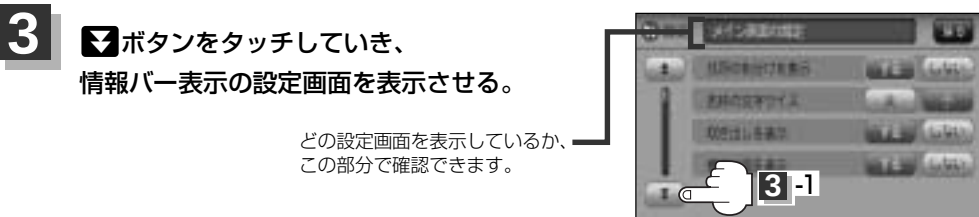
現在地 ボタン
(△)

基本表示の設定を変える(1) (MAPCODE/地図情報/AUDIO情報)

情報バーにMAP CODE、AUDIO情報の表示をする／しない、または地図情報の表示を住所名／道路名に変えることができます。

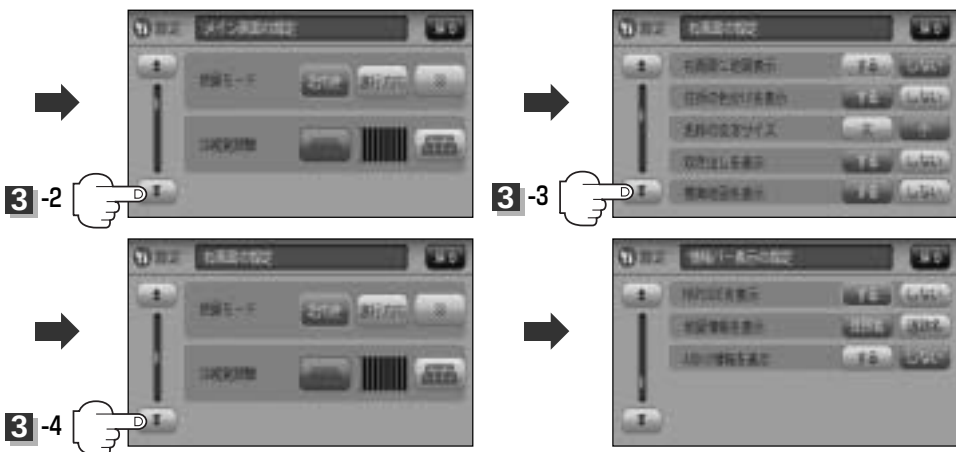


〔地図の色を変える〕



設定

〔基本表示の設定を変える〕

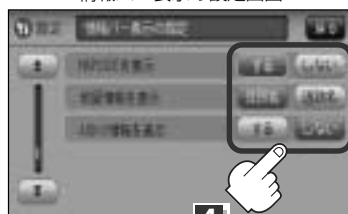


基本表示の設定を変える(2) (MAPCODE／地図情報／AUDIO情報)

4

設定したい項目の **する**／**しない**、
住所名／**道路名** ボタンをタッチする。

情報バー表示の設定画面



4

“MAPCODEを表示” について

情報バー（現在地表示時は除く）に、マップコードを表示することができます。



“地図情報を表示” について

- 情報バーの表示を住所名または道路名のどちらを表示させるか選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

道路名を表示する場合



“AUDIO情報を表示” について

現在地表示時に、情報バーに再生中の下記内容を表示することができます。

※CD／MP3／WMA／SD／USBを再生している場合は曲名を、FM／AMを再生している場合は周波数と放送局を、ワンセグを選択している場合は放送局名を表示します。また、再生しているモードのアイコンが表示されます。
各アイコンにつきましては「「地図画面の見かた」56、57ページをご覧ください。

曲名を表示する場合



5

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

緯度・経度と地点の設定をする(1)

(緯度・経度／登録地点)

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

: サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

地図表示 ボタンをタッチする。

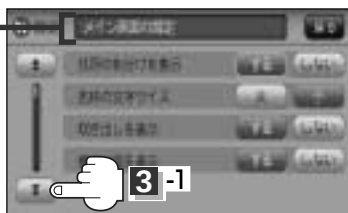
: メイン画面の設定画面または右画面の設定画面が表示されます。



3

 ボタンをタッチしていき、その他の設定画面を表示させる。

どの設定画面を表示しているか、
この部分で確認できます。



〔基本表示の設定を変える〕

設定

〔緯度・経度と地点の設定をする〕



アドバイス

 ボタンをタッチして、その他の設定画面を表示させることもできます。

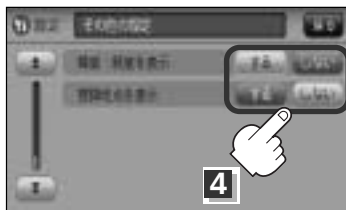
緯度・経度と地点の設定をする(2)

(緯度・経度／
登録地点)

4

設定したい項目の **する**／**しない** ボタン
をタッチする。

その他の設定画面



“緯度・経度を表示” について

地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示
することができます。



“登録地点を表示” について

しない にすると、一時的に地図上から登録地点マー
クを消すことができます。



登録地点マーク

5

設定を終わるには…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



5

現在地 ボタン
(△)

ルート案内画面の設定を変える(1)

ルート案内時に表示する内容を設定します。
(全ルート／ルート色／ルート情報／JCTビュー／交差点拡大／交差点情報／リアル3D／方面看板／合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／盗難多発地点／AV画面中の案内割り込み)

- 1

MENU

 ボタン()を押し、

設定

 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



- 2

ルート案内

 ボタンをタッチする。
：ルート案内の設定画面が表示されます。



- 3

設定する項目を選択しタッチする。

☒ 全ルートを表示 ……………244ページ	☒ 方面看板を表示 ……………250ページ
☒ ルート色 ……………244ページ	☒ VICS案内 ……………251ページ
☒ ルート情報を表示 ……………245ページ	☒ 合流案内 ……………252ページ
☒ JCTビューを表示 ……………246ページ	☒ 踏み切り案内 ……………253ページ
☒ 交差点拡大図を表示 ……………247ページ	☒ 専用レーン案内 ……………254ページ
☒ 交差点情報を表示 ……………248ページ	☒ 盗難多発地点警告 ……255、256ページ
☒ リアル3Dを表示 ……………249ページ	☒ AV画面中の案内割り込み…256、257ページ

〔緯度・経度と地点の設定をする〕

設定

〔ルート案内画面の設定を変える〕

ルート案内画面の設定を変える(2)

■ 全ルートの表示を設定する場合

ルート探索後に全ルートを表示するかしないかの設定をします。

① 全ルートを表示の **する** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。

□ **する** ボタンをタッチすると…

：ルート探索終了後、全ルートを表示します。

□ **しない** ボタンをタッチすると…

：ルート探索終了後、全ルートを表示しません。

※複数ルート探索終了後は全ルート表示となります。

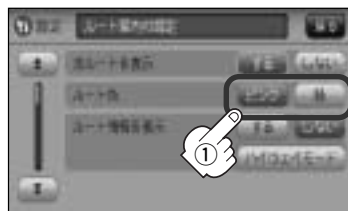


■ ルート色を設定する場合

設定ルートの色を変えることができます。

① ルート色の **ピンク** / **緑** ボタン選択し、タッチする。

：ルート探索終了後、選択した色で表示されます。



アドバイス

設定ルートの色は **ピンク** / **緑** のどちらかを選んだ場合も、有料道路は青色になります。

■ ルート情報を表示する／しないを設定する場合

① ルート情報を表示の **する**／**しない**／

ハイウェイモード ボタンを選択し、
タッチする。

■ **する** をタッチした場合

：ルート案内時、ルート情報を表示します。

■ **しない** をタッチした場合

：ルート情報を表示しません。

■ **ハイウェイモード** をタッチした場合

：高速道路／一般有料道路走行時のみルート
情報を表示します。



- ルート探索をしてルート案内にしたがって走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金などを表示します。
- **する** ボタンをタッチした場合、ルート情報はルート案内時とシミュレーション走行時に表示します。**ハイウェイモード** ボタンをタッチした場合、ルート情報はルート案内時のみ表示します。
- 高速道路を走行中に、パーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、料金所(¥)のボタンが表示された場合、そのボタンをタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。(探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。)
- 現在地表示時に **[MENU]** ボタン(□)を押し、**右画面** → **ルート情報** ボタンをタッチして、右画面にルート情報を表示することもできます。

[左] 「2画面表示にする」79～81ページ



詳細情報がある場合、パネルにボタン表示されます。

[詳細] ボタンをタッチすると、詳細情報を表示



情報のつづきを表示

- 走行中は詳細情報は表示できません。

* 印：ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 **SA/PA** ボタンをタッチすると、サービスエリア・パーキングエリアのみルート情報を表示します。

再度 **SA/PA** ボタンをタッチするともとのルート情報に戻ります。

探索したルートに高速道路または有料道路がある場合でもその高速道路または有料道路にサービスエリアまたはパーキングエリアがないときは選択することができません。

ルート案内画面の設定を変える(3)

■ JCTビューの設定をする場合

JCTビューの表示をするかしないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチし、“JCTビューを表示”を表示させる。

 /  ボタンタッチでつづきを表示



- ② JCTビューを表示の **する** / **しない** ボタンを選択しタッチする。

- ☐ **する** ボタンをタッチすると…

: JCTビューを表示します。

- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…

: JCTビューを表示しません。



- 高速道路や都市高速道路のJCT(ジャンクション)分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図(JCTビュー)を表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面(画面表示/地図+ルート情報)に戻ります。
- JCTビュー表示のとき **×閉** ボタンをタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀開** ボタンをタッチしてください。

(例) JCTビュー表示



- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
 - ・データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
 - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

■ 交差点拡大図を表示を設定する場合

交差点拡大図を表示するかしないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチし、“交差点拡大図を表示”を表示させる。

 ボタンタッチでつづきを表示



- ② 交差点拡大図を表示の **する** / **しない** ボタンを選択しタッチする。

- ☐ **する** ボタンをタッチすると…

：交差点拡大図を表示します。

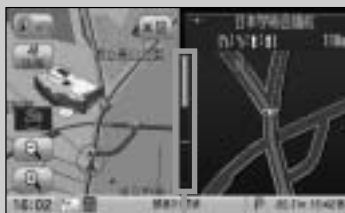
- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…

：交差点拡大図を表示しません。



- 主要な交差点に近づく、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク(ガソリンスタンド、コンビニ、公園など、目印となる施設)とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に動きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は動きません。
- 交差点拡大表示のとき **×閉** ボタンをタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀開** ボタンをタッチしてください。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
 - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
 - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
 - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

(例) 交差点拡大表示



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

ルート案内画面の設定を変える(4)

■ 交差点情報を表示を設定する場合

交差点情報を表示するかしないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチし、“交差点情報を表示”を表示させる。

 /  ボタンタッチでつづきを表示



- ② 交差点情報を表示の **する** / **しない** /

案内中のみ表示 ボタンを選択し
タッチする。

- ☐ **する** ボタンをタッチすると…
：走行中は常に交差点情報を表示します。
- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…
：交差点情報を表示しません。
- ☐ **案内中のみ表示** ボタンをタッチすると…
：ルート案内時のみ交差点情報を表示します。



- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。(表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。)
※次の交差点が10km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- **する** / **案内中のみ表示** に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を橙色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。



■ リアル3Dを表示を設定する場合

リアル3D交差点を表示するかしないかの設定を行ないます。

- ①  ボタンをタッチしていき“リアル3Dを表示”を表示させる。



- ② リアル3Dを表示の **する** / **しない** ボタンを選択しタッチする。

- ☐ **する** ボタンをタッチすると…

：リアル3D交差点を表示します。

- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…

：リアル3D交差点を表示しません。



- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
- **×閉** ボタンをタッチすると、リアル3D交差点表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀開** ボタンをタッチしてください。



ルート案内画面の設定を変える(5)

■ 方面看板を表示を設定する場合

方面看板を表示するかしないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチしていき、“方面看板を表示”を表示させる。



- ② 方面看板を表示の **する** / **しない** /

案内中のみ表示 ボタンを選択し

タッチする。

- ☐ **する** ボタンをタッチすると…

：走行中は常に表示します。

- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…

：方面看板を表示しません。

- ☐ **案内中のみ表示** ボタンをタッチすると…

：ルート案内時のみ表示します。



- 全国の主要交差点の国道をはじめとした一般道の行き先案内を示す方面看板(案内標識)が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約1km手前で表示され、案内ポイントに近付くと約150m手前で交差点拡大表示に切り替わります。

(例) 方面看板表示



- 交差点までに距離がない(約150m未満)の場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- **する** / **案内中のみ表示する** に設定している場合、ルート案内時に進む方向を橙色の矢印で表示します。
- **×閉** ボタンをタッチすると、方面看板表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀開** ボタンをタッチしてください。

■ VICS案内の設定をする場合

ルート案内中にルート上に発生した渋滞や交通規制を音声で知らせるか知らせないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチしていき、“VICS案内” を表示させる。



- ② VICS案内の **する** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。



- ☐ **する** ボタンをタッチすると…

：ルート案内中に音声案内をします。
例) 「およそ2km先、渋滞しています。」

- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…

：音声案内を行ないません。



設定

〔ルート案内画面の設定を変える〕



アドバイス

VICS情報を受信できない場合などは、VICS案内の **する** ボタンを選択していても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

ルート案内画面の設定を変える(6)

■ 合流案内を設定する場合

高速道路の合流地点が近くなると音声でお知らせするかしないかの設定をします。

①  ボタンをタッチしていき、“合流案内”を表示させる。



② 合流案内の **常時** / **案内中** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。



- ☐ **常時** ボタンをタッチすると…
：ルートを設定していないときでも音声案内をします。
- ☐ **案内中** ボタンをタッチすると…
：ルート案内中に音声案内をします。
- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…
：音声案内を止めます。

■ 踏み切り案内を設定する場合

踏み切りが近くなると音声でお知らせするかしないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチしていき、“踏み切り案内”を表示させる。



- ② 踏み切り案内の **常時** / **案内中** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。



- ☐ **常時** ボタンをタッチすると…
：ルートを設定していないときでも音声案内をします。
- ☐ **案内中** ボタンをタッチすると…
：ルート案内中に音声案内をします。
- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…
：音声案内を止めます。

ルート案内画面の設定を変える(7)

■ 専用レーン案内を設定する場合

ルート案内中に右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声でお知らせするかどうかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチしていき、“専用レーン案内” を表示させる。



- ② 専用レーン案内の **する** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。



- ☐ **する** ボタンをタッチすると…
：ルート案内中に音声案内をします。
- ☐ **しない** ボタンをタッチすると…
：音声案内を止めます。

■ 盗難多発地点警告を設定する場合

盗難多発地点を表示するかしないかの設定をします。

- ①  ボタンをタッチしていき、「盗難多発地点警告」を表示させる。



- ② 盗難多発地点警告の **する** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。



- **する** ボタンをタッチすると…

：地図上に盗難多発地点( マーク)を表示します。

- **しない** ボタンをタッチすると…

：地図上に盗難多発地点( マーク)を表示しません。

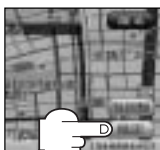
- **する** ボタンを選択した場合は、地図画面で画面をタッチし地図をスクロールさせて マークにカーソルを合わせると、多発地点の詳細情報を見ることができます。

※  マークは地図の縮尺スケールが100m以下で表示されます。

 「地図を拡大／縮小する」59ページ

設定

〔ルート案内画面の設定を変える〕



スクロールし、 マークに合わせる。

設定 ボタンをタッチする。

施設詳細 ボタンをタッチする。

：過去に盗難があった地点の情報が表示されます。

ルート案内画面の設定を変える(8)



アドバイス

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に適用しています。
- 盗難多発地点の マークの表示は3段階で表示しています。最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、ルート探索前に“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行すると“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声でお知らせします。
- 3Dビューでは マークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、**設定** ボタンをタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。

「地図表示(方位)」を切り替える」61、62ページ

■ AV画面中の案内割込みを設定する場合

AV画面表示中に右折または左折などの情報がある場合、NAVI画面に切り替わりルート案内をするかしないかの設定をします。

- ① ボタンをタッチしていき、“AV画面中の案内割込み”を表示させる。



- ② AV画面中の案内割込みの **する** / **しない** ボタンを選択し、タッチする。



- **する** ボタンをタッチすると…

：AV画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、NAVI画面に切り替わりルート案内をします。ルート案内終了後、AV画面に戻ります。

- **しない** ボタンをタッチすると…

：割り込み案内が発生しても、NAVI画面に切り替わりません。



アドバース

- AV画面中の案内割り込みを“する”に設定しているとき、AV画面表示中に、右折や左折などの案内割り込みが発生しても、AV画面を操作している場合はNAVI画面に切り替わりません。
- AV画面中の案内割り込みを“する”に設定しているとき、NAVI画面に切り替わった際にNAVI画面を操作すると、AV画面には戻りません。

4

設定を終わるには…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)



アドバース

合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／盗難多発地点警告／AV画面中の案内割り込みなどの音量調整につきましては、 「音声案内の音量を調整するには」(263、264ページ)をご覧ください。

ランドマーク表示の設定をする

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

: サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

ランドマーク ボタンをタッチする。

: ランドマーク設定画面が表示されます。



2

3

リストから表示したいジャンルを選んで
タッチする。

: 選択したジャンルにチェックマーク()が
付きます。

※選択できる件数は300件までです。

チェックマーク
された数

ランドマークが
表示できる数
(300件)

 /  ボタンタッチでつづきを表示



チェックマーク
259ページ手順 **4** で全件選択すると
 (チェックマーク小) が
 (チェックマーク大) になる

■ **駐車場**、**トイレ**、**道の駅** を選んだ場合
手順 **4** (259ページ)へ進んでください。

4 リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

：選択した施設にチェックマーク(☑)が付きます。

全選択 ボタンをタッチすると全施設にチェックマーク(☑)が付きます。

チェックマーク



■ マークの表示を止める場合

- ☐ **駐車場、トイレ、道の駅** の表示を止めるには…

手順 **3** (258ページ) で再度ボタンをタッチしてチェックマーク(☑)を消します。

- ☐ **その他のジャンルの表示を止めるには…**

手順 **3** (258ページ) でジャンルをタッチし、上記手順 **4** で詳細施設をタッチして (☑) を消します。

※全解除したい場合は、**全解除** ボタンをタッチします。

5 設定を終わるには・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

- 縮尺スケールが200m以上の場合は、ランドマークは表示されません。

地図を拡大／縮小する 59ページ

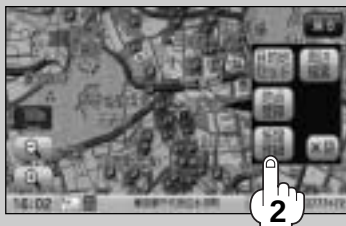
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソルを合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。

設定 ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、

施設詳細 ボタンをタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。

ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

「スクロールの微調整をする」
65ページ



(例) 詳細情報画面

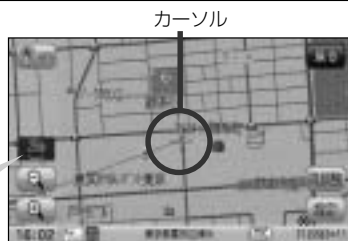


現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

- 1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソルを合わせる。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができるよ！



- 2 **MENU** ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



2-1 **MENU** ボタン()

- 3 **現在地設定** ボタンをタッチする。
：現在地設定画面が表示されます。



3

- 4 自車位置設定の **修正** ボタンをタッチする。

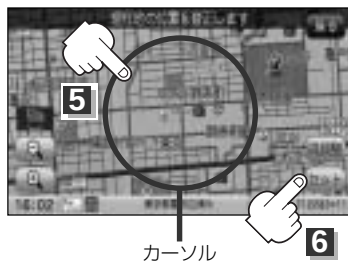


4

5 カーソルの位置を確認し、必要であれば画面をタッチして修正する。

6 **セット** ボタンをタッチする。

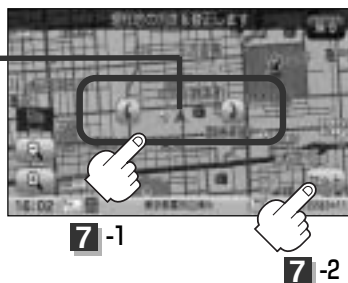
：角度修正画面になります。



7 矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、**セット** ボタンをタッチする。

：“現在地を修正しました”とメッセージを表示し、現在地画面に戻ります。

進行方向



アドバイス

- 現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。
- 現在地(自車)マークの位置／角度を修正する際の地図は“北方向を上”の地図になります。
- GPSを受信すると、受信した位置を表示します。
- 地図画面をスクロールさせるには「 見たい地域を探す」63～65ページをご覧ください。

設定

〔現在地(自車)マークの位置を変更する〕

自車マークの種類を変える

自車マーク種類と色を選ぶことができます。

1

MENU ボタン () を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

現在地設定 ボタンをタッチする。

：現在地設定画面が表示されます。



2

3

好きな種類 (**オープンカー** / **レースカー** /

バイク / **ペンギン** / **ASIMO** / **矢印**

ボタン) をタッチする。



3

4

設定を終わるには…

現在地 ボタン () を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
()

音声案内の音量を調整するには(1)

ルート案内時の音声案内の音量を調整することができます。

1

MENU ボタン()を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()



*印：ここをタッチすると、下記手順**2**を
省くことができます。

2

案内音量 ボタンをタッチする。

：ルート案内の音量設定画面が表示されます。



2

3

- / + ボタンをタッチして、

好みの音量に調整する。

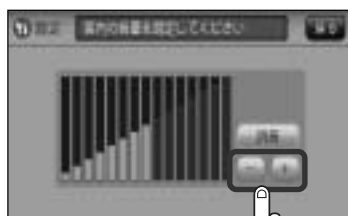
：調整時に“この音量でご案内します”と
音声がかかります。

■ **音声案内を止める場合**

① **消音** ボタンをタッチする。

：消音ボタンが点灯し、音声が消えます。

※音声を出したい場合は、もう一度 **消音** ボタンをタッチしてください。



3

〔自車マークの種類を変える〕

設定

〔音声案内の音量を調整するには〕

音声案内の音量を調整するには(2)

4

設定を終わるには…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)



アドバイス

- 音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。
- ルート案内時に音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報も聞きたい場合は、**現在地** ボタン(△)を押すと、音声案内を聞くことができます。
- 手順 **3** (263ページ) で **消音** ボタンを選択している場合、**現在地** ボタン(△)を押しても音声案内を聞くことはできません。
- 各音声案内(合流案内/踏み切り案内/専用レーン案内/AV画面中の案内割り込み)を設定することができます。各設定につきましては、**設定** 「ルート案内画面の設定を変える」(252~254ページ、256~257ページ)をご覧ください。

VICS表示の設定をする(1)

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。

📖 「交通情報 (VICS情報)について」 161～163ページ

1

MENU ボタン()を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



2

次へ ボタンをタッチし、**VICS** ボタンをタッチする。

：VICS表示設定画面が表示されます。



2-1



2-2

3

表示したい項目(**駐車場**、**規制**、**渋滞無し**、**渋滞混雑** ボタン)をタッチする。

※項目ボタンをタッチし、表示灯を点灯／消灯するたびに、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

表示灯



3

〔音声案内の音量を調整するには〕

設定

〔VICS表示の設定をする〕

VICS表示の設定をする(2)

4

手順 3 (265ページ)で選択した項目をどの道路で反映させるか選択します。

一般道 / **有料道** ボタンをタッチする。

- **一般道** ボタンをタッチして表示灯が点灯している場合

：一般道路に対し交通情報を表示します。

- **有料道** ボタンをタッチして表示灯が点灯している場合

：有料道路に対し交通情報を表示します。



表示灯

5

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

情報表示を止めるには

265ページ手順 3 の設定画面で、表示を止めたい項目(**駐車場**、**規制**、**渋滞無し**、**渋滞混雑** ボタン)、上記手順 4 で表示を止めたい道路(**一般道**、**有料道** ボタン)をタッチし、表示灯を消灯させます。



アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報が無い、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
- 情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。
- レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、170ページ手順 1 ～ 3 にしたがって **受信番組設定** を **交通情報番組(VICS)を受信します** に設定し、VICS放送局(165ページ)を受信してください。

☞ 「受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには」 170、171ページ

☞ 「選局するには」 178～183ページ

レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について

- ① 手順 3 (265ページ)または上記手順 4 で、**点滅** ボタンをタッチして、表示灯を点灯させると、レベル3の矢印表示が点滅します。

※もう一度 **点滅** ボタンをタッチして表示灯を消灯させると、矢印は点滅しません。

- ② **戻る** ボタンをタッチする。



オプションボタンの設定をする(1)

本機の **OPTION** ボタン(🔘) によく使う機能を設定することができます。設定すると **OPTION** ボタン(🔘)を押して、操作することができます。

※別売のフロントカメラまたはコーナカメラを接続している場合は、オプションボタン設定はできません。

1

MENU ボタン(🔘)を押し、
設定 ボタンをタッチする。

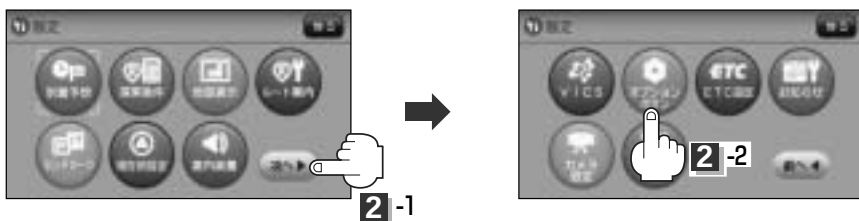
：サブメニュー画面が表示されます。



2

次へ ボタンをタッチし、**オプションボタン** をタッチする。

：オプション画面が表示されます。



3

設定する機能(**ミュート** / **右画面地図** /
地図モード / **自宅** ボタン)を選択し、タッチする。

※設定した機能につきましては、
🔍「機能の内容について」(268ページ)
をご覧ください。



4

設定を終わるには…

現在地 ボタン(📍)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



〔VICS表示の設定をする〕

設定

〔オプションボタンの設定をする〕

オプションボタンの設定をする(2)

機能の内容について

手順 **3** (267ページ)で設定した機能は、**OPTION** ボタン(🔗)を押すと以下ようになります。

■ **ミュート** ボタンを設定した場合

: 画面はそのまま、オーディオの音量のみ消します。
もう一度**OPTION** ボタン(🔗)を押すと音量が出ます。

■ **右画面地図** ボタンをタッチした場合

: 右画面にも地図を表示することができます。
もう一度**OPTION** ボタン(🔗)を押すと、全画面に戻ります。

■ **地図モード** ボタンをタッチした場合

: **OPTION** ボタン(🔗)を押すたびに、
3Dビュー → 北方向を上(平面地図) → 進行方向を上(平面地図)
↑
と切り替わります。
🔗 「地図表示(方位)を切り替える」61、62ページ

■ **自宅** ボタンをタッチした場合

: 自宅までのルート探索をします。
🔗 「**現在地から自宅までのルートを探索する場合**」78ページ

ETCの各機能を設定するには(1)

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンやETCレーンの非表示/表示、料金所通過確認ブザーやETC音声ガイドの有無の設定をすることができます。

詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に添付の取扱説明書をご覧ください。

1

MENU ボタン()を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

MENU ボタン
()

2

次へ ボタンをタッチし、**ETC設定** ボタンをタッチする。

：ETC設定画面が表示されます。



3

設定する項目の**する**／**しない** ボタンをタッチする。

■ カード挿入表示をする場合

する ボタンをタッチする。

：ETCカードを挿入すると情報バーに

 アイコンが表示されます。

□ 表示を止めるには…

しない ボタンをタッチする。



3

■ ブザーを鳴らす場合

する ボタンをタッチする。

：ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時にETC車載機のブザーを鳴らします。

□ ブザーを止めるには…

しない ボタンをタッチする。

〔オフションボタンの設定をする〕

設定

〔ETCの各機能を設定するには〕

■ ETC音声ガイドをする場合

する ボタンをタッチする。

：料金表示などのお知らせをメッセージ表示およびナビゲーション本体から音声で行ないます。

☐ **音声ガイドを止めるには…**

しない ボタンをタッチする。

：メッセージ表示およびナビゲーション本体からの音声でのお知らせは行ないません。



アドバンス

ETCカードの有効期限のお知らせ（[P.274ページ](#)）は、ETC音声ガイドが**しない**に設定されている場合でもお知らせします。

■ ETCレーン表示をする場合

する ボタンをタッチする。

：料金所の手前でETCレーンを表示します。

☐ **レーン表示をを止めるには…**

しない ボタンをタッチする。

■ カード未挿入警告をする場合

する ボタンをタッチする。

：車のエンジンスイッチをⅠ（ACC）またはⅡ（ON）にしたときにETCカードが挿入されていない場合、ナビゲーション本体から音声で警告します。

☐ **警告を止めるには…**

しない ボタンをタッチする。

4

設定を終わるには…

現在地 ボタン（）を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
（）



アドバンス

手順 **3**（269、270ページ）のETCレーン表示の**する**／**しない**の設定は、常に変更できますが、他の設定は、本機に別売のETC車載器（ナビ連動タイプ）を接続している場合のみ変更できます。



ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

<ETCとは>

インターチェンジランプなどの料金所では、いったん、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）ユニットは、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器（ナビ連動タイプ）間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

<ETCを利用するには>

ETCをご利用になるには、ETC車載器（ナビ連動タイプ）のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法につきましては、ETC車載器（ナビ連動タイプ）に添付の取扱説明書をご覧ください。



お願い

- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- カード挿入表示を「する」に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器（ナビ連動タイプ）に挿入すると、情報バーに「ETC」アイコンが表示され、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

「ETCの各機能を設定するには」269ページ

■取り扱いについての詳細は、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に添付の取扱説明書をご覧ください

ETCを起動する

1 車のエンジンスイッチをⅠ(ACC)またはⅡ(ON)にしてナビゲーションの電源を入れる。

2 ETCカードをETC車載器(ナビ連動タイプ)に、“カシャン”と音がするまで押し込む。
：数秒後、情報バーに**ETC**アイコンが表示されます。



アイコン



アドバイス

- ナビゲーションシステムを起動すると、自動的にETCの機能チェックが行なわれます。
 - ETCカードの挿入後は、情報バーに**ETC**アイコンが表示されるまで、カードの排出などの操作を行なわないでください。
- ※カード挿入表示を**する**に設定していない場合は**ETC**アイコンは表示されません。
-  「ETCの各機能を設定するには」269、270ページ
- ETC車載器(ナビ連動タイプ)やETCカードに異常があったときは、ETCを利用できません。
 - ETCカードの読み込みなどが正常に行なえなかったときは、警告音とともに、画面にエラーメッセージが表示されます。

ETCカードを取り出す

1 車を停車し、車のエンジンスイッチを0(OFF)にして、ナビゲーションの電源を切る。

2 ETC車載器(ナビ連動タイプ)の取り出しボタンを押して、ETCカードを取り出す。

料金所通過表示について

1 料金所手前でETCレーンが表示されます。

※269、270ページ手順 **3** でETCレーン表示“する”に設定している。



2 ETCゲートを通過すると「利用料金は〇〇円でした」という音声ガイドが流れ、利用金額と利用時刻が画面に表示されます。



アドバイス

- この機能を利用するには、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)が必要となります。
「別売品(システムアップ)について」510、511ページ
- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCレーン表示(270ページ手順 **3**)を **しない** に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCカード未挿入でETCカード未挿入をお知らせアンテナ付近を通過すると、音声でお知らせと、“ETCが利用できません。停車してください。”と画面にメッセージが表示されます。

〔ETCの基本操作〕

設定

〔ETCを利用するには〕

予告案内／警告表示について

ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示、一部音声でのお知らせをします。

内容は以下のとおりです。

<予告案内>

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ表示されます。

“ETCが利用できません。停車してください”

“ETCが利用可能です”

<警 告>

“ETCカードを確認してください”

ETCカードが故障、またはカードがETCでないときに表示されます。

“ETCに異常が検出されました 販売店に連絡してください”

ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

“ETCカードを挿入してください”

ETCカードを挿入しないで、■ **カード未挿入警告をする場合** で **する** に設定している場合、本機起動時に表示されます。

“ETCユニットがセットアップできていません”

ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。

“ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください。”

ETCカードの有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをⅠ (ACC) またはⅡ (ON) にすると、音声と画面表示でお知らせします。

(画面表示は **OK** をタッチすると消えます。)

メンテナンス情報を設定する(1)

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のオイルや消耗部品の交換・イベント時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

■日付の設定：オイル交換／クリーンフィルター交換／車検・点検／タイヤローテーション／結婚記念日／誕生日1／誕生日2／お好み

■距離の設定：オイル交換／クリーンフィルター交換／タイヤローテーション

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

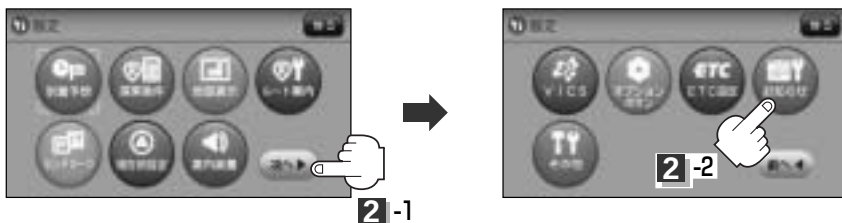
：サブメニュー画面が表示されます。



2

次へ ボタンをタッチし、 **お知らせ** ボタンをタッチする。

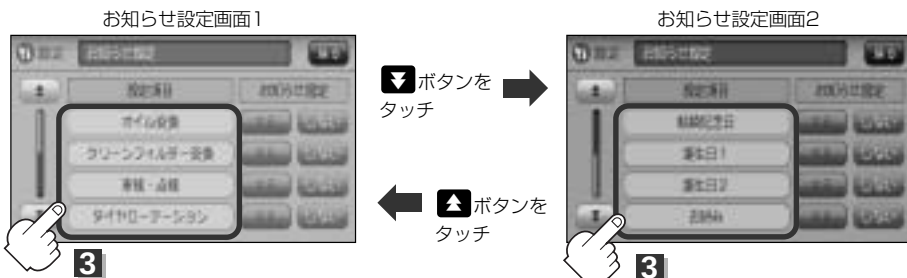
：お知らせ設定画面が表示されます。



3

設定項目 (**オイル交換** ／ **クリーンフィルター交換** ／ **車検・点検** ／
タイヤローテーション ／ **結婚記念日** ／ **誕生日1** ／ **誕生日2** ／ **お好み** ボタン) を
選び、タッチする。

：各設定の詳細画面が表示されます。



〔ETCを利用するには〕

設定

〔メンテナンス情報を設定する〕

メンテナンス情報を設定する(2)

4

交換時期や記念日の設定をします。



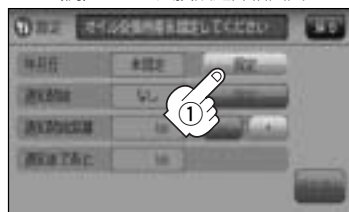
日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定してください。項目によっては日付のみの場合があります。

■ 日付の設定をする場合

① 年月日の「設定」ボタンをタッチする。

：年月日入力画面が表示されます。

(例) オイル交換設定詳細画面



② 数字をタッチして日付を入力する。

※年の入力は西暦(4桁)で入力します。

ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けてください。

例) 2009年4月15日は「20090415」とタッチする。

入力した数字を訂正する場合

訂正 ボタンをタッチします。

全ての数字を訂正する場合

訂正 ボタンを長めにタッチします。



●日付の設定はお知らせしたい年の西暦(年)を入力してください。

●設定した日付がすぎたら、もう一度、日付の設定をしておいてください。

③ 決定 ボタンをタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。

数字入力時、選べない数字は暗くなります。



■ 通知開始日の設定をする場合

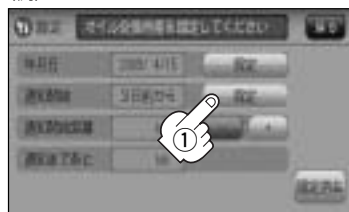
① 通知開始の「設定」ボタンをタッチする。

：タッチするたびに

→ 3日前から → 7日前から → なし(当日)

と切り替わります。

(例)



■ 距離の設定をする場合（オイル交換・クリーンフィルター交換・タイヤローテーション選択時）

① 通知開始距離の **－** / **＋** ボタンをタッチして距離を設定する。

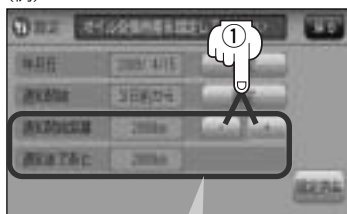
※設定距離は500～3万kmの範囲で、500km単位で設定できます。



アドバイス

設定した距離がすぎたら、手順 **1** ～ **3** (275ページ) にしたがって操作し、詳細画面を表示させ情報の消去 (278ページ) を行なってからもう一度、距離の設定をしておいてください。

(例)



距離の設定をする場合に表示されます。

■ 名称の編集をする場合（お好み選択時）

① 項目名称の **名称編集** ボタンをタッチする。

：名称編集画面が表示されます。

② **訂正** ボタンをタッチして訂正したい文字を削除する。

※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを長めにタッチしてください。

③ 入力する。

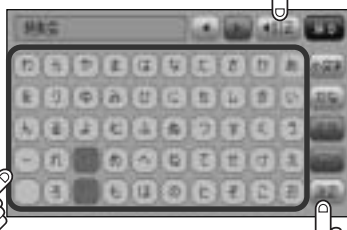
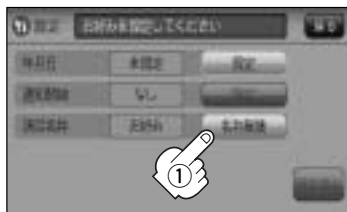
※かな、全カナ、全英字、全数記を5文字まで、半カナ、半英字、半数記を10文字まで入力できます。

入力 入力は「登録地点の編集／見る」の手順 **4** (201～203ページ) を参考にしてください。

④ 入力が終わったら・・・

決定 ボタンをタッチする。

：お好み設定詳細画面に戻ります。



設定

〔メンテナンス情報を設定する〕

メンテナンス情報を設定する(3)

5

戻る ボタンをタッチすると・・・

：お知らせ設定画面が表示され、設定した項目のお知らせ設定は **する** ボタンが選択されます。(ボタン点灯)

■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合

① 各設定項目の **しない** ボタンをタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 **する** ボタンをタッチしてください。

② **戻る** ボタンをタッチする。



■ メンテナンス情報の設定を消去する場合

① 設定を消去する項目を選びタッチする。



② **設定消去** ボタンをタッチする。



：設定を消去してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチします。

6

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン(△)を押すと、**現在地**の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションを立ち上げた(起動した)ときにそれぞれの画面でお知らせします。

※ **お知らせ不要** ボタンをタッチすると現在地表示画面に切り替わり、次回起動時からは案内されません。

(例) 設定当日



- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を **しない** にしているときは案内されません。
「**設定**」→「**■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合**」 278ページ
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

キー操作音を止めるには

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1

MENU ボタン()を押し、

設定 ボタンをタッチする。

：サブメニュー画面が表示されます。



1-1

(MENU)ボタン
()

2

次へ ボタンをタッチし、**その他** ボタンをタッチする。

：その他画面が表示されます。



3

キー操作音の **しない** ボタンをタッチする。

：キー操作音が消えます。



3

4

設定を終わるには・・・

現在地 ボタン()を押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

キー操作音を鳴らすには

① 上記手順 **3** で、キー操作音の **する** ボタンをタッチする。

② **現在地** ボタン()を押す、または **戻る** ボタンをタッチする。

データを初期化(消去)する(1)

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルートなど)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。

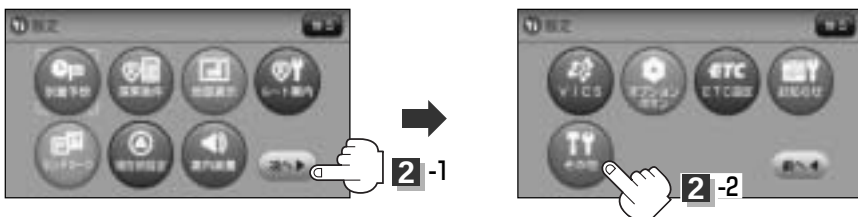
1 **MENU** ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。
：サブメニュー画面が表示されます。



1-1 **MENU** ボタン()

1-2

2 **次へ** ボタンをタッチし、**その他** ボタンをタッチする。
：その他画面が表示されます。



3 **初期化** ボタンをタッチする。
：初期化画面が表示されます。



4 初期化したい項目(**SDカードの初期化** ／
センサー学習結果の初期化 ／
ルート学習結果の初期化 ／ **出荷状態に戻す**
ボタン)をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択します。



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)しないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。
※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
(SDカード内全てのデータが消去されます。)
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

〔キー操作音を止めるには〕

設定

〔データを初期化(消去)する〕

データを初期化(消去)する(2)



アドバイス

- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチ(電源)をO(OFF)にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 手順 **4** (281 ページ) で選択する項目によって初期化される内容が異なります。

SDカードの初期化 ボタン ……SDカードにあるデータを初期化します。

センサー学習結果の初期化 ボタン 車の走行状況を初期化します。

ルート学習結果の初期化 ボタン …本機の学習機能を初期化します。

出荷状態に戻す ボタン ……個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。

- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。
測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行なってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。したがって、他の効率の良い道が見つかって、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。
- **出荷状態に戻す** を行なったときは、オーディオモードがOFFになります。

フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示するには(1) 別売

本機に別売のフロントカメラ／コーナカメラを接続している場合、走行速度が低速になると自動的にフロントカメラ／コーナカメラの映像に切り替わるように設定できます。左右の見通しがよくない場所や道路端への幅寄せ・細い道路でのすれ違いなどで車のフロント付近／左サイド前輪付近から前方をモニター画面で確認することができます。

(フロントカメラ／コーナカメラの映像を調整するには「映像の調整のしかた」444～446ページをご覧ください。) **カメラ設定** ボタンは別売のフロントカメラ／コーナカメラ接続時に表示されます。

フロントカメラ／コーナカメラの設定をする

走行速度に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、 **カメラ** アイコンを情報バーに表示するように設定することができます。

1

MENU ボタン()を押し、
設定 ボタンをタッチする。

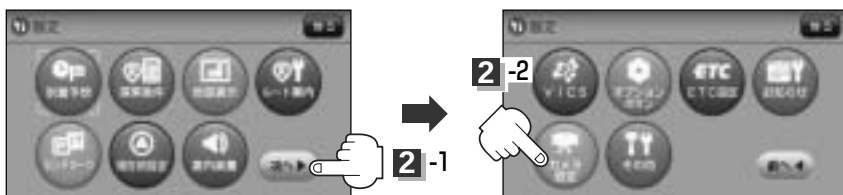
：サブメニュー画面が表示されます。



2

次へ ボタンをタッチし、 **カメラ設定** ボタンをタッチする。

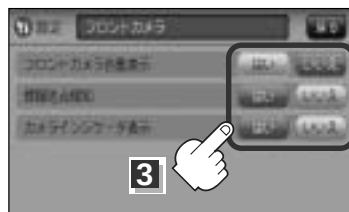
：フロントカメラ設定画面が表示されます。



3

設定したい項目 (**はい** / **いいえ** ボタン) を
選択し、タッチする。

(例) フロントカメラ接続の場合



4

設定を終わるには…

現在地 ボタン()を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、

1つ前の画面に戻ります。



「データを初期化(消去)する」

設定

「フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示する」

“フロント／コーナカメラ自動表示” について

車の走行速度が低速になったとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。

“登録地点検知” について

- 登録してあるカメラ地点に低速で近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。
- この機能を使うには、あらかじめカメラ地点を登録しておかないと使えません。
[設定]「**フロントカメラ／コーナカメラ地点を登録する**」286、287ページ
- カメラ地点編集画面で **カメラ地点** ボタンの表示灯を消灯している場合は、自動的にカメラ映像は表示されません。
[設定]「登録地点の編集／見る」206ページ

“カメラインジケータ表示” について

フロントカメラ／コーナカメラを接続すると情報バーにアイコン()を表示する／しないの設定ができます。

アイコンの色について

“フロント／コーナカメラ自動表示” で **はい**／**いいえ** ボタンの設定によってアイコンの色が変わり、自動表示できるかどうか区別できます。

緑色(はい) : 低速走行になると自動的にカメラ映像を表示できます。

灰色(いいえ) : 低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示できません。



アイコン

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには

フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする（283ページ）で“フロント／コーナーカメラ自動表示”や“登録地点検知”で**はい**ボタンに設定すると、車速判定機能により、車の走行速度が低速になると自動的にカメラ映像が表示されます。

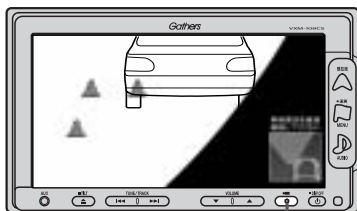
低速で走行すると・・・

前方または左前コーナーのカメラ映像を表示します。

走行速度があがると・・・

もとの画面に戻ります。

（例）コーナーカメラ映像



OPTION ボタン()



アドバイス

- 低速走行または停車時に**OPTION**ボタン()を押して、フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示することができます。

もとの画面に戻りたいときは、もう一度**OPTION**ボタン()を押してください。

- 高速走行時に**OPTION**ボタン()を押しても、メッセージが表示されフロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示できません。その状態のまま低速走行すると、1回だけカメラ映像を表示します。

- 283ページ手順**3**で、フロント／コーナーカメラ自動表示を**はい**ボタンに設定すると、267、268ページ「オプションボタンの設定をする」で設定した機能は使用できません。

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する場合

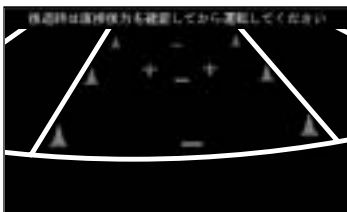
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使う場合、車のシフトレバーをリバースに入れているときに、リアカメラとコーナーカメラの映像を切り替えることができます。縦列駐車をする場合などに、映像画面を切り替えて後方と左側面を確認することができます。

1

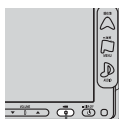
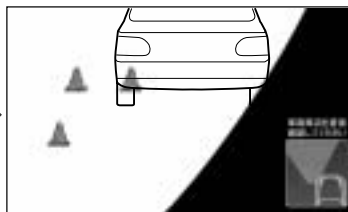
車のシフトレバーをリバースに入れる。

※パネルの**OPTION**ボタン()を押すたびに、映像画面が切り替わります。

リアカメラ映像画面



コーナーカメラ映像画面



OPTION ボタン()



アドバイス

車のシフトレバーをリバース以外に入れている場合は、コーナーカメラ映像のみ表示します。リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

フロントカメラ／コーナカメラ地点を登録する

フロントカメラ／コーナカメラ映像を自動的に表示する地点を登録します。

1

地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定** ボタンをタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなるよ！



1

2

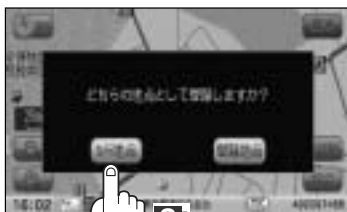
地点登録 ボタンをタッチする。



3

カメラ地点 ボタンをタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上にカメラ地点マークが追加されます。



3



アドバイス

- フロントカメラまたはコーナカメラを接続していない場合は、どちらの地点として登録するかメッセージは表示されません。
- カメラ地点で登録すると地図上には  マークが表示されます。

4

設定を終わったら…

現在地 ボタン(△)を押すと、
現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。



4

現在地 ボタン
(△)



アドハイス

●手順 **3** (286ページ)で **カメラ地点** ボタンで登録した場合、登録地点の地図は **MENU** ボタン(□) を押し、**目的地** → **登録地点** をタッチして呼び出すことができます。

☞ 「登録地点で地点を探す」 107～109ページ

☞ 「登録地点地図を呼び出す」 210～212ページ

●登録した地点を編集したり、地点の並び替えや削除をすることができます。

☞ 「登録地点の編集／見る」 200～206ページ

☞ 「登録地点の並び替えをする」 207～209ページ

☞ 「登録地点を削除する」 213～215ページ

コーナーカメラガイドを表示するには



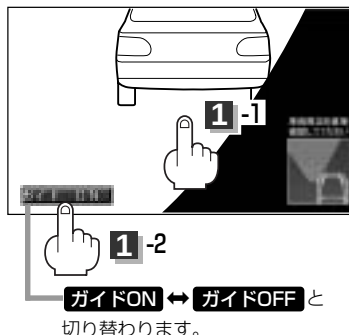
アドハイス

- 必要な距離は各販売店で設定されます。
設定の変更等については、各販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

1

コーナーカメラ映像画面で画面をタッチし、
ガイドON ボタンをタッチする。

：コーナーカメラガイドが表示されます。



ガイドON ↔ **ガイドOFF** と
切り替わります。

2

表示を止めるには・・・

ガイドOFF ボタンをタッチする。

設
定

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する

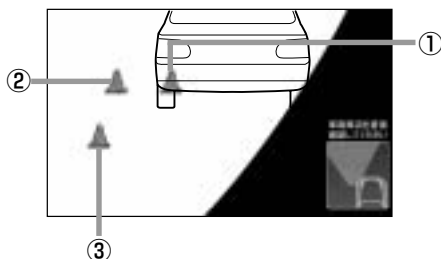
コーナカメラガイドの見かた

画面上に車両の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安が表示されます。



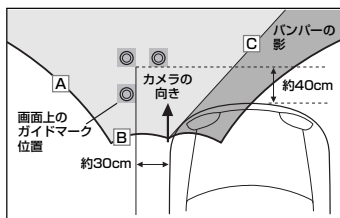
お願い

- 画面上に表示されるコーナカメラガイドは目安です。コーナカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行なわないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

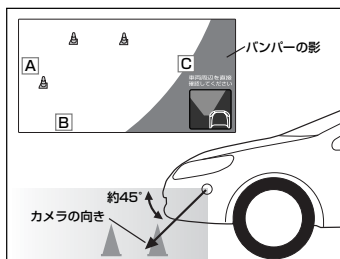


- ①フロントバンパーより約40cmの位置を示します。
- ②フロントバンパーより約40cm、左ドアミラー先端より約30cmの位置を示します。
- ③左ドアミラー先端より約30cmの位置を示します。

<自車の状況>



※A、B、Cのラインは説明のためのイメージです。



- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - ・次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くするとレンズカバーにキズが付くことがあります。



お願い

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナーカメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像調整や警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車してから行なってください。

リアカメラ映像を表示するには(1)

車両標準装備
別売

リアカメラ車両標準装備または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のシフトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。

(リアカメラの映像を調整するには「映像の調整のしかた」444～446ページをご覧ください。)

リアカメラ映像を表示するには

■ 車のシフトレバーをリバースに入れた場合

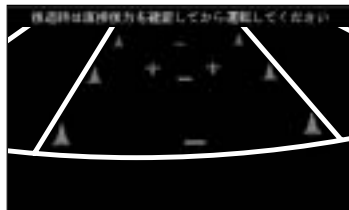
：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。

その間、後方確認のメッセージが表示されます。

■ 車のシフトレバーをリバース以外に入れた場合

：もとの画面に戻ります。

(例) リアカメラ映像

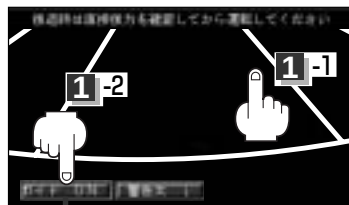


リアカメラガイドを表示するには

1

パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れ、リアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして **ガイドON** ボタンをタッチする。

：リアカメラガイドが表示されます。



ガイドON ↔ **ガイドOFF** と切り替わります。



アドドライブ

ガイドON ↔ **ガイドON** はパーキングブレーキをかけなくても(低速で走行中を含む)ボタンをタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行なってください。

2

表示を止めるには・・・

画面をタッチして **ガイドOFF** ボタンをタッチする。

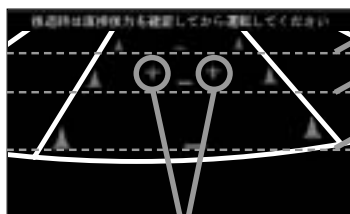


お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行なわないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの映像調整や警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行なってください。

リアカメラガイドの見かた

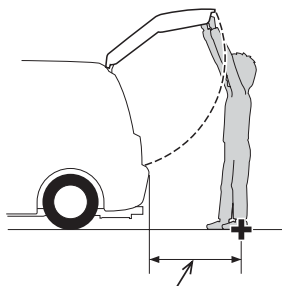
画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。



- ①バンパー後端より約2mの位置を示します。
- ②バンパー後端より約1mの位置を示します。
- ③バンパー後端より約0.5mまたは0.25mの位置を示します。
※車種により位置は異なります。
- ④テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

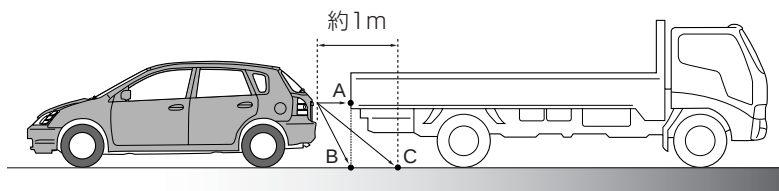


- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、各販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、各販売店にご相談ください。

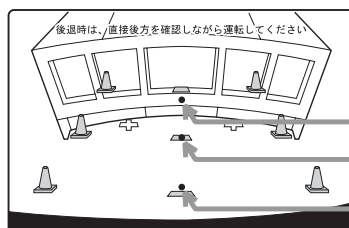


テールゲートなどの開閉に必要な距離

<自車の状況>



<画面の状況>



画面上では、自車から約1m先のCの位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはBの位置まで後退するとトラックに接触してしまいます。

画面上では手前よりB、C、Aの順に見えますが、実際にはAとBは自車から同じ距離で、CはAとBより遠い距離にあります。

リアカメラ映像を表示するには(2)

車両標準装備

別売



アドバイス

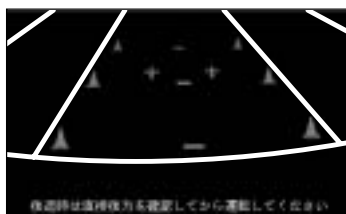
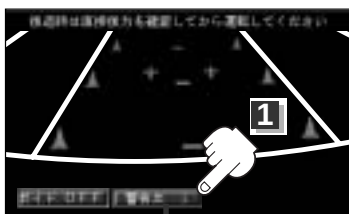
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
- 図(291ページ)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
- 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

警告文の位置を下げるには

1

リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↓** ボタンをタッチする。

：画面上部の警告文が画面下部に表示されます。



警告文↓ ↔ **警告文↑** と切り替わります。

2

位置を上げるには・・・

画面をタッチして **警告文↑** ボタンをタッチする。



アドバイス

車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。

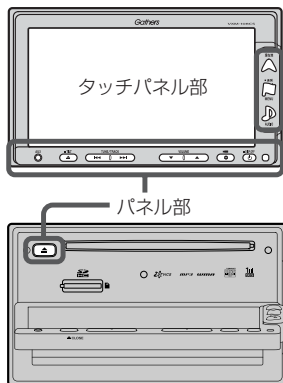
カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

オーディオ／共通

はじめに	294～296
操作したいモードに替えるには	294、295
オーディオモードを終了するには	296
音量を調整する	297
AV SOURCE画面のモードボタンについて	298
音質／音量バランスの調整をする	299、300
車速連動音量を設定する	301、302

はじめに(1)



- パネル部の詳細につきましては、 「各部の名称とはたらき」50、51ページをご覧ください。
- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはラジオ(FM/AM)/ワンセグ/CD/MP3/WMA/SD/AUX/VTR★/USB/iPod/PHOTOモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

操作したいモードに替えるには

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (295ページ)へ進んでください。

1

車のエンジン スイッチを I (ACC) または II (ON) に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

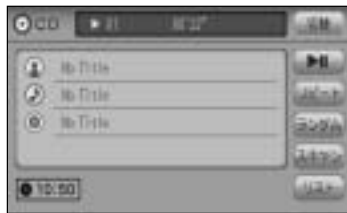
※ディスプレイの角度を変える場合は49ページをご覧ください。



起動初期画面



モード表示画面((例)CDモード画面)



注意

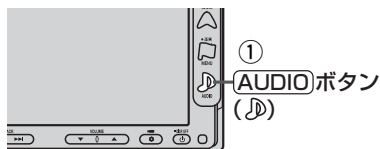
車のエンジンスイッチを I (ACC) (エンジンを停止したまま) のままで長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーションモード画面または他のモードが表示された場合

① AUDIO ボタン()を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。



□ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度AUDIO ボタン()を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② 操作したいモード(**FM/AM** / **ワンセグ** / **CD** / **SD** / **AUX**★ / **USB** / **PHOTO** ボタン)をタッチする。



(例) AV SOURCE画面

■ 操作したいモード画面が表示された場合

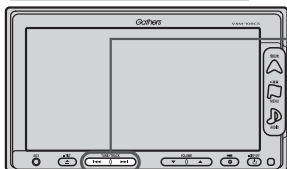
303~441ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。



●オーディオの音声を聞きながら地図を表示することもできます。

 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

ボタンについて



各モードに合わせて呼び名を変えています。
トラック…CD/MP3/WMA/SD/USB/iPod
選局………ラジオ (FM/AM)/ワンセグ

●★印: 本機に別売のVTRコードを接続している場合、**AUX** ボタンが **AUX/VTR** ボタンに変わります。

はじめに(2)

オーディオモードを終了するには

1

電源 ボタン(⏻)を押す。

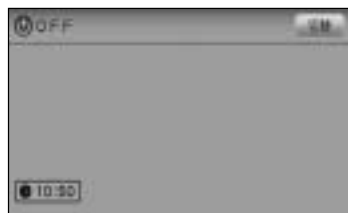
：オーディオモードを終了します。

※もう一度 **電源** ボタン(⏻)を押すと、オーディオモードのラストモード画面が表示されます。

(例) CDモード画面



1 **電源** ボタン(⏻)



音量を調整する

1

VOLUME ボタン(▼／▲)を押す。

▲側：音量が大きくなります。

▼側：音量が小さくなります。

※押しつづけて調整することもできます。

(例) CDモード画面



1 **VOLUME** ボタン(▼／▲)

音量を調整すると画面に現在の音の大きさ
(0～40)を示すVOLUME表示が表示されます。
VOLUME表示は約2秒間表示されます。



アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。

「音声案内の音量を調整するには」263、264ページ

- OPTION** ボタン(⚙️)にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。「オプションボタンの設定をする」267、268ページ
- AUXモードの場合、音量は個別に設定できます。

※CDモードで音の大きさを“13”にした場合、MP3/WMA/SD/ワンセグ/ラジオ(FM/AM)モードも音の大きさは“13”となります。AUXモード時は“13”以外の大きさも保持します。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

選択可能モードはボタンがカラー表示、
モードの文字白色表示*1



選択不可能モードはボタンが
灰色表示



*1印：SDカード未挿入／USB未接続の場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可となります。

●CD表示について

CD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD未挿入時*2



CD／MP3／WMA
ディスクを挿入し再生時



CD／MP3／WMA再生後に
ディスクを抜いたとき*3



アドバイス

●各モードボタンをタッチすることによってそれぞれのモードへと切り替わります。

FM／AM = ラジオモード (FMモード／AMモード)

ワンセグ = ワンセグモード (地上デジタルテレビ放送)

CD = CD／MP3／WMAモード

SD = SDモード

AUX／VTR★ = AUXモード／VTRモード

USB = USBモード

PHOTO = PHOTOモード

※ **SD** を操作するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

●★印：別売のAUX接続コードやVTRコードなどを使用して、本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続するとAV SOURCE画面の **AUX** ボタンが **AUX／VTR** ボタンに変わります。

音質／音量バランスの調整をする(1)

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

- **BASS**：低音域の調整
- **TREBLE**：高音域の調整
- **BALANCE**：左または右スピーカーの音量調整
- **FADE**：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)またはPHOTOモードの場合は、音質／音量バランスの調整をすることはできません。

1 オーディオモード画面で AUDIO ボタン()を押す。

： AV SOURCE画面が表示されます。

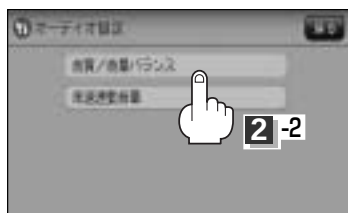
AVモード画面((例) CDモード画面)



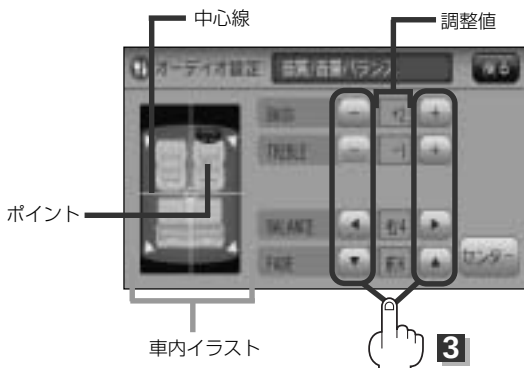
1 AUDIO ボタン
()

2 オーディオ設定 ボタンをタッチし、音質／音量バランス ボタンをタッチする。

： 音質／音量バランス設定画面が表示されます。



3 調整したい項目の / または / または / ボタンをタッチして値を調整する。



- **BALANCE**と**FADE**の場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

音質／音量バランスの調整をする(2)

バス BASS(−5〜+5)

− ボタンをタッチする。

：低音が弱まります。

+ ボタンをタッチする。

：低音が強まります。

トレブル TREBLE(−5〜+5)

− ボタンをタッチする。

：高音が弱まります。

+ ボタンをタッチする。

：高音が強まります。

バランス BALANCE(左9〜右9)

◀ ボタンをタッチする。

：右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンをタッチする。

：左スピーカーの音量が下がります。

フェード FADE(前9〜後9)

▼ ボタンをタッチする。

：前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンをタッチする。

：後ろスピーカーの音量が下がります。

4

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- 調整時に **−** / **+** / **◀** / **▶** / **▼** / **▲** ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。
- **センター** ボタンをタッチすると **BALANCE** と **FADE** の値が“0”になり、ポイントを中心線に戻すことができます。



車速連動音量を設定する(1)

車の走行速度によって発生する走行ノイズの大きさに反応し、オーディオの音量を自動で調整します。
※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、車速連動音量の設定をすることはできません。

共通
オーディオ

〔音質／音量バランスの調整をする〕／〔車速連動音量を設定する〕

1

オーディオモード画面で

AUDIO ボタン()を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

AVモード画面((例)CDモード画面)



1

AUDIO ボタン
()

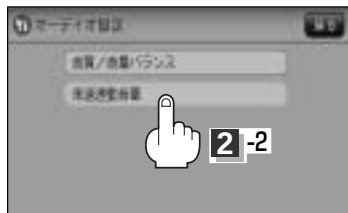
2

オーディオ設定 ボタンをタッチし、**車速連動音量** ボタンをタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。



2-1



2-2

3

設定したい音量(**LOW**／**MIDDLE**／**HIGH** ボタン)をタッチする。

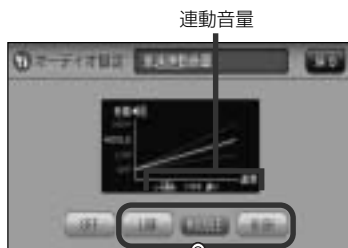
※車速(走行速度)に応じて音量変化は

- LOW…小さい
- MIDDLE…HIGHとLOWの間
- HIGH…大きい

となります。

■ **車速連動音量を設定しない場合**

① **OFF** ボタンをタッチする。



連動音量

3

車速連動音量を設定する(2)

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。


アドバイス

音量

大 ↑

↓ 小

HIGH

MIDDLE

LOW

車速
(走行速度)

遅 ← → 速

- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ（小さくし）ます。
※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

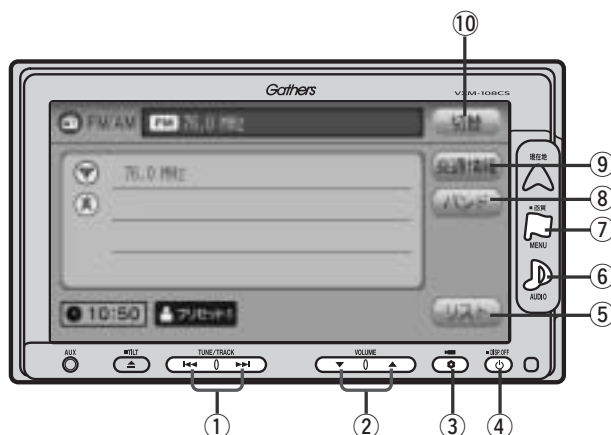
- 車内イラストは音の出力を表すイメージ図です。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

ラジオ

ラジオを使う	304～315
各部の名称とはたらき	304、305
表示部について	306
ラジオを聞く	307
ラジオモードを終了する	308
FM／AM放送を切り替える	308
エリア／プリセット1／ プリセット2を選ぶ	309、310
選局する	311～313
プリセット(メモリー)する	314、315
交通情報を受信する	316、317
時計を表示する	318

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき



① 選局 ボタン (◀/▶)

手動／自動選局に使用します。(311ページ)

② VOLUME ボタン (▼/▲)

音量の増減を調整します。(297ページ)

▼: 音量減 ▲: 音量増

③ OPTION ボタン (⬢)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ 電源 ボタン (⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ リスト ボタン

現在車の位置周辺で放送されている放送局をリスト表示します。(311～314ページ)

⑥ AUDIO ボタン (🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ワンセグ／CD／MP3／WMA／SD／AUX／VTR★／USB／PHOTOモードからラジオ (FM／AM) モードに切り替えるときに使用します。(295ページ)

★印: 本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑦ 画質 ボタン (📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

⑧ バンド ボタン

タッチするたびにAM↔FMと切り替わります。(308ページ)

⑨ 交通情報 ボタン

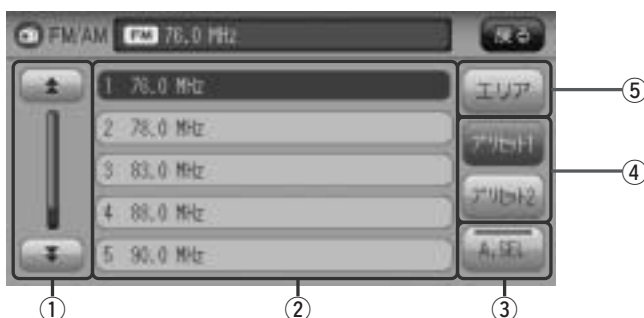
道路交通情報を受信します。(316、317ページ)

⑩ 切替 ボタン

時計表示に切り替わります。

※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチするとラジオモード画面に戻ります。(318ページ)

ラジオモード(例) FM リスト画面
(**プリセット1** / **プリセット2** ボタン選択時)



ラジオモード(例) FM リスト画面 (**エリア** ボタン選択時)



① **▲ / ▼** ボタン

ページ戻し／ページ送り表示します。

② **プリセット** ボタン(1～6)

1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
(314、315ページ)(エリアボタン選択時は除く)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

③ **A.SEL** ボタン

1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯) (315ページ)

※セレクトされた放送局は **プリセット** ボタンに表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザープリセット画面の切り替えとなります。(313ページ)

④ **プリセット1** / **プリセット2** ボタン*

ユーザープリセット1(プリセット1)／ユーザープリセット2(プリセット2)を表示します。(309、310ページ)

⑤ **エリア** ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1～12)に表示します。
(311ページ)

⑥ **エリア表示** ボタン (1～12)

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン(1～12)に表示されます。(312ページ)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

⑦ **エリア更新** ボタン (1～12)

エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。(312ページ、アドバース内)



アドバース

*印：オートセレクト画面(**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、**プリセット1** / **プリセット2** / **エリア** ボタンは表示されません。

ラジオを使う(2)

表示部について



① 周波数

② 放送局

※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

③ プリセット表示／エリア表示／オートセレクト表示

※リストから選択したボタン(**エリア**／**プリセット1**／**プリセット2**／**A.SEL** ボタン)によって表示は異なります。

プリセット1 : **プリセット** ボタン選択時に表示

エリア選局 : **エリア** ボタン選択時に表示

オートセレクト : **A.SEL** ボタン選択時に表示

④ ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回ラジオ(FM/AM)モード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① **電源** ボタン()を押す。

：ラジオ放送を受信します。

※ **AUDIO** ボタン()を押し、**FM/AM** ボタンをタッチしてもラジオ放送を受信します。



① 電源 ボタン()

- ナビゲーションモードまたは前回ラジオ(FM/AM)モード以外のオーディオモード画面の場合

① **AUDIO** ボタン()を押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

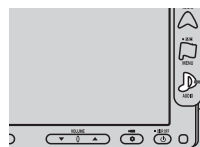
もう一度 **AUDIO** ボタン()を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

② **FM/AM** ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。



① **AUDIO** ボタン()

AV SOURCE画面(例)



ラジオの操作説明はFM画面の場合にて説明していますがAMも同様の操作手順となります。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

 「音量を調整する」297ページ

 「音質/音量バランスの調整をする」299、300ページ

 「映像の調整のしかた」444～446ページ



ラジオ(FM/AM)の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」448、449ページ

ラジオを使う(3)

ラジオモードを終了する

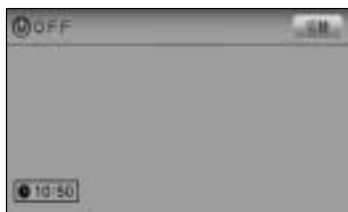
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)



1 (電源)ボタン(⏻)



FM/AM放送を切り替える

1

バンド ボタンをタッチする。

: タッチするたびにAMモード↔FMモードと切り替わります。

(例) FMモード時表示



FMモード選択時表示

(例) AMモード時表示



AMモード選択時表示

エリア／プリセット1／プリセット2を選ぶ

エリア／プリセット1／プリセット2の中から聞きたいプリセットを選択することができます。

※エリア／プリセット1／プリセット2を呼び出す前にあらかじめプリセットボタンにメモリーしておく必要があります。

☞ 「**プリセット(メモリー)する**」 314、315ページ

1

リスト ボタンをタッチする。

: 308ページ手順 **1** で選択したモード(FM／AM)の **エリア表示** ボタンまたは **プリセット** ボタンが表示されます。

(例) FMモードTOP画面



1

2

エリア／**プリセット1**／**プリセット2** ボタンを選択し、タッチする。

: **エリア表示** ボタン(1～6)または **プリセット** ボタン(1～6)が表示されます。

※ **プリセット** ボタンを使つての選局は312ページをご覧ください。



プリセット ボタン(1～6)



(例) **エリア** ボタン選択



エリア表示 ボタン(1～6)

↑／↓ ボタン
タッチでつづき
を表示

ラジオを使う(4)



アドバイス

ラジオモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって異なります。画面が下記のように変わります。

(例) ラジオモードリスト画面

エリア ボタン選択時

(エリア表示)



プリセット1 /

プリセット2

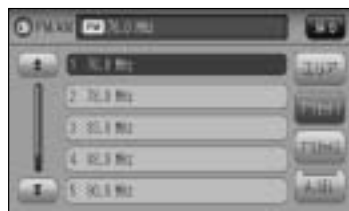
ボタンを
タッチすると

エリア ボタンを
タッチすると

(例) ラジオモードリスト画面

プリセット1 / **プリセット2** ボタン選択時

(ユーザープリセット表示)

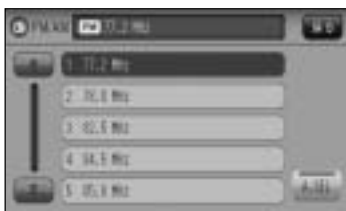


A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
点灯すると

(例) ラジオモードリスト画面

A.SEL ボタン選択時

(オートセレクト表示)



A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
消灯すると

A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
点灯すると

A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
消灯すると

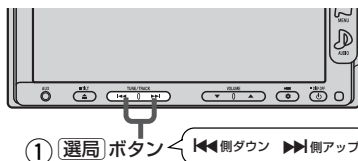
選局する

手動選局／自動選局／エリア選局／ユーザープリセット選局／オートセレクト選局があります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に**選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押すと、自動選局は止まります。



- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると  が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **リスト** ボタンをタッチし、**エリア** ボタンをタッチする。

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** ボタン (1～12) に表示されます。

★印： **エリア** ボタンが **エリア更新** ボタンに切り替わります。 **プリセット1** / **プリセット2** ボタンをタッチすると **エリア** ボタンに戻ります。



ラジオを使う(5)

② エリア表示 ボタン(1~12)の中 で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

エリア表示 ボタン
(1~12)

※エリアが6局に満た
ない場合、表示ボタ
ンの数は減ります。



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数異なりますので、全ての **エリア表示** ボタンに表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** / **プリセット2**、**A.SEL**)によって異なります。[P] 310ページアドバイス参照

■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合

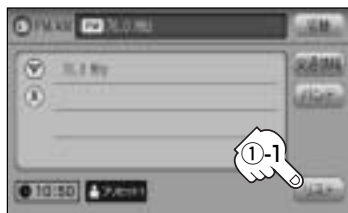
プリセット ボタン(1~6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** ボタン(1~6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

[P] 「 **プリセット(メモリー)する** 」 314、315ページ

① **リスト** ボタンをタッチし、プリセット(**プリセット1** / **プリセット2**)を選ぶ。

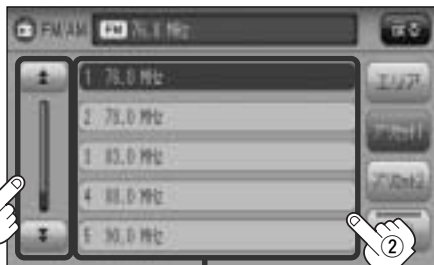
[P] 「 **エリア/プリセット1/プリセット2を選ぶ** 」 309、310ページ



②呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)を タッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時



プリセット ボタン(1~6)



アドバイス

オートセレクト画面を表示している場合は
A.SEL ボタンをタッチして表示灯を消灯し、ユ
ーザープリセット画面に切り替えて手順①を行な
ってください。

[P] 「 **オートセレクト画面のときユーザープリ
セット/エリア画面に戻すには…** 」

313ページ

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動で12局までメモリー)した放送局を **プリセット** ボタンに表示し、呼び出すことができます。

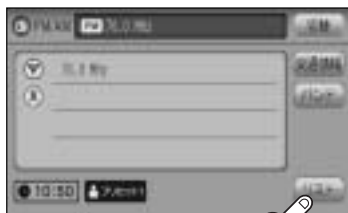
※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

☞ 「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」 315ページ

① リスト ボタンをタッチし、**A.SEL** ボタンをタッチする。

：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** ボタンに表示します。

(例) ラジオモードTOP画面



(例) ラジオモードリスト画面(*)
ユーザープリセット表示



② **プリセット** ボタンの中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送局を受信します。

プリセット ボタン
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。



オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

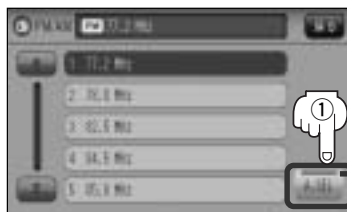
□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すには…

① **A.SEL** ボタンをタッチする。

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** ボタンをタッチするたびにオートセレクト／エリア画面 ↔ ユーザープリセットと切り替わります。

オートセレクト画面



表示灯



アドバイス

- **A.SEL** ボタンを1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。☞ 315ページ
- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- *印：ラジオモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** / **プリセット2**、**A.SEL**)によって異なります。☞ 310ページアドバイス参照

ラジオを使う(6)

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

1

バンド ボタンをタッチする。

☞ 「 **FM/AM放送を切り替える** 」 308ページ

2

リスト ボタンをタッチし、**プリセット1** または **プリセット2** ボタンをタッチする。

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

☞ 「 **エリア/プリセット1/プリセット2を選ぶ** 」 309、310ページ

(例) ラジオモードTOP画面



(例) ラジオモードリスト画面



3

プリセットする方法を選択します。

(ユーザープリセット/オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット** ボタン(1~6)にメモリーします。

※ **プリセット** ボタンには、FM・AMの各モードでプリセット1/プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

① パネルの**選局** ボタン(◀▶/▶▶)を
押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「 ■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 /
■ 自動選局で放送局を選ぶ場合 」

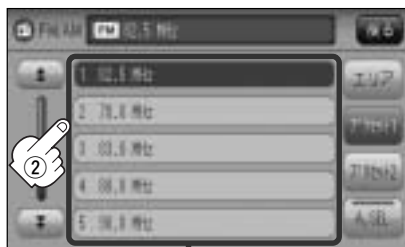
311ページ

(例) ユーザープリセット画面



① **選局** ボタン(◀▶/▶▶)

- ② **プリセット** ボタン(1~6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1~6)



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
 - メモリーした放送局を呼び出すには、**プリセット1** または **プリセット2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)を軽く(1秒未満)タッチします。
- ☞ 「■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合」312ページ

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で12局まで **プリセット** ボタンにメモリーします。

- ① **A.SEL** ボタンを1秒以上タッチする。

： **A.SEL** ボタンの表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** ボタンにメモリー(表示)します。



プリセット ボタン

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** ボタンを軽く(1秒未満)タッチします。
- ☞ 「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」313ページ
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
 - オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** ボタンをタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

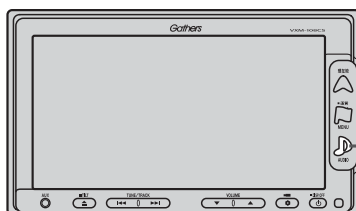
1

AUDIO ボタン()を押す。

： AV SOURCE画面が表示されます。



ラジオモード (FM/AM) から操作する場合は、
317ページのアドバイス内をご覧ください。



1

AUDIO ボタン
()

2

交通情報 ボタンをタッチする。

： 交通情報設定画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

AV SOURCE画面



交通情報設定画面(例)



■ 周波数の設定を変える場合

①交通情報設定画面のとき **1629kHz** ボタンをタッチする。

： 1629kHzの交通情報を受信します。

※ 1620kHzに戻したい場合は

1620kHz ボタンをタッチしてください。



3

交通情報の受信を止めるには…

戻る ボタンをタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。

※ **電源** ボタン()を押すと画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

AUDIO ボタン()を押してAV SOURCE画面にし、モードボタンをタッチすると選択したモードに切り替わります。



ラジオ

「交通情報を受信する」

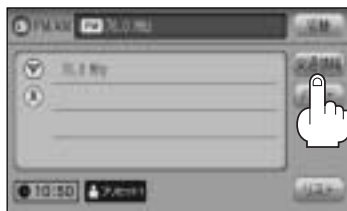


アドハイス

● 次回 **交通情報** ボタンをタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

● ラジオモード画面(FMモード/AMモード)で

交通情報 ボタンをタッチしても交通情報画面に切り替わります。



時計を表示する

画面全体に時計を表示することができます。

1

FMモード／AMモードTOP画面で**切替** ボタンをタッチする。

：画面全体に時計を表示します。

※もう一度 **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

(例) FMモードTOP画面

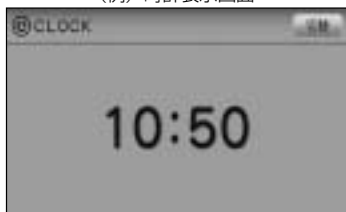


切替 ボタン
タッチ



切替 ボタン
タッチ

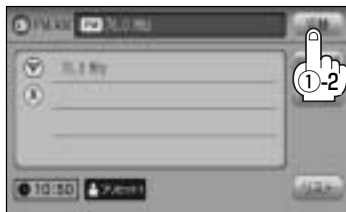
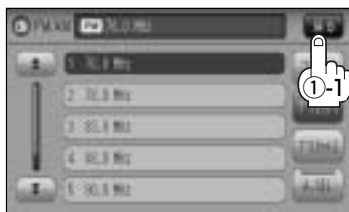
(例) 時計表示画面



■ リスト画面が表示されている場合

① **戻る** ボタンをタッチして各TOP画面を表示させ、**切替** ボタンをタッチする。

(例) FMモードリスト画面



ワンセグを使う

ワンセグを使う	320～353
「ワンセグ」について	320
「ワンセグ」の番組受信について	321
「ワンセグ」の画像について	322
テレビのアナログ放送からデジタル放送への移行についてお知らせ	322
各部の名称とはたらき	323～325
基本的な操作のながれ	326
ワンセグモードにする	327、328
ワンセグモードを終了する	328
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)	
をする	329、330
エリア変更を「自動」に戻すには	331
エリアスキャンをする	332
スキャンについて	333
選局する	334～338
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する	339、340
プリセットメモリーをする	341、342
番組表を見る	343、344
中継・系列局サーチをする	345
音声や字幕を切り替える	346
時計表示設定／中継・系列局サーチ設定	347、348
受信可能な放送局(チャンネル)および受信レベルを確認する	349、350
アンテナ電源の設定をする	351
設定を初期化する	352、353

ワンセグを使う(1)

「ワンセグ」について

地上デジタルテレビ放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です（その他の地域では2006年末までに放送が開始されました）。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。

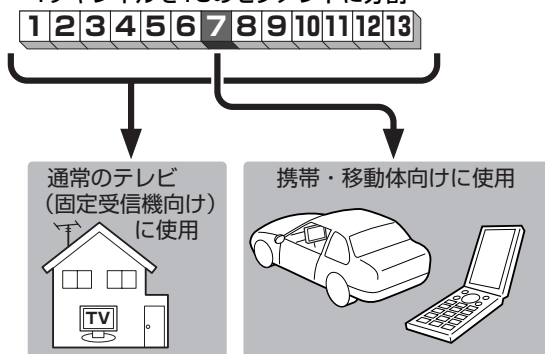


アドハイス

地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日に東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>



1チャンネルを13のセグメントに分割



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

「ワンセグ」の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声は乱れたり雑音ははいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声は乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声は乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

ワンセグを使う(2)

「ワンセグ」の画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例) 周りが黒く表示される



(例) 左右が黒く表示される



(例) 上下が黒く表示される



テレビの アナログ放送 から デジタル放送 への移行についてお知らせ

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。



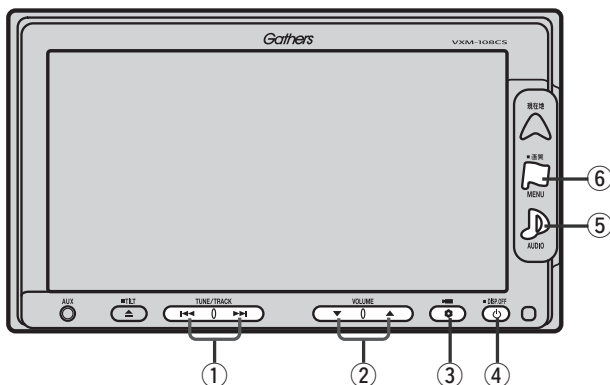
※地上デジタルテレビ放送開始エリア内でも、各県庁所在地における先行局のみの開局があり全県下で受信可能とは限りません。

車載(車での使用)の場合は周囲の影響を受けやすい為、受信エリア内でも映らない場合があります。

※本機で地上アナログ放送を受信することはできません。

各部の名称とはたらき

パネル部について



① 選局 ボタン (◀/▶)

プリセットされている放送局を呼び出します。(手動選局) また、ボタンを押し続けると受信可能な放送局を探します。(自動選局) (334ページ)

② VOLUME ボタン (▼/▲)

音量の増減を調整します。(297ページ)
▼: 音量減 ▲: 音量増

③ OPTION ボタン (⚙)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ 電源 ボタン (⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときを使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ AUDIO ボタン (🔊)

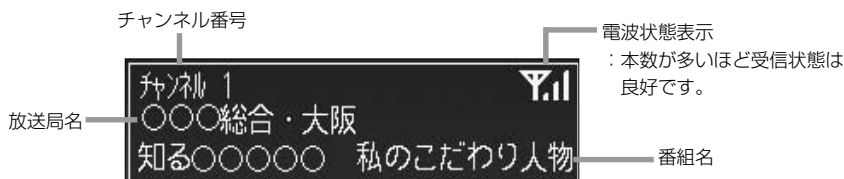
AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション/ラジオ (FM/AM) / CD / MP3 / WMA / SD / AUX / VTR★ / USB / PHOTOモードからワンセグモードに切り替えるときに使用します。(295ページ)
★印: 本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑥ 画質 ボタン (📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444~446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

バーナー表示について

地上デジタル放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバーナー表示と呼びます。バーナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



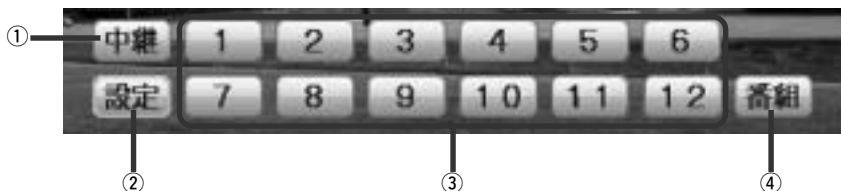
ワンセグを使う(3)

タッチパネル部のボタンについて

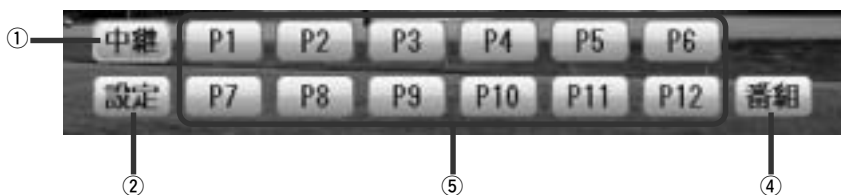
- 画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約5秒間表示されます。(下記)
※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。

操作ボタン

■ エリア呼出 ボタンを選択した場合



■ プリセット呼出 ボタンを選択した場合



① 中継 ボタン

中継・系列局をサーチします。(345ページ)

② 設定 ボタン

ワンセグメニュー画面を表示します。(325ページ)

③ 1～12 ボタン(エリア呼出)

あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。(335ページ)

④ 番組 ボタン

番組表を表示します。(344ページ、アドバイス内)

⑤ P1～P12 ボタン(プリセット呼び出し)

1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(341、342ページ)

メモリーしたボタンはP1～P12の表示から物理チャンネル(13～62ch)表示となります。

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(約1秒未満)タッチします。(335ページ)



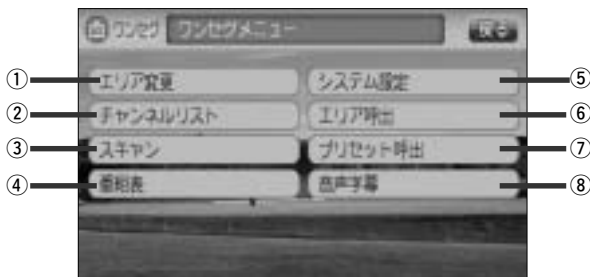
アドバイス

操作ボタンは、ワンセグメニュー画面で選択するボタン(**エリア呼出** / **プリセット呼出**)によって表示内容(機能)が異なります。

🔍 「ワンセグメニュー画面について」 325ページ

ワンセグメニュー画面について

画面をタッチして操作ボタンを表示させているとき、**設定** ボタンをタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行ないます。



① **エリア変更** ボタン

視聴エリアを変更します。
(329～331ページ)

② **チャンネルリスト** ボタン

チャンネルリストを表示します。
(339、340ページ)

③ **スキャン** ボタン

初期スキャン／再スキャンをすることができます。
(332、333ページ)

④ **番組表** ボタン

番組表を表示します。
(343、344ページ)

⑤ **システム設定** ボタン

各種設定（時計表示設定、中継・系列局サーチ設定）、受信レベル確認、アンテナ電源、システム情報の確認をすることができます。

時計表示設定（347、348ページ）

中継・系列局サーチ設定
(347、348ページ)

受信レベル確認（349、350ページ）

アンテナ電源設定（351ページ）

システム設定（352、353ページ）

⑥ **エリア呼出** ボタン

操作ボタン を表示します。

表示された **1** ～ **12** ボタンをタッチして視聴エリアの変更やスキャンによってプリセット（メモリー）されている放送局を呼び出すことができます。
(342ページ)

⑦ **プリセット呼出** ボタン

操作ボタン1 を表示します。

表示された **P1** ～ **P12** ボタンをタッチして手動でプリセット（メモリー）した放送局を呼び出すことができます。
(341、342ページ)

⑧ **音声字幕** ボタン

音声や字幕を切り替えます。
(346ページ)

ワンセグを使う(4)

基本的な操作のながれ

■ はじめて使うとき

- ☞ 「ワンセグモードにする」 327、328ページ
- ☞ 「視聴エリアの変更をする」 329、330ページ
- ☞ 「選局をする」 334～338ページ

■ ふだん使うとき

- ☞ 「ワンセグモードにする」 327、328ページ
- ☞ 「選局をする」 334～338ページ

受信状態が変わったら…

- ☞ 「再スキャンをする」 333ページ

■ 旅行先などで使うとき

- ☞ 「ワンセグモードにする」 327、328ページ
- ☞ 「視聴エリアの変更をする」 329、330ページ
- ☞ 「選局する」 334～338ページ

ワンセグモードにする



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

(例) ワンセグモード画面(走行中)



■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回ワンセグモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① 電源 ボタン(⏻)を押す。

: ワンセグモード画面を表示します。

※ **AUDIO** ボタン(🎵)を押し、**ワンセグ** ボタンをタッチしてもワンセグモード画面を表示します。



① 電源 ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたは前回ワンセグモード以外のオーディオモード画面の場合(OFF含む)

① **AUDIO** ボタン(🎵)を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

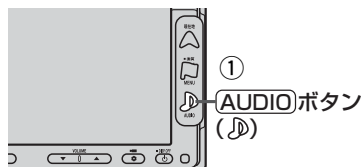
もう一度 **AUDIO** ボタン(🎵)を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

② **ワンセグ** ボタンをタッチする。

: ワンセグモード画面を表示します。



(例) AV SOURCE画面



ワンセグ

〔基本的な操作のながれ〕／〔ワンセグモードにする〕



アドハイス

初めてワンセグを利用する場合は、最初に視聴エリアの設定をして放送局を検索し、チャンネルリストを登録します。次回からはすぐにワンセグを見ることができます。

「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」329、330ページ

ワンセグを使う(5)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 「音量を調整する」 297ページ
- 「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ
- 「映像の調整のしかた」 444～446ページ



アドバンス

ワンセグの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

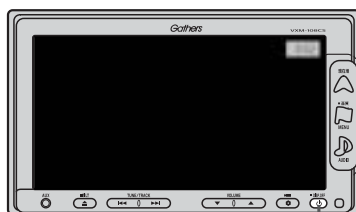
- 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

ワンセグモードを終了する

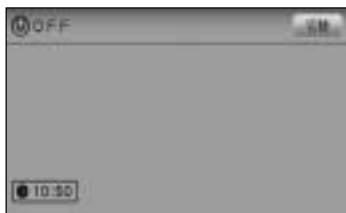
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されワンセグモード画面を終了します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

初期設定のエリア変更は「自動」動作が設定されています。

エリア変更を「手動」動作を選択する場合は下記にしたがって操作してください。



アドハイス

現在地によって受信できる放送局(**1** ～ **12** ボタン(エリア呼出)に割り当てられる放送局)が異なるため、現在のお車の走行地域で初めて地上デジタルテレビ放送をご覧になる場合は、現在地の視聴エリアの設定(変更)を行なってください。地上デジタルテレビ放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏をはじめ2006年末までに全国で放送が開始されました。

視聴エリアの設定(変更)をする前に、お車の走行地域で地上デジタルテレビ放送が開始されているかお確かめください。(地上デジタルテレビ放送の電波が受信できない状態では放送を受信することはできません。)

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



2

エリア変更 ボタンをタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3

エリア変更 **手動** ボタンをタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。



ワンセグ

「ワンセグモードを終了」／「視聴エリアの変更」

ワンセグを使う(6)

4

現在地の地方と県域をタッチする。

：初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



視聴エリア変更画面(県域選択時)



選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **1** ～ **12** ボタン(エリア呼出)にプリセット(メモリー)されます。

※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンをする場合

① **はい** ボタンをタッチする。



：初期スキャンを開始します。



：スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンをしない場合

① **いいえ** ボタンをタッチする。



：初期スキャンをしないで受信画面を表示します。



アドバイス

- 初期スキャンをすると視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ～ **12** ボタン(エリア呼出)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。視聴エリアを変更した場合は **はい** ボタンをタッチし初期スキャンすることをおすすめします。

- 初期スキャンは、チャンネルリストに追加された局の支局を探索する機能で、チャンネルリストに新しく放送局を追加する機能ではありません。したがって現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときには、333ページの「**■ 再スキャンをする場合**」を行なってください。

エリア変更を**自動**に戻すには

- 1** 329ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、エリア変更の **自動** ボタンをタッチする。
：視聴エリア変更(地方)が選択できなくなります。



アドバイス

エリア変更を **自動** に設定した場合、視聴エリア(現在地)が変わると自動でその地域のチャンネルリストを作成します。その際には、ワンセグ画面にて「設定された地域外に移動しました。エリア変更をおこないます。」というメッセージが一定時間表示されます。

ワンセグ

〔視聴エリアの変更〕／〔エリア変更を自動に戻す〕

ワンセグを使う(7)

エリアスキャンをする

現在の車のある地域のチャンネルリストを作成し、初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

- 1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



ワンセグメニュー画面

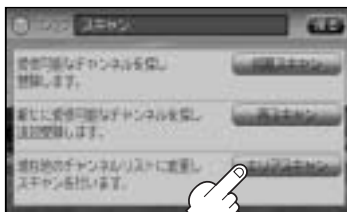
- 2 **スキャン** ボタンをタッチする。

：スキャン画面が表示されます。



- 3 **エリアスキャン** ボタンをタッチする。

：現在地のエリアのチャンネルに変更されます。



エリアスキャンが開始されます。



アドバンス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- エリア変更を **自動** にしている場合、現在地エリアが変わると、エリアスキャンを実行しなくてもチャンネルリストが変わります。ただし、その場合初期スキャンは実行されません。
- エリアスキャンは、チャンネルリストに追加された局の中継局を探索する機能で、チャンネルリストに新しく放送局を追加する機能ではありません。したがって現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときには、333ページの「**再スキャンをする場合**」を行なってください。

スキャンについて

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。※すでに設定されているチャンネルはそのまま残し、新たに追加となります。

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

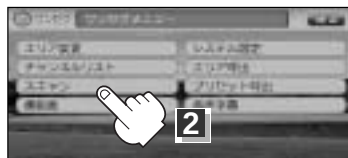
(例) 操作ボタン表示画面



ワンセグメニュー画面

2 スキャン ボタンをタッチする。

：スキャン画面が表示されます。

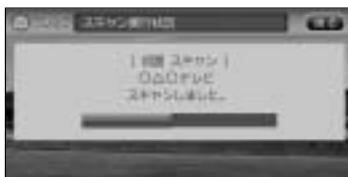


3 初期スキャンまたは再スキャンをします。

■ 初期スキャンする場合

① **初期スキャン** ボタンをタッチする。

スキャン画面



：全チャンネル(13ch～62ch)をスキャンし、受信できた放送局のみ **1** ～ **12** ボタン(エリア)にプリセット(メモリー)します。

■ 再スキャンをする場合

① **再スキャン** ボタンをタッチする。

スキャン画面



：全チャンネル(13ch～62ch)をスキャンし、放送局を **1** ～ **12** ボタン(エリア)に追加プリセット(メモリー)します。

4 設定を終わるには、**戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻る。

ワンセグ

〔エリアスキャン〕／〔初期スキャン〕／再スキャン

ワンセグを使う(8)

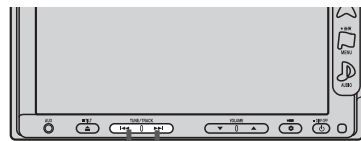
選局する

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



① **選局** ボタン ◀◀側ダウン ▶▶側アップ



アドバイス

地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局が登録される場合があります。その場合、タッチするたびに放送局が登録されている順に変わります。

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に**選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押すと、自動選局は止まり、チャンネルリストの中でチャンネル番号の一番若い放送局を選局します。



アドバイス

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合全チャンネルを一通り選局後、自動選局は止まります。

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **エリア** ボタン(**1** ~ **12**)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、好きな放送局をお客様ご自身が **プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12**)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ **エリア** ボタン(**1** ~ **12** *1) / **プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12** *1)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 329、330ページ

「**エリアスキャンをする**」 332ページ

「**スキャンについて**」 333ページ

「**プリセットメモリーをする**」 341、342ページ

- ①画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**エリア** ボタン(**1** ~ **12** *1)または **プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12** *2)の中で呼び出したいボタンをタッチする。

(例) **エリア** 呼出 に設定している場合



(例) **プリセット** 呼出 に設定している場合



操作ボタン



アドバイス

- **エリア** ボタン(**1** ~ **12**)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **エリア** ボタン(**1** ~ **12**)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- **エリア** ボタン(**1** ~ **12**) / **プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12**)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(**336** ~ **338** ページ)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」(**502**、**503** ページ)より確認できます。
- *1印：放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。
- *2印： **P1** ~ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(**13ch** ~ **62ch**)となります。

ワンセグを使う(9)

■ リストにて放送局を選ぶ場合

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。チャンネルリストに設定されている放送局を確認／選局することができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 329、330ページ

「**エリアスキャンをする**」 332ページ／「**スキャンについて**」 333ページ

「**プリセットメモリーをする**」 341、342ページ

① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



② **チャンネルリスト** ボタンをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



③ チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出します。

□ チャンネルリストより放送局を呼び出すには…

1. **チャンネルリスト** ボタンをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリストが表示されている場合は手順2(337ページ)へ進んでください。



2. リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

(例) チャンネルリスト画面

次ページがある場合は、 ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールさせることができます。



エリア番号 放送局名

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。



アドバイス

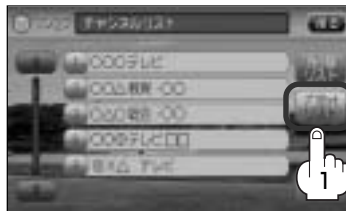
- チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」(502、503ページ)より確認できます。
- エリア変更を「自動」に設定している場合、視聴エリアが変わると自動でその地域のチャンネルを受信し、チャンネルリストに放送局が追加されます。
※エリア変更の自動または手動の確認は 「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする**」(329ページ)の手順 1、2 にしたがって操作してください。

□ プリセットリストより放送局を呼び出すには…

1. プリセットリスト ボタンをタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

(例) チャンネルリスト画面



2. リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

(例) プリセットリスト画面



プリセット番号 放送局名と物理チャンネル番号

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。



アドバイス

- 手順2のとき **チャンネルリスト** ボタンをタッチするとチャンネルリスト画面に戻ります。
- 次ページがある場合は、 ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールすることができます。

ワンセグを使う(10)



アドバイス

- チャンネルリストは操作ボタンの

エリア ボタン(**1** ~

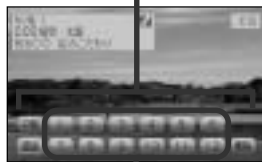
12)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。

(例) チャンネルリスト画面



エリア番号 放送局名

操作ボタン



エリア ボタン(**1** ~ **12**)

- プリセットリストは操作ボタンの

プリセット ボタン(**P1** ~

P12)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。

*：物理チャンネル

350ページ

(例) プリセットリスト画面



プリセット番号 放送局名／チャンネル番号
(物理チャンネル)

操作ボタン



(例) **プリセット** ボタン

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



1-2



2

チャンネルリスト ボタンをタッチする。

：その時点のチャンネルリストが表示されます。

※チャンネルリストの確認だけの場合は、確認終了後

戻る ボタンをタッチしてください。

ワンセグメニュー画面



2

3

チャンネルリストまたはプリセットリストを初期化します。

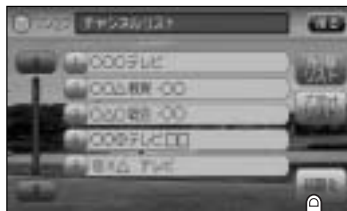
■ チャンネルリストを初期化する場合

① **初期化** ボタンをタッチする。

：チャンネルリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので

はい ボタンをタッチするとチャンネルリストが初期化されます。

(例) チャンネルリスト画面



プリセットリスト ボタンが選択されている場合は、手順 **3** のときに **チャンネルリスト** ボタンをタッチしてチャンネルリスト画面に切り替えてください。

ワンセグ

〔選局(手動・自動・プリセット選局)〕／〔チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する〕

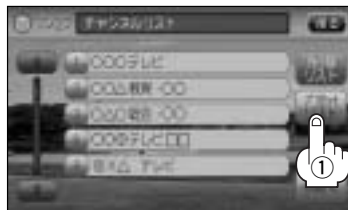
ワンセグを使う(11)

■ プリセットリストを初期化する場合

① **プリセット** ボタンをタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

(例) チャンネルリスト画面



② **初期化** ボタンをタッチする。

：プリセットリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので

はい ボタンをタッチすると、プリセットリストが初期化されます。

(例) プリセットリスト画面



4

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻る。

プリセットメモリーをする

プリセット選局(☞ 335ページ)やリスト選局(☞ 336、337ページ)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

選局 ボタン(◀◀/▶▶)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「 ■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 / ■ 自動選局で放送局を選ぶ場合 」 334ページ

2

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



3

プリセット呼出 ボタンをタッチする。

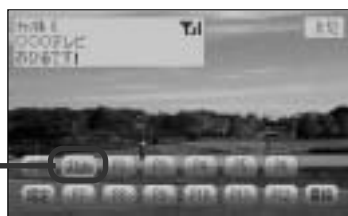
：操作ボタンを表示します。

ワンセグメニュー画面



4

メモリーしたい **プリセット** ボタン(P1 ~ P12)を1秒以上タッチする。



P1 に31チャンネルをプリセット(メモリー)した場合、
P1 → 31ch表示へと変わります。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※表示はP1～P12から物理チャンネル(13ch～62ch)表示へ変わります。



●メモリーした放送局を呼び出すには **プリセット** ボタンを軽く(1秒未満)タッチします。

☞ 335ページ

●すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

ワンセグ

「チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する」／「プリセットリストメモリーをする」

ワンセグを使う(12)



アドバイス

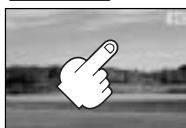
- 画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは**エリア呼出**ボタン／**プリセット呼出**ボタンのどちらを選択しているかによって異なります。

ワンセグメニュー画面

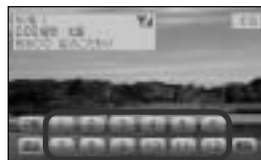


初期状態は**エリア呼出**ボタンが設定されています。

エリア呼出 設定中に



画面をタッチすると



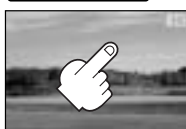
エリア ボタン(**1** ~ **12**)が表示される

ワンセグメニュー画面

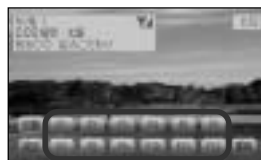


手順 **3** (341ページ) で**プリセット呼出**ボタンが選択されている場合

プリセット呼出 設定中に



画面をタッチすると



プリセット ボタン(**P1** ~ **P12**)が表示される

※ **エリア** ボタン(**1** ~ **12**)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

プリセット ボタン(**P1** ~ **P12**)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。

メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば **P1** に36チャンネルをプリセットすると **P1** は**36ch**表示になります。

*：物理チャンネル[**35**]350ページ

※操作ボタンを**エリア** ボタン(**1** ~ **12**)表示に戻したい場合は、手順 **3** (341ページ) のとき**エリア呼出** ボタンをタッチしてください。

- 画面をタッチしたときに**プリセット** ボタン(**P1** ~ **P12**)が表示された場合は、手順 **2**、**3** (341ページ)を省略することができます。

番組表を見る

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



アドバイス

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**番組** ボタンをタッチする方法もあります。

(例) 操作ボタン表示画面



1-2



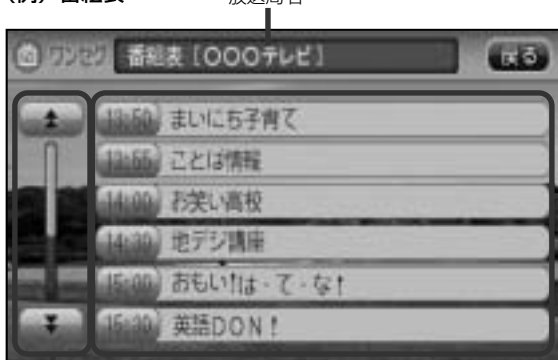
ワンセグメニュー画面



- 2 **番組表** ボタンをタッチする。

：番組表が表示されます。

(例) 番組表



番組をページ戻し／ページ送り
することができます。

ワンセグ

「プリセットメモリーをする」／「番組表を見る」

ワンセグを使う(13)

さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組表から詳細内容を見る場合

① 番組表の中から詳細内容を確認したい番組をタッチする。

：番組詳細画面が表示され、内容確認ができます。



確認できたら…

戻る ボタンをタッチすると、番組表に戻る。

3

番組表を見たら・・・

戻る ボタンをタッチするとワンセグメニュー画面に戻る。



アドバイス

- 番組表を表示するには、画面をタッチして **番組** ボタンをタッチして表示させることもできます。
- 他の放送局の番組表を表示したい場合は、受信画面で表示したい放送局に選局し直す必要があります。

中継・系列局サーチをする

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。

もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。

「中継局」とは、放送局が周波数を変えて（あるいは同じ周波数で）、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。これに対して「系列局」とは、いわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局です。したがって放送内容が必ずしも同じであるとは限りません。「ネットワーク系列」として、次のものを定義しています。

NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV（日本テレビ）系列、CX（フジ）系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列（2010年3月現在）

※中継・系列局サーチの自動／手動の設定につきましては、

「時計表示設定／中継・系列局サーチ設定」（347、348ページ）をご覧ください。

1

自動／手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチが自動の場合

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチが手動の場合

①画面をタッチし、**中継** ボタンをタッチする。

：受信状態にかかわらず直ちに中継・系列局をサーチします。

（例）中継・系列局サーチ中画面



ワンセグを使う(14)

音声や字幕を切り替える

番組に複数の音声があるときや、字幕があるときに切り替えることができます。

1

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



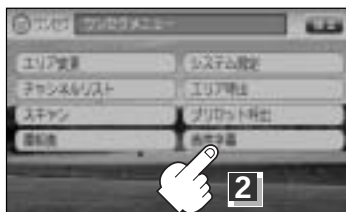
1-2



2

音声字幕 ボタンをタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。



3

音声または字幕の設定をする。

■ 音声の設定をする場合

音声設定(**音声1**／**音声2** ボタン)、(**主**／**副**／**主+副** ボタン)を選択し、タッチする。

： **戻る** ボタンをタッチして受信画面に戻ると、設定した音声に切り替わります。



複数音声放送と二重音声放送の場合に有効となります。



■ 字幕の設定をする場合

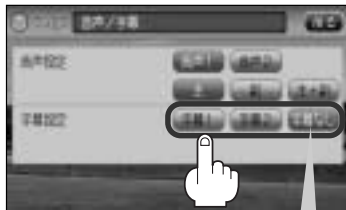
字幕設定(**字幕1**／**字幕2** ボタン)を選択し、タッチする。

：選択した字幕に設定されます。

※ **戻る** ボタンをタッチして受信画面に戻ると、設定した字幕が表示されます。



字幕がある番組の場合に有効となります。



字幕の表示を止めるときは **字幕なし** ボタンをタッチしてください。

4

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチすると、ワンセグメニュー画面に戻る。

時計表示設定／中継・系列局サーチ設定

お車の走行地域が変わって、放送局が受信できなくなった場合、「自動で中継・系列局サーチを起動」するかどうかの設定をすることができます。

また、ワンセグ受信中に時計を表示させるかどうかの設定をすることもできます。

「」(中継・系列局サーチをする) (345ページ) をご覧ください。

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



ワンセグ

〔音声や字幕を切り替える〕／〔時計表示設定／中継・系列局サーチ設定〕

2

システム設定 ボタンをタッチし、**各種設定** ボタンをタッチする。

：各種設定画面が表示されます。



3

時計表示をする／しない、中継・系列局サーチの自動／手動の設定をする。



ワンセグを使う(15)

■ 時計を表示する／しないを選択する場合

□ 時計を表示する場合

1. 時計表示の **する** ボタンをタッチする。

：受信画面で常に表示されます。

□ 時計を表示しない場合

1. 時計表示の **しない** ボタンをタッチする。

：時計を表示しません。



■ 中継・系列局サーチを設定する場合

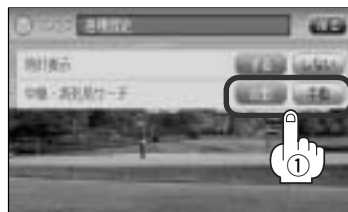
① 中継・系列局サーチ (**自動** ／ **手動** ボタン) を選択し、タッチする。

□ **自動** ボタンをタッチした場合

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継・系列局サーチ起動します。

□ **手動** ボタンをタッチした場合

：中継・系列局サーチは手動でしか起動できません。



4

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻る。

受信可能な放送局(チャンネル)および受信レベルを確認する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



ワンセグ

〔中継・系列局サーチ設定〕
／
〔受信レベル確認〕

2 システム設定 ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 受信レベル確認 ボタンをタッチする。

：物理チャンネルと周波数、受信レベルを確認することができます。[P.350ページ]

システム設定画面



4 CH- / CH+ ボタン(チャンネル)をタッチする。

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から設定したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

(例) 受信レベル確認画面

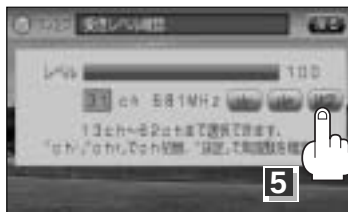


ワンセグを使う(16)

5

決定 ボタンをタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)



6

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバース

- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態(バーの長さの数値にて)確認することができます。
- 受信レベルが高いから視聴ができるとは限りません。

(例) 受信レベル確認画面



物理チャンネル 周波数

アンテナ電源の設定をする

アンテナ電源設定をすることができますが、通常は**電源 入** に設定してください。

電源 切 に設定すると正常に受信できません。

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



2 **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **アンテナ電源** ボタンをタッチする。

：アンテナ電源設定画面が表示されます。

システム設定画面



4 **電源 入** ボタンをタッチする。

アンテナ電源設定画面



アドバイス

アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合やアンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に**電源 切** に設定されます。

※ **電源 入** に設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

5 設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻る。

ワンセグ

〔受信レベル確認〕

／〔アンテナ電源の設定〕

ワンセグを使う(17)

設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

設定 ボタンをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例) 操作ボタン表示画面



1-2



2

システム設定 ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面

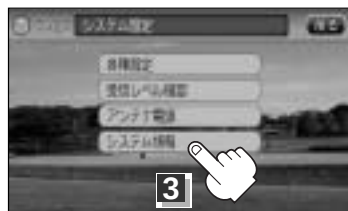


3

システム情報 ボタンをタッチする。

：システム情報画面が表示され
現在のバージョン情報が表示されます。

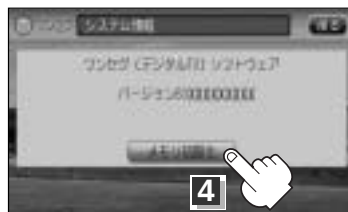
システム設定画面



4

メモリ初期化 ボタンをタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると設定内容を初期化します。



5

初期化が終わったら…

車のエンジンスイッチをO(OFF)にし、電源を切る。

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをⅡ(ON)にし、電源を入れてください。



アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

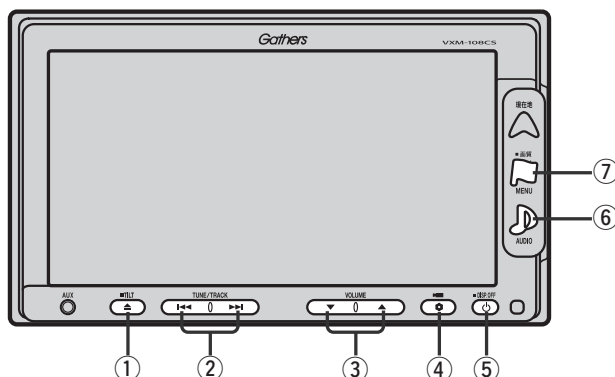
- 初期化中は車のキースイッチを操作しないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。



CDプレーヤーを使う	356～363
各部の名称とはたらき	356
表示部(再生画面)について	357
CDを聞く	358、359
CDモードを終了する	359
CDを取り出す	360
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	360
早戻し／早送りをする	361
再生を一時停止する	361
リピート(繰り返し)再生をする	362
ランダム(順序不同)再生をする	362
スキャン(イントロ)再生をする	362
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	363
時計を表示する	364

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



① TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。
(358、360ページ)

② トラック ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。
(360ページ)

③ VOLUME ボタン(▼／▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

④ OPTION ボタン(⬢)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ 電源 ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON／OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ AUDIO ボタン(🎵)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM／AM)／ワンセグ／SD／AUX／VTR★／USB／PHOTOモードからCDモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑦ 画質 ボタン(🖼️)

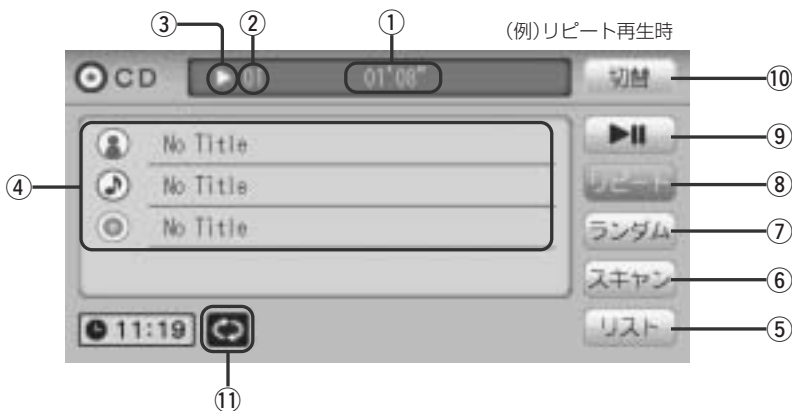
- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)



アドハイス

1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について



①再生時間表示

②トラック番号

③再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- ⏏ : 一時停止

④アーティスト名/トラック名/アルバム名表示

⑤リスト ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(363ページ)

⑥スキャン ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(362ページ)

⑦ランダム ボタン

曲を順序不同で再生します。(362ページ)

⑧リピート ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(362ページ)

⑨再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(361ページ)

⑩切替 ボタン

時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で「切替」ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。(364ページ)

⑪リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては362ページをご覧ください。



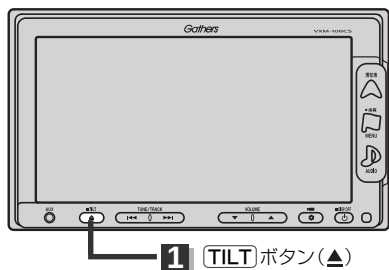
アドバイス

DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名/アーティスト名/アルバム名が表示されます。
DISCにCD-TEXT情報がなければ、トラック名/アーティスト名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
(市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。)

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
(タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。)

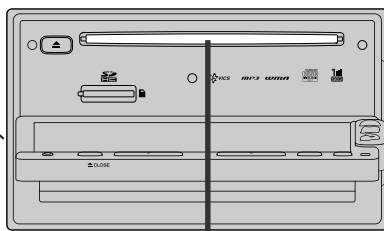
CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

- 1 TILT ボタン(▲)を押す。
: ディスプレイが開きます。



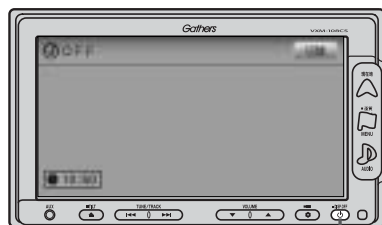
CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。
必ず印刷面を上にして挿入してください。

- 2 ディスク挿入口にCDを挿入する。
: 自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回CDモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

- ① 電源 ボタン(⏻)を押す。
: 前回のつづきからCDの再生を始めます。
※ [AUDIO] ボタン(🎧)を押し、[CD] ボタンをタッチしてもCDの再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)

- ナビゲーションまたは前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① [AUDIO] ボタン(🎧)を押す。
: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV SOURCE画面のときは…
下記手順②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…
もう一度[AUDIO] ボタン(🎧)を押す。

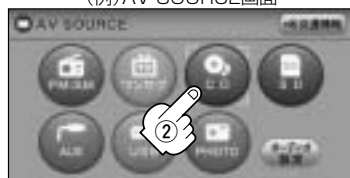
: AV SOURCE画面が表示されます。
*: 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ② [CD] ボタンをタッチする。
: CDの再生を始めます。



① [AUDIO] ボタン(🎧)

(例) AV SOURCE画面



■ 音量や映像の調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 297ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ



アドバイス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

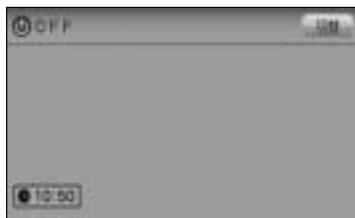
🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

CDモードを終了する

1

🔊 電源 ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 🔊 電源 ボタン (⏻)

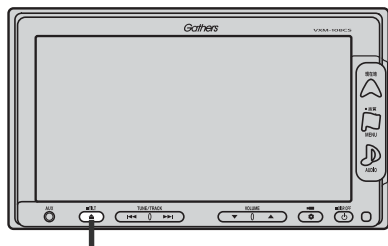
CD

「聞く」／「終了する」

CDプレーヤーを使う(3)

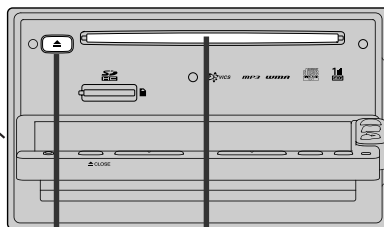
CDを取り出す

[ディスプレイが閉じた状態]



TILT ボタン(▲) 1

[ディスプレイが開いた状態]



2 イジェクト ボタン(▲) ディスク挿入口

1

TILT ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが自動で開きます。

2

イジェクト ボタン(▲)を押す。

: CDがディスク挿入口より出てきます。



アドバイス

CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中に車のエンジンスイッチを0 (OFF) にした場合は、次に車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※イジェクト ボタン(▲)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1

トラック ボタン(◀▶)を押す。

: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※再生している曲のトラック番号を表示させます。



1 トラック ボタン(◀▶)

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

• *印: 曲が再生されてから1秒以内に◀◀側を1回押した場合も前のトラックに戻ります。

• リスト ボタンをタッチしてリスト画面より選択することもできます。

▶ 「トラックリストより好きなトラックを選び再生させる」 363ページ

早戻し／早送りをする

- 1 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し



- 1 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

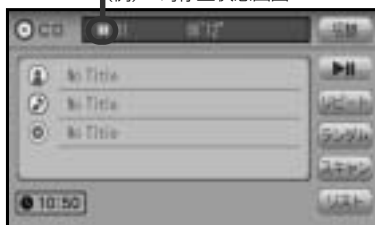
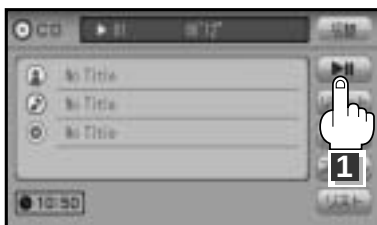
再生を一時停止する

- 1 **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

- ①一時停止中に**再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

CDプレーヤーを使う(4)

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1

ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1

スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



アドバイス

スキャンを解除すると再生中の曲で通常再生をつづけます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

リスト ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

CDモード TOP画面 ((例) 詳細表示)



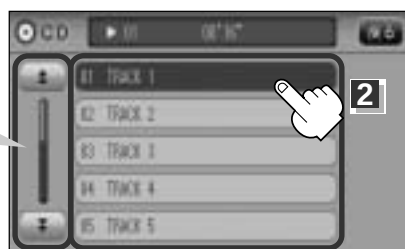
2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面 ((例) トラックリスト表示時)

↑ / ↓ ボタンタッチで
つづきを表示



3

CDモードTOP画面の詳細表示画面に
戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



CD

「リビート再生」／「ランダム再生」／「スキップ再生」／「トラックリストより選択再生」

時計を表示する

画面全体に時計を表示することができます。

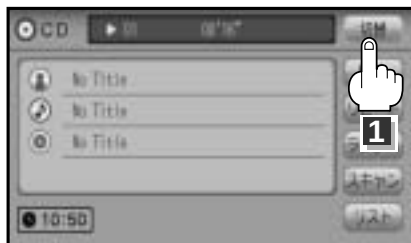
1

詳細情報画面で**切替** ボタンをタッチする。

：画面全体に時計を表示します。

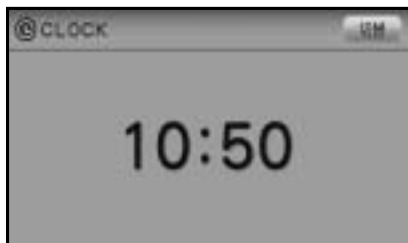
※もう一度**切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

(例) 詳細情報画面



切替 ボタン
タッチ
→
←
切替 ボタン
タッチ

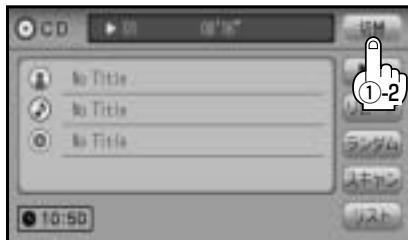
(例) 時計表示画面



■ トラックリスト画面が表示されている場合

① **戻る** ボタンをタッチして詳細情報画面を表示させ、**切替** ボタンをタッチする。

(例) トラックリスト



MP3/WMA (CD-R/RW)

MP3/WMAについて	366～371
MP3/WMAを使う	372～379
各部の名称とはたらき	372
表示部(再生画面)について	373
MP3/WMAを聞く	374、375
MP3/WMAモードを終了する	375
MP3/WMAディスクを取り出す	375
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	376
早戻し/早送りをする	376
再生を一時停止する	377
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	377、378
好きなフォルダを選ぶ	378
リピート(繰り返し)再生する	379
ランダム(順序不同)再生をする	379
スキャン(イントロ)再生をする	379

MP3／WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3 (MPEG Audio Layer 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio) は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio* ¹
対応サンプリング周波数	 370ページ参照	 371ページ参照
対応ビットレート* ²		

- * 1印：●DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
 - Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
 - * 2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
 - VBR(可変ビットレート)に対応しています。
 - フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- ※ 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
 - ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
 - ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
 - ※拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けしないでください。MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名です。
- ※WMAタグの表示可能文字数は全角、半角ともに32文字です。
- ※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。



アドハイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(飛ばします。)

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

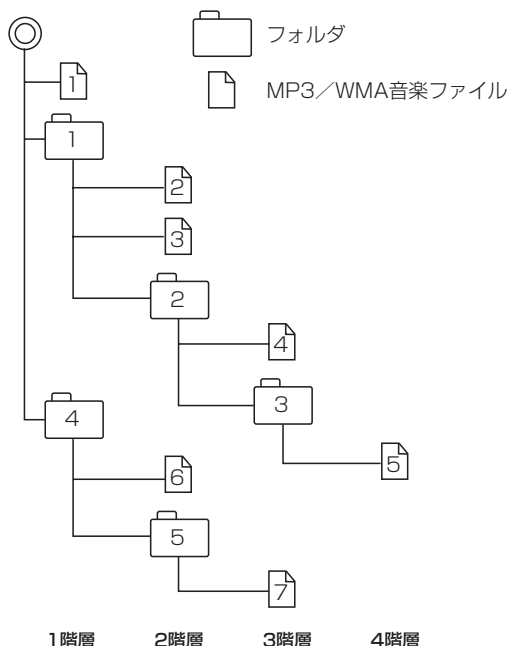
上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角、半角ともに32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1メディア内の最大ファイル数 : 255
- 最大フォルダ数 : 100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3/WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

■著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作権者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。

音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3/WMA形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)

本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

□SDカードに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているSDカード・スロットを介してSDカードに書き込みます。



オーディオ

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3／WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

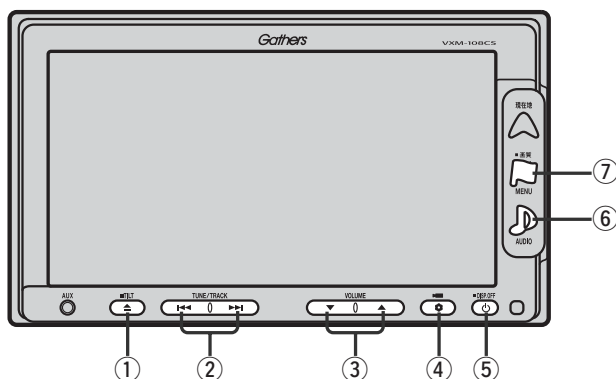
●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで保存されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAを使う(1)

各部の名称とはたらき



① TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。
(374、375ページ)

② トラック ボタン(◀/▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀)／早送り(▶)します。
(376ページ)

③ VOLUME ボタン(▼/▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

④ OPTION ボタン(★)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ 電源 ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ AUDIO ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM/AM)／ワンセグ／SD/AUX/VTR★/USB/PHOTOモードからMP3/WMAモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できません。

⑦ 画質 ボタン(📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

表示部(再生画面)について



①再生時間表示

②再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- ⏸ : 一時停止

③アーティスト名/トラック名/ アルバム名/フォルダ名表示

④再生ファイル表示

※WMAモードの場合は **WMA** となります。

⑤フォルダー ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑥フォルダ+ ボタン

次のフォルダに進みます。

⑦リスト ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(377、378ページ)

⑧スキャン ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(379ページ)

⑨ランダム ボタン

曲を順序不同で再生します。(379ページ)

⑩リピート ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(379ページ)

⑪再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、
もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(377ページ)

⑫切替 ボタン

時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチすると、
もとの画面に戻ります。(364ページ)

⑬リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては379ページをご覧ください。

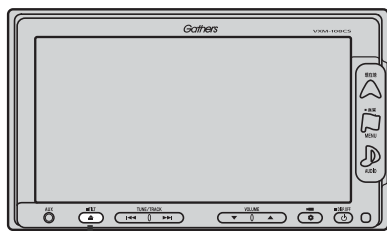


アドバイス

- トラック名/ファイル名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角、半角ともに32文字です。
(本機は漢字・ひらがなに対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名・フォルダ名・トラック名/アーティスト名/
アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title” と表示され
ます。

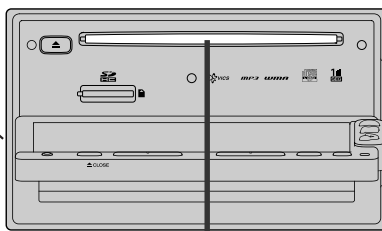
MP3／WMAを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

MP3／WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

TILT ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。



CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。
必ず印刷面を上にして挿入してください。

2

ディスク挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

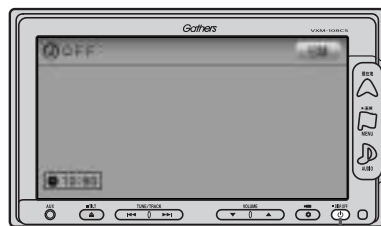
■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回MP3／WMAモード画面でOFF
(オーディオモードを終了)していた場合

① 電源 ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからMP3／WMAの再生を
始めます。

※ AUDIO ボタン(🔊)を押し、CD ボタンをタッチ
してもMP3／WMAの再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

① [AUDIO] ボタン(🔊)を押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

もう一度[AUDIO] ボタン(🔊)を押す。

：AV SOURCE面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

② [CD] ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。



① [AUDIO] ボタン(🔊)

(例) AV SOURCE画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

👉 「音量を調整する」 297ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ



アドバイス

MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

👉 「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

MP3/WMAモードを終了する

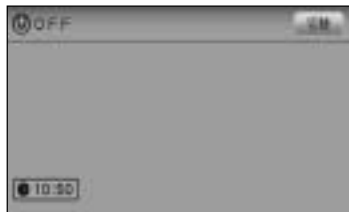
1

[電源] ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 [電源] ボタン(🔌)



MP3/WMAディスクを取り出す

1

360ページ [CDを取り出す] の手順 1、2 にしたがって操作してください。

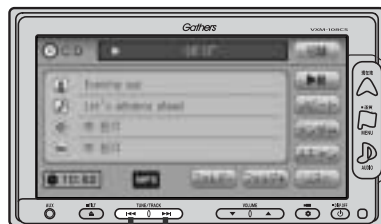
MP3/WMAを使う(3)

1 ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1

トラック ボタン(⏮/⏭)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。



1 **トラック** ボタン(⏮/⏭)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に
戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。



アドバース

- *印：曲が再生されてから1秒以内に⏮側を1回押した場合も前のトラックに戻ります。
- **リスト** ボタンをタッチしてトラックリストより選択することもできます。

🔍 「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」 377、378ページ

早戻し／早送りをする

1

トラック ボタン(⏮/⏭)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し／早送りを
します。

再生状態表示

▶▶：通常再生

▶▶▶▶：早送り

◀◀◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン(⏮/⏭)

■ 早戻しで戻る場合

⏮側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭側を押し続ける。



アドバース

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

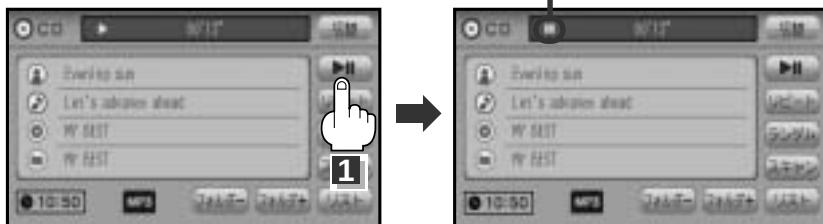
再生を一時停止する

1 再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

：音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

①一時停止中に再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 リスト ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

MP3モード TOP画面((例)詳細表示)



MP3／WMAを使う(4)

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

MP3モード TOP画面((例)トラックリスト表示時)



↑ / ↓ ボタンタッチでつづきを表示

2



アドバンス

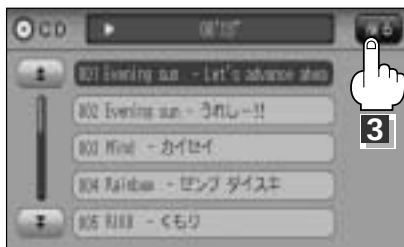
トラックリストについて

トラックリストにはトラック名が表示されます。

3

MP3／WMAモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

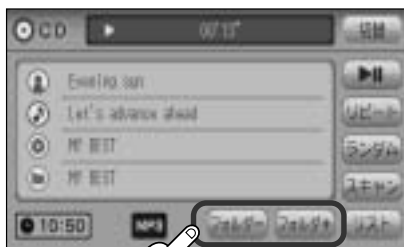
■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。

MP3モード TOP画面((例)詳細表示)



1

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1

ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1

スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



スキャンを解除すると再生中の曲で通常再生をつづけます。



SD再生(SDカード)

SDカードの音楽再生について	382~384
SDカードを使う	385~393
各部の名称とはたらき	385
表示部(再生画面)について	386
SDカードを聞く	387、388
SDモードを終了する	388
SDカードを取り出す	388
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	389
早戻し／早送りをする	389
再生を一時停止する	390
リストより選曲する	390、391
好きなフォルダを選ぶ	392
リピート(繰り返し)再生をする	392
ランダム(順序不同)再生をする	393
スキャン(イントロ)再生をする	393

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3/WMA/AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては366～371ページをご覧ください。

■SDカードについて

- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- SDXCカードには対応していません。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
[ 「データを初期化(消去)する」 281、282ページ
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード” / “microSDカード” が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード/microSDカードをminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターで使用する際は、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - ・ 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
 - ・ 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては[[P](#) 370、371ページをご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート16～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機 能		SDカード (2GB以下)	SDHCカード (4GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

※本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a) ファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 選曲モード（[[P](#) 385～388ページ）のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは

SDカードの音楽再生について(2)

異なった順で表示されることがあります。

※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

■ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカ一を破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

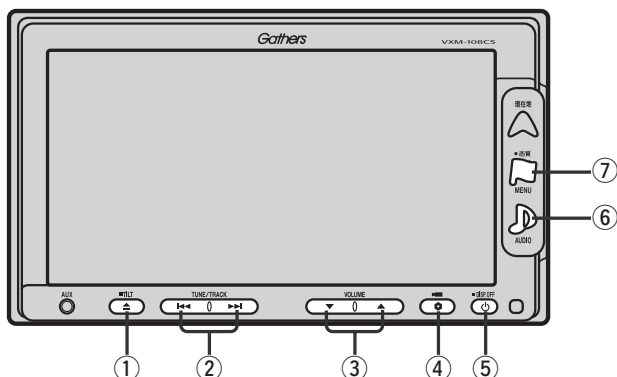
- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名です。
(トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。)

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

SDカードを使う(1)

各部の名称とはたらき



① TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる／取り出すときに使用します。
(387、388ページ)

② トラック ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀)／早送り(▶)します。
(389ページ)

③ VOLUME ボタン(▼／▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

④ OPTION ボタン(⬢)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ 電源 ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON／OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ AUDIO ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション／ラジオ(FM／AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／AUX／VTR★／USB／PHOTOモードからSDモードに切り替えるときに使用します。
★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑦ 画質 ボタン(🖼️)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

SDカードを使う(2)

表示部(再生画面)について



(例) リピート再生時

①再生時間表示

②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示する。

(390、391ページ)

③再生状態表示

- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し
- ||：一時停止

④アーティスト名／トラック名*1／アルバム名／フォルダ名表示

⑤再生ファイル表示

※WMAモードの場合は **WMA** となります。

⑥ **フォルダー** ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑦ **フォルダ+** ボタン

次のフォルダに進みます。

⑧ **リスト** ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(390、391ページ)

⑨ **スキャン** ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(393ページ)

⑩ **ランダム** ボタン

曲を順序不同で再生します。(393ページ)

⑪ **リピート** ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(392ページ)

⑫ **再生／一時停止** ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(390ページ)

⑬ **切替** ボタン

時計表示に切り替わります。(364ページ)
※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

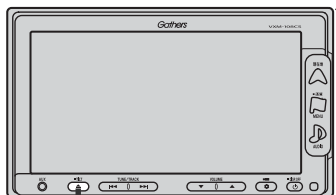
⑭リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては392、393ページをご覧ください。



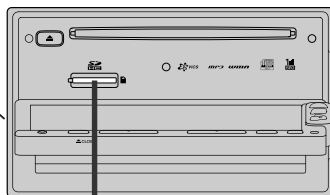
- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、「No Title」と表示されます。
- ※*1印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(MP3／WMA／AACの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。

【ディスプレイが閉じた状態】



1 TILT ボタン(▲)

【ディスプレイが開いた状態】



2 SDカード挿入口

SDカードを聞く

■ SDカード未挿入の場合

1 TILT ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイ部が開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを
差し込む。
：自動でディスプレイが閉じます。



- SDカードを差し込むには「**アドバース**」SDカードを入れる／取り出すには 48ページをご覧ください。
- SDカードにつきましては「**アドバース**」SDカード／USBメモリデバイスについて」39、40ページ、「SDカードの音楽再生について」382～384ページをご覧ください。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回SDモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回のつづきからSDの再生を始めます。
※ **AUDIO** ボタン(🔊)を押し、**SD** ボタンをタッチしてもSDの再生を始めます。

□ ナビゲーションまたは前回SDモード以外のオーディオモード画面の場合

① **AUDIO** ボタン(🔊)を押す。
：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…
下記手順②へ進んでください。

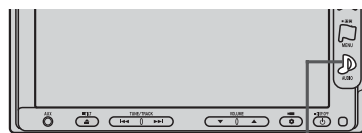
■ ラストモード*画面のときは…
もう一度 **AUDIO** ボタン(🔊)を押す。
：AV SOURCE画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

② **SD** ボタンをタッチする。
：SDの再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)



② AUDIO ボタン(🔊)

(例) AV SOURCE画面



SDカードを使う(3)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 297ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ



アドバンス

SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

SDモードを終了する

1

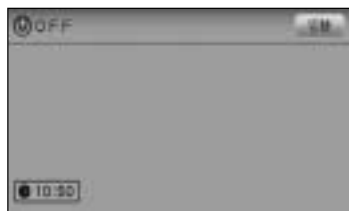
🔊 電源 ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されSDの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1

電源 ボタン(⏻)



SDカードを取り出す

1

TILT ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2

SDカードを“カチッ”と音がするまで押したあと、取り出す。



アドバンス

- SDカードを取り出した後同じSDカードを挿入して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。
必ずSDモードを終了(OFF)にして取り出してください。

1 ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1

トラック ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



1 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)



アドバイス

- *印：曲が再生されてから1秒以内に◀◀側を1回押した場合も前のトラックに戻ります。
- **リスト** ボタンをタッチしてリスト(全曲リスト／フォルダリスト)より選択することもできます。

「**リストより選曲する**」 390、391ページ

早戻し／早送りををする

1

トラック ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

- ▶▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

「聞く」／「終了する」／「取り出す」

SD再生

「1ファイルずつ選曲」

「早戻し／早送り」

SDカードを使う(4)

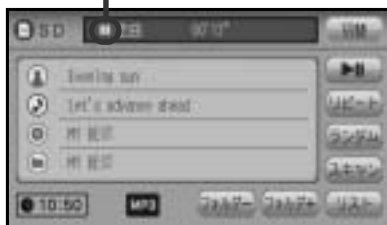
再生を一時停止する

1 再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

：音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に 再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

リストより選曲する

1 リスト ボタンをタッチする。

：リスト画面が表示されます。

※すでにリスト表示になっている場合は
手順 1 を省略することができます。

SDモードTOP画面 ((例)詳細表示)



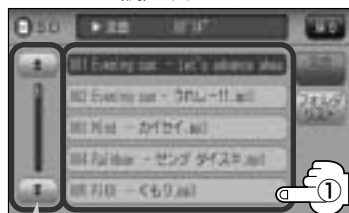
2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 再生させたい曲(トラック)を全曲リストから選びタッチする。

※フォルダリストが表示されている場合は
全曲リスト ボタンをタッチして、
全曲リストを表示させてください。

(例)全曲リスト



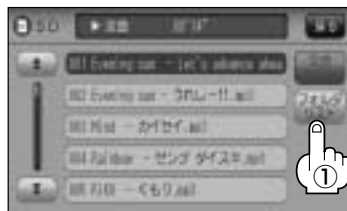
▲ / ▼ ボタンでつづきを表示

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

(例)全曲リスト画面



② フォルダリストから再生させたいフォルダを選びタッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示されます。

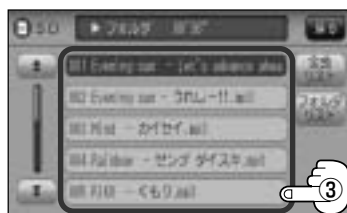
(例)フォルダリスト画面



③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

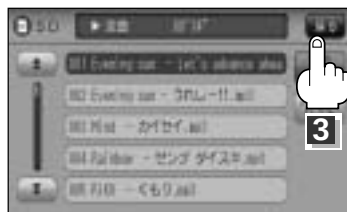
(例)曲リスト画面



3

SDモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



一時停止

SD再生

リストより選曲する

SDカードを使う(5)

好きなフォルダを選ぶ

SDカードの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。

SDモードTOP画面((例)詳細表示)



1

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

: ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1

ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



●390、391ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はSDカード内の全曲のランダム再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のランダム再生をします。

●ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1

スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



390、391ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はSDカード内の全曲のスキャン再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のスキャン再生をします。

フォルダを選ぶ

SD再生

リピート再生

ランダム再生

スキャン再生



AUX/VTR

AUX/VTR機能を使う396~401

各部の名称とはたらき396

AUX機能/VTR機能を使う397~399

画面のサイズを変更する400

AUX/VTRモードを切り替える401

時計を表示する402

AUX/VTR機能を使う(1)

各部の名称とはたらき

(例) AUX/VTR接続時(AUXモード)



① AUX端子

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。
(397ページ)

② VOLUMEボタン(▼/▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

③ OPTIONボタン(⬢)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ 電源ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ AUDIOボタン(🔊)

- AV SOURCE画面を表示します。
- ※ナビゲーション/ラジオ(FM/AM)/ワンセグ/CD/MP3/WMA/SD/USB/PHOTOモードからAUX/VTR*モードに切り替えるときに使用します。
- ★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

(例) VTRモード



⑥ 画質ボタン(📐)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444~446ページ)

- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

⑦ VTR/AUXボタン

VTRモード↔AUXモードに交互に切り替わります。
(401ページ)

⑧ 切替ボタン

時計表示に切り替わります。(402ページ)

※時計表示画面で「切替」ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

⑨ ボタン消ボタン

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。
(399ページ)

⑩ 画面のサイズボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。(400ページ)

AUX機能／VTR機能を使う

※接続の前に本機および接続する機器の電源を切ってください。
(車のエンジンスイッチを0(OFF)にしてください。)

本機に別売のVTRコードやAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

※VTR機器を使う場合、別売のVTRコードが必要となります。



VTR機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

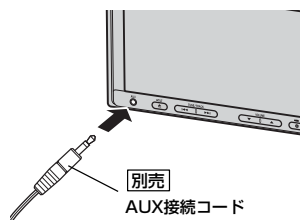
1

別売のVTRコードやAUX接続コードを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。

■ AUX機能を使う場合

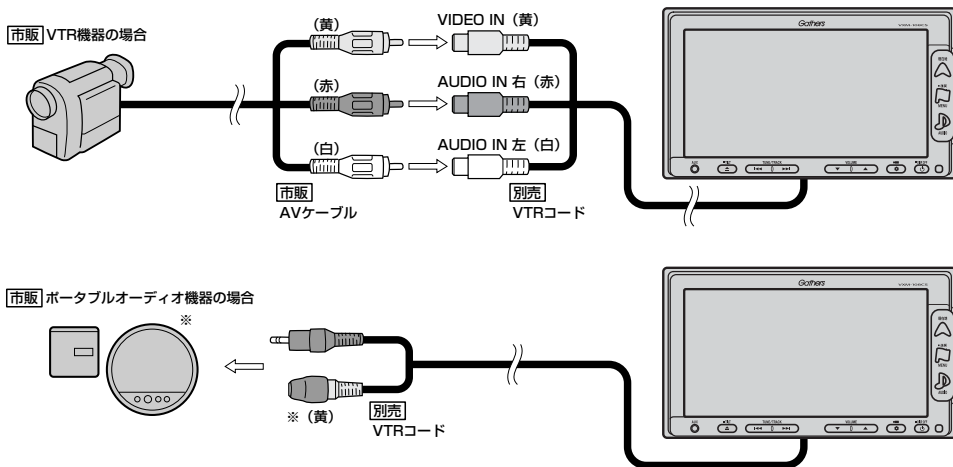
別売のAUX接続コードを使用してAUX端子から本機に市販のポータブルオーディオ機器を接続する。

※音声ケーブルに抵抗が入ったものは使用しないでください。音声が出ない場合があります。



■ VTR機能を使う場合

市販の音声ケーブルやAVケーブルと別売のVTRコードを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



※DVDプレーヤー等の場合に使用します。

AUX/VTR機能を使う(2)

2

本機と使用する機器の電源を入れる。
(車のエンジンスイッチⅡ (ON)状態)

※他のモードになった場合は

1. **AUDIO** ボタン (🎧) を押して AV SOURCE 画面を表示させ、**AUX**★ボタンをタッチして、AUX/VTRモードに切り替えてください。

(例) 本機に別売のVTRコードを接続している場合



1 **AUDIO** ボタン (🎧)



アドバイス

★印: 本機に別売のVTRコードを接続した場合、AV SOURCE画面の**AUX**ボタンは、**AUX/VTR**ボタンとなります。

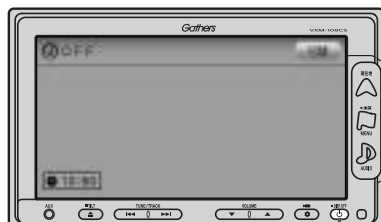
■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回AUX/VTRモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

- ① **電源** ボタン (🔌) を押す。

: AUX/VTRモードの再生画面を表示します。

※ **AUDIO** ボタン (🎧) を押し、**AUX** ボタンをタッチしてもAUX/VTRの再生を表示します。



① **電源** ボタン (🔌)

- ナビゲーションまたは前回AUX/VTRモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① **AUDIO** ボタン (🎧) を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

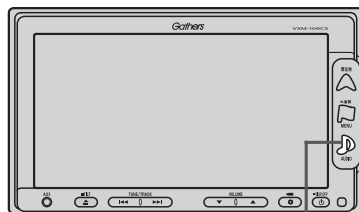
■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

もう一度**AUDIO** ボタン (🎧) を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。



① **AUDIO** ボタン (🎧)



- ② **AUX** ボタンをタッチする。

: AUX/VTRの再生画面を表示します。



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔍 「音量を調整する」 297ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

⚠ 注意 本機の電源をOFF（エンジンスイッチO(OFF)）する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。



アドハイス

- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- AUX端子から入力された音声はAUXモードにすることにより聞くことができます。
- AUX／VTRの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
🔍 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 449、450ページ
- VTRモード時 **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 市販の音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。ご購入前にご確認ください。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。（調整してください。）
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子（RCA×1系統）

映像入力レベル	1Vpp（入力インピーダンス75Ω）
音声最大入力レベル	2.0V（入力インピーダンス47KΩ）

AUX/VTR

（AUX／VTR機能を使う）

AUX/VTR機能を使う(3)

画面のサイズを変更する

別売のVTRコードを接続してVTRモードにしている場合、画面のサイズ（ノーマル／フル／ワイド／シネマ）を選択することができます。

🔗 「別売品(システムアップ)について」 510、511ページ

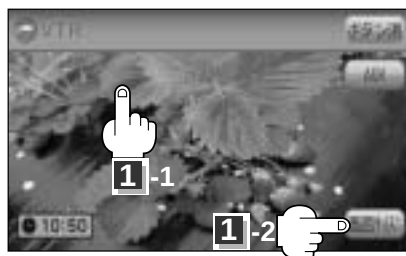
🔗 「(AUX/VTRモードを切り替える)」 401ページ

1

画面をタッチし、**画面サイズ** ボタンをタッチする。

：画面サイズ選択画面が表示されます。

(例)VTRモード



2

変更したい画面(**ノーマル**／**フル**／**ワイド**／**シネマ** ボタン)を選択し、タッチする。

：選択した画面に切り替わります。

(例)VTRモード



アドバイス

シネマ ボタンを選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下が画像がら切れて見えなくなります。

ノーマル : 4 : 3の映像の画面

フル : 4 : 3の映像を左右に引き伸ばし、
16 : 9にした画面

ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面

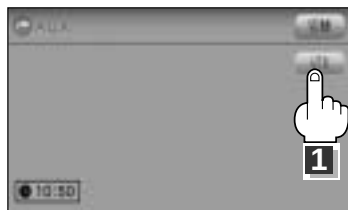
シネマ : 4 : 3の映像をそのまま拡大した画面

AUX/VTRモードを切り替える

1

VTR ボタンをタッチする。

：VTRモード画面に切り替わります。



■ AUXモードに切り替える場合

- ①画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
AUX ボタンをタッチする。

：AUXモード画面に切り替わります。



〔画面サイズを変更する〕

AUX/VTR

〔AUX/VTRモードを切り替える〕

時計を表示する

AUXモード画面で、画面全体に時計を表示することができます。

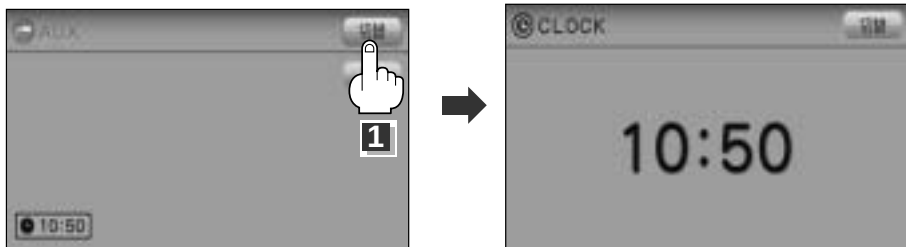
1

AUXモード画面で **切替** ボタンをタッチする。

：画面全体に時計を表示します。

※もう一度 **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

(例)AUXモード画面



アドバイス

VTRモードが表示されている場合は、 「**AUX/VTRモードを切り替える**」(401ページ)にしたがってAUXモードに切り替えてください。

USB/iPod

USBメモリデバイスの音楽再生について …404～406

USBメモリデバイスを使う ……407～415

各部の名称とはたらき ……	407
表示部(再生画面)について ……	408
USBメモリデバイスを本機に接続するには ……	409
USBメモリデバイスを聞く ……	409、410
USBモードを終了する ……	410
USBメモリデバイスの接続をやめるには ……	410
1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める) ……	411
早戻し／早送りをする ……	411
再生を一時停止する ……	412
リストより選曲する ……	412、413
好きなフォルダを選ぶ ……	414
リピート(繰返し)再生をする ……	414
ランダム(順序不同)再生をする ……	415
スキャン(イントロ)再生をする ……	415

iPodについて ……416～418

iPodとは ……	416
使用上のご注意 ……	416
対応可能なiPod ……	417
iPodを再生させるには ……	418
iPodを本機に接続すると ……	418

iPodを使う ……419～430

各部の名称とはたらき ……	419
表示部(再生画面)について ……	420
iPodを聞く ……	421
iPodを終了する ……	422
1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める) ……	422
早戻し／早送りをする ……	423
再生を一時停止する ……	423
リストより好きなトラックを選び再生させる ……	424
選曲モードより選択し再生させる ……	425～429
リピート(繰返し)再生をする ……	430
シャッフル再生をする ……	430

時計を表示する ……431

USBメモリデバイスの音楽再生について(1)

USBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ)を使用して本機で再生することができます。

■MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては366～371ページをご覧ください。

■USBメモリデバイスについて

- 別売のUSB接続コードに接続してください。
※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodの再生をすることもできます。[?]「**iPodを再生させるには**」418ページ
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- マストレージクラスのUSBフラッシュメモリ(USBメモリデバイス)に対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16/FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- ウォークマン(USB音楽プレーヤー)には対応しておりません。

■MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数：3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 選曲メニューのリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

■ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
- ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

USBメモリデバイスの音楽再生について(2)

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

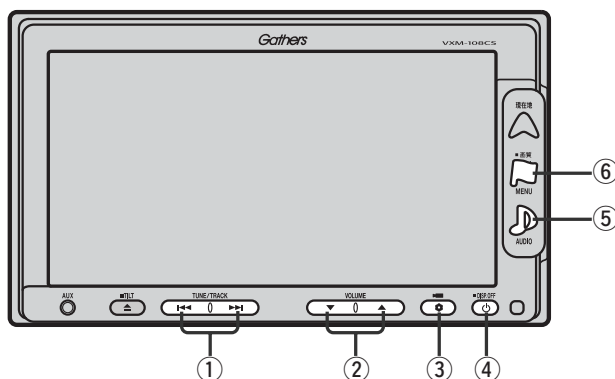
MP3／WMAにつきましては[P.370、371ページ](#)をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

USBメモリデバイスを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック** ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。(411ページ)

② **VOLUME** ボタン(▼／▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

③ **OPTION** ボタン(★)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ **電源** ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON／OFFするとき 사용합니다。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM／AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／SD／AUX／VTR★／PHOTOモードからUSBモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑥ **画質** ボタン(📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)



アドバイス

iPodを接続している場合の操作につきましては「iPodを使う」419～430ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを使う(2)

表示部(再生画面)について



①再生時間表示

②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示する。

③再生状態表示

- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し
- ⏏：一時停止

④アーティスト名／トラック名＊／アルバム名／フォルダ名表示

⑤再生ファイル表示

※WMAモードの場合は **WMA** となります。

⑥ **フォルダー** ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑦ **フォルダ+** ボタン

次のフォルダに進みます。

⑧ **リスト** ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(412、413ページ)

⑨ **スキヤン** ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(415ページ)

⑩ **ランダム** ボタン

曲を順序不同で再生します。(415ページ)

⑪ **リPEAT** ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(414ページ)

⑫ **再生／一時停止** ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(412ページ)

⑬ **切替** ボタン

時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。(431ページ)

⑭ **リPEAT／ランダム／スキヤン** 選択時に表示

※表示内容につきましては414、415ページをご覧ください。

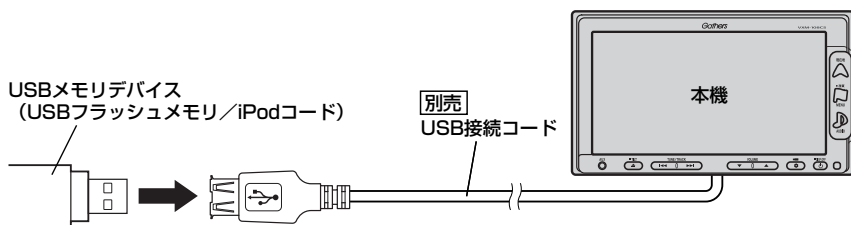


アドバンス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※＊印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(USBフラッシュメモリの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodを接続している場合の表示部につきましては「iPodを使う」420ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを本機に接続するには

- 1 本機より出ている別売のUSB接続コードにUSBメモリデバイスを接続する。



※別売のUSB接続コードに、iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodを再生させることができます。[P. 418ページ]

USBメモリデバイスを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回USBモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからUSBメモリデバイスの再生を始めます。



① **電源** ボタン (⏻)

- ナビゲーションまたは前回USBモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① **AUDIO** ボタン(🔊)を押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

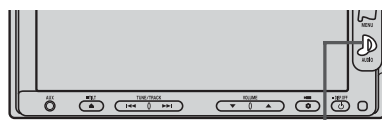
もう一度**AUDIO**ボタン(🔊)を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

- ② **USB** ボタンをタッチする。

：USBメモリデバイスの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン (🔊)

↓
AV SOURCE画面



USBメモリデバイスを使う(3)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 297ページ
- 🔊 「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ
- 🖥️ 「映像の調整のしかた」 444～446ページ



USBメモリデバイスの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

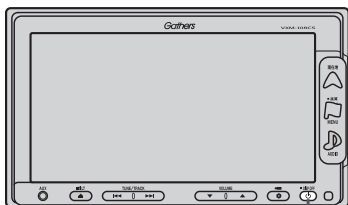
- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

USBモードを終了する

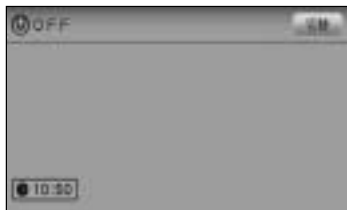
1

電源 ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されUSB機器の再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1 電源 ボタン(🔌)



USBメモリデバイスの接続をやめるには

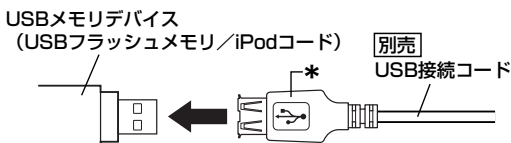
1

電源 ボタン(🔌)を押す。

：電源をOFF(オーディオモード終了)します。

2

USBメモリデバイスを外す。



*：別売のUSB接続コードの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。



- USBメモリデバイスを外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※USBメモリデバイス認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSBメモリデバイスを外すとデータがこわれたり、USBメモリデバイスが破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1

トラック ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

リスト ボタンをタッチしてリスト内から再生させたい曲(トラック)より選択することもできます。

「**リストより選曲する**」412、413ページ

早戻し／早送りをする

1

トラック ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

USBメモリデバイスを使う(4)

再生を一時停止する

1 再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

： 音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に 再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

： 画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

リストより選曲する

1 リスト ボタンをタッチする。

： リスト画面が表示されます。

USBモードTOP画面 ((例)詳細表示)



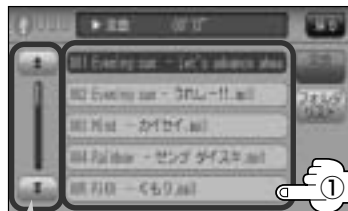
2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 再生させたい曲(トラック)を全曲リストから選びタッチする。

※フォルダリストが表示されている場合は
は **全曲リスト** ボタンをタッチして、
全曲リストを表示させてください。

(例)全曲リスト



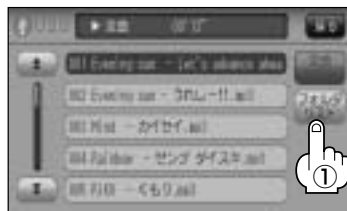
▲ / ▼ ボタンタッチでつづきを表示

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

(例)全曲リスト画面



② フォルダリストから再生させたいフォルダを選びタッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示されます。

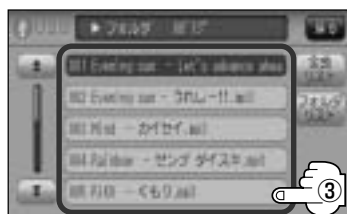
(例)フォルダリスト画面



③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

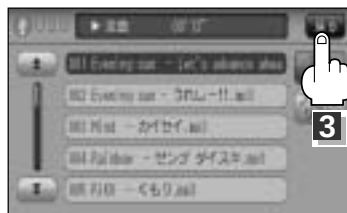
(例)曲リスト画面



3

USBモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



一時停止

USB

リストより選曲する

USBメモリデバイスを使う(5)

好きなフォルダを選ぶ

USBメモリデバイスの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



1

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1

ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



- 412、413ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はUSBメモリデバイス内の全曲のランダム再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のランダム再生をします。
- ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1

スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



- 412、413ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はUSBメモリデバイス内の全曲のスキャン再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のスキャン再生をします。

フォルダを選ぶ / リピート再生 / ランダム再生 / USB / スキャン再生

iPodについて(1)

別売のUSB接続コードにiPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、本機でiPodの曲を再生することができます。



"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

- 「iPod」、 「iPhone」 は、Apple Inc.の登録商標です。



アドバイス

*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPodは別売のUSB接続コードを使用してUSBモードで再生させます。

418ページ

対応可能なiPod

2010年2月現在

モデル名	ソフトウェアバージョン	USB接続 音楽再生
iPhone 3GS	3.0以上	○
iPhone	2.0以上	○
iPod touch 第3世代	3.1.1以上	○
iPod touch 第2世代	2.1.1以上	○
iPod touch 第1世代	2.0以上	○
iPod classic	1.0.3以上	○
iPod Video (iPod 第5世代)	1.2.3以上	○
iPod nano 第5世代	1.0.1以上	○
iPod nano 第4世代	1.0以上	○
iPod nano 第3世代	1.0.3以上	○
iPod nano 第2世代	1.1.3以上	○
iPod nano 第1世代	1.3.1以上	○
iPod photo	1.0以上	×
iPod mini	1.2以上	×
iPod 第4世代 (クイックホイール)	3.0.2以上	×

○：対応可能 ×：対応不可

最新の適応情報は下記URLをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>



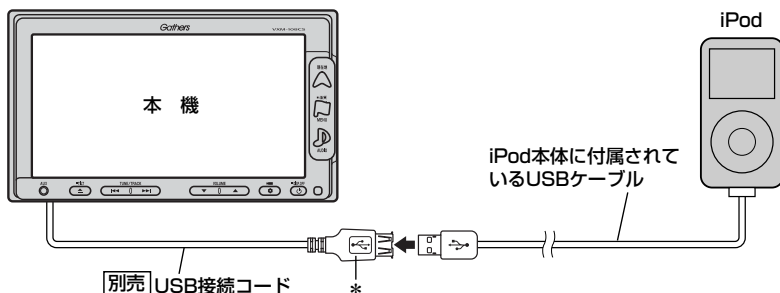
アドバイス

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第1、第2、第3世代のiPodには対応していません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 映像データには対応していません。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

iPodについて(2)

iPodを再生させるには

iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用して再生させることができます。



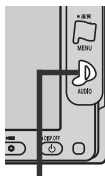
* : 別売のUSB接続コードの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。



本機でiPodを再生させる場合も

USB ボタンをタッチします。

※USBモードとなりますが、操作につきましては「iPodを使う」
(419～430ページ) をご覧ください。



① **AUDIO** ボタン (🎵)

AV SOURCE画面



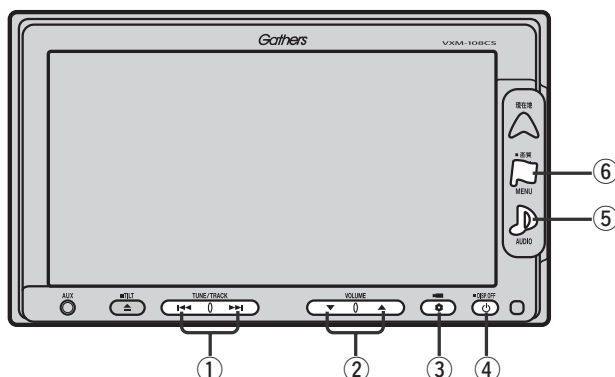
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0 (OFF) にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチ I (ACC) を0 (OFF) にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータが本機に表示され、タッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック** ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀)／早送り(▶)します。(422、423ページ)

② **VOLUME** ボタン(▼／▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

③ **OPTION** ボタン(◼)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ **電源** ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON／OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM／AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／SD／AUX／VTR★／PHOTOモードからUSBモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑥ **画質** ボタン(📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)



USBメモリデバイスを接続している場合の操作につきましては「USBメモリデバイスを使う」407～415ページをご覧ください。

「接続するには」／「接続すると」

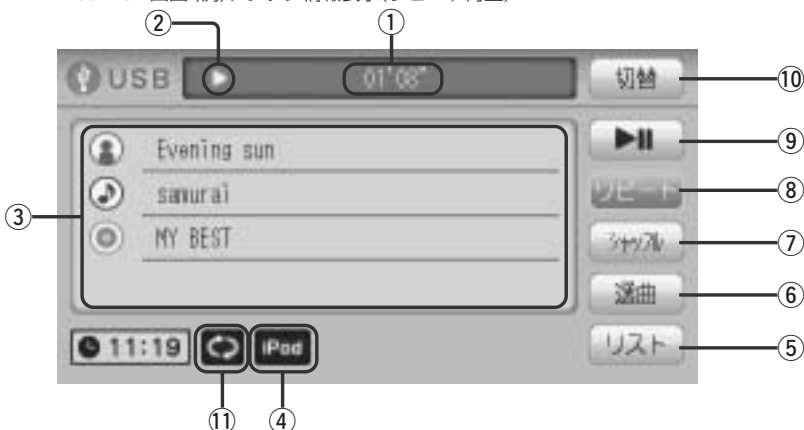
USB

「各部の名称とはたらき」

iPodを使う(2)

表示部(再生画面)について

iPod TOP画面(例)トラック情報表示(リピート再生)



①再生時間表示

②再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- ⏸ : 一時停止

③アーティスト名/トラック名/ アルバム名表示

④iPodを接続している場合に表示

⑤リスト ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(424ページ)

⑥選曲 ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。
(425～429ページ)

⑦シャッフル ボタン

シャッフル再生をすることができます。
(430ページ)

⑧リピート ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(430ページ)

⑨再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(423ページ)

⑩切替 ボタン

時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で「切替」ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。(431ページ)

⑪リピート/トラックシャッフル/ アルバムシャッフル選択時に表示

※表示内容につきましては
430ページをご覧ください。



アドバース

- 表示内容はiPod本体で表示されるアーティスト名/トラック名/アルバム名となります。
- 本機は日本語/英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では- (ハイフン表示)となります。
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(アーティスト名/トラック名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- ※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。

iPodを聞く

※iPodを本機に接続していない／iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回iPod画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたは前回iPod以外のオーディオモード画面の場合

① **AUDIO** ボタン(🔊)を押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。



① **AUDIO** ボタン(🔊)

■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

もう一度**AUDIO** ボタン(🔊)を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

② **USB** ボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 297ページ

🎵 「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

🖼️ 「映像の調整のしかた」 444～446ページ



iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。



「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 448、449ページ

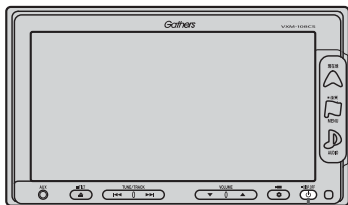
iPodを使う(3)

iPodを終了する

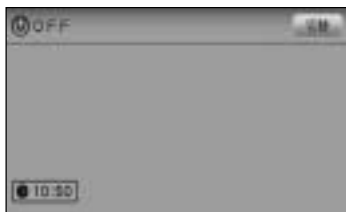
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されiPodの再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン (⏻)



アドバース

iPodの接続をやめるには、**「USBメモリデバイスの接続をやめるには」**(410ページ)をご覧ください。

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1

トラック ボタン(⏮/⏭)を押す。

: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン (⏮/⏭)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。



アドバース

リスト ボタンをタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「リストより好きなトラックを選び再生させる」 424ページ

早戻し／早送りをする

1 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)



それぞれボタンから手を離したところで再生を始めます。**トラック**ボタン(◀◀／▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

再生を一時停止する

1 **再生／一時停止** ボタン(▶ ||)をタッチする。

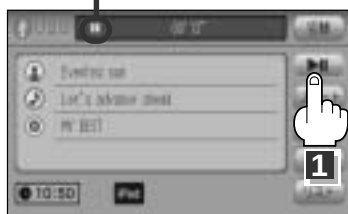
：音声が一時的に止まります。

■ 再び、再生を始める場合

再生／一時停止 ボタン(▶ ||)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めたつぎから再生を始めます。

一時停止状態



「終了する」／「一曲ずつ選択」

USB

「早戻し／早送り」／「一時停止」

iPodを使う(4)

リストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞ 425ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／ポッドキャスト／プレイリスト／アーティスト／作曲家／ジャンル)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

リスト ボタンをタッチする。

：リスト画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
((例) トラック情報表示時)



2

再生したい曲(トラック) をタッチする。

：選択した曲(トラック)が再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))

↑ / ↓ ボタンタッチで
つづきを表示



3

iPodモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲 ボタンをタッチする。

：選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
((例)トラック情報表示時)



2

選曲モードより選曲する方法

(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** /
ポッドキャスト / **ジャンル** /
プレイリスト / **作曲家** ボタン)を
選択します。



アドハイス

- 選曲モードより選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に **戻る** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

選曲モード画面



〔リストより選択〕

USB

〔選曲モードより選択再生(全曲)〕

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

((例)全曲画面)



iPodを使う(5)

- **アルバム** ボタンをタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



- **アーティスト** ボタンをタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

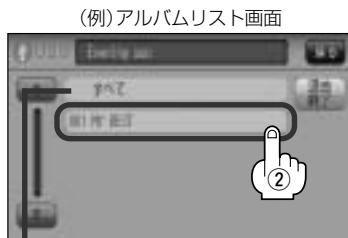
: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。—— さらに

②再生させたいアルバムをタッチする。

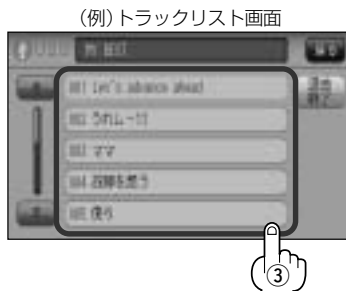
: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチすると①(左記)で選択したアーティストに該当するトラックリストが表示されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



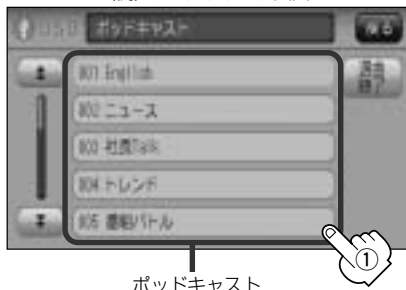
■ ポッドキャスト ボタンをタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

①再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

(例)ポッドキャスト画面



ポッドキャスト

②再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストを再生します。

(例)ポッドキャストリスト画面



■ ジャンル ボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

①再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名の)ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

(例)ジャンルリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。一さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。一さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例)アーティストリスト画面



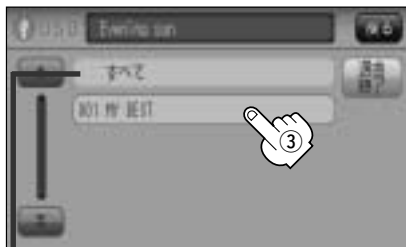
すべて ボタンをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。一さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

iPodを使う(6)

③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例) アルバムリスト画面

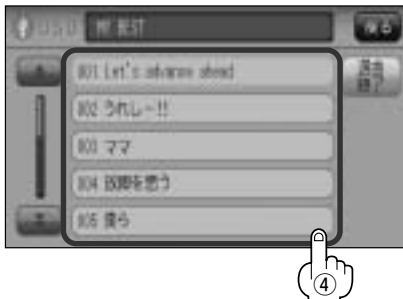


すべて ボタンをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

(例) トラックリスト画面



アドバイス

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

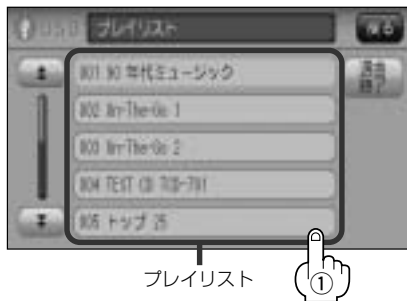
■ プレイリスト ボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

①再生させたいプレイリストをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例) プレイリスト画面

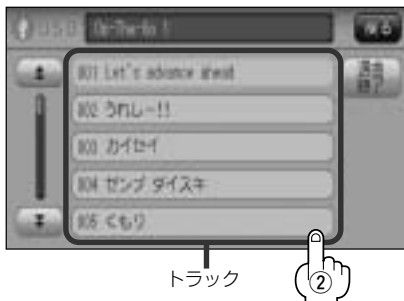


プレイリスト

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

(例) トラックリスト画面



トラック

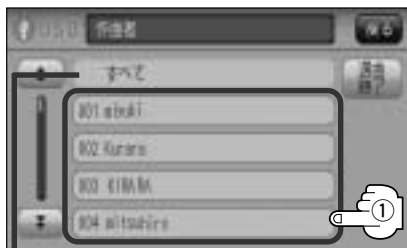
■ 作曲家 ボタンをタッチした場合

： 作曲家リスト画面が表示されます。

①再生させたい作曲者をタッチする。

： 選択した作曲者のアルバムが表示されます。

(例) 作曲家リスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。一さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

： 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリストの一番上の曲が再生されます。

(例) アルバムリスト画面

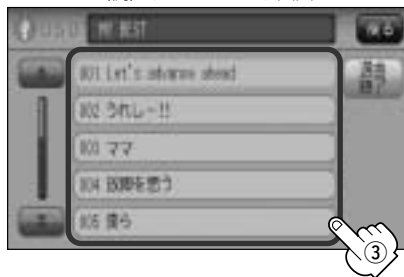


すべて ボタンをタッチすると①で選択した作曲者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

： 選択した曲を再生します。

(例) トラックリスト画面



3 設定を終わるには…

戻る ボタンまたは **選曲終了** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **選曲終了** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

iPodを使う(7)

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

シャッフル再生をする

1

シャッフル ボタンをタッチする。

：シャッフルボタンが点灯し、シャッフル機能が働きます。

- **シャッフル** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
シャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面で

マーク表示有)



今聞いているアルバムの
シャッフル再生

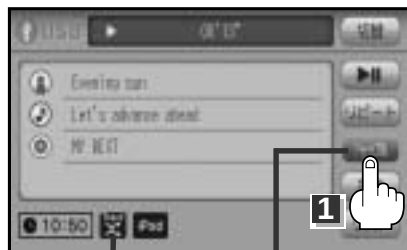
(表示灯点灯／TOP画面で

マーク表示有)



通常再生(シャッフル解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



選択中の再生モード 選択時ボタン点灯の状態を表示



アドバイス

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

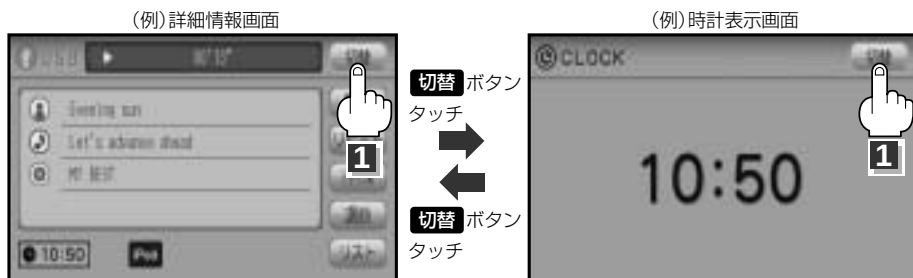
時計を表示する

画面全体に時計を表示することができます。

1 詳細情報画面で **切替** ボタンをタッチする。

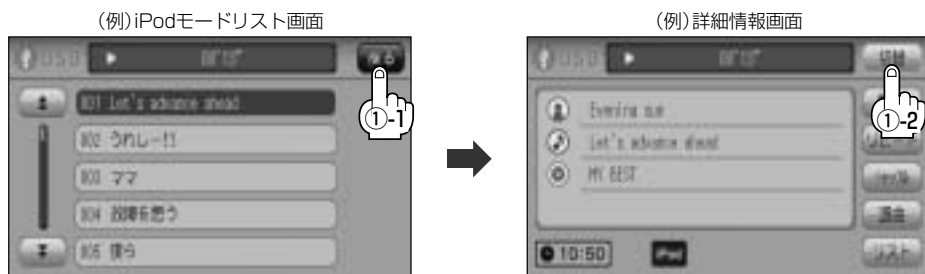
：画面全体に時計を表示します。

※もう一度 **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。



■ リスト画面が表示されている場合

- ① **戻る** ボタンをタッチして詳細情報画面を表示させ、**切替** ボタンをタッチする。



「リプレイ再生」／「シャッフル再生」／「時計表示」

USB



PHOTO

PHOTO機能を使う	434~441
各部の名称とはたらき	434
表示部について	435
画像を表示させる	436、437
PHOTOモードを終了する	437
メディア(USB/SD)を選択する	438
フォルダを選択し画像を表示させる	439
画像を回転させる	440
画像を戻す/進める	441

PHOTO機能を使う(1)

各部の名称とはたらき



① **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる／取り出すときに使用します。

② **前へ** ボタン

1つ前の画像を表示します。(441ページ)

③ **次へ** ボタン

次の画像を表示します。(441ページ)

④ **OPTION** ボタン(⬠)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ **電源** ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ **リスト** ボタン

画像リストを表示します。(439ページ)

⑦ **AUDIO** ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM/AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／SD／AUX／VTR★／USBモードからPHOTOモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑧ **画質** ボタン(📐)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)

- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

⑨ **USB** ボタン／**SD** ボタン

表示させるメディアを選択します。

タッチするたびに **SD** ↔ **USB** に切り替わります。

⑩ **回転** ボタン

表示させている画像を回転することができます。(440ページ)

⑪ **ボタン消** ボタン

表示されている操作ボタンを消します。

※約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

表示部について



① 選択中メディアアイコン表示

SD選択時…… 

USB選択時… 

② 画像ファイル名表示

③ 画像撮影日

(画像保存日)

PHOTO機能を使う(2)

画像を表示させる

SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているJPEG画像を本機に表示させることができます。

(例) PHOTOモード画面(走行中)



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ画像をご覧になることができます。



■ SDカード未挿入の場合

- ①  ボタン(OPEN)を押してディスプレイを開き、SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ画像が表示されます。



アドハイス

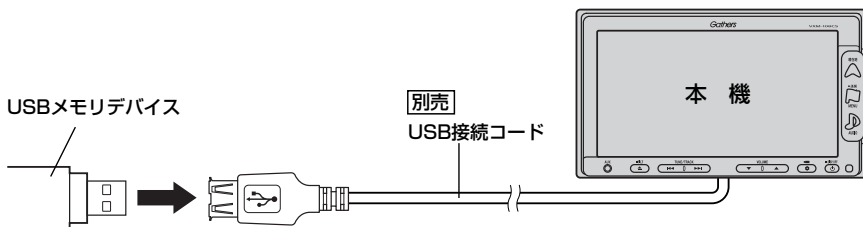
- SDカード挿入口につきましては「 48ページをご覧ください。
- USBのメディアが選択されている場合はSDを選択しなおす必要があります。

 「**メディア(USB/SD)を選択する**」 438ページ

■ USB未接続の場合

- ① 本機より出ている別売のUSB接続コードにUSBメモリデバイスを接続する。

：画像が表示されます。



アドハイス

初期状態ではSDのメディアが選択されているため、画面にメッセージが表示された場合はメディアをUSBに変更する必要があります。

 「**メディア(USB/SD)を選択する**」 438ページ

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回PHOTOモード画面で(オーディオモード終了)OFFにしていた場合

① **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画像が表示されます。



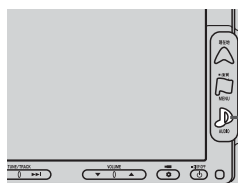
① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたはPHOTOモード以外のオーディオモード画面の場合

① **AUDIO** ボタン(🔊)を押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)



① **AUDIO** ボタン(🔊)



AV SOURCE画面



②

② **PHOTO** ボタンをタッチする。

：画像が表示されます。

■ 映像の調整をする場合

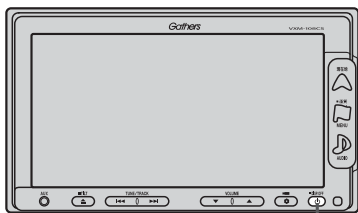
📖 「映像の調整のしかた」 444～446ページ

PHOTOモードを終了する

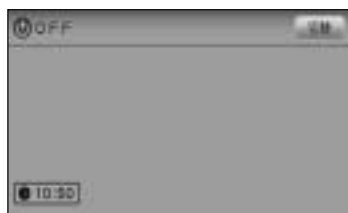
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示され画像の表示を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



PHOTO機能を使う(3)

メディア(USB/SD)を選択する

表示させたい画像のメディア(USB/SD)を選択します。

1

■ USBを選択する場合

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**USB** ボタンをタッチする。

：メディアが選択されPHOTOモードTOP画面に戻ります。

※ **USB** ボタンが **SD** ボタンに替わります。

(例) PHOTOモード TOP画面
SDカード選択時



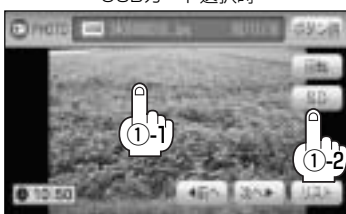
■ SDカードを選択する場合

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**SD** ボタンをタッチする。

：メディアが選択されPHOTOモードTOP画面に戻ります。

※ **SD** ボタンが **USB** ボタンに替わります。

(例) PHOTOモード TOP画面
USBカード選択時



アドバイス

選択したメディアが未挿入／未接続の場合は画面にメッセージが表示されるので挿入／接続後 **USB** ボタンまたは **SD** ボタンをタッチしてください。

(例) SDカード未挿入の場合



フォルダを選択し画像を表示させる

1

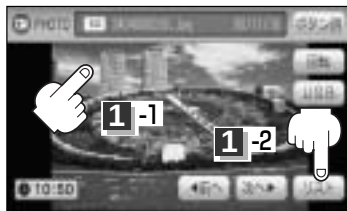
画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

リスト ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※フォルダリストはフォルダの更新日が古い順に表示されます。(ROOTフォルダは除きます。)

(例) PHOTOモード TOP画面



2

表示させたいファイルのフォルダを
タッチする。

：選択したフォルダの画像(ファイル)リストが
表示されます。

※リストは画像の更新日が古い順に表示されます。

(例) フォルダリスト画面



▲／▼ ボタンタッチでつづきを表示

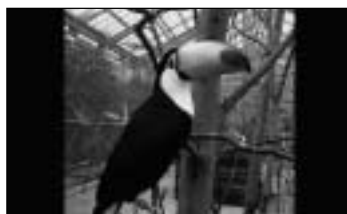
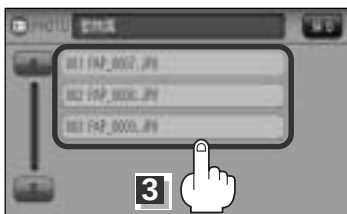
2

フォルダリスト

3

表示させたい画像(ファイル)をタッチする。

：選択した画像(ファイル)が表示されます。



アドバイス

- 次ページがある場合 ▲／▼ ボタンタッチしてリストをスクロールさせることができます。
- 選択中フォルダの画像を1つずつ表示させることもできます。

🔍 「 画像を戻す／進める 」 441ページ

「メディアを選択する」／「フォルダを選択し画像を表示させる」

PHOTO

PHOTO機能を使う(4)

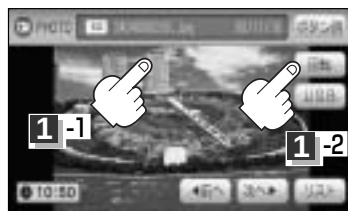
画像を回転させる

表示させている画像の向きを変えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
回転 ボタンをタッチする。

：タッチするたびに右方向に90度ずつ回転します。



アドバイス

- ファイルフォーマット：Baseline JPEG方式
※Progressive JPEGカラーフォーマットがGray scale、CMYKのJPEGファイルは対応しません。
- 480×240ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。
- JPEG画像を表示する場合、画面(480×240ドット)より大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違いため、画像は縦伸びに表示されます。
- 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数：全角32文字・半角64文字
- ファイルサイズ：10MB以下
- 画像サイズ：16×16ピクセル～4032×3024ピクセル
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_(アンダースコア)
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255(ファイル数+フォルダ数)
- 最大フォルダ数：50
- 最大ファイル数：1000

画像を戻す／進める

選択中フォルダの画像を1枚ずつ表示させることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

前へ／**次へ** ボタンをタッチする。

■ 前の画像に戻る場合

前へ ボタンをタッチする。

※1つ前の画像を表示します。

■ 次の画像に進む場合

次へ ボタンをタッチする。

※次の画像を表示します。



アドバイス

フォルダを選択して画像を表示させることもできます。

🔍 「**フォルダを選択し画像を表示させる**」 439ページ



その他

映像の調整のしかた	444～446
画質調整を初期値に戻すには	446
音声はそのまま画面を消すには	447
音声はそのまま、ナビゲーション	
画面を表示する	448、449
今聞いているモードの画面に戻すには	448
音楽／音声の再生を止めるには	448
ボタンの照明について	449
オーディオ リモコン スイッチ	450
リモコンを使う	451～464
安全上のご注意	451、452
使用上のご注意	453
リモコンをホルダーから取り外す	454
リモコンをホルダーに収める	454
リモコンに電池を入れる	455
リモコンの主な便利機能	456
各部の名称とはたらき	457～462
リモコンの10キーで文字を入力するには	463
10キーでの文字入力のかた	464
個人情報の取り扱いについて	465
ルート案内時の注意点	466～469
出発地・経由地・目的地の設定について	470、471
経由地、目的地の登録のポイント	470、471
経由地を使って上手にルートを作る	471
地図ソフトについて	472～475
地図に表示される記号	476、477
市街地図(5m／12m／25mスケール)の	
収録エリア	478～481
細街路(主要市区町村道路)探索エリア	481
VICSの概要	482、483
VICS情報有料放送サービス契約約款	484、485
故障かな?と思ったら	486～497
こんなメッセージが出たときは	498～501
チャンネル一覧	502、503
用語説明	504～507
初期設定一覧	508、509
別売品(システムアップ)について	510、511
主な仕様	512
構成内容	513
保証／アフターサービスについて	514

映像の調整のしかた(1)

- ナビゲーションモード／ラジオ (FM／AM)／CD／MP3／WMA／SD／AUX／USB／PHOTOモード画面のときは、明るさ／コントラスト調整ができます。
- ワンセグ／VTRモード画面のときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。(ただし走行中は明るさ／コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に別売のリアカメラ／コーナカメラ／フロントカメラを接続しているときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。



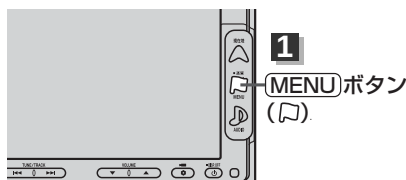
アドバイス

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、ナビゲーションモード／ラジオ (FM／AM)／CD／MP3／WMA／SD／AUX／USB／PHOTOモードの画面、ワンセグ画面、VTR画面で別々に調整することができます。

1

MENU ボタン()を2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



アドバイス

オプション ボタン()に画質調整機能を設定している場合は、このボタンを押して画面調整画面を表示させることができます。 「オプションボタンの設定をする」267、268ページ

2

調整したい項目(**明るさ**／**コントラスト**／**色の濃さ**／**色合い** ボタン)をタッチする。

(例) 画質調整画面



3

－／**＋** ボタンをタッチして値を調整する。



アドバイス

調整はタッチパネルの**－**ボタンまたは**＋**ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

(例) 画質調整画面



3



■ 明るさ(1～31)調整の場合

－ ボタンをタッチすると暗くなり、**＋** ボタンをタッチすると明るくなる。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれお好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

－ ボタンをタッチすると黒さが増し、**＋** ボタンをタッチすると白さが増す。



アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は**＋** ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

－ ボタンをタッチすると淡くなり、**＋** ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

－ ボタンをタッチすると赤が強くなり、**＋** ボタンをタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

〔映像調整〕

その他

映像の調整のしかた(2)

4

設定を終わるには…

■ オーディオモード画面の場合

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻る。

■ NAVIモード画面の場合

現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **2**、**3** (444、445ページ)で調整した画質(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

手順 **1** (444ページ)にしたがって操作し、
手順 **2** (画質調整画面)で **初期値** ボタンを
タッチする。

: 設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

(例) 画質調整画面



音声はそのまま画面を消すには

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

電源 ボタン()を2秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

(例) CDモード画面



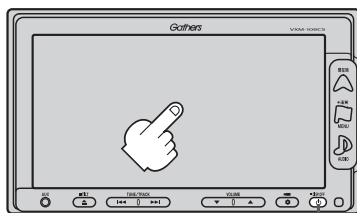
1 **電源** ボタン()

再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度

電源 ボタン()をタッチする。

：画面のバックライトが点灯し、
画面が表示されます。



電源 ボタン()



アドハイス

- リアカメラ／コーナーカメラ／フロントカメラが接続されている場合に車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消モード中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面を消す前に表示していたモードの画面を5秒間表示してから画面消モードに戻ります。
- リアカメラを接続し、カメラ映像を表示している場合は、**電源** ボタン()を長押ししても画面を消すことはできません。

〔映像調整〕

／
〔音声はそのまま画面を消すには〕

その他

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

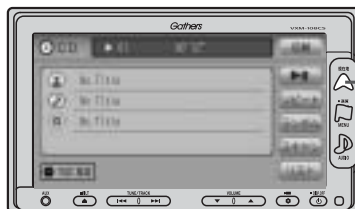
※この操作はナビゲーション画面から操作することはできません。ナビゲーション画面を表示している場合は、295ページ手順 **2** にしたがって操作し、再生させたいモードに替えてください。

1

各モードの画面で、**現在地** ボタン(△)を押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

(例) CDモード画面



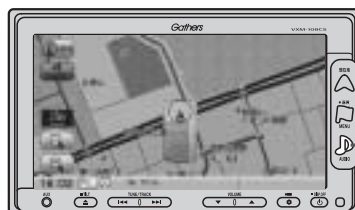
1

現在地 ボタン
(△)

今聞いているモードの画面に戻すには

① **AUDIO** ボタン(🔊)を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、今聞いているモードの操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、**現在地** ボタンを押してください。



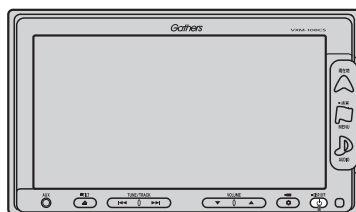
1

AUDIO ボタン
(🔊)

音楽／音声の再生を止めるには

① **電源** ボタン(🔌)を押す。

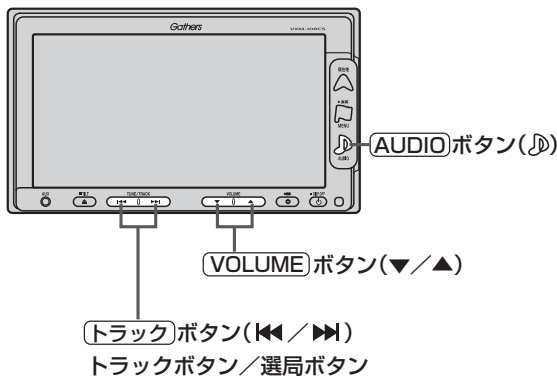
：音楽／音声の再生を中止します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)



- 音量調整や◀◀/▶▶を使っての操作やAV OFF/ON(電源)ボタン(⏻)を押す)は、ナビゲーション画面のままでもできます。



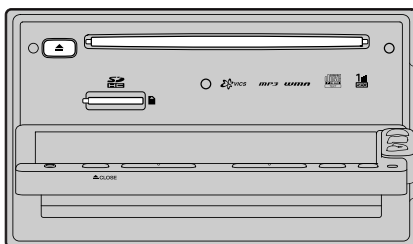
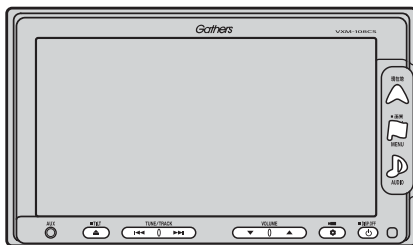
*用途によって呼び名が変わります。

☞ 295ページアドバイスをご覧ください。

- 音声はそのまま画面を消したい場合は、☞ 「音声はそのまま画面を消すには」 447ページをご覧ください。

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタン(▲、□、🔊)やイラスト(▲、◀◀、▶▶、▼、▲、⚙️、⏻)やディスプレイ部を開いたときのイラスト(▲)やディスク挿入口、SDカード挿入口が点灯します。



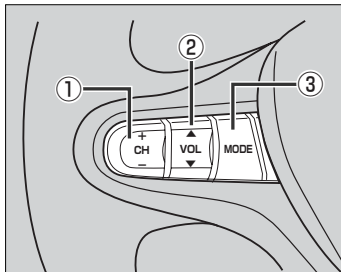
「音声はそのままナビゲーション画面を表示する」／「ボタンの照明について」

その他

オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。



イラストはイメージ図です。

車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。

※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH スイッチ

■ ラジオを聞いている／ワンセグを見ている場合

- ➕を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。
- ➖を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。
- ➕／➖を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

■ CD／SD／USBを聞いている場合

- ➕を押す。：スキップ(次の曲の頭出し)します。
- ➖を押す。：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
- ➕を長く押す。：早送りします。
- ➖を長く押す。：早戻しします。

② VOL スイッチ

- ▲を押す。：音量が大きくなります。
- ▼を押す。：音量が小さくなります。
- ▲を長く押す。：連続して音量が大きくなります。
- ▼を長く押す。：連続して音量が小さくなります。

③ MODE スイッチ

スイッチを押すたびに、
CD → FM → AM → ワンセグ → PHOTO
↑ USB★ ← SD ← AUX ← VTR★ ←
と切り替わります。



アドハイス

●オーディオモード↔ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体パネルの[AUDIO]ボタン↔**現在地**ボタン(△)を押して切り替えてください。

●オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)またはパネル全開状態のときは操作できません。

※オーディオモード終了(OFF)のときに[MODE]スイッチを押すとCDモードを表示します。

- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
 - ・CD／MP3／WMAディスク未挿入、VTR★未接続。

☆印：USBの接続方法につきましては、「USBメモリデバイスを本機に接続するには」409ページ、または「iPodを再生させるには」418ページをご覧ください。

★印：VTRの接続方法につきましては、「VTR機能を使う場合」397ページをご覧ください。

安全上のご注意

⚠ 危険



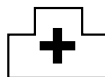
電池のプラス⊕とマイナス⊖を確認して正しく入れてください。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや、周囲を汚損させる原因となります。



火の中に入れたり加熱したりしないでください。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。



電池の液が目に入った場合は、失明の恐れがありますのでこすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所、エアバッグシステムの動作を妨げる場所に置いたり、取り付けたりしないでください。
交通事故やけがの原因となります。



分解禁止

本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災の原因となります。



運転中に本機の操作はしないでください。
事故の原因となります。



電池のプラス⊕とマイナス⊖を針金などの金属で接続しない。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。



「オーディオリモコンスイッチ」／「リモコンを使う」

その他

警告



水や海水につけたり、ぬらしたりしない。
電池の発熱やサビにより、火災の原因となります。



液もれ、変色、変形など今までと異なることに気づいた時は使用しないでください。
電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。



電池の液が皮膚や衣服についた場合は、皮膚に障害をおこす恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流す。



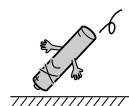
事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。



注意



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。



高温の場所(直射日光の当たる場所、炎天下の車内、火のそばなど)や低温の場所(寒い戸外など)に放置しない。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。



小児が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書のとおりを使用しているかどうか注意する。
事故の原因となることがあります。



使用上のご注意

- 指定された電池以外は使用しない。

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。

- リモコン内に電池を入れるときは、極性(⊕極と⊖極)に注意し、指示どおりに入れる。

指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

- 加熱・分解したり、火・水の中に入れない。

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

- 金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない。

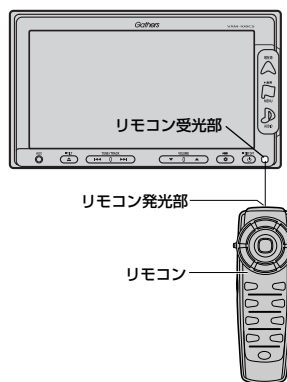
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

- 使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する。

- 直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。

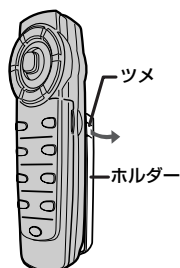
- ご使用の際は、リモコンの発光部をナビゲーションのリモコン受光部に向けてください。

※ 電池の消耗により、リモコンの使える範囲が狭くなったり、ボタンを押しても操作できないことがあります。
この場合は、電池を交換してください。

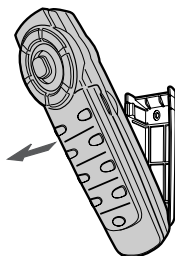


リモコンをホルダーから取り外す

- 1 ホルダーの左右のツメを少し外側に広げて、外します。

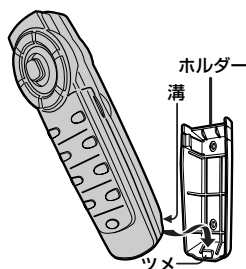


- 2 そのまま手前に引く。

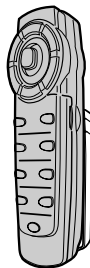


リモコンをホルダーに収める

- 1 ホルダー下部のツメに、リモコン下部の溝を合わせる。



- 2 “カチッ”と音がしてホルダーの左右のツメがはまるまで、リモコンをホルダーに押す。



リモコンに電池を入れる

付属の単4形乾電池を2個使用します。

⚠ 危険

- 電池は、極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れてください。
- 金属性のピンセットなどで電池をつかまないでください。ショート(短絡)する恐れがあります。
- 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして、処理してください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

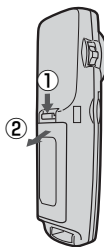


お願い

- 電池は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
- 長時間使用しない場合は、本体から取り出し、湿気の少ない場所で保管してください。

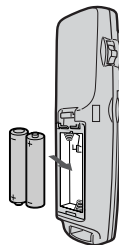
1

ツメを押し下げ、そのまま手前に引く。



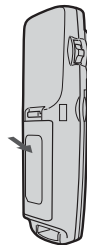
2

左に入れる電池はマイナスを上にして入れ、
右の電池はプラスを上にして入れる。



3

ふたの下のツメを本体の溝に合わせ、“カチッ”と音がするまで閉める。



「リモコンを使う」

その他

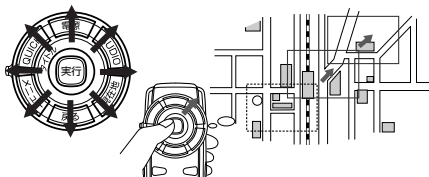
リモコンの主な便利機能

地図を動かすときに使用

1

カーソルキーをスクロールしたい方向へ動かす。

：地図がスクロールされます。



アドバイス

押し続けると連続してスクロールします。カーソルキーは8方向に動かすことができます。

画面のメニュー等を選択し、実行するときに使用

1

画面上の項目を選ぶ。(※)

カーソルキーを使用して選びます。

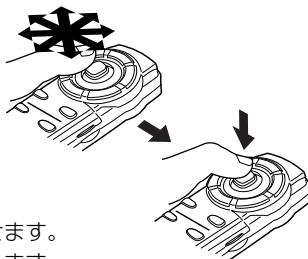
2

選んだ項目を押す(実行する)。

実行 ボタンを押します。

選んだ項目の内容を実行したり、次画面を表示させます。

※リモコンで選んだ項目は外わくが水色に表示されます。



アドバイス

機能によっては、リモコンで選択できないボタンがあります。

NAVI/AV切替スイッチについて

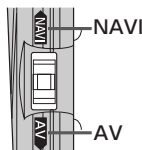
ナビゲーション画面を表示させながらオーディオ(ラジオ(FM/AM)/ワンセグ/CD/MP3/WMA/SD/AUX/VTR/USB/iPod/PHOTO)を同時起動した場合に、ナビゲーションまたはオーディオのどちらのモード操作をナビゲーションが受信するか、あらかじめ設定することができます。

NAVI 側にスイッチをスライドさせる。

：ナビゲーション操作を行ないます。

AV 側にスイッチをスライドさせる。

：オーディオ操作を行ないます。



2画面 ボタンについて

現在地表示時、全画面表示↔2画面表示(地図画面)の切り替えを行ないます。

各部の名称とはたらき

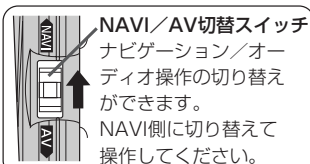
[ナビゲーションの操作1]

電源 ボタン

- オーディオ操作をON/OFFするときに使います。
- 長押しすると、画面が消えます。もう一度ボタンを押すと、再度画面を表示します。

QUICK ボタン

スクロール先で押すと設定メニューが表示されます。



メニュー ボタン

- メニュー画面を表示します。
- 長押しすると画面調整画面が表示されます。

ページ ボタン(▼/▲)

1画面で表示できないときに押すと、ページ送り(▼)／戻し(▲)します。

2画面 ボタン

押すたびに、2画面表示 ↔ 全画面表示と切り替わります。

リモコン発光部

カーソルキー(✱)

- 地図表示位置を変えたり、画面で項目を選ぶときに使います。
- 入力画面のとき、文字選択に使います。

実行 ボタン

- 画面で選んだ項目を実行します。
- 現在地表示中に押すと、渋滞／規制地点が表示されます。(設定ルート上に渋滞／規制がある場合)
- スクロール先で押すと、設定メニューが表示されます。

AUDIO ボタン

ナビゲーション画面で1回押すと、最後に選択した画面(AV含む)になります。もう一度押すと、AV SOURCE画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

1つ前の選択画面に戻ります。

詳細／広域 ボタン

地図の拡大(詳細)、縮小(広域)をします。

クイックルート ボタン

自宅までのルート探索に使います。

3D表示 ボタン

押すたびに、3D、北方向を上(平面地図)、進行方向を上(平面地図)と、地図表示が切り替わります。

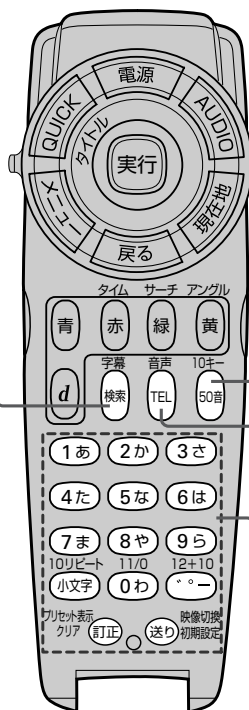
フリップ

[ナビゲーションの操作2]

フリップを開けた場合

検索 ボタン

- 電話番号入力画面または郵便番号入力画面で入力途中に押すと、入力した電話番号または郵便番号に該当するリストまたは地図が表示されます。
- 50音入力画面で押すと、入力した施設名または地名で検索が開始されます。
- マップコード入力画面／緯度・経度入力画面で押すと、入力したマップコードまたは緯度・経度で検索が開始されます。



50音 ボタン

施設の名前を入力して目的地を探すときに、施設50音入力画面を表示します。

TEL ボタン

電話番号を入力して目的地を探すときに、電話番号入力画面を表示します。

10キー&編集ボタン

文字または数字を入力するときに使います。
※詳しくは463ページをご覧ください。

[CD/MP3/WMA/SD/USB/iPodの操作]

電源 ボタン

- オーディオモードを開始/終了 (OFF状態に) します。
- 長押しすると画面が消えます。もう一度押すと、再び画面を表示します。

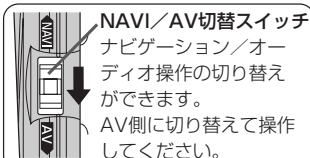
リモコン発光部

カーソルキー (+)

画面で項目を選択するときに使用します。

実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行します。



メニュー ボタン

ナビゲーションのメニュー画面を表示します。

音量 ボタン (-/+)

- : 音量減 + : 音量増

AUDIO ボタン

AV SOURCE画面または前回最後に選択していたモード画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

1つ前の選択画面に戻ります。

トラック ボタン (◀◀ / ▶▶)

- 好きな曲を選びます。
- ボタンを押し続けると早戻し (◀◀) / 早送り (▶▶) します。

MP3/WMAの場合

フォルダ ボタン

好きなフォルダを選びます。

REW : フォルダ戻し

FF : フォルダ送り

SD/USBの場合

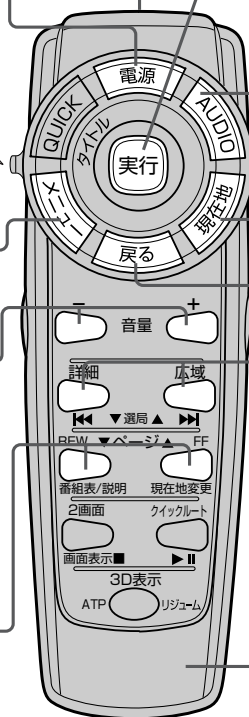
ページ ボタン (▼/▲)

1ページで表示できないリストを、ページ送り (▼) / 戻し (▲) します。

iPodの場合

ページ ボタン (▼/▲)

1ページで表示できないリストを、ページ送り (▼) / 戻し (▲) します。



フリップ

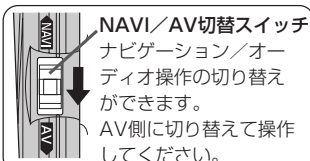
[ラジオの操作]

電源 ボタン

- オーディオモードを開始/終了 (OFF状態) にします。
- 長押しすると画面が消えます。もう一度押すと、再び画面を表示します。

QUICK ボタン

リスト画面を表示します。



メニュー ボタン

ナビゲーションのメニュー画面を表示します。

音量 ボタン(−/+)

− : 音量減 + : 音量増

ページ ボタン

プリセット放送局を選びます。

リモコン発光部

カーソルキー(↑/↓)

画面で項目を選択するときに使用します。

実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

AUDIO ボタン

AV SOURCE画面または前回最後に選択していたモード画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

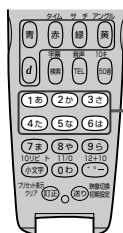
1つ前の選択画面に戻ります。

選局 ボタン(▼/▲)

- 好きなチャンネルを選びます。また、このボタンを押し続けると自動選局を開始します。
- ボタンを押すと自動選局をします。

フリップ

フリップを開けた場合



プリセット選択 ボタン

プリセット放送局を選択します。(ただし、エリアは除く)

[ワンセグの操作1]

電源 ボタン

- オーディオモードを開始/終了 (OFF状態に) します。
- 長押しすると、画面が消えます。もう一度押しと、再び画面を表示します。

リモコン発光部

カーソルキー (十字)

画面で項目を選択するときを使用します。

実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

AUDIO ボタン

AV SOURCE 画面または前回最後に選択していたモード画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

1つ前の選択画面に戻ります。

選局 ボタン (▼/▲)

チャンネルを選局するときに使用します。また、このボタンを押し続けると自動選局を開始します。

現在地変更 ボタン

視聴エリア変更画面を表示します。

フリップ

NAVI/AV切替スイッチ
NAVI/AV操作の切り替えができます。
AV側に切り替えて操作してください。

メニュー ボタン

ワンセグメニュー画面を表示します。

音量 ボタン (-/+)

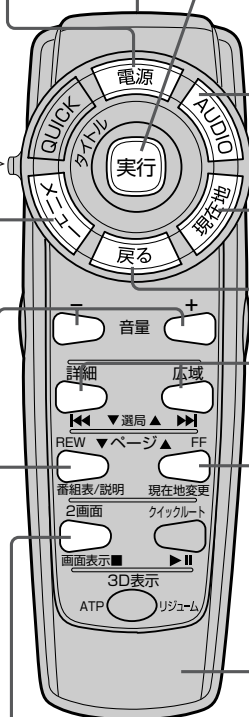
- : 音量減 + : 音量増

番組表 ボタン

番組表を表示します。

画面表示 ボタン

操作ボタン1を表示します。

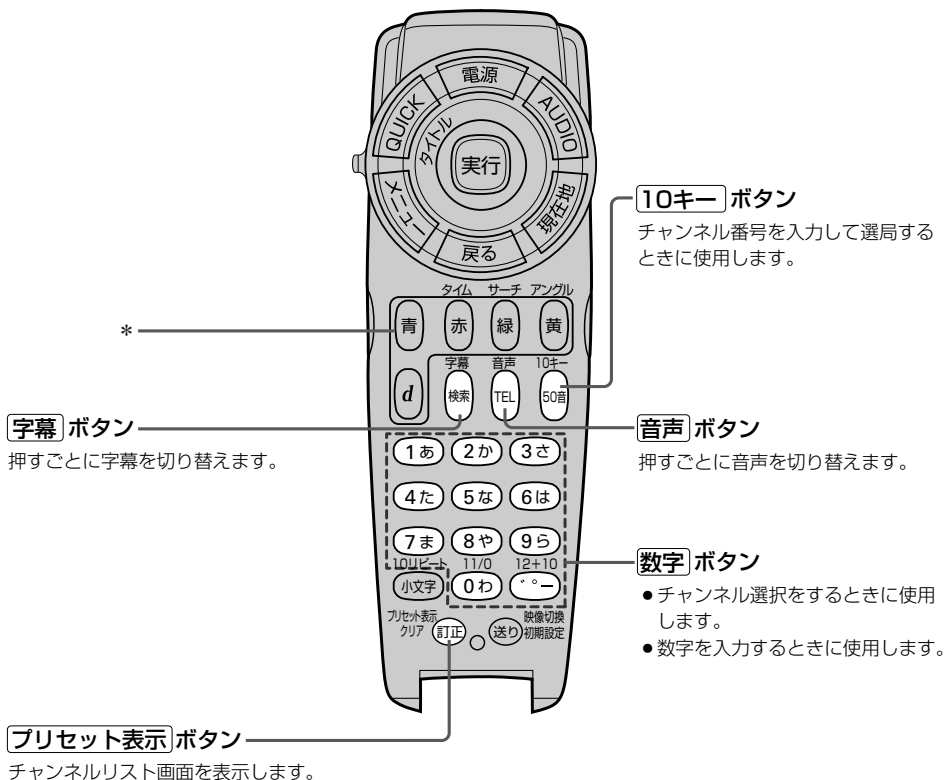


「リモコンを使う」

その他

[ワンセグの操作2]

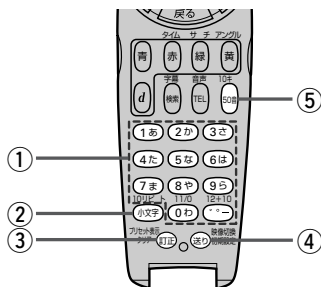
フリップを開けた場合



リモコンの10キーで文字を入力するには

文字の割り当て

文字の入力のしかたには、10キーを押して直接入力する方法と、カーソルキーを動かして画面に表示された50音パレットから文字を選択する方法があります。また、両方の操作を混ぜて行なうこともできます。



10キーでは、1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。10キーに割り当てられた文字および編集ボタンのはたらきは以下のとおりです。

文字の割り当て表

	押すボタン	入力文字
①	1あ ボタン	かな・漢字：あいうえお カナ：アイウエオ 英数：1ABC
	2か ボタン	かな・漢字：かきくけこ カナ：カキクケコ 英数：2DEF
	3き ボタン	かな・漢字：さしすせそ カナ：サシスセソ 英数：3GHI
	4た ボタン	かな・漢字：たちつと カナ：タチツテト 英数：4JKL
	5な ボタン	かな・漢字：なにぬねの カナ：ナニヌネノ 英数：5MNO
	6は ボタン	かな・漢字：はひふへほ カナ：ハヒフヘホ 英数：6PQR

	7ま ボタン	かな・漢字：まみむめも カナ：マミムメモ 英数：7STU
	8や ボタン	かな・漢字：やゆよ カナ：ヤユヨ 英数：8VWX
	9ら ボタン	かな・漢字：らりるれろ カナ：ラリルレロ 英数：9YZ
	0わ ボタン	かな・漢字：わをん カナ：ワヲン 英数：0ー _ / .
	〃 ボタン	かな・漢字：ゝ っ ー カナ：ゝ っ ー
②	小文字 ボタン	小文字を入力したい時に押します。
③	訂正 ボタン	文字を1文字消去する。
④	送り ボタン	10キーで文字(かな／カナ／英数)を入力したとき、その文字を確定します。 ※続けて同じボタンの文字を入力するときは、1文字入力後、送りボタンを押してカーソルを右に移動させた後、次の文字を入力します。 次に入力する文字が違うボタンの文字のときは、次の文字のボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。
⑤	50音 ボタン	押すごとに、 「かな→カナ→英数」と切り替えます。

10キーでの文字入力のかた

50音パレットで文字を入力する場合

1

入力したい文字が割り当てられたボタンをくり返し押して、入力したい文字を表示させる。

2

[送り] ボタンを押して文字を確定する。

※次に入力したい文字が同じボタンに割り当てられていない場合は、**[送り]** ボタンを押す必要はありません。次に入力したい文字のボタンを押すと、前回の文字は自動的に確定されます。

例) あおと入力する場合 ^(1あ) あ → ^(送り) → ^{(1あ) 5回押す} お

あかと入力する場合 ^(1あ) あ → ^(2か) か ^(2か) ボタンを押した時点で“あ”文字は確定されます。

※入力を間違えた場合は**[訂正]** ボタンを押して入力し直します。

[訂正] ボタンを長押しすると、入力した文字がすべて消去されます。

3

手順**1**、**2**をくり返し、文字を入力する。

電話番号入力画面で数字を入力する場合

入力は数字のみです。

1

入力したい数字のボタンを押す。

※入力した時点で、文字は確定されます。

※入力を間違えた場合は**[訂正]** ボタンを押して入力し直します。

[訂正] ボタンを長押しすると、入力した文字がすべて消去されます。

2

[検索] ボタンを押すと、地図検索を始める。



アドバイス

- ここで説明した入力方法は1例です。

この他にも文字の入力画面があります。

- 10キーで入力している時に、カーソルキーを動かして画面に表示された50音パレットから文字を入力する操作を混ぜ合わせて行なうことも可能です。

個人情報取り扱いについて

工場出荷状態に戻すには

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

 「データを初期化(消去)する」 281、282ページ

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

- 本機に内蔵されている地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)に関する情報の削除

 「 **設定を初期化する** 」 352、353ページ

ルート案内時の注意点(1)

■表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。

■道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

■ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

■ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

■目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除したときにルートは消えます。

■再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

■ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

■距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

■距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

■道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

■経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。

- どれか1か所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつかないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路(灰色(細線)の道路)は、通行の安全上、最短ルートとしない場合があります。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路(灰色(細線)の道路)を使用したルートについては、音声での案内は行ないません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 細街路(灰色(細線)の道路)から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制にしたがって走行してください。

■以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

- 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- 極度に迂回したルートしかない場合。
- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

■以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自転車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。

この場合は自転車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自転車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行なってください。

- 登録地、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。

- **一般優先** に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。

ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。

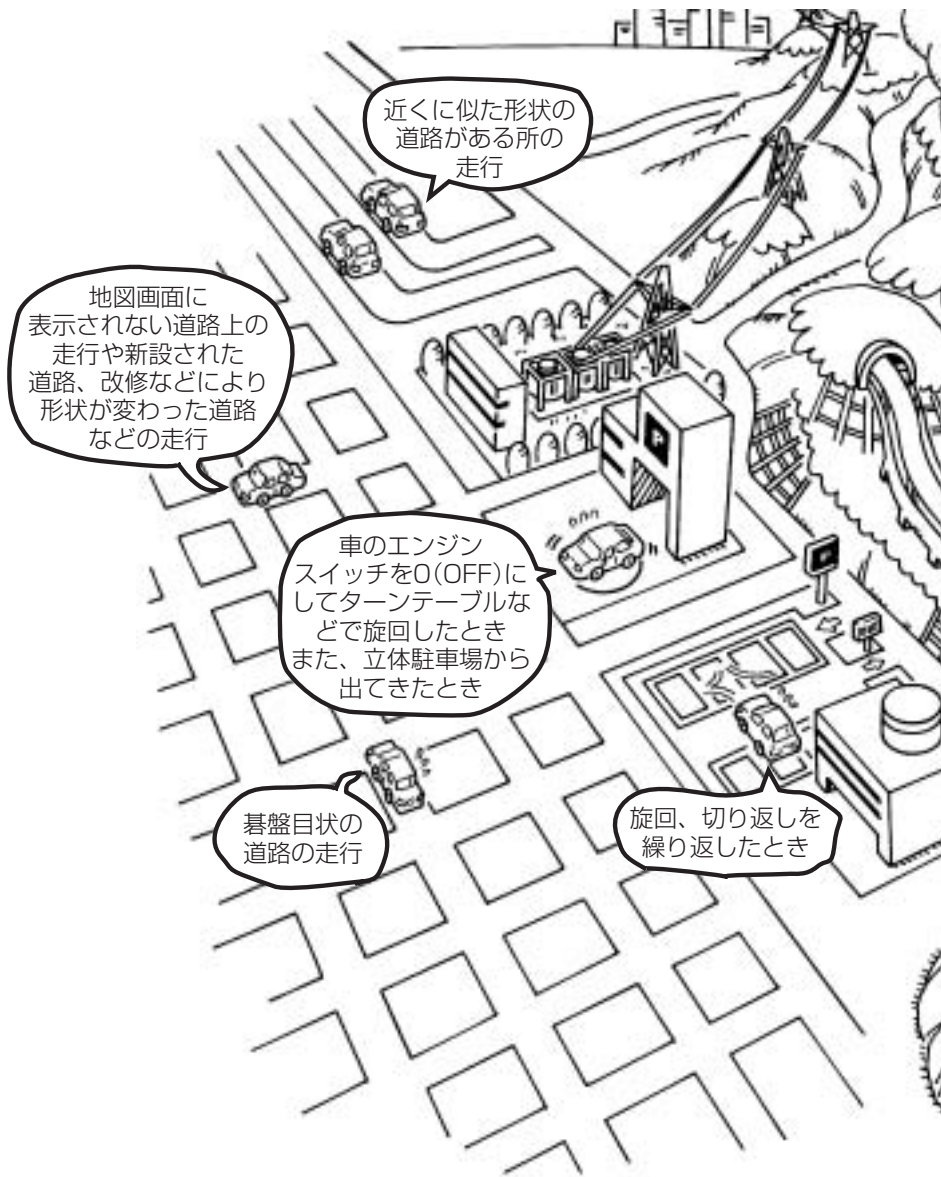
- 陸路のみで目的地に到着できるときや **探索条件** の設定でフェリーを優先“する”に設定していなくても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。

- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみ、の航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

ルート案内時の注意点(2)

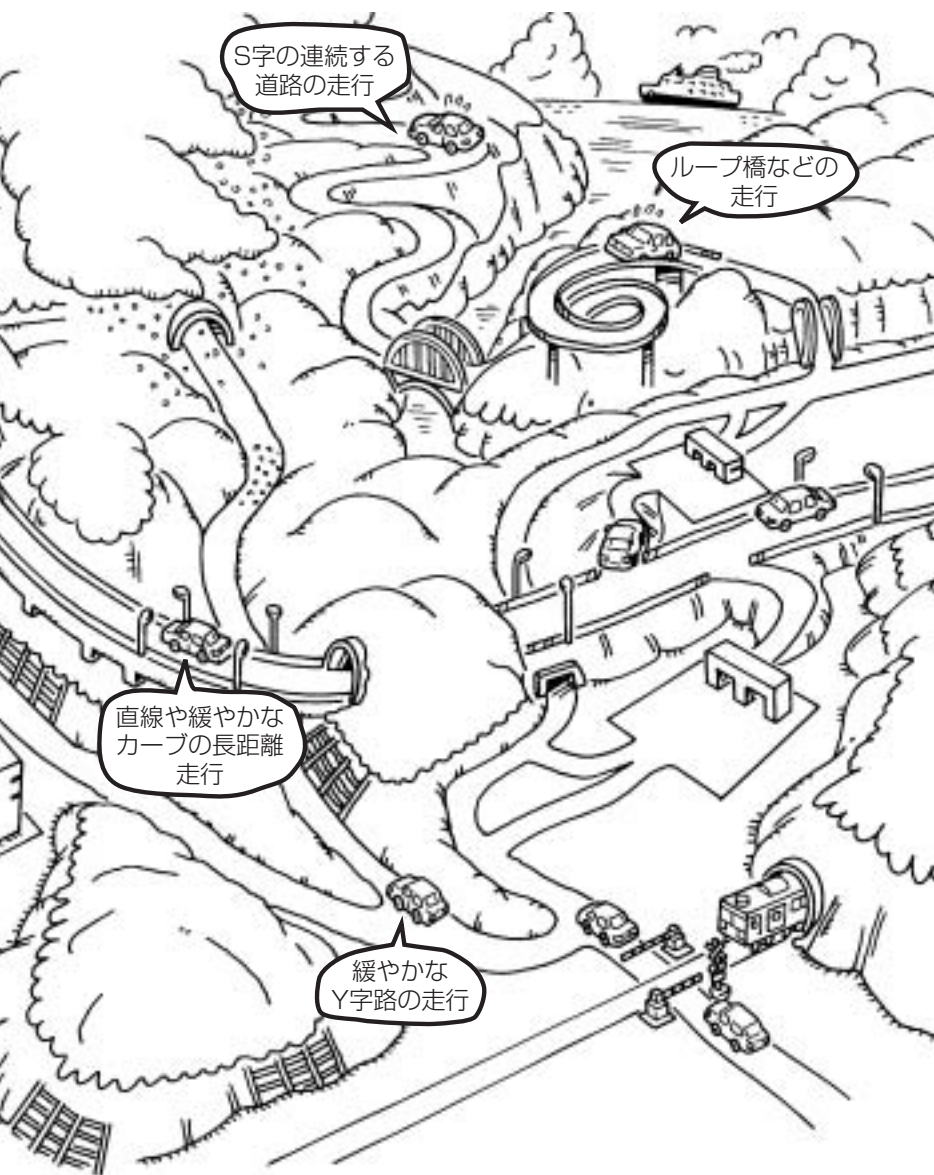
自車マークの表示誤差について

自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。





エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。



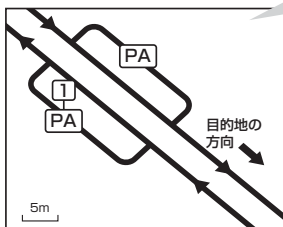
出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の登録のポイント

経由地、目的地は必ず最詳細地図で設定してください。

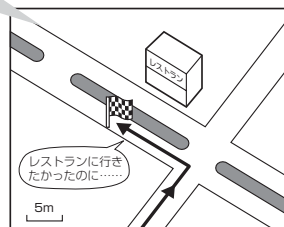
最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例) 高速道路のPAに経由地を設定した場合



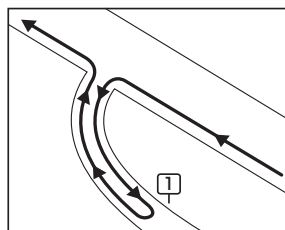
目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

例) 中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠まわりルートを設定することがあります。

例) 設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

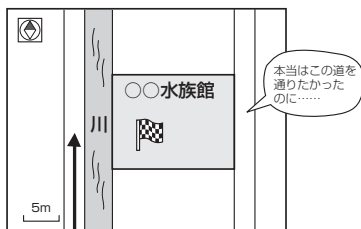
経由地は最詳細地図で目的地方向上にあるPA、車線側に設定してください。

目的地は最詳細地図で、車線等を確認して設定してください。

経由地／目的地は、交差点には設定しないでください。

メニューの検索で施設の地図を探した場合

例) 「施設のジャンルから地点を探す」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を登録した場合



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

出発地／経由地／目的地のマークは施設上に登録されますが、ルート探索の実際の出発地／経由地／目的地は、登録した地点に一番近い探索データのある道路上の地点となります。このため、意図したルートとはちがうルートが設定される場合があります。

これをさけるには、最詳細地図で、探索データのある道路のうち、好きな道路上(目的地方向の車線側)に登録してください。

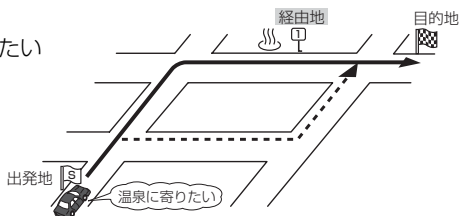


出発地／経由地／目的地を登録した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

経由地を使って上手にルートを作る

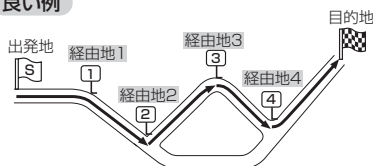
例) ルートの途中に立ち寄りたい場所があるとき

経由地を設定しない場合、立ち寄りたい場所を通らないルート(-----▶)を作ることがあります。



例) 経由地は出発地(現在地)から近い順に、1、2、3…と、設定してください。

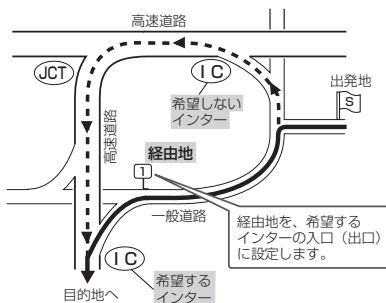
良い例



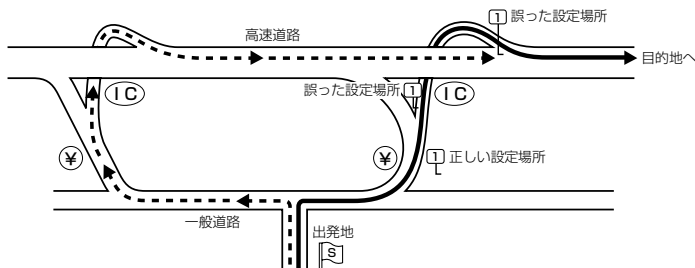
悪い例



例) 希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。



〔出発地・経由地・目的地の設定について〕

その他

地図ソフトについて(1)

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「本機」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)の間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、お客様が管理使用する機器1台に限り本商品を使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停車させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を了承するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、全て正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 弊社は、本ソフトに関する損害賠償責任を、弊社の故意または重過失による場合を除き、一切負わないこと。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を、複製、抽出、転記、送信することまたは2台以上の機器で使用すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください）



運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。



運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して歩行、走行してください。

本ソフトに使用している地図データ・交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して歩行、走行してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本ソフトを救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本ソフトにはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（承認番号平20業使、第204-327号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法44条に基づく成果使用承認07-173）
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2009年11月のものを使用しています。
-  **vic^s** は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

地図ソフトについて(2)

- 道路データは、高速、有料道路においてはおおむね2009年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2009年9月までに収集した情報をもとに製作しておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆リアル3D交差点 ……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。(約1730交差点、約5530画像)
※すべての交差点において収録しているわけではありません。
 - ◆JCTビュー ……ルート案内時、自動的に高速・首都高速・都市高速のJCTをリアルデザインで案内します。(約3830ヶ所、約7670方面)
 - ◆方面看板 ……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点)
※すべての交差点において収録しているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2009年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」収録エリアにおいては、データの整備状況により一部収録していない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2009年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元：NTTデータ 予測の元となる情報：JARTIC/VICSセンター) なお、ご使用のカーナビゲーションによっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3 対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印等)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
※収録エリアには2010年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICSに関するお問い合わせ

(財)道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45（土曜、日曜、祝日を除く）

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX：03-3592-5494

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報をもとに作成しております。

■道路：2009年12月(高速・有料道路)／2009年9月(国道・都道府県道)

■交通規制※¹：2009年11月 ■住所検索 ：2009年11月 ■電話番号検索 ：2009年11月

■郵便番号検索：2009年11月 ■ジャンル検索：2009年10月 ■高速・有料道路料金※²：2009年12月

■市街地図 ：2009年7月 ■個人宅電話番号検索：2009年10月

※¹：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※²：料金表示はETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】 全国47都道府県

※ただし、収録エリアには2010年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

本ソフトについてのお問い合わせ先
株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 10:00～17:00 月～金(祝日・弊社指定休日は除く)

2010年5月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2009 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© 2010 AREX CO.,LTD.

© ジオ技術研究所

© 2010 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に表示される記号

地図表示記号(例)

	都道府県庁舎・北海道支庁庁舎 (灰色)		ファミリーレストラン		その他目標施設
	市役所・特別区庁舎 (灰色)		山頂		JRA競馬場・ウインズ
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		工場		ガソリンスタンド
	官公署・市町村役場支所 (出張所)		一方通行記号		展望タワー
	消防署 (含む：分署・支署・出張所)		交差点		動物園
	自衛隊		サービスエリア		植物園
	学校		パーキングエリア		水族館
	病院		インターチェンジ		ゴルフ場
	警察署・交番・駐在所		ジャンクション		温泉
	図書館		料金所		スキー場
	海水浴場・(湖水、池)水泳場		ランプ(出入口)		遊園地・テーマパーク
	デパート・ショッピングセンター		ランプ(出口専用)		テーマパークゲート
	その他ショップ		駐車場		キャンプ場
	ホテル・旅館・宿泊施設		運動施設		スタジアム
	史跡・旧跡、観光名所		サッカースタジアム		公園
	神社		墓地		マリナー
	寺院(仏閣、地蔵)		冬季通行止め		
	教会				
	城跡				
	美術館				
	博物館				
	郵便局				
	銀行				
	飛行場・空港				
	港				
	フェリーターミナル				

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色：一般道、細街路（経路案内対象外）

青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。

※計画道路

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象とはなりません。

立体アイコン(例)



東京タワー



サンシャイン60



神宮球場



松江城



日本武道館



横浜ランド
マークタワー



東京都庁
(第一庁舎)



通天閣



金閣寺



原爆ドーム

市街地図(5m/12m/25mスケール)の収録エリア(1)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □、50%未満収録地域 → ■

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美瑛市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町
青森県	三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、湯上市、大仙市、北秋田町、にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町

茨城県	水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、大平町、都賀町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、西方町、茂木町、藤岡町、岩舟町
群馬県	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、鷲宮町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、杉戸町、ふじみ野市、ときかわ町

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、印旛村、本埜村、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、糸津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町

石川県	野々市町、内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、増穂町、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、鵜沢町、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊岡村、波多町、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、芝川町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、新居町、伊豆の国市、牧之原市

市街地図(5m/12m/25mスケール)の収録エリア(2)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □、50%未満収録地域 → ■

愛知県	名古屋、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、 豊田市 、安城市、西尾市、蒲郡市、大山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手町、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、一色町、幸田町、三好町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、 新城市 、美浜町、吉良町、幡豆町、小坂井町、愛西市、北名古屋市
三重県	津市、 松阪市 、 いなべ市 、東員町、 菟野町 、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、 尾鷲市 、 亀山市 、鳥羽市、 熊野市 、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、 多気町 、 明和町 、 南伊勢町 、 紀北町 、 御浜町 、 紀宝町
滋賀県	近江八幡市 、草津市、 大津市 、彦根市、 長浜市 、守山市、栗東市、 野洲市 、湖南市、甲賀市、安土町、日野町、竜王町、 米原市 、 高島市 、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、 多賀町 、 虎姫町 、 湖北町 、高月町、 木之本町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、 福知山市 、 舞鶴市 、綾部市、宇治市、 宮津市 、 亀岡市 、長岡京市、宇治田原町、笠置町、 和束町 、南山城村、 京丹後市 、 南丹市 、 大山崎町 、 伊根町 、 与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、 福崎町 、太子町、 上郡町 、神戸市、 姫路市 、洲本市、相生市、 豊岡市 、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、 篠山市 、猪名川町、 稲美町 、淡路市、南あわじ市、 養父市 、 丹波市 、 宍粟市 、 朝来市 、たつの市、 多可町 、 香美町 、 新温泉町 、加東市、 市川町 、 神河町
奈良県	奈良市、橿原市、 桜井市 、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、 宇陀市 、三宅町、 高取町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、 かつらぎ町 、 湯浅町 、橋本市、有田市、御坊市、 田辺市 、 新宮市 、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、 有田川町 、 高野町 、 紀美野町 、 九度山町 、 広川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 上富田町 、 太地町 、 串本町
鳥取県	鳥取市 、米子市、倉吉市、境港市、 岩美町 、三朝町、日吉津村、八頭町、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 伯耆町
島根県	松江市 、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、安来市、 江津市 、雲南市、 斐川町 、 東出雲町
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、 津山市 、笠岡市、井原市、総社市、 高梁市 、 新見市 、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
広島県	呉市 、尾道市、福山市、 府中市 、府中町、坂町、江田島市、 広島市 、竹原市、三原市、 三次市 、 庄原市 、大竹市、 東広島市 、廿日市市、海田町、熊野町、 安芸高田市
山口県	下関市 、宇部市、 山口市 、 萩市 、防府市、下松市、 岩国市 、山陽小野田市、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祿市 、周南市、和木町、平生町、 周防大島町 、 田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、 阿南市 、 吉野川市 、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、 阿波市 、 美馬市 、 三好市 、 つるぎ町 、 東みよし町

香川県	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎町、宿毛市、土佐清水市、佐川町、橘原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、前原市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、二丈町、志摩町、うきは市、大刀洗町、荻田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福地町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、植木町、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、城南町、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲在町、永川町、芦北町、津奈木町
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町

宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町、加治木町
沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町



- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2009年7月です。

細街路(主要市区町村道路)探索エリア

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行なうことができます。

探索されたルートは細街路中では黄色で表示されます。



お願い

せますぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。

運転の際は現地の状況にしたがってください。

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。「**VICS**」および「 **VICS**®」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*¹から、3種類のメディア(電波ビーコン、光ビーコン、FM多重放送)*²を使ってリアルタイム*³に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

本機では、FM多重放送のVICS情報を受信し、レベル1～3を表示します。

※本書および画面表示では、VICS情報を“交通情報”と呼んでいます。

*¹ (財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

*² FM多重放送では広域情報を提供します。主として、電波ビーコンは高速道路に、光ビーコンは一般道路に設置されており、走行している場所に即した情報を提供します。

*³ 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県、全国的高速道路(電波ビーコン)で展開されています。(平成22年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

ビーコン……24時間

FM多重放送……24時間(ただし、第1、第3日曜日の翌日の月曜日、
午前1時～午前5時までは放送を休止する場合があります。)

※VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICISリンクデータベースの著作権について〉

VICISリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。

- *VICISリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICISリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- *VICISリンクデータベース：VICISリンクと(財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICISに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ項目	問い合わせ先	お買い上げの 販売会社	VICISセンター* (東京センター)
VICISの概念、計画			○
レベル1の表示内容			○
レベル2の表示内容			○
レベル3の表示内容		○	
サービスエリア		○	
受信可否		○	
車載機の調子、機能、使い方		○	

- *VICIS関連商品、VICIS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

- *VICISの概念、計画、または表示された情報内容に関することは(財)VICISセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)
(財)VICISセンター (サービス・サポート・センター)

電話番号 【東京センター(お客様問い合わせ窓口)ユーザー問い合わせ番号】
0570-00-8831

※PHSからはご利用できません。

全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

電話受付時間 9:30~17:45(土曜、日曜、祝祭日を除く)

FAX番号 (03)3592-5494 (全国)

FAX受付時間 24時間

ホームページアドレス <http://www.vics.or.jp/>

- *お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の受信によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとしします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

- 第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、

当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

〔別表〕視聴料金 315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、
使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
低温時(0℃以下)に車のエンジンスイッチをⅡ(ON)にすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。本体の温度が上がると元に戻ります。	—
エンジンスイッチをⅡ(ON)にした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	[VOLUME] ボタン(▼/▲)で調整してください。	297
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	音質・音量バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	299、 300
	音を消している(ミュート中) ([OPTION] ボタン(⦿)にミュートを設定している場合)	[OPTION] ボタン(⦿)／ [VOLUME] ボタン(▼/▲)を押してミュートを解除してください。	267、 268、 297
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	●本機の使用をあやまった ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼したなどにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイ部は閉じません。	48
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズがついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	38

モニター

症 状	原 因	処 置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	444～446
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	447
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。) オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
ワンセグなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	444～446
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—

「故障かな?」と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(2)

ナビゲーション

自転車マーク関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
平面地図画面と3Dビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行なっています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	43
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 ボタンを押してください。	—
自転車マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地 ボタンを押してください。	—
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	25
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックス等を塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	26
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	43
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムのお車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/hの速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	60
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

ナビゲーション

目的地/経由地/メニュー項目などが選択または設定できない

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	—
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	128～132
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	69, 143
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。(案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示)	探索されたルート上を走行してください。	—
自動再探索ができない。	道幅が3m以下の細街路(灰色(細線)の道路)を走行している。 または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。 または手動で再度探索をやり直してください。ただし、このときは全ルート探索を行ないます。	131、132、140、227、228
経由地が設定できない。	すでに経由地を5か所設定している。	経由地は5か所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	—

音声案内関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	128～132、141
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	69, 143
	消音 ボタンをタッチして音声を出なくしている。	— / + ボタンをタッチするか 消音 ボタンをタッチして解除してください。	263
	音声案内をしない設定にしている	音声案内をする設定にしてください。	251～254
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールにしたがって走行してください。	—

「故障かな?」と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(3)

ナビゲーション

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	—
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	—
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路*（灰色（細線）の道路）を使用しないエリアがあるため*、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	—
大回りな自動ルートを探索する。	探索では、細街路*（灰色（細線）の道路）を使用しないエリアがあるため*、大回りなルートになることがあります。	基本道路（灰色（細線）以外の道路）に近づけて設定してください。	—
	出発地、目的地付近の道路に規制がある（一方通行など）ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路*（灰色（細線）の道路）を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地（経由地）付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向（矢印の向き）が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上に出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路（灰色（細線）の道路）の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—

ナビゲーション

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線等を確認して設定してください。	470
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので大回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	470

*：政令指定都市、および県庁所在地以外（地図ソフトの更新により変わることがあります。）

※：細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

VICS関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS情報（レベル1とレベル2）が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	170、 171
	交通情報番組を選択していない。	交通情報番組（VICS）を受信します ボタンを選択してください。	
VICS情報（レベル3）が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	170、 171
	交通情報番組（VICS）を受信します ボタンを選択していない。	交通情報番組（VICS）を受信します ボタンを選択してください。	
一般情報が表示されない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	170、 171
	一般情報番組を受信します ボタンを選択していない。	一般情報番組を受信します ボタンを選択してください。	

「故障かな？」と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(4)

リアカメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
カメラ映像が出ない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。	290
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	292
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD素子を利用したカメラの特性です。	故障ではありません。	—
リアカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	販売店で車種にあわせた設定と調整を行なってください。	—
	ガイド表示が ガイドOFF になっている。	シフトレバーがRの位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON ボタンをタッチしてください。	290
リアカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合は販売店にご相談ください。	—

フロントカメラ／コーナーカメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
カメラ映像が出ない。	車速が速い。	減速してください。	—
	加速した。		
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いて下さい。	289
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD素子を利用したカメラの特性です。	故障ではありません。	—
コーナーカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が ガイドOFF になっている。	徐行もしくは停止した状態で画面をタッチし、 ガイドON ボタンをタッチしてください。	287
コーナーカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物をおろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合は販売店にご相談ください。	—

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ラジオの自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	311
ラジオで“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。	—
ラジオまたはTVの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

ワンセグ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	—
受信できない。	エリア変更をしていない。	エリアを変更してください。	329、330
	放送エリア内にいない。	地上デジタル(ワンセグ)テレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られています。順次拡大される予定です。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。 ※アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合や、アンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に【電源 切】に設定されます。	アンテナ電源を【電源 入】に設定してください。 ※設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	351
番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	・初期化を行なった ・本機の使用を誤った ・ノイズの影響を受けた ・修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

「故障かな？」と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(5)

CD、MP3/WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CD、MP3/WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3/WMAが挿入されていない。	CD、MP3/WMAを挿入してください。	—
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音がとんだり音質が悪い。	CD、MP3/WMAの不良。	他のCD、MP3/WMAを聞いてみてください。よくなればCD、MP3/WMAの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	38
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト/ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと音切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
CD、MP3/WMAが入らない。	結露している。	CD、MP3/WMAを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにCD、MP3/WMAが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているCD、MP3/WMAを取り出してから、次のCD、MP3/WMAを入れてください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3/WMAファイル を再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混 在しているディスクを再生しようと した。	CD-DAデータとMP3ファイルが混 在している場合、MP3ファイルは 再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付 いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、 WMAファイルに拡張子「.wma」 の付いたディスクに交換してくださ い。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、 Romeo、Jolietに準拠して記録さ れていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、 Romeo、Jolietに準拠して記録さ れたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録 されている。	対応しているビットレートで記録さ れたMP3/WMAファイルにしてく ださい。	370、 371
再生が始まるまでに時 間がかかる。または止 まる。	MP3/WMAディスクを再生する場 合ディスクに記録されているフォル ダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる 場合があります。MP3/WMA以外 のデータや必要ないフォルダは書き 込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出 たり、音が出なかつ たり、すぐ次の曲に移 ったりする。	ファイルの形式と拡張子があつてい ない。	ディスクを交換してください。 (MP3形式でないファイルに 「.mp3」、WMA形式でないファイ ルに「.wma」の拡張子を付けた CD-R、CD-RWを再生しないでく ださい。)	—
聞きたいMP3/WMA ファイルが見つからな い。	MP3ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付 いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、 WMAファイルに拡張子「.wma」 の付いたディスクに交換してくださ い。	—
フォルダ名やファイル 名が正しく表示されな い。	ISO9660のレベル1、レベル2、 Romeo、Jolietに準拠して記録さ れていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、 Romeo、Jolietに準拠して記録さ れたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が、記録 した順と異なる。	MP3/WMAファイルの再生順序 は、CD-R/CD-RW書き込み時に ライティングソフトがフォルダ位 置、ファイル位置を並び替える可 能性があります。	ライティングソフトウェアによつて は、フォルダ名、ファイル名のはじ めに数字(01、02など)を付けるこ とにより、再生順を指定できる場合 があります。	—

故障かな？と思ったら(6)

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SD、USBの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USBメモリデバイス未接続。	SDカードを挿入またはUSBメモリデバイスを接続してください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
USBメモリデバイスを認識していない。	対応しないUSBメモリデバイスの可能性があります。	別のUSBメモリデバイスで試してください。	404～ 406、 409
	USB接続コードが正しく接続されていない。	USB接続コードが正しくUSBメモリデバイスに接続されているか確認してください。	
SDカードの再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）してから音楽ファイルを入れてください。	281、 282
	本機で再生できないSDカードを挿入している。	再生可能なSDカードを挿入してください。	382～ 384、 404～ 406
		対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短かくしてください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3/WMA/AACファイルの再生順序は、SD/USB書き込み時（コピー時）にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD/USBへ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいることを確認し、フォルダごとまとめて書き込む（コピーする）ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
PHOTOモードが再生できない。	PHOTOモードになっていない。	AV SOURCE画面から「PHOTOモード」に切り替えてください。	294、 295
	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	440

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
正常に動作しない。	接続不良。	別売のUSB接続コードにiPod本体に付属されているUSBケーブルを使って、iPodを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	418
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
正常に動作しない。	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	417
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	iPodを接続しなおしてください。	418

こんなメッセージが出たときは(1)

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではないとき。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていないとき。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に 未設定 ボタンを1.5秒以上タッチして登録しようとしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	184
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 プリセット ボタンをタッチしたとき。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。	184
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居るとき。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できないとき。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 ボタンをタッチしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっているとき。 一般情報放送局を受信しているが、交通情報を受信する設定になっているとき。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	170、 171
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信しているとき。	すべてのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	170、 171
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとしたとき。	パーキングブレーキ信号入力リード線を配線していない場合は、配線してください。安全な場所に車を止めてください。	取付書 参照

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカードがありません。”	SDカードが挿入されていないとき。	指定のWebサイトから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	52
	SDカードは挿入されているが、認識できていないとき。	SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込んでください。	48
“該当するデータがありません。”	SDカード内に該当するデータがないとき。	指定のWebサイトからデータを書き込みしてください。	52

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
“信号が受信できません。”	放送エリア外にいるとき。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	349、350 取付
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できないとき。	社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—

「こんなメッセージが出たときは」

その他

こんなメッセージが出たときは(2)

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“このキーにはプリセットの設定がされていません。”	プリセット設定がされていない 1 ～ 12 ボタン(プリセット呼出ボタン)をタッチしたとき。	チャンネルリスト画面またはチャンネル一覧でチャンネルを確認してください。	334～338、502、503
“再生ファイルがありません。SDカードを確認してください。”	SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを挿入してください。	—
“再生ファイルがありません。USBデバイスを確認してください。”	USBメモリデバイスに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSBメモリデバイスを接続してください。	409
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード／USBメモリデバイスの場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をオフにし、SDカード／USBメモリデバイスを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	48、410
“再生可能な画像がありません”	SDカード／USBメモリデバイスに再生可能なJPEGファイルがないとき。	拡張子がJPGであるJPEGファイルをSDカード／USBメモリデバイスに入れてください。	440
“SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	—
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をオフにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	48
“使用できないSDカードが挿入されています。SDカードを確認してください。”	使用できないSDカードが差し込まれている。	対応可能なSDカードを使用し、本機で初期化したSDカードを使用してください。	383
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	正しいディスクを挿入してください。	—
“走行中は映りません。”	走行中にワンセグまたは“VTR(映像がある場合)”を見ようとしたとき。	安全のため、車を完全に停止しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“再生可能なディスクを入れてください。”	●本機で再生できないディスクを入れているとき。 ●CDが逆にセットされているとき。 ●ディスクに汚れ／異常があるとき。 ●音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。	●本機で再生できるディスクを入れてください。 ●ディスクを正しくセットしてください。 ●ディスクの汚れを拭きとってください。 ●別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、前のディスクに異常がある可能性があります。 ●正しいディスクをセットしてください。	36、 38、 46、 47
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“この画像は表示できません。”	対応していないJPEG画像を表示しようとしたとき。	本機が対応している形式のJPEG画像をSDカード／USBメモリーデバイスに入れてください。	440
“USBデバイスが接続されていません。USBデバイスを接続してください。”	USBメモリデバイスが接続されていないとき。	再生可能なファイルが入ったUSBメモリデバイスを接続してください。	404～ 406、 409
“接続されているUSBデバイスでは、再生することができません。”	非対応のUSBメモリデバイス（USBマウスなど）が接続されているとき。	本機が対応しているUSBメモリデバイス（USBフラッシュメモリ）を使用してください。	39

「こんなメッセージが出たときは」

その他

チャンネル一覧

地域設定で選択された地域の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、下記のようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

※放送局側の都合により放送局名等変更になる場合があります。

■ 表のみかた

徳島	お住まいの地域
① 四国放送	エリア番号 (プリセット登録)
2 NHK教育・徳島	放送局名
3 NHK総合・徳島	

(2010年2月現在)

お住まいの地域	北海道(函館)	北海道(札幌)	北海道(室蘭)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・函館 3 NHK総合・函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・札幌 3 NHK総合・札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・室蘭 3 NHK総合・室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・旭川 3 NHK総合・旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・帯広 3 NHK総合・帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・北見 3 NHK総合・北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道(釧路)	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・釧路 3 NHK総合・釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 FRB青森放送 2 NHK教育・青森 3 NHK総合・青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 7 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合・秋田 2 NHK教育・秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合・山形 2 NHK教育・山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 1 TBCテレビ 2 NHK教育・盛岡 4 テレビ岩手 5 ミヤギテレビ 6 岩手朝日テレビ 7 KHB東日本放送 8 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHK教育・仙台 3 NHK総合・仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合・福島 1 TBCテレビ 2 NHK教育・福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・甲府 2 NHK教育・甲府 4 YBS山梨放送 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・水戸 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・福井 2 NHK教育・福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合・金沢 1 KNB北日本放送 2 NHK教育・金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHK教育・富山 3 NHK総合・富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合・新潟 2 NHK教育・新潟 3 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合・長野 2 NHK教育・長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 BSN長野放送	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ〜テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合・静岡 2 NHK教育・静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合・神戸 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 9 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・京都 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大阪 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・和歌山 2 NHK教育・大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大津 2 NHK教育・大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・奈良 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合・松山 2 NHK教育・松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合・高知 2 NHK教育・高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合・高松 2 NHK教育・高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHK教育・徳島 3 NHK総合・徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHK教育・松江 3 NHK総合・松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 yab山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合・広島 2 NHK教育・広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHK教育・鳥取 2 NHK総合・鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・岡山 2 NHK教育・岡山 2 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合・長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB長崎国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合・熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・福岡 2 NHK教育・北九州 3 NHK総合・福岡 3 NHK総合・北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHK教育・宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHK教育・鹿児島 2 NHK総合・鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・那覇 2 NHK教育・那覇 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ (OTV)

用語説明(1)

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

VTRモード

市販のビデオデッキやポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、IDタグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表わす数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

マストレージクラス

正式名称はUSBマストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

DRM (デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機はWMAのDRMに対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“保護された音楽を録音する(Ver.によって表現が異なる場合があります。)”の項目にチェックを付けないでください。

Joliet (ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

用語説明(2)

SDHC(エスディーエイチシー)

アソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され「class2(2MB/s)」「class4(4MB/s)」「class6(6MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

転送

パソコンからメディアまたはメディアからパソコンに曲を移すことです。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

コピーコントロールCD/レーベルゲートCD

PC(パソコン)などで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4:3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4：3のテレビで表示します。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。

例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

カスタマイズ

お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

初期設定一覽

各種設定初期状態は下記のとおりです。

ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール＝25m
	右画面	北方向を上 スケール＝200m
探索条件	探索条件＝推奨 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマートICを利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS自動再探索＝する VICS情報を考慮＝する 統計交通情報を考慮＝する	
F M 多重	受信番組設定 周波数設定	交通情報番組（VICS） 自動選局＝ON プリセット選局＝未設定
エコドライブ情報	エコドライブ開始＝中止 履歴＝なし 評価履歴＝残す エコドライブ表示＝しない 評価レベル＝初級 急加減速のお知らせ＝する エコ速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝する	
VICS	VICS表示設定	一般道＝ON、有料道＝ON 規制＝ON、点減＝ON 駐車場＝ON、 渋滞無し＝OFF、渋滞混雑＝ON

地図表示	地図表示設定	メイン画面 住所の色分けを表示＝する 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3Dの視覚調整＝10目盛中左から1目盛目
		右画面 右画面に地図表示＝しない 住所の色分けを表示＝する 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3Dの視覚調整＝10目盛中左から1目盛目
		地図の色 昼夜切替え＝スモール連動 標高地図色＝季節連動
		表示項目 MAPCODEを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO情報を表示＝しない 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する
	ルート案内	全ルートを表示＝する ルート色＝ピンク ルート情報を表示＝しない JCTビューを表示＝する 交差点拡大図を表示＝する 交差点情報を表示＝する リアル3Dを表示＝する 方面看板を表示＝する VICS案内＝する 合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝する 盗難多発地点警告＝しない AV画面中の案内割り込み＝しない
	ランドマーク	カーディーラー＝Honda Cars店
	現在地設定	矢印

室内音量	15目盛中左から8目盛目 消音=OFF
軌跡／地点	軌跡記録スタート／ストップ=ストップ 軌跡保存データ=なし 登録地点=未登録
到着予想	平均時速を自動で設定=する 一般道路=30km/h 国道=40km/h 有料道路=80km/h
お知らせ	オイル交換=しない クリーンフィルター交換=しない 車検・点検=しない タイヤローテーション=しない 結婚記念日=しない 誕生日1=しない 誕生日2=しない お好み=しない
オフショ ンボタ ン	ミュート
ETC設定	カード挿入表示=する ブザー=する ETC音声ガイド=する ETCレーン表示=する カード未挿入警告=する
カメラ	フロント／コーナーカメラ 自動表示=いいえ 登録地点検知=はい カメラインジケータ表示=はい
その他	キー操作音=する

画面設定

画 質 調 整	色の濃さ	16 (カメラ映像 ^{※2})	ナビ、 カメラ映像 ^{※2} 共通
	色合い	16 (カメラ映像 ^{※2})	
	明るさ	31	
	明るさ (イルミ ^{※1} ON時)	12 (フロント／コーナー カメラは16)	
	コントラスト	16	

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。

※1 イルミ=イルミネーション

※2 カメラ映像=リアカメラ・フロントカメラ・
コーナーカメラ

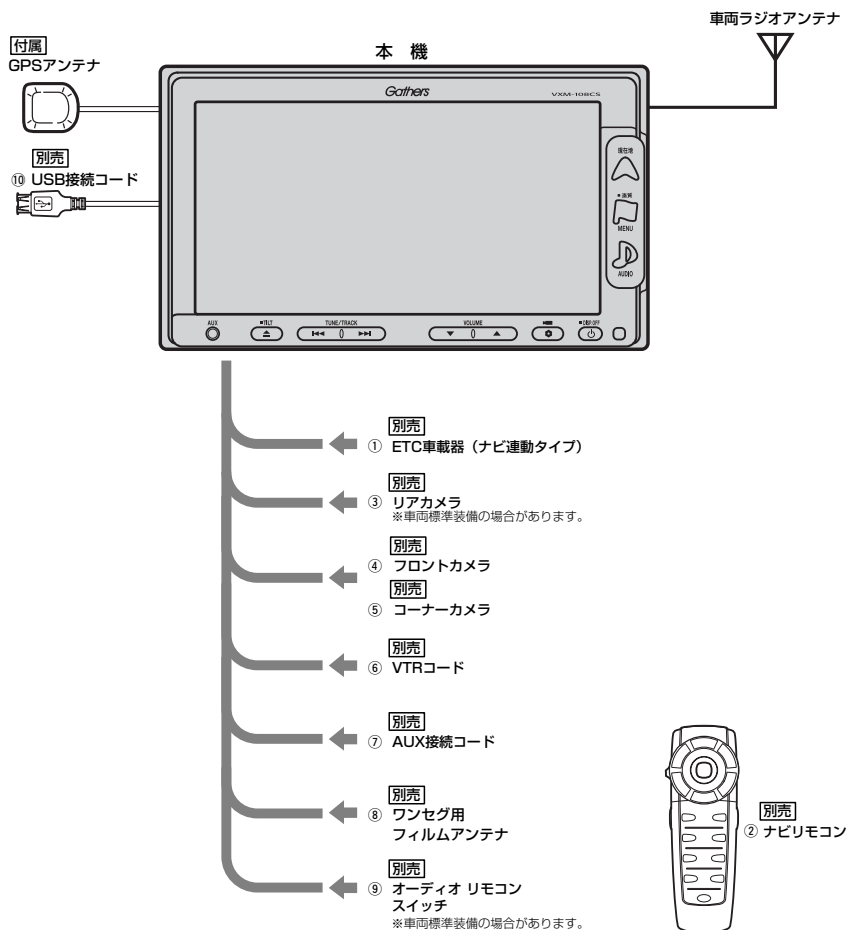
オーディオ設定

音質／音量バランス	BASS=0 TREBLE=0 BALANCE=0 FADE=0
車速連動音量	MIDDLE

ワンセグ

エリア変更	視聴エリア＝東京 エリア変更＝自動	
チャンネルリスト	チャンネルリスト＝東京 プリセットリスト＝未登録	
音声字幕	音声設定＝音声１ 主 字幕設定＝字幕なし	
システム設定	各種設定	時計表示＝する 中継・系列局 サーチ＝自動
	アンテナ電源＝電源入	

別売品(システムアップ)について



① ETC車載器（ナビ連動タイプ）

② ナビリモコン

本機でナビゲーション操作やオーディオ操作するための専用リモコンです。

③ リアカメラ

④ フロントカメラ

⑤ コーナーカメラ

⑥ VTRコード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

⑦ AUX接続コード

⑧ ワンセグ用フィルムアンテナ

地上デジタルテレビ放送（ワンセグ）を受信します。

⑨ オーディオ リモコン スイッチ

⑩ USB接続コード

※本機で使用できる別売品については、お買い上げの販売店におたずねください。

主な仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	7V型
使用光源	冷陰極管

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～62チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPSアンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	－130dBm
位置更新時間	約0.5秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

CD部

S/N	75dB以上
周波数特性	20～20,000Hz
高調波ひずみ率	0.1%以下(1kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0MHz AM 522～1629kHz
実用感度	FM 15dB μ AM 32dB μ
S/N比	FM 55dB AM 50dB
ステレオセパレーション	FM 30dB
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	JASO ANTジャックメス ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	5ピン専用コネクター
フロント/コーナークメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
ワンセグアンテナ入力端子	2ピン専用コネクター
AUX	ミニジャック

その他

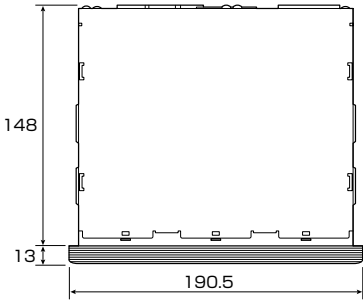
電源	DC12V
最大出力	45W×4 (15.2V)
外形寸法	約190.5×111×161mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	約2520g

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

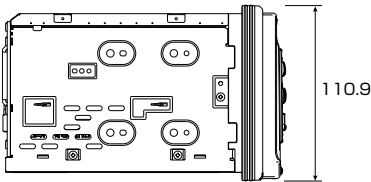
※モニター部の画面サイズのV型(7V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

構成内容

外形寸法図（本体）



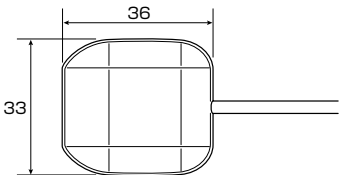
〔平面図〕



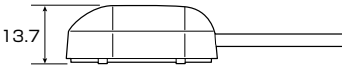
〔左側面図〕

（単位：mm）

（GPSアンテナ）



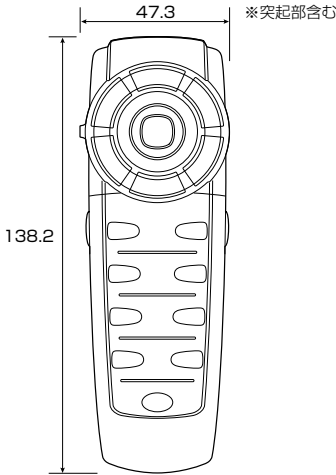
〔平面図〕



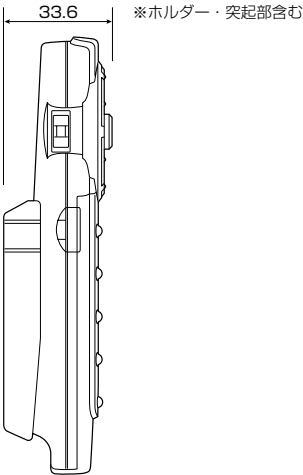
〔側面図〕

（単位：mm）

（ナビリモコン） 別売



〔平面図〕



〔側面図〕

（単位：mm）

〔主な仕様〕／〔構成内容〕

その他

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 調子が悪いとき……………まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき……………保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理……………保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理……………修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品……………製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

索引

索引.....	516~519
---------	---------

索引(1)

数字・アルファベット

1ルート／複数ルート探索をする127～132

2画面表示にする79～81

3Dビュー57

3Dビューの角度を調整する235、236

AUX/VTR

AUX/VTRモードを切り替える401

AUX機能/VTR機能を使う397～399

各部の名称とはたらき396

画面のサイズを変更する400

時計を表示する402

AV SOURCE画面のモードボタンについて298

CD

CDモードを終了する359

CDを聞く358、359

CDを取り出す360

各部の名称とはたらき356

再生を一時停止する361

スキャン(イントロ)再生をする362

早戻し/早送りをする361

表示部(再生画面)について357

ランダム(順序不同)再生をする362

リピート(繰り返し)再生をする362

ETC

ETCカードを取り出す272

ETC情報を見る221、222

ETCについて271

ETCの基本操作272

ETCを起動する272

ETCを利用するには273、274

各機能を設定するには269、270

料金通過表示について273

予告案内/警告表示について274

GPS

GPS衛星の電波受信と測位43

iPod

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)422

iPodとは416

iPodを聞く421

iPodを再生させるには418

iPodを終了する422

iPodを本機に接続すると418

各部の名称とはたらき419

再生を一時停止する423

シャッフル再生する430

使用上の注意416

選曲モードより選択し、再生させる425～429

対応可能なiPod417

時計を表示する431

早戻し/早送りをする423

表示部(再生画面)について420

リストより好きなトラックを選び再生させる424

リピート(繰り返し)再生をする430

MP3/WMA

1ファイルずつ選曲する

(トラックを戻す/進める)376

MP3/WMAディスクを取り出す375

MP3/WMAを聞く374、375

MP3/WMAを終了する375

各部の名称とはたらき372

再生を一時停止する377

好きなフォルダを選び

スキャン(イントロ)再生をする379

トラックリストより好きなトラックを選び

再生させる377、378

早戻し/早送りをする376

表示部(再生画面)について373

ランダム(順序不同)再生をする379

リピート(繰り返し)再生をする379

PHOTO

PHOTOモードを終了する437

各部の名称とはたらき434

画像を回転させる440

画像を表示させる436、437

画像を戻す/進める441

表示部について435

フォルダを選択し、画像を表示させる439

メディア(USB/SD)を選択する438

QQコールを表示する224

QQコールを利用する223

SDカード/USBメモリデバイスについて39、40

SDカードから地点を登録218～220

SDカードからルート探索156～158

SDカードの取り扱いかた41

SDカードを入れる/取り出すには48

USBメモリデバイスの

音楽再生について404～406

USBメモリデバイスを使う407～415

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)411

USBメモリデバイスの接続をやめるには410

USBメモリデバイスを聞く409、410

USBメモリデバイスを本機に接続するには409

USBモードを終了する410

各部の名称とはたらき407

再生を一時停止する412

好きなフォルダを選ぶ	414
スキャン(イントロ)再生をする	415
早戻し/早送りをする	411
表示部(再生画面)について	408
ランダム(順序不同)再生をする	415
リストより選曲する	412、413
リピート(繰り返し)再生をする	414

VICS

VICSの項目一覧	168
VICS放送局	165
一般情報とは	166
一般情報の内容(番組)について	166
一般情報放送局	167
エリア選局	182、183
緊急情報を見るには	176、177
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信に ついて	160
交通情報(VICS情報)とは	163
交通情報(図形情報)を 見るには	174、175
交通情報(文字情報)／一般情報を 見るには	172、173
交通情報／一般情報を表示するには	169
自動選局	178、179
自動選局を止める	179
受信する情報(交通情報／一般情報)を 選ぶには	170、171
手動選局	180、181
操作画面について	168
表示について	163、164、166
プリセットした放送局に上書きする	186
プリセットした放送局を呼び出す	184、185
放送局をプリセット(保存)する	184～186
マーク一覧表	165
VICS情報有料放送サービス契約約款	484、485
VICSの概要	482、483
VICS表示の設定	265、266

ア行

緯度・経度と地点設定	241、242
迂回探索	142
映像の調整のしかた	444～446
エコドライブ情報設定	187～193
グラフ表示	192
履歴を削除	191
履歴を見る	190
オプションボタン設定	267、268
オーディオ リモコン スイッチ	450

主な仕様	512
音質／音量バランスの調整をする	299、300
音声案内について	82、83
音声案内の音量を調整するには	263、264
音声はそのまま画面を消すには	447
音声はそのままナビゲーション画面を 表示する	448、449
音量調整	297

カ行

各部の名称とはたらき

ナビゲーション	50、51
ラジオ	304、305
ワンセグ	323～325
CD	356
MP3/WMA	372
AUX/VTR	396
SD	385
USB	407
iPod	419
PHOTO	434

キー操作音を止めるには

280

軌跡を使う

記録を止める	195
軌跡を表示	195
軌跡表示を止める	196
記録した軌跡を確認	197
削除する	198

基本表示の設定を変える

239、240

クイック機能について

69、70

クイックルートを探索する

77、78

現在地(自車)位置変更

260、261

現在地を表示するには

60

構成内容

513

交通情報を受信する

316、317

故障かな?と思ったら

486～497

個人情報の取り扱いについて

465

こんなメッセージが出たときは

498～501

サ行

再生できるディスクについて

36、37

再探索

141

市街地図(5m/12m/25mスケール)の

収録エリア	478～481
-------	---------

索引(2)

自車マークの種類を変える	262
自宅を登録する	71~74、199
車速連動音量を設定する	301、302
渋滞地点を確認する	155
渋滞予測ルートを探索	152~154
出発地・経由地・目的地の設定	470、471
初期設定一覧	508、509
自律航法とマップマッチング	44

タ行

地図画面の見かた	56、57
地図ソフトについて	472~475
地図の色を変える	237、238
地図の縮尺レベル	58
地図表示(方位)を切り替える	61、62
地図を動かす(地図スクロール)	63
地図を拡大／縮小する	59
地図を表示するには	54、55
地点を探す	
SDカードで地点を探す	119~121
緯度・経度で地点を探す	116
施設のジャンルから地点を探す	96~98
自宅周辺の地図を表示する	99
住所で地点を探す	92~95
周辺にある施設から地点を探す	100~103
地図から地点を探す	122
地名から地点を探す [50音]	112、113
電話番号で地点を探す	90、91
登録地点で地点を探す	107~109
マップコードで地点を探す	117、118
名称で地点を探す [施設50音]	86~89
郵便番号で地点を探す	114、115
履歴の中から地点を探す	110、111
地点を登録する	75、76
ディスクの取り扱いかた	38
ディスクを入れる／取り出すには	46、47
ディスプレイ部の角度を調整する	49
データ初期化(消去)する	281、282
デモ走行をする	146
登録地点の地図を呼び出す	210~212
登録地点の並び替えをする	207~209
登録地点の編集／見る	200~206
登録地点を削除する	213~215

ナ行

ナビゲーションシステムとは	42
---------------	----

ハ行

パソコン連携(いつもNAVI)	52
表示できる施設	104~106
フォルダ名の編集	216、217
フロントカメラ／コーナカメ映像を 表示する	283~289
映像を表示する	285
カメラの映像について	289
組み合わせて表示する	285
コーナカメガイドの表示	287
コーナカメガイドの見かた	288
設定をする	283、284
地点を登録する	286、287
平均速度を設定	226
別売品(システムアップ)について	510、511
保証／アフターサービスについて	514
ボタンの照明について	449

マ行

右画面地図表示の内容を設定	233、234
見たい地域を探す	63~65
メイン画面(地図)の設定を変える	231、232
メニュー項目一覧	67、68
メニューの基本操作	66
メンテナンス情報の設定	275~279

ヤ行

用語説明	504~507
------	---------

ラ行

ラジオを使う	304~315
FM/AM放送を切り替える	308
エリア／プリセット1/ プリセット2を選ぶ	309、310
各部の名称とはたらき	304、305
選局する	311~313
表示部について	306
プリセット(メモリー)する	314、315
ラジオモードを終了する	308
ラジオを聞く	307
ランドマーク表示設定	258、259

リアカメラの映像を表示する	290～292
映像を表示する	290
カメラの映像について	292
警告文の位置を下げる	292
リアカメラガイドの表示	290
リアカメラガイドの見かた	291、292
リモコンを使う	451～464
ルート案内時の注意点	466～469
ルート案内設定	243～257
AV画面中案内割り込み設定	256、257
JCTビュー設定	246
交差点拡大表示	247
交差点情報表示	248
合流案内設定	252
専用レーン案内設定	254
全ルート表示	244
盗難多発地点警告設定	255、256
踏み切り案内設定	253
方面看板表示	250
リアル3D表示	249
ルート情報表示	245
ルート色設定	244
ルート案内をストップ／スタートする	143
ルート設定について	124～126
ルート探索条件の設定	227～230
ルート変更をする	133～140
経由地／目的地などの入れ替え	139
経由地の追加	135～138
経由地の変更／削除	139
出発地の変更	133、134
探索条件の変更	140
目的地の変更	135
ルートを編集	
現在のルート削除	149
現在のルート保存	148
現在のルートを表示	144、145
登録ルートの呼び出し／削除	150、151

ワ 行

ワンセグを使う	320～353
「ワンセグ」について	320
「ワンセグ」の画像について	322
「ワンセグ」の番組受信について	321
アンテナ電源の設定をする	351
エリアスキャンをする	332
エリア変更を自動に戻すには	331
音声や字幕を切り替える	346

各部の名称とはたらき	323～325
基本的な操作のながれ	326
視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする	329、330
受信可能な放送局(チャンネル)および受信レベルを確認する	349、350
スキャンについて	333
設定を初期化する	352、353
選局する	334～338
チャンネルリスト/プリセットリストを初期化する	339、340
中継・系列局サーチをする	345
テレビのアナログ放送からデジタル放送への移行についてのお知らせ	322
時計表示設定／中継・系列局サーチ設定	347、348
番組表を見る	343、344
プリセットメモリーをする	341、342
ワンセグモードにする	327、328
ワンセグモードを終了する	328

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時／

但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く)

販売元 株式会社ホンダアクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
〒680-8634 鳥取県鳥取市立川町7丁目101番地